

2025(令和7)年度

履 修 要 覧

この履修要覧は卒業するまで大切に扱ってください。
(年度毎には配付しません。)

—— 掲示情報を必ず見ること ——

学生のみなさんへの通知や連絡はすべて
「IC-UNIPA」 および掲示により行います。

毎日、必ず、掲示情報を確認してください。

掲示情報を確認しなかったために、思いもか
けない不利益を被る場合もありますので、見落
とさないよう十分注意してください。

■ 学籍番号

学籍番号は入学時に各学生に与えられ、原則として卒業時まで変わりません。
それぞれの数字には下記のような意味があります。

この番号をもとに学内の全ての事務処理が行われますので、覚えておいてくだ
さい。

2025（令和7）年度入学生の場合

2	5	1	5	0	0	1
入学年度の 西暦下2桁		学部学環学科番号		(コース番号)	五十音順の個人番号	
		15	…文学部現代英語学科	(E)		
		131	…文学部児童教育学科児童教育コース	(Pe)		
		133	…文学部児童教育学科幼児保育コース	(Pe)		
		14	…文学部文化交流学科	(C)		
		23	…生活科学部心理福祉学科	(W)		
		22	…生活科学部食物健康科学科	(F)		
		31	…看護学部看護学科	(N)		
		41	…経営学部経営学科	(M)		
		50	…未来教養学環	(L)		

学籍番号 25

氏名 _____

【履修要覧とは】

- ・履修要覧には、あなたの大学生活における学修に必要な情報が記載されています。卒業するまで大切に使いましょう。
- ・履修要覧は、入学年度毎に変更されています。先輩や後輩が持っている冊子では、あなたの卒業に必要な正確な情報が得られません。
- ・履修要覧の内容が訂正される場合があります。その時には様々な手段でみなさんに周知徹底しますが、みなさんも掲示などによく注意してください。

【履修要覧の利用の仕方】

1. まず、「履修について」に目を通しましょう。
2. 次に「履修要項Ⅰ～Ⅴ」を読み自分の卒業要件をしっかりと理解しましょう。
3. 表の注やただし書きには、十分留意しましょう。
4. 取得したい資格について、理解しましょう。
5. 年度毎に配付される「履修登録の手引き」やIC-UNIPAで配信される各種情報と照らし合わせて、履修計画を立てましょう。
6. 自分の責任において、目標に合った履修計画を立てましょう。
7. あいまいな情報を鵜呑みにしないようにしましょう。
8. わからないことがあったら、所属する学科等の先生、学務部窓口にご相談しましょう。

【履修に関する相談窓口】

学務部：11号館 1 階

履修ガイダンスについて

履修ガイダンスは、毎年、学年・学科等ごとに実施されます。重要な説明会なので、必ず参加してください。なお、履修ガイダンス参加に際し、事前に配付された履修要覧を熟読しておくことが大切です。

※ガイダンス等の日時は、IC-UNIPA、掲示、履修登録の手引き等で確認すること。

目 次

大学学則	1
履修について	
1. 教育目標	15
2. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）	16
3. 教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）	20
4. 授業、単位と卒業要件	28
5. 履修登録	30
6. 授業の履修	32
7. 試験規程	33
8. 科目コードと科目ナンバリング	39
履修要項Ⅰ 文学部 全学教養科目および学科科目の履修	
1. 卒業に必要な最低修得単位	41
2. 授業科目、単位数および履修規程	
現代英語学科	
（1）全学教養科目	46
（2）学科科目	50
児童教育学科	
（1）全学教養科目	52
（2）学科科目	56
文化交流学科	
（1）全学教養科目	60
（2）学科科目	64
履修要項Ⅱ 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修	
1. 卒業に必要な最低修得単位	67
2. 授業科目、単位数および履修規程	
心理福祉学科	
（1）全学教養科目	70
（2）学科科目	74
食物健康科学科	
（1）全学教養科目	78
（2）学科科目	82
3. 茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程	84
4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程	85
履修要項Ⅲ 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修	
1. 卒業に必要な最低修得単位	87
2. 授業科目、単位数および履修規程	
看護学科	
（1）全学教養科目	88
（2）学科科目	92
3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程	94
履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修	
1. 卒業に必要な最低修得単位	95
2. 授業科目、単位数および履修規程	
経営学科	
（1）全学教養科目	98
（2）学科科目	102
履修要項Ⅴ 未来教養学環 全学教養科目および学環科目の履修	
1. 卒業に必要な最低修得単位	105
2. 授業科目、単位数および履修規程	
未来教養学環	
（1）全学教養科目	108
（2）学環科目	111

履修要項Ⅵ 資格科目の履修（文学部・生活科学部・看護学部・経営学部・未来教養学環）

資格取得にあたって	113
1. 教育職員免許状取得に関する科目の履修	114
2. 学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修	146
3. 社会福祉主事任用資格に関する科目の履修	148
4. 学芸員資格に関する科目の履修 （文学部・未来教養学環）	150
5. 社会教育主事任用資格に関する科目の履修 （文学部）	152
6. 日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修 （文学部）	154
7. 小学校英語教育推進協議会資格認定に関する科目の履修 （文学部現代英語学科）	158
8. 保育士資格に関する科目の履修 （文学部児童教育学科幼児保育コース）	160
9. 社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修 （生活科学部心理福祉学科）	166
10. 公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修 （生活科学部心理福祉学科）	170
11. 認定心理士資格に関する科目の履修 （生活科学部心理福祉学科）	174
12. 福祉心理士資格に関する科目の履修 （生活科学部心理福祉学科）	176
13. 管理栄養士国家試験受験資格・栄養士資格に関する科目の履修 （生活科学部食物健康科学科）	180
14. 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目の履修 （生活科学部食物健康科学科）	186
15. 看護師国家試験受験資格に関する科目の履修 （看護学部看護学科）	189
16. 保健師国家試験受験資格に関する科目の履修 （看護学部看護学科）	193

履修要項Ⅶ 諸規程・諸制度・その他

1. 卒業研究規程	197
2. 茨城キリスト教大学研究倫理指針	200
3. 茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム	204
4. 海外研修制度	206
5. 『異文化体験』の履修	216
6. 単位互換制度	218
7. 茨城キリスト教大学派遣学生および特別聴講学生に関する規程	220
8. 茨城キリスト教大学国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程	222
9. 茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定に関する規程	224
10. 茨城キリスト教大学科目等履修生に関する規程	225
11. その他	227

大学院について

1. 文学研究科英語コミュニケーション専攻／修士課程	231
2. 文学研究科先取り履修制度と、1年半・3年履修制度について	232
3. 生活科学研究科食物健康科学専攻／修士課程	233
4. 生活科学研究科心理学専攻／修士課程	234
5. 看護学研究科看護学専攻／修士課程	236

施設案内図および教員研究室配置図

台風・暴風雨の接近等に伴う対応指針

地震発生時の対処法 原子力災害発生時の対処法 Jアラート（全国瞬時警報システム）発令時の対応方法

一般注意事項

茨城キリスト教大学学則

第1章 目的および使命

第1条 本学は茨城キリスト教学園に属する認定こども園、中学校、高等学校と連携し、一貫した教育体系の最高機関として、キリスト教の精神による人格教育に基づき豊かな教養を培うと共に、深く学術を研究教授し、知的応用能力をもって地域社会はもとより広く国際社会に奉仕する人物を養成することを目的とする。

第2章 大学院、学部、学環および附属認定こども園

第2条 本学に次の大学院、学部、学環、学科および附属認定こども園を置く。

大学院 文学研究科

英語コミュニケーション専攻

生活科学研究科

食物健康科学専攻

心理学専攻

看護学研究科

看護学専攻

文学部 現代英語学科

児童教育学科

文化交流学科

生活科学部 心理福祉学科

食物健康科学科

看護学部 看護学科

経営学部 経営学科

未来教養学環

附属認定こども園 せいじ園

みらい園

2 文学部は、幅広く豊かな教養を身につけ、教育、保育、国際交流など、多様な分野において地域社会ならびに国際社会に貢献する人材の養成を目指す。

1) 現代英語学科は、国際交流語としての英語の基本的かつ高度な運用能力を有し、国際化する現代社会で活躍する人材を養成する。

2) 児童教育学科は、初等教育および保育に関する専門知識を有し、未来を担う子どもの健やかな成長支援と学校教育、保育ならびに子育て支援に携わる有為な人材を養成する。児童教育学科に、教育目標に応じて次の履修コースを設ける。

児童教育コース

幼児保育コース

3) 文化交流学科は、国内外の歴史、社会および文化に関する専門知識を有し、実践的な交流を通して世界に奉仕する人材を養成する。

3 生活科学部は、心と生命を持ち、共同体の中で自然と共生しながら生きる、傷つきやすく精妙な

人間を癒し、その良き生を守る人材の養成を目指す。

- 1) 心理福祉学科は、心理と福祉、二つの専門領域が相互にその専門性を高めあいながら学生を育み、地域の社会福祉に貢献する人材を養成する。
- 2) 食物健康科学科は、人間の基本的な営みである食を科学と文化の視点から教授研究して地域社会の発展に寄与するとともに、食べ物と健康の関わりを管理、教育する人材を養成する。
- 4 看護学部看護学科は、生命の尊厳への深い畏敬の念と、人間に対する深い洞察力和温かい感受性を有し、地域の保健医療福祉に貢献する人材の養成を目指す。
- 5 経営学部経営学科は、幅広い教養と倫理観を備え、経営の専門的知識を有し、地域社会ならびに国際社会で活躍する人材の養成を目指す。
- 6 未来教養学環は、全学部・学科が提供する現代的専門知の要諦を自ら学際的に紡いで現代教養として会得し、これを未来に生ずる問題の発見・解決に資する汎用的な知識・技能にまで高め、卒業後もこの力を研ぎ究め続ける熱意を失わず、もって我々の市民社会がその未来を切り拓くことに肅々と貢献してゆく教養人の養成を目指す。
- 7 大学院の学則については、別にこれを定める。
- 8 附属認定こども園の園則および必要な規程については、別にこれを定める。

第3章 学生定員

第3条 本学の学生入学定員および収容定員は次のとおりとする。

			入学定員		編入学定員	収容定員
					2年次	3年次
文学部	現代英語学科	70名	5名【4】	5名【4】	5名【4】	305名【20】
	児童教育学科	130名	5名【4】	15名【12】	565名【36】	
	文化交流学科	60名	—	5名【4】	250名【8】	
生活科学部	心理福祉学科	60名	—	5名【4】	250名【8】	
	食物健康科学科	80名	—	—	320名	
看護学部	看護学科	80名	—	—	320名	
経営学部	経営学科	70名	—	5名【4】	290名【8】	
未来教養学環		20名	—	—	80名	

未来教養学環の入学定員および収容定員は、文学部、生活科学部、経営学部の定員の内数とし、【 】は、各学科に係る内数を示す。

第4章 修業年限・学年・学期および休業日

第4条 本学の修業年限を4年とし、在学年限は8年を超えることができない。

- 2 2年次編・転入学生の修業年限は3年とし、在学年限は6年を超えることができない。
- 3 3年次編・転入学生の修業年限は2年とし、在学年限は4年を超えることができない。
- 4 学部または学環において必要と認めるときは、進級要件を別に定めることができる。

第5条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第6条 学年は前期、後期の2期にわけ、その期間については、毎年度の学事暦によって定める。

第7条 学年の定期休業日は次のとおりとする。

日曜および国民の祝日に関する法律に規定する休日

夏期休業

冬期休業

春期休業

- 2 前項の定期休業日のうち夏期休業、冬期休業、春期休業の期間については、毎年度の学事暦によって定める。

- 3 夏期休業、冬期休業、春期休業の期間中に、補講、集中講義、実習等の授業を行う場合がある。

第8条 臨時休業日については、そのつど学長がこれを定める。

第9条 必要がある場合には、学長は休業日を変更することがある。

第5章 教育課程

第10条 本学の教育課程は、全学教養課程、学科専門課程、学環課程および資格課程によって構成する。

- 2 全学教養課程は、第1条に掲げる本学の使命を全学的かつ中心的に担う課程として、全学教養科目と称する授業科目群をもって運用し、キリスト教精神にもとづくリテラシー教育を通じて高い見識をそなえた自律的市民の育成を目指す。

- 3 学科専門課程は、第2条に掲げる各学科の設置目的を実現する課程として、学科科目と称する授業科目群をもって運用する。

- 4 学環課程は、第2条に掲げる未来教養学環の設置目的を実現する課程として、学環科目と称する授業科目群をもって運用する。

- 5 資格課程は、全学教養課程・学科専門課程、学環課程の補完・深化を目的とする複数の資格・免許課程をもって構成し、その取得要件となる授業科目群をもって運用する。

第11条 授業科目およびその単位数と授業時数は、別表Ⅰのとおりとする。

- 2 別表Ⅰの改定を含む教育課程の編成・運用・改善に関わる事項は、『茨城キリスト教大学教育課程の編成・運用・改善に関する規程』において別に定める。

第12条 各学年の授業実施期間は定期試験等の日数も含めて35週を標準とする。

第6章 履修方法および単位算定基準

第13条 履修方法は『履修規程』において別に定める。

第14条 各授業科目の単位数は、次の基準によって算定する。

- 1) 講義については、1時間の授業に対して2時間の準備のための学修を必要とし、15時間の授業をもって1単位とする。

- 2) 演習については、1時間の授業に対して2時間の準備のための学修を必要とし、15時間の授業をもって1単位とする科目、または、2時間の授業に対して1時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって1単位とする科目、または、45時間の授業をもって1単位とする科目のいずれかとする。

- 3) 実験および実技については、2時間の授業に対して1時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって1単位とする。

- 4) 実習については、2時間の授業に対して1時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって1単位とする科目、または、45時間の授業をもって1単位とする科目のいずれかとする。

- 5) 卒業研究については、これらに必要な学修等を勘案して単位数を定める。

- 2 前項第1号から第3号までに規定する授業科目については、本学の教育課程における授業の方法を、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行

う教室等以外の場所で履修させることができる。

- 3 前項に規定する授業の方法により修得する単位数は卒業要件単位のうち60単位までとする。
- 4 第2項に規定する授業の実施に係る申請その他の事項については別途内規を定める。

第7章 学修の評価および試験

- 第15条 単位を得るためには、その授業科目の授業に出席し、試験に合格しなければならない。ただし、出席時数が前条に定める全授業時数の3分の2に満たない場合には、受験資格を与えない。
- 2 法定学校感染症の罹患、罹患の疑い、罹患のおそれがある場合の授業欠席は公欠とし、原則として受験資格に関わる前項の算定に含めない。ただし、評価に際して支障のあるときは、当該科目の担当教員と学務部との協議においてその対応を決するものとする。
- 第16条 学生が履修した授業科目の成績は、当該科目の担当教員がこれを定める。
- 2 各授業科目の成績は、AA、A、B、C、Fをもって表わし、AA、A、B、Cを合格とする。
- 第17条 病気その他やむを得ない事情によって、第15条に定める試験に欠席した者は、所定の手続きを経て追試験を受け、単位の認定を受けることができる。
- 2 卒業見込み者で、一定の条件を満たしている者は再試験を受け、単位の認定を受けることができる。
 - 3 追試験および再試験に関しては、『試験規程』に定める。

第8章 卒業の認定および学位の授与

- 第18条 学則第4条に定める期間本学に在学し、所属学部ごとまたは学環において定めた科目を履修し、所定の単位を修得した者について、当該学生が所属する学部の教授会または学環会議の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 2 前項に定める卒業に必要な科目区分および最低修得単位数は、別表Ⅱに定めるとおりとする。
 - 3 第1項に定める各学部および学環において授与される学位は、次のとおりとする。
 - 1) 文学部現代英語学科 学士（文学）
 - 2) 文学部児童教育学科 学士（文学）
 - 3) 文学部文化交流学科 学士（文学）
 - 4) 生活科学部心理福祉学科 学士（生活科学）
 - 5) 生活科学部食物健康科学科 学士（生活科学）
 - 6) 看護学部看護学科 学士（看護学）
 - 7) 経営学部経営学科 学士（経営学）
 - 8) 未来教養学環 学士（学術）
 - 4 デュアル・ディグリー制度を利用して本学に留学する学生（以下デュアル・ディグリー生という）の学位の授与に関しては、学則第4条、第18条第1項、第2項を準用する。

第9章 入学、退学、転学および休学

- 第19条 入学の時期は学年の初めを原則とする。
- 第20条 本学に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。
- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者。
 - 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
 - 3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者。またはこれに準ずる者で文部科

学大臣の指定した者。

4) 文部科学大臣の指定した者。

5) 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者。

6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

7) その他、相当の年齢に達し、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

第21条 出願手続き、および選抜の方法は、そのつどこれを公示する。

第22条 他の大学の学生で、当該大学の学長の承認を受けて本学に転入学を志願する者は、選考のうえ2年次または3年次への転入学を許可することがある。

2 転入学を許可された者の、入学前の既修得単位の認定に関しては、『茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定に関する規程』に定める。

第23条 次の各号の一に該当する者は、各学部教授会の認定により2年次または3年次への編入学を許可することがある。

1) 学士の称号を有する者で、編入学を志願する者。

2) 短期大学、高等専門学校、工業教員養成所、養護教諭養成所を卒業した者で、編入学を志願する者。

3) 学校教育法施行規則第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者で、編入学を志願する者。

4) 本学との間にあらかじめデュアル・ディグリーに関する協定を締結している外国の大学からのデュアル・ディグリー生。

2 編入学を許可された者の、入学前の既修得単位の認定に関しては『茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定に関する規程』に定める。

第24条 入学を許可された者は、所定の手続きを、決められた期間内に終了させなければならない。

2 前項の手続きをしない者については、入学許可を取り消す。

3 教育上有益と認めるときは、他の大学または短期大学（外国の大学・短期大学を含む）を卒業または中途退学のうえ、本学1年次に入学した者の、他の大学または短期大学における既修得単位を、30単位を超えない範囲で、本学において修得したものとして単位を認定することがある。

第25条 退学を希望する者は、保証人連署のうえ、その理由書を提出し、許可を受けなければならない。

第26条 願いにより退学した者および本学則第44条により除籍となった者が再入学を希望するときは、その理由書を提出し、許可を受けなければならない。

2 再入学に関しては、『茨城キリスト教大学再入学に関する規程』に定める。

第27条 他の大学へ転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第28条 学内における転籍は、試験を行ったうえ、これを認めることがある。

第29条 病気その他、やむを得ない事情により休学を希望する者は、保証人連署のうえ、医師の診断書または詳細な理由書を提出し、許可を受けなければならない。

第30条 休学の期間は通算2年を超えることができない。

2 休学期間は、原則として第6条に定める学年の学期（半期）ごとに設定するものとする。

3 前項の休学期間は在学期間には算入しない。

4 休学期間は、第1項に定める通算2年を限度として、新たな届出により学期ごとに延長できる。

第31条 休学期間中にその事情が変化したときは、願いにより復学を許可することがある。ただし、学期

の途中で復学した場合は、当該学期の学納金の全額を納入するものとし、当該学期の休学在籍料は返金する。

第10章 外国において中等教育を受けた学生

第32条 外国において相当の期間、中等教育（中学校および高等学校に相当する学校における教育）を受けた者で、本学に入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより、特別選考を行ったうえ、入学を許可することがある。

第33条 前条に基づいて入学した者については、外国語科目の履修について特例を認めることがある。

第11章 留学

第34条 次の各号の一に該当する者は、各学部教授会、学環会議の認定により留学を許可することがある。

1) 本学との間にあらかじめ学生の相互交流を目的とする協定または本学からの留学に関する協定が成立している外国の大学・短期大学またはこれに相当する高等教育機関等の授業科目を履修することを希望する者。

2) 本学との間にあらかじめデュアル・ディグリーに関する協定を締結している外国の大学において、デュアル・ディグリー制度を利用することを希望する者。

2 前項による留学は、本学における学籍上の扱いを在学のままとする留学（以下在学留学という）とする。

第35条 在学留学の許可を受けた者については、その許可を受けた期間を本学における在学年数に算入する。

第36条 在学留学の許可を受けた者が留学した大学等において修得した単位のうち、当該学生の所属する学部教授会または学環会議が適当と認めたものは、本学の卒業に必要な単位として認定することがある。ただし、認定しうる単位数は、30単位を限度とする。なお、デュアル・ディグリー制度を利用して在学留学する学生の単位認定については、別に定める。

第12章 資格

第37条 本学が開設する各種資格取得のための科目を履修し、単位を修得したものは、次の各項に掲げる資格を取得することができる。

2 教育職員免許法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者は、次の免許状を取得することができる。

1) 文学部現代英語学科

高等学校教諭一種免許状（英語）

中学校教諭一種免許状（英語）

2) 文学部児童教育学科

小学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）

特別支援学校教諭一種免許状（肢体不自由者）

特別支援学校教諭一種免許状（病弱者）

幼稚園教諭一種免許状

3) 文学部文化交流学科

高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 4）生活科学部心理福祉学科
高等学校教諭一種免許状（福祉）
高等学校教諭一種免許状（公民）
中学校教諭一種免許状（社会）
- 5）生活科学部食物健康科学科
高等学校教諭一種免許状（家庭）
中学校教諭一種免許状（家庭）
栄養教諭一種免許状
- 6）看護学部看護学科
養護教諭一種免許状
- 3 学校図書館法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、学校図書館司書教諭となる資格を与える。
- 4 社会教育法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、社会教育主事となる資格を与える。
- 5 博物館法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、学芸員となる資格を与える。
- 6 児童福祉法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、文学部児童教育学科および幼児保育コースの所定の科目を履修し、単位を修得して文学部児童教育学科を卒業する者に、保育士となる資格を与える。
- 7 社会福祉法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、社会福祉主事となる資格を与える。
- 8 社会福祉士及び介護福祉士法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部心理福祉学科を卒業する者に、社会福祉士試験受験資格を与える。
- 9 栄養士法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部食物健康科学科を卒業する者に、管理栄養士国家試験受験資格および栄養士資格を与える。
- 10 食品衛生法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部食物健康科学科を卒業する者に、食品衛生管理者および食品衛生監視員となる資格を与える。
- 11 保健師助産師看護師法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して看護学部看護学科を卒業する者に、看護師国家試験受験資格を与える。さらに、所定の科目を履修し単位を修得した者には、保健師国家試験受験資格を与える。
- 12 その他の資格について、取得に必要な要件は別に定める。

第13章 授業料等学納金

第38条 入学金、授業料、設備費、その他学納金、および入学検定料等手数料の金額、および納入方法については、別表Ⅲのとおりとする。

第39条 授業料等学納金は、それぞれ所定の期日までに納入しなければならない。

- 2 特別の理由がある場合には、授業料等学納金の月割分納、延納、減免を認めることがある。

- 第40条 前条第2項の規定により分納、延納、減免の取扱いを希望する者は、願書に詳細な理由書をつけて、保証人連署のうえ、学長に提出し、許可を受けなければならない。
- 第41条 当該学期履修登録期間の最終日までに休学を届出た者は、所定の休学在籍料を納入するものとし、当該学期分の学納金を納入済の場合は返金するものとする。
- 2 前項の届出を行った者が当該学期分の学納金延納願を提出済の場合は、当該延納願を無効とする。
 - 3 当該学期履修登録期間の最終日を超えて休学を届出た者に対しては、納入済の当該学期分学納金は原則として返金せず、休学在籍料は徴収しない。
 - 4 延納願を提出した者が前項の届出を行う場合、原則として当該学期分の学納金を延納期限までに納入しなければならない。またこの場合、休学在籍料は徴収しない。
- 第42条 在学留学生は、在学留学期間中、授業料を除いた学納金の納入を免除する。ただし、在学留学生のうち特に優れた者に対しては、在学留学期間中の授業料の納入も免除することがある。
- 2 授業料を含む学納金の納入を全額免除される在学留学生を「特別在学留学生」という。特別在学留学生は、手続き料5万円を納入するものとする。
- 第43条 既納の授業料等学納金は、原則としてこれを返さない。
- 2 入学前に納入した学納金の取扱いについては、別に定める。
- 第44条 授業料等学納金を理由なく所定の期日までに納入しない者には催告を行い、なお納入しないときには除籍することがある。

第14章 賞罰

- 第45条 他の学生の模範となる行為のあった者は、これを表彰することがある。
- 第46条 学則に違反し、または学生としての本分にもとる行為のあった者は、学長が当該学生の所属する学部教授会または学環会議の意見を徴し、これを懲戒することがある。懲戒は、退学、停学および訓告とする。
- 2 退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - 1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者。
 - 2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者。
 - 3) 正当の理由がなくて出席常でない者。
 - 4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。

第15章 職員組織

- 第47条 本学に次の職員を置く。ただし、必要に応じて非常勤の職員を置くことができる。
- 学長
学部長
学環長
教授、准教授、講師、助教、助手
事務部長、次長、事務職員、その他
- 2 学長は、指名により副学長を置くことができる。
 - 3 学長、副学長、学部長の選出に関しては、『茨城キリスト教大学学長候補者選出規程』、『茨城キリスト教大学副学長選出規程』、『茨城キリスト教大学学部長選出規程』に定める。
 - 4 学環長は学長が指名する。
- 第48条 本学の事務組織は、別にこれを定める。

第16章 教授会および学環会議

- 第49条 学長が学校教育法の規定に則り校務をつかさどり、かつ所属職員を統督するにあたり、必要な事項を決定するために参酌すべき意見を表明する組織として、本学に各学部教授会、学環会議、合同教授会を置く。
- 第50条 各学部教授会は、当該学部の学部長、教授、准教授、講師および助教をもって組織する。ただし、学長、副学長、年度毎に雇用契約を結ぶ教育職員を除く。
- 2 各学部教授会は、当該学部長が主催・招集する。
 - 3 各学部教授会は、学長に対し意見として表明する次の事項を審議決定する。
 - 1) 当該学部学生の入学および転籍に関する事項。
 - 2) 当該学部学生の試験および卒業に関する事項。
 - 3) 当該学部学生の指導、厚生、賞罰に関する事項。
 - 4) 他学部または学環からの転籍に関する事項。
 - 5) 当該学部の教育課程に関する事項。
 - 6) 当該学部の諸規程に関する事項。
 - 7) 当該学部の教員の採用または昇任に関し、学園理事長に推薦する事項。
 - 8) その他当該学部の運営に必要な事項のうち、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 第51条 合同教授会は、各学部教授会の構成員をもってこれを組織する。
- 2 合同教授会は、学長が主催・招集する。
 - 3 合同教授会は、学長に対し意見として表明する次の事項を審議決定する。
 - 1) 本学学則・諸規程の改正に関する事項。
 - 2) その他全学の運営に関する事項のうち、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 第52条 学環会議は、学環長および学環教員をもって組織する。
- 2 学環会議は、学環長が主催・招集する。
 - 3 学環会議は、学長に対し意見として表明する次の事項を審議決定する。
 - 1) 学環学生の入学および転籍に関する事項。
 - 2) 学環学生の試験および卒業に関する事項。
 - 3) 学環学生の指導、厚生、賞罰に関する事項。
 - 4) 他学部から学環への転籍に関する事項。
 - 5) 学環の教育課程に関する事項。
 - 6) 全学教養課程に関する事項。
 - 7) 学環の諸規程に関する事項。
 - 8) その他学環の運営に必要な事項のうち、学環会議の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 第53条 学長は、前条に定める各学部教授会、学環会議および合同教授会の決議を尊重し、原則としてその決議に即して校務をつかさどる。
- 2 学長は、その法的権能により前項の決議事項と異なる校務の執行を決定するとき、または前項の決議事項を執行しないことを決定するときは、当該教授会または学環会議に対し速やかにその理由を説明する義務を負う。
- 第54条 教授会および学環会議主催者は、必要に応じて事務部長その他事務職員を教授会または学環会議

に出席させることができる。ただし、事務職員は、議決には参加しない。

- 第55条 その他各学部教授会および合同教授会、学環会議の運営については、『茨城キリスト教大学教授会運営規則』『茨城キリスト教大学未来教養学環会議運営規程』に定める。

第17章 大学運営会議

- 第56条 学長が学校教育法の規定に則り校務をつかさどり、かつ所属職員を統督するにあたり、学長の命に基づいて本学の教育研究方針策定と管理運営を担い、またそのために必要な事項を調整する組織として、学長のもとに茨城キリスト教大学運営会議を置く。その構成と具体的職務については、『茨城キリスト教大学運営会議規程』に定める。

第18章 図書館

- 第57条 本学に附属図書館を置き、茨城キリスト教大学図書館と称し、その利用と運営については『茨城キリスト教大学図書館規程』に定める。

第19章 センター

- 第58条 本学に学術研究センター、情報センター、地域・国際交流センター、キャリア支援センター、カウンセリング子育て支援センター、教職支援センターを置き、それらの運営については、それぞれ『茨城キリスト教大学学術研究センター規程』、『茨城キリスト教大学情報センター規程』、『茨城キリスト教大学地域・国際交流センター規程』、『茨城キリスト教大学キャリア支援センター規程』、『茨城キリスト教大学カウンセリング子育て支援センター規程』、『茨城キリスト教大学教職支援センター規程』に定める。

第20章 派遣学生および特別聴講学生

- 第59条 本学学生で、本学卒業要件中の科目を他大学または短期大学において履修することを希望する者があるときは、派遣学生として、当該学生の所属する学部教授会または学環会議の議を経てこれを許可することがある。
- 第60条 他大学または短期大学の学生で、当該大学の卒業要件中の科目を本学において履修することを希望する者があるときは、本学の教育研究に支障がない限り、特別聴講学生として、各学部教授会、学環会議または合同教授会の議を経てこれを許可することがある。
- 第61条 特別聴講学生には本学学則を準用する。ただし、第8章および第14章の各条は適用しない。
- 第62条 派遣学生および特別聴講学生の授業料その他については、『茨城キリスト教大学派遣学生および特別聴講学生に関する規程』に定める。

第21章 聴講生および科目等履修生

- 第63条 本学学生以外の者で、本学の授業科目中、1または数科目の受講を希望する者があるときは、教育研究に支障がない限り、聴講生および科目等履修生として、これを許可することがある。ただし、科目等履修生の場合は、各学部教授会、学環会議または合同教授会の議を経るものとする。
- 第64条 聴講生および科目等履修生の区分は、次の各号による。
- 1) 聴講生：単位の修得を目的としない者。
 - 2) 科目等履修生：単位の修得を目的とする者。
 - 3) 特別科目等履修生：本学入学前に本学の授業科目を履修する者。

第65条 聴講生および科目等履修生には本学学則を準用する。ただし、第8章および第14章の各条は適用しない。

第66条 聴講生および科目等履修生の受講料その他については、『茨城キリスト教大学聴講生に関する規程』、『茨城キリスト教大学科目等履修生に関する規程』、『茨城キリスト教大学特別科目等履修生に関する規程』に定める。

第22章 公開講座

第67条 本学は適時に公開講座を開設することがある。

第23章 厚生保健施設

第68条 本学に保健室を設ける。

2 保健室の業務を円滑に実施し、学生の健康管理に資することを目的として、本学に学校医を置く。

第69条 本学に学生寮を設け、その利用と運営については、『茨城キリスト教大学学生寮規程』に定める。

第24章 自己点検・評価及び授業改善

第70条 本学の教育研究水準の向上を図り、本学創設の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について本学は自ら点検および評価に努める。

2 前項の点検・評価を行うための組織等については、『茨城キリスト教大学内部質保証に関する規程』に定める。

第71条 本学は、授業内容およびその方法の改善を図るため、組織的な研修ならびに研究を実施する。

2 前項の研修および研究を行うための組織等については、『茨城キリスト教大学授業改善委員会規程』に定める。

附 則

1 本学則は所轄官庁の認可の日をもって実施する。

附則2から48まで記載省略

49 本学則は2016（平成28）年4月1日から施行する。

50 本学則は2017（平成29）年4月1日から施行する。ただし、第15条の規定は、2017（平成29）年度に在籍する全学生に適用する。

51 本学則は2018（平成30）年4月1日から施行する。

52 本学則は2019（平成31）年4月1日から施行する。

53 本学則は2020（令和2）年4月1日から施行する。

54 本学則は2021（令和3）年4月1日から施行する。

55 本学則は2022（令和4）年4月1日から施行する。

56 本学則は2023（令和5）年4月1日から施行する。ただし、学則第3条の規定にかかわらず、2020（令和2）年度から2022（令和4）年度までの入学定員は次の通りとする。

児童教育学科幼児保育専攻 70名

経営学科 60名

なお、第14条第2項および第3項の規定は2020（令和2）年度から2022（令和4）年度までに在籍した全学生においても適用する。

- 57 本学則は2024（令和6）年4月1日から施行する。ただし、学則第3条の規定にかかわらず、2021（令和3）年度から2023（令和5）年度までの入学定員は次のとおりとする。

児童教育学科児童教育専攻 70名

児童教育学科幼児保育専攻 60名

- 58 本学則は2025（令和7）年4月1日から施行する。

学則別表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

別表Ⅰ・Ⅱは省略する。別表Ⅰ・Ⅱの内容は履修要項Ⅰ～Ⅴで確認できる。

別表Ⅲ

学納金

	年額	納入方法		備考
		前期	後期	
入 学 金	250,000円			入学時のみ
授 業 料	760,000円	380,000円	380,000円	文学部、生活科学部、経営学部、 未来教養学環
〃	1,020,000円	510,000円	510,000円	看護学部
設 備 拡 充 費	300,000円	150,000円	150,000円	文学部、生活科学部、経営学部、 未来教養学環
〃	320,000円	160,000円	160,000円	看護学部
休 学 在 籍 料	120,000円	60,000円	60,000円	届出方法等については別に定める

実験実習費

	年額	納入方法		備考
		前期	後期	
情報教育費	20,000円	20,000円		毎年度、学環・全学科
管理栄養士養成・ 実験実習費	200,000円	100,000円	100,000円	毎年度、 生活科学部食物健康科学科
看護学科実験実習費	300,000円	150,000円	150,000円	毎年度、 看護学部看護学科
児童教育学科 実験実習費	25,000円	25,000円		毎年度、 文学部児童教育学科
		金額	納入年度	
保育実習費		40,000円 20,000円	履修登録年度 の5月下旬	文学部児童教育学科履修者のみ 実習期間により実習費が異なる
社会教育実習費		20,000円		履修者のみ
博物館実習費		25,000円		履修者のみ
日本語教育実習		20,000円		「日本語教育実習A」履修者のみ
社会福祉実習費		20,000円 60,000円		生活科学部心理福祉学科 履修者のみ
心理実験費		10,000円		生活科学部心理福祉学科「心理学 実験Ⅰ」履修者のみ
心理実習費		30,000円		生活科学部心理福祉学科 履修者のみ

資格課程費

種類	金額	納入年度	備考
教職課程費 幼稚園教諭一種免許状	10,000円	2年次の 5月下旬	履修者のみ。中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状については、取得する免許教科の種類ごとに教職課程費を納入する。 所定の時期に教職課程費を納入しない場合、それ以降の教職課程科目を履修できないので注意する。
教職課程費 小学校教諭一種免許状	15,000円		
教職課程費 中学校教諭一種免許状	10,000円		
教職課程費 高等学校教諭一種免許状	10,000円		
教職課程費 栄養教諭一種免許状	10,000円		
教職課程費 養護教諭一種免許状	10,000円		
教職課程費 特別支援学校教諭一種免許状	10,000円	3年次の 5月下旬	保健師国家試験受験資格取得希望者のみ
保健師国家試験受験資格課程費	50,000円	3年次の 5月下旬	

手数料

種類	金額	納期	備考
入学検定料	32,000円	出願時	学環・全学科共通
大学入学共通テスト利用入試検定料	16,000円		学環・学科1出願
	25,000円		学環・学科2併願
	30,000円		学環・学科3併願
追試験料	1,000円		1科目につき
再試験料	5,000円		1科目につき
転籍審査料	10,000円		

履 修 に つ い て

1. 教育目標	15
2. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）.....	16
3. 教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）.....	20
4. 授業、単位と卒業要件	28
5. 履修登録	30
6. 授業の履修	32
7. 試験規程	33
8. 科目コードと科目ナンバリング	39

1. 教育目標

茨城キリスト教大学は、建学の精神である「隣人愛」に基づいた共生の精神を土台として、学問の探求の基盤となる教養と知識、技術を修得し、地域社会はもとより広く国際社会に貢献できる人材を育成することを教育目標としています。

2. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

茨城キリスト教大学は、キリスト教精神に基づき、さまざまな分野で人と社会に進んで奉仕し、人類の福祉と世界の平和に貢献できる「隣人愛」をもった人の育成を目的としています。そのため、謙虚に真理を追究して豊かな教養を身につけるとともに、各学部・研究科の専門課程における学修を通じ、以下の諸能力を備えたと認められる人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティア

キリスト教精神に基づき、社会的倫理にもとる偏見、臆見、欺瞞、誤謬、差別意識等から「自由」であり続けようとする公正性

<学力の3要素>

（学部）基礎的・基本的な知識・技能

（大学院）専門的かつ深遠な知識・技能

それらの知識・技能を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力

学修に主体的に取り組む態度

文 学 部

文学部では、現代社会に対する独創的で堅実な視点から、「英語」「教育」「保育」「異文化交流」など多様な分野において地域と国際社会に奉仕できる人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、各学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（文学）の学位を授与します。

現代英語学科

現代英語学科では、豊かな教養を身につけるとともに、現代英語に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、英語を用いて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティア

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

国際交流語としての英語に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して他者と英語でコミュニケーションを図りながら、社会的・国際的な諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

英語を用いたコミュニケーションや諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

児童教育学科

児童教育学科では、豊かな教養を身につけるとともに、幼児・児童の教育・保育・福祉全般に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、教育・保育・福祉全般を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティアズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

教育・保育・福祉全般についての基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して教育・保育・福祉全般の社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

教育・保育・福祉全般の社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

文化交流学科

文化交流学科では、豊かな教養を身につけるとともに、文化交流に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、異文化間交流を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティアズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

アジア・欧米など諸地域の文化とその歴史的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して国際的・地域的な諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

国際的・地域的な諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

生活科学部

生活科学部では、心と生命を持ち、共同体の中で自然と共生しながら生きる傷つきやすく精妙な人間を癒し、その良き生を守る「心理」「福祉」「食物」などの分野における人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、各学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（生活科学）の学位を授与します。

心理福祉学科

心理福祉学科では、豊かな教養を身につけるとともに、心理と福祉に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、心理的ケアと福祉を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティアズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の3要素＞

人間の心理および現代社会における福祉のあり方やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して日常生活で直面する心理や福祉の個人的・社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

心理や福祉の個人的・社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

食物健康科学科

食物健康科学科では、豊かな教養を身につけるとともに、食物と健康に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、食と健康の専門職として諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティア

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の3要素＞

食と健康に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して食と健康に関わる課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

食と健康に関わる課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

看護学部

看護学部では、人々の「よき生」を支え育むことに寄与する「知恵」を持った看護に携わる人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、看護学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（看護学）の学位を授与します。

看護学科

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、看護における人間愛を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティア

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の3要素＞

看護全般に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して看護に関わる個人的・社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

看護に関わる個人的・社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

経営学部

経営学部では、経営学の専門知識、経営に関する倫理観と行動力（社会人基礎力）を持ち、それによって現実社会に適切に対応し、将来を見据える能力を備えた人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、経営学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（経営学）の学位を授与します。

経営学科

<建学理念>

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、経営におけるリーダーシップ、コミュニケーション能力、状況判断能力等の行動力を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティアリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

戦略マネジメント、ICTマネジメント、マーケティング、会計ファイナンス、地域イノベーション分野のあり方やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して経営に関わる社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

経営に関わる社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

未来教養学環

未来教養学環は、全学部・学科が提供する現代的専門知の要諦を自ら学際的に紡いで現代教養として会得し、これを未来に生ずる問題の発見・解決に資する汎用的な知識・技能にまで高め、卒業後もこの力を究め続ける熱意を失わず、もって我々の市民社会がその未来を切り拓くことに肅々と貢献してゆく教養人の養成を目的とします。このような教育理念、目的のもとで、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、学環課程において、以下の諸能力を備えた人に学士（学術）の学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、幅広い教養とその運用能力をもって諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランティアリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

社会における問題を発見して課題を設定、解決するために必要な幅広い教養とそれらを運用する知識・技能

社会における問題を発見するとともに、それらを多面的に考察し、創造的な思考と的確な判断力によって課題解決の方法を示すことができ、問題解決のために責任をもって行動することができる思考力・判断力・表現力

他者の意見を真摯に受け止めて、その要点を的確に捉えることができるとともに、自らの考えや判断を他者に論理的かつ効果的に伝達できる思考力・判断力・表現力

社会の諸問題に積極的に興味・関心を持ち続け、社会の一員として規範やルールを尊重し、多様な価値観に基づいて、地域社会はもとより、広く国際社会のために主体的に行動しようとする態度

3. 教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）

茨城キリスト教大学は、別に定める学位授与方針に基づき、全学教養課程、学環および各学科における専門課程を次の方針により編成します。

全学教養課程

本学は、学環および各学科において別に定める学位授与方針をふまえ、全学生が共通して学ぶ全学教養課程を次の方針に従って編成します。

<方法と理念>

すべての学生の人間的成長を促し、もって次代の創造に参画するよき市民の育成を目指します。

キリスト教の精神に基づいた全人格的教育の展開を通して、現代社会において自立した個人として、また、よき隣人として、自他を尊び「共に生きる」精神を育みます。

本学の全学部・学科が提供する現代的専門知の要諦、知的活動や社会活動で共通に求められる汎用的スキルを幅広く学ぶことにより広い視野から物事を捉えるとともに、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断を下すことができる人物の育成を目指します。

充実したリテラシー教育を通して、グローバル化や科学技術の著しい進展など、変化の激しい社会に対応し得る知の基盤を構築します。また、心身の健康に関心を持ち、その促進のために科学的視点をもって行動することができるよう、知を支える心身の基盤も構築します。

世界の多様性の認識と異文化への理解を深めるとともに、自身の言語と文化を尊び継承し発展させることができる人物の育成を目指します。

言語や文化の異なる人々とのさまざまな交流や共同体験を通して、たがいの文化を尊重しつつ人類社会の成員として共生していくための開かれた精神と幅広い視野を備えた人物を育みます。

異なる学部・学科の学生が協働して多様な視点から問題解決を行う学びを提供することにより、自らの専門性を相対化して捉える視点を養うとともに、将来、他分野との協働を通して人類福祉のために積極的に貢献することができる人物の育成を目指します。

<分野>

建学の精神、現代教養（文化交流系教養、教育系教養、心理福祉系教養、食物健康系教養、看護系教養、経営系教養、自然環境系教養）、言語コミュニケーション、データサイエンス、健康スポーツ、汎用的スキル、問題解決の計7分野（科目区分）で構成します。

<年次>

多様な興味・関心や履修希望時期の個人差、また、進度や編成の異なる各学科専門科目との適切な連携等に対応するため、多くの科目を1年次から履修可能となるよう編成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）を踏まえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

現代英語学科

現代英語学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

習熟度別クラス編成により、実践的な英語の技能を身につけることのできるスキル科目群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実習科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、同世代の英語母語話者（インターン生）等の異なる文化背景を有する人々と英語を使って積極的に関わり、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランティアや公正性を身につけるための活動として、地域・国際交流センターのバディとして留学生を支援したり、日本語を教えたりするボランティア等を各授業を通じて推奨します。

<分野>

英語を専攻する者として必要な知識を学び、国際社会における英語の役割を理解し、英語圏以外の文化に対しても広い視野と公平さを身につけることを目的とした「現代英語基礎演習Ⅰ」「現代英語基礎演習Ⅱ」を設置します。

<年次>

1、2年次には、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能および非言語コミュニケーション技能の伸長をめざし、実用的なレベルの英語運用能力を身につけるための必修科目を配置します。3、4年次には、グローバル化社会を生き抜く職業人に必要なスキルと教養を身につけるための選択科目を「グローバル・コミュニケーション」「ホスピタリティ」「言語教育」「言語と文化」「演習」「アクティブ・ラーニング」の各分野に幅広く設置します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

<その他>

英語圏の文学・歴史・文化について研究し、「生きる意味とは」「幸福とは」など、人のもつ根本的な問いについての答えを探究し、その過程で人間としての成長を図ります。

児童教育学科

児童教育学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実習科目では、グループ・ディスカッション、プレゼンテーション、ロールプレイ、模擬授業、場面指導等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的

ボランティアや公正性を身につけるための活動として、附属こども園や地域の学校・園でのボランティア等を推奨します。

<分野>

教育学、心理学およびその学術的関連科目群や、音楽・美術・体育・労作体験などの実技科目群を知識修得の基礎分野として設定することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に、3・4年次の児童教育演習（ゼミ）や、児童教育コースにおける3年次の初等教育実習（小学校）、幼児保育コースにおける2年次の初等教育実習（幼稚園）や3・4年次で行う保育実習（保育所・施設）において、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

<年次>

学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、両コースとも1年次は基幹科目および専門基礎科目、4年次は専門領域研究・実践科目を置き、特に児童教育コースでは、2年次は初等教育課程、3年次は初等教育及び特別支援教育課程、幼児保育コースでは、2年次は保育内容研究科目、3年次は障害児保育や子育て支援科目を置くことを基本として構成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

<その他>

4年間を通して「IC教職履修カルテ」の各評価シートに基づき、具体的・効果的且つ実践的に学修成果を把握し、教職や保育職をめざして学修を重ねていくことで、何を学んだのかを振り返り、自らの子ども観を構築し、人間理解を深め、今後の課題を明らかにして行動化するための手がかりを得ることを支援します。

文化交流学科

文化交流学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

文化交流に関する基本知識やスキルを身につけることのできる講義群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また、演習科目や実技・実習科目では、「文化交流体験」「多文化協働演習」「地域貢献演習」などのアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランティアや公正性を身につけるための活動として、地域貢献や異文化交流等を各授業を通じて推奨します。

<分野>

文化交流を学習するために必要な基礎科目群を設定したうえで、応用科目として多文化協働、観光、地域貢献、日本語教育に関する一連の講義や演習科目を配置し、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に3～4年次の文化論演習（ゼミ）では、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

<年次>

学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、1～2年次では文化交流に関する基礎的科目、3～4年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。また、4年間を通して、アジア・欧米などの諸地域の文化に関する一連の知識・技能を習得します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

<その他>

学修成果の評価は、各科目のシラバスにおける授業の到達目標に照らし合わせ、成績評価の方法・基準に合わせて適切に行います。また、国内外でのフィールドワークやアクティブ・ラーニングに関する評価は、当該活動で課している報告書等で評価し、学科独自のニュース・レターでその成果を学内外に発表していきます。

心理福祉学科

<方法と理念>

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習や実習科目では、グループ・ディスカッションやロールプレイ、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングを取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランティアや公正性を身につけるための活動として、心理・福祉に関わるフィールドワークやボランティアなどを各授業を通じて推奨します。

<分野>

心理学・社会福祉学に関わる科目群を知識修得の基礎分野として設定し、演習・実習・実験などの実技科目群を配置することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に3年次の心理実習・心理学実験やソーシャルワーク実習、3・4年次の心理福祉演習（ゼミ）では、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

<年次>

1年次は教養科目・基幹科目を中心とした基礎課程、2年次は心理カウンセリング系科目・福祉系科目の専門科目の中でも基礎的な科目を中心とした専門基礎課程、3年次はより専門的科目や実習・実験を中心とした専門応用課程、4年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

<その他>

心理学系については、学部において公認心理師国家資格の取得に必要とされる講義・演習・実習科目を4年間にバランス良く配置し、心理学に関する専門的知識及び技術の習得を支援します。

社会福祉学系については、社会福祉士国家資格の取得に必要とされる講義・演習・実習科目を4年間に

バランス良く配置し、少人数による指導によって社会福祉士として求められるソーシャルワークの知識・技術・価値観の修得を支援します。

食物健康科学科

食物健康科学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

食と健康の専門職として社会に貢献でき、実践的能力を身につけた管理栄養士の育成をめざし、幅広い職業選択を可能にするために、管理栄養士国家試験受験資格、栄養士に加えて、選択履修により食品衛生監視員、栄養教諭、家庭科教諭等を取得できるカリキュラムを編成しています。幅広い分野で地域社会に貢献できる人材育成をするため学生参加型学習、グループ学習など双方向型の教育方法を通して管理栄養士としてのスキルを強化します。地域連携を図るため、卒業研究等の科目において管理栄養士としての実践力、専門的知識を養います。

<分野>

食物健康科学への興味・関心の醸成ならびに専門性の土台となる食と健康にかかわる基礎知識修得のための科目群を専門基礎分野として設定します。専門基礎科目の学修をふまえ、さらに人々の健康づくりを担う専門職に必要な知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、主体的に学修に取り組む態度の育成を図るための科目群を専門分野として設定します。専門基礎分野および専門分野においては、自主的に選択できる選択科目を設定し、より高度な専門的知識の修得・技能の向上を図ります。また、科学的・論理的な思考および実践力を養うために、卒業研究を設定します。

<年次>

学科専門科目は初年次教育科目、教養科目との融合を図りつつ、1、2年次は専門基礎分野の関連科目課程、2～4年次は専門分野の関連科目課程、4年次は専門領域研究、管理栄養士国家試験対策の課程を置くことを基本として構成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

<その他>

将来、地域社会で活躍できる質の高い人材育成を目指しており、地域連携を通して学生が主体的かつ実践的に取り組めるような外部と交流のできる機会を授業やボランティア等で取り入れるように努めます。

看護学科

看護学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

看護学科では、人々の「よき生」を支え育むことに寄与する「知恵」をもった下記の6つの力をもつ看護に携わる人財を育むよう支援します。

1. 高い倫理性に基づき、公正に判断し、行動する力

2. 看護の対象となる人を深く理解し、全人的にとらえる力
3. 看護の対象となる人と、よりよい援助関係を形成する力
4. 論理的思考力と柔軟な創造力をもって看護を考え、的確に判断し実践する力
5. 他者と協働しながら、責任をもって、看護を実践する力
6. 主体的に学修に取り組み、生涯にわたって自己研鑽し続ける力

これらの力を修得できる課程を、全学教養科目・専門基礎科目・専門科目から編成し、講義・演習・実習の授業形態により展開します。特に、学生が確かな専門的知識に基づく思考力と実践力を、体験に基づき修得することを重視します。そのため、講義・演習・実習のすべてにおいて、学修の主体である学生が能動的に学修するためのしくみや工夫を取り入れ、それらを通じて豊かな看護観を育むよう支援します。

<分野>

建学の精神であるキリスト教精神や、人文・科学・自然のすべての側面から豊かな人間性を育む「教養」を基盤とし、看護を思考し実践する力を育みます。1年次には、看護学の学修を始めるにあたり必要なアカデミックスキルの修得に特化した科目を設置します。看護学を学ぶ基礎となる人体のしくみや疾病の成り立ち、健康を取り巻く環境をはじめとする看護の基本概念に関する科目を配置し、看護の対象となる人を生活者の視点から全人的にとらえる演習・実習科目を配置します。また各年次に段階的に、基本的かつ専門的知識に基づき、看護をより実践的に思考する演習・実習科目を配置します。1年次から4年次までのすべての学年において、地域の多様な場における実習科目を配置し、実践のなかで看護を深く思考し実践する力を育みます。なかでも本学の使命と地域的な特性を活かして、複数の倫理性を育む科目、放射線災害を含めた災害に関する科目をはじめ、県北・県央地域における人々の健康と暮らしに基づく看護を、体験を通じて学修する科目を設置しています。

<年次>

学科専門科目は、教養科目との融合を図りつつ、上述した6つの力を体系的かつ段階的に育むことができるよう、1・2年次では専門基礎科目、2年次では看護学の基本と看護展開の基礎、3年次では看護展開の応用、4年次では看護学の発展に関する科目を配置し、学びを積み重ねていく構成としています。

また、自らの関心を深め、自律的・能動的に学修する態度を育成し、生涯にわたって学修する動機づけを図るため、すべての学年において多様な選択科目と卒業年度には研究方法論、総合実習を配置しています。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。特に、臨地実習前後や卒業時に計画されている客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination；OSCE）、研究方法論演習Ⅰ・Ⅱ、総合実習の学修過程と成果によって、到達目標の達成を確認します。

<その他>

看護の専門職として地域で社会貢献できる人財の育成をめざし、看護師国家試験受験資格に加えて、保健師国家試験受験資格（選抜制）や養護教諭一種免許状を取得できるカリキュラムを編成しています。

経営学科

経営学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

経営学科では「豊かな教養と専門性を備えた人材の育成」を念頭に、学問的素養を高め、経営学の各々の専門分野での知識や技能を育む一方、広く社会のニーズに合致するため、対人能力や問題解決能力に優れた資質を持つ人材の育成を重視しています。そのため講義形式の授業に加えて、少人数制のグループワークを取り入れたリーダーシップ教育科目を系統立てて履修できるカリキュラムを提供します。卒業後は民間企業、公的機関などで真のリーダーシップを発揮できる質の高い人材の育成を目指します。

社会に必要な知識・能力においては、

- ①一般教養と倫理性（基礎学力・社会常識、倫理観と豊かな人間性の醸成）
- ②専門的知識・スキル・分析能力
- ③意思決定、リーダーシップに関わる総合的能力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、チームワーク力、問題解決能力）

が重要であると考え、それらをバランスよく修得できる履修科目の編成を施しています。

<分野>

経営学における基幹科目のうち、経営学入門およびリーダーシップ演習を基本的な知識および社会人基礎力養成のための基礎分野として設定し、専門基礎科目における科目群を配置することで、知識・技能の拡大と深化、公正な判断力・豊かな表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。同時に、戦略マネジメント、ICTマネジメント、マーケティング、会計ファイナンス、地域イノベーションの5分野の専門科目群が、専門知識と問題解決能力、行動力を備えた優れた専門性を備えた社会人としての能力を育成します。特に3・4年次からの必修科目である経営演習（ゼミ）では、上記諸能力を高めながら統合できる力を発揮できるように体験的学習にも努め、社会のビジネスリーダーとしてふさわしい能力を養う教育課程を展開します。

<年次>

1～2年次においては、基礎的な能力を高めるために、入門科目とともに演習科目を必修とし、上記②、③の能力を育成するとともに、専門科目では、戦略マネジメント、ICTマネジメント、マーケティング、会計ファイナンス、地域イノベーションの5分野を中心に、学生の将来の進路に応じた必要科目を年次別、段階的に選択できるように配置しています。3、4年次には経営演習ゼミナールによって、指導教員の下で更に自らの専門性を磨く密度の高い教育を行います。評価においてはGPA制度による公正かつ客観的な運用に努め、「学生が何を身に付けたか」を重視して学生の進級判定、卒業認定、学修支援を行います。

また、現代のコミュニケーションの重要な道具であるICTリテラシーに関する充実した選択科目群を設置し、デジタル教育に力を入れてDX（デジタル技術を活用して、ビジネスの仕組みを変革する）時代に対応できるような人材の育成を主眼とします。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

<その他>

経営学科では、将来、地域社会で活躍できる質の高い人材育成を目指しており、単なる知識や技能習得

だけでなく、地域の連携の中で活動し、学生が主体的かつ実践的に取り組めるような外部との交流、意見交換、実施体験のできる機会を授業に取り入れるように努めます。

未来教養学環

未来教養学環では、別に定める学位授与方針に基づき、学環課程科目について、次の方針にしたがって教育課程を編成します。

<方法と理念>

未来教養学環の教育理念は、全学部・学科が提供する現代的専門知の要諦を自ら学際的に紡いで現代教養として会得し、これを未来に生ずる問題の発見・解決に資する汎用的な知識・技能にまで高め、卒業後もこの力を究め続ける熱意を失わず、もって我々の市民社会がその未来を切り拓くことに粛々と貢献してゆく教養人の育成であり、その方法は、分野横断的な問題解決を通して実践的な学びと、学内とフィールドの往還的な学びによります。

<分野>

初年級において座学による基礎・基本の習得、上級学年において実践的な学びを配置するのではなく、未来教養学環では、初年級から、座学による基礎・基本の習得とフィールドに出る実践的な学びを往還的に行うように科目群を配置します。また、上級学年では、異なる複数の専門知の掛け算により新たな価値を創出する学びを実現するために「未来教養プロジェクト演習」を配置します。

<年次>

学環科目は全学教養科目との融合を図りつつ、1年次及び2年次には問題解決の基礎を身につけるための必修科目（基幹及び関連科目）を配置します。3年次及び4年次には、複雑な問題を解決可能な問題へと分解し、異なる専門分野を統合的に捉えつつ、問題解決へ至るための諸能力を育成するために、実践的演習科目を配置します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランティア、公正性）を踏まえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については、各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

<その他>

まず、教育理念について、全学部・学科が提供する現代的専門知の要諦を自ら学際的に紡いで現代教養として会得し、これを未来に生ずる問題の発見・解決に資する汎用的な知識・技能にまで高め、卒業後もこの力を究め続ける熱意を失わず、もって我々の市民社会がその未来を切り拓くことに粛々と貢献してゆく教養人を養成します。

4. 授業、単位と卒業要件

(1) 授業、学期と時間割

本学では、1年を前期と後期の2期に分け、学期毎にどの曜日も15回（週1回の場合）を基準として授業を実施できるよう学事暦が定められている。

1日の授業時間は6つの時間帯に分けられ、それぞれ1時限～6時限と呼ばれる。1つの時限は単位計算上1コマ2時間と換算されるが、実際の時間は90分である（但し、授業形式が実習のものは除く）。

学期中の平日に限らず、土曜や休業期間を含めて、集中的に授業を行うものを集中講義と呼ぶ。

(2) 単位

授業科目ごとに単位が定められている。履修登録をし、試験に合格することで単位を修得することができる。ただし、出席時数が当該授業の全授業時数の3分の2に満たない場合は単位を修得することはできない。

各学科等、入学年度で卒業や免許・資格に必要な修得単位が定められており、その条件を満たさないと卒業や免許・資格の取得ができないので注意すること。

(3) 単位の基準

1単位の授業時間は、原則として次の基準による。

授業種類	授業時間と単位数	半期コマ数と単位
講義科目	15時間（毎週1時間の15週）の授業をもって1単位とする。	半期1コマ2単位
演習科目	15時間または30時間（毎週1時間または2時間の15週）の授業をもって1単位とする。	半期1コマ2単位または1単位
実験・実習・実技科目	30時間または45時間（毎週2時間または3時間の15週）の授業をもって1単位とする。	半期1コマ1単位または半期1.5コマ1単位

※「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を与える。

(4) 卒業認定と学位

本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、次の学位が授与される。

学部	学位
文 学 部	学士(文学)
生 活 科 学 部	学士(生活科学)
看 護 学 部	学士(看護学)
経 営 学 部	学士(経営学)
未来教養学環	学士(学術)

(5) 本学入学前に修得した単位の認定

1) 本学1年次入学生

本学入学以前に他大学または短期大学等で修得した単位および特別科目等履修生として修得した単位がある場合、本学において修得した単位として認定することがある。単位認定希望者は、前期授業開始前に学務部まで相談すること。

2) 編転入学生

編転入学を許可された者が入学前に修得した単位のうち、本学における卒業要件科目に相当すると認められる科目について2年次編入生は30単位、3年次編入生は60単位を越えない範囲で、本学において修得したものとしてその単位を認定することがある。

基本的に、2年次編入生については1年次開講科目、3年次編入生については1～2年次開講科目の範囲で、科目の内容が共通と認められた場合、単位を認定する。学生本人が認定を希望しない科目については、認定しない。

資格関連科目に関しては3年次以上の配置科目についても認定する場合がある。

教職課程の科目に関して、本学に入学する前の大学が短期大学である場合は、二種免許状に係る科目の単位数が上限となる。また、道德教育に関する科目は再履修しなければならない。(教育職員免許法施行規則第3条表備考4および10条の2)

5. 履修登録

(1) 履修登録について

履修登録とは、授業を受け単位を修得するために、年度毎にその年度の受講計画を立て、履修科目をあらかじめ登録する手続きのことである。登録は各年次に配置された必修科目を第一にし、つぎに選択科目、資格科目を考慮し、その年度の登録科目を決定する。その際、この冊子内容をよく参照すること。正当な理由なしに期間内に登録を終えない者、登録手続きに不備のある者は、授業の受講や単位も認められないので注意すること。

(2) 履修登録の注意

- ① 文学部、生活科学部、看護学部各学科および未来教養学環の1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。
経営学部経営学科の1年間に登録できる単位数は、47単位未満とする。ただし、前年度のGPAが3.0以上の学生は、50単位未満まで履修することができる。
- ② 該当年次より上位年次配置科目は履修できないが、下位年次配置科目は履修できる。
- ③ 他学科・他学部科目および学環科目で履修可能科目があり、卒業要件となる場合がある。但し、履修できない科目や制限がある科目もあるので、この冊子をよく読み担当教員に確認すること。
- ④ 履修制限（指定クラス等）については、履修登録の手引きで確認し、登録すること。
- ⑤ 履修登録確定後、登録した科目の変更は認めないので、十分注意すること。
- ⑥ 後期開講科目も原則として4月に登録すること。後期に追加登録期間はあるが、すべての後期開講科目が対象ではない。「後期追加登録授業一覧」（9月掲出）にある授業が追加登録できる。詳細は学務部の窓口で確認すること。

(3) 履修科目の取消

履修登録した学生は、下記の指定期間内に履修科目の取消ができる。

履修科目の取消をする場合は、必ず自己の責任において、単位数の確認計算を行った後に、履修科目取消届を、決められた期間内に学務部に提出すること。

取消をした科目は、評価の対象から除外される。履修科目の取消をする場合は、科目の重要性（必修科目、卒業要件単位等）を考慮して慎重に行うこと。

- ① 「履修科目取消届」受付期間

前期・通年科目

5月下旬

前期試験前

後期・通年科目

10月下旬

後期試験前

※具体的な取消届受付期日については「履修登録の手引き」で確認すること。

※学外実習科目、集中講義科目、前期または後期の途中で終了する科目、卒業研究については、別に取

消締切日を設ける。

- ② 追加登録については、(2) 履修登録の注意の⑥ (30ページ) を参照のこと。

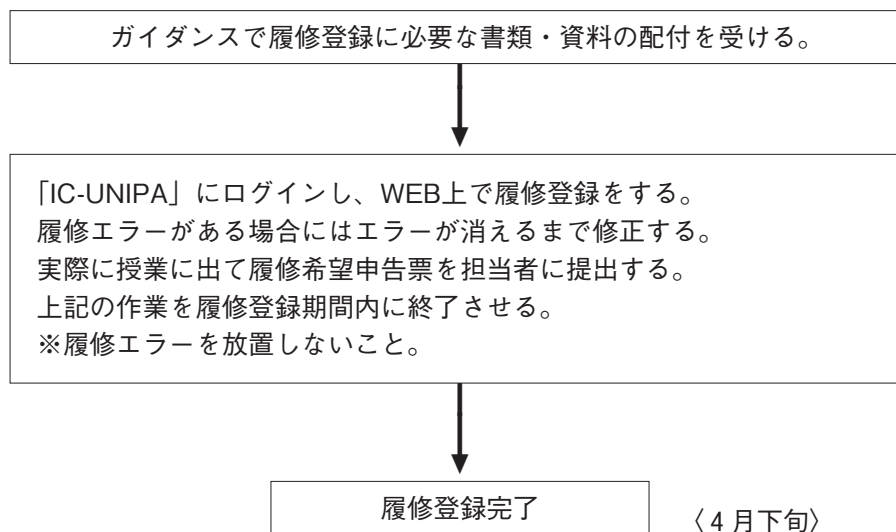
(4) 履修登録の方法および注意事項

履修登録は、WEBサービスシステムである「IC-UNIPA」のWEB履修の機能を使って行う。詳細については別途配付の「履修登録の手引き」等を参照すること。

履修登録は、定められた期間に必ず済ませ、登録漏れがないように注意すること。万一履修エラーがある場合はそのまま放置しないようにすること。

なお、履修登録した科目は、「IC-UNIPA」上で確認できる。

履修ガイダンスから履修登録の完了まで



〈4月下旬〉

6. 授業の履修

(1) 授業を受ける際のマナー

授業を受ける際には受講マナーを守り、他の学生の迷惑にならないよう注意すること。ごく当たり前のことを一人一人が気を付けることが大切である。

① 私語

周りの学生の迷惑になるので、質問以外は発言しないようにすること。

② 授業中の入退室

遅刻をして入室することのないよう注意すること。万一、体調不良等止むを得ない事情で途中入退室する場合は、挙手をして授業担当者の許可を得ること。

③ 携帯電話（スマートフォンを含む）

授業中は電源を切るか、マナーモードにし、カバンの中にする。ただし、授業担当者の指示で授業中に使用する場合がある。その際は授業担当者の指示に従うこと。

④ その他、授業中に控えるべき事項

「居眠りをする」「ガムや飴、食べ物を食べる」「化粧をする」「筆記用具やノートを持ってこない」「サングラスをかけたまま」「帽子をかぶったまま」等。

(2) 公欠制度

学校保健安全法施行規則第18条に規定されている感染症に感染したり、感染の疑いがある場合は「公欠」となるので、事由が判明した段階で速やかに学務部に連絡し、「公欠届」を提出することで、授業欠席を公欠とすることができる。なお公欠となった場合の取り扱いは次のとおりとする。

① 当該欠席時数は「失格」(出席時数が全授業時数の3分の2に満たない場合)を決する算定に含めない。ただし、評価に際して支障のあるときは、当該科目の担当教員と学務部との協議においてその対応を決するものとする。

② 定期試験が公欠となる場合は追試験を実施する。追試験の成績については、通常の定期試験受験者と同様に扱う。

なお、公欠とならないその他の事由による授業欠席は、いかなる事由であってもすべて「失格」判定における欠席回数に数えられるので注意すること。学外実習、忌引き、病欠、ケガ等についてもすべてその対象となる。

また、授業時数3分の1以下の欠席を認める本学学則条項は、忌引きや病欠等の止むを得ない欠席を想定したものである。止むを得ず欠席しなければならない事態に備えるため、これに該当しない欠席は厳に慎むこと。

7. 試験規程

本学においては、年間2回の定期試験を実施している。即ち、前期終了時の前期試験と年度末の後期試験である。その他、授業によっては、随時試験が行われることがある。

いずれの場合も、学生の本分に従い厳正に受験しなければならない。もし不正行為があれば、学則第46条に基づいて懲戒の対象とする。

(1) 試験規程

第1条 本規程は、本学学則第15条から第17条に基づき、本学において実施される定期試験等に関し、必要な事項を定めるものである。

第1章 定期試験

(定期試験)

第2条 定期試験とは、あらかじめ定められている期間に実施される試験で、前期末試験、後期末試験およびそれに準ずる試験を基本とする。

(受験資格)

第3条 出席時数が当該授業の全授業時数の3分の2に満たない者、および当該学期の学納金が未納の者は、受験資格を失う。仮に、これらの事実を確認せずに受験してしまった場合においても、その受験は無効となり、評価は「失格」となる。

(受験心得)

第4条 試験室においては、すべて担当教員の指示に従わなければならない。

- 2 受験に際しては、有効な学生証（仮学生証を含む）を机上に呈示しておかなければならない。
- 3 試験室への携帯品はカバンに入れるか、担当教員の指示する所定の位置に置くものとする。なお、携帯電話等の機器類の電源は必ず切っておかなければならない。
- 4 試験開始時刻に遅刻した場合は、担当教員の指示に従うこと。
- 5 試験途中での退室を認められた場合を含み、試験室を退出する場合は、必ず答案用紙を提出してからでなければならない。
- 6 試験室内においては、不正行為および不正行為を助ける行為をしてはならない。
- 7 不正行為および不正行為を助ける行為を行った者の答案は無効とし、その科目の評価は「失格」とする。それ以外の処置については、当該学生の所属する学部教授会において決定する。
- 8 前項によって「失格」の評価を受けた学生が再び不正行為を行った場合には、当該学期において登録している全科目の評価を「失格」とし、それ以外の処置については、当該学生の所属する学部教授会において決定する。

(不正行為)

第5条 不正行為とは、次のような行為を言う。

- ① 他人（自分以外の人）に代理受験を依頼して行わせた場合、および代理受験をした場合
- ② 他人のために答案、メモを書いたり、他人に答案、メモ等を書いてもらったりしている場合
- ③ 持ち込みを許可されていない教科書、参考書、ノート、メモ等を見ている場合
- ④ 他人の答案を見たとき認められる場合
- ⑤ 他人に自己の答案を見せたと認められる場合
- ⑥ 口頭あるいは動作によって、試験の内容について互いに連絡している場合

- ⑦ 持ち込みを許可されている教科書、参考書、ノート等を互いに貸借している場合
 - ⑧ 試験時間中に、スマートフォンやウェアラブル端末を使用したり、身に付けていたり手に持っていた場合
 - ⑨ その他監督者が不正行為と判断する場合
- 2 不正行為は試験室内で指摘された場合に限らず、採点の際に発見された場合も同様の扱いを受ける。

第2章 追試験

(追試験)

第6条 以下に挙げる正当な理由により定期試験を受けることができなかった者は、学則第17条に基づき、本人の願い出により追試験を受けることができる。

- ① 天災地変のため試験を欠席した者
- ② 近親者（三親等以内）の死亡によって試験を欠席した者
- ③ 交通事故のため試験を欠席した者
- ④ 病気のため試験を欠席した者
- ⑤ 公欠となる事由により試験を欠席した者
- ⑥ 家庭の止むを得ない事情で試験を欠席した者
- ⑦ 就職試験のため試験を欠席した者
- ⑧ 派遣学生として他の大学等の科目を履修している学生のうち、定期試験日が本学で履修している科目の定期試験日と重なり、本学で定期試験を受けられなかった者
- ⑨ その他本人の責めに帰さない事情により試験を欠席した者で、学長から特別認められた者

(追試験の手続き)

第7条 追試験を希望する者は、試験欠席後速やかに学務部学務課に連絡して指示を受け、欠席した試験日から原則3日以内に正式な追試験の手続きをしなければならない。

- 2 追試験を希望する者は、1科目あたり1,000円の追試験料を納入しなければならない。ただし、前条⑤、⑧の理由によって定期試験を欠席し、追試験を希望する場合は、追試験料を徴収しない。
- 3 前条②に該当する場合は、会葬御礼等を提出しなければならない。
- 4 前条③に該当する場合は、証明書を提出しなければならない。
- 5 前条④に該当する場合は、病院の発行する診断書、領収書、処方箋等を提出しなければならない。医療機関での受診がない場合は、原則として追試験を受けることはできない。
- 6 前条⑤に該当する場合は、公欠届を提出しなければならない。
- 7 前条⑥に該当する場合は、保証人による理由書を提出しなければならない。
- 8 前条⑦に該当する場合は、当該企業等の発行する証明書を提出しなければならない。
- 9 前条⑧に該当する場合は、証明書を提出しなければならない。
- 10 前条⑨に該当する場合は、相当する理由書または証明書を提出しなければならない。

第8条 定期試験の日程に組み込まれていない科目については、原則として追試験は行われぬ。

(追試験の評価)

第9条 追試験の成績は、採点の80%とする。ただし、公欠となる理由に基づく追試験の成績については、通常の定期試験受験者と同等に扱う。

第3章 レポート・課題

(レポート・課題)

第10条 定期試験に代わるもの、あるいは補うものとしてレポートや課題の提出が求められる場合、そのレポートや課題も成績評価の根拠となるものとして、定期試験に準じて扱われる。

第11条 レポートや課題の提出先は原則として担当教員とする。

- 第12条 レポートや課題の提出に際しては、担当教員の指示に従い、授業科目名、担当教員名、題目、学籍番号、氏名等を明記するものとする。
- 第13条 レポートや課題の作成に際しては、引用・参考文献を明記し、著作権の侵害および剽窃・盗用の疑義を持たないようにしなければならない。
- 2 生成系 AI の利用については、担当教員の指示に従うものとする。
- 第14条 レポートや課題は必ず本人が提出しなければならない。
- 第15条 レポートや課題の作成および提出に関する不正行為については、定期試験における不正行為に準じて取り扱われる。

第4章 再試験

(再試験)

- 第16条 当該年度の卒業見込者で、以下の条件を満たしている場合は、学則第17条に基づき、再試験を受けることができる。
- ① 当該年度の定期試験および追試験の結果、不合格科目のうち2科目以内の単位を修得できれば卒業要件を満たすことができる場合。
- ② 前号の不合格科目の成績評価が「F」である場合。その成績評価が「失格」または「欠試」である場合は、再試験の対象とはならない。
- ③ 前期末卒業に関しては、再試験は実施しない。
- 第17条 再試験の対象科目は、学務部より掲示される。
- 2 「学環および学科の基礎演習に相当する演習」、「学環および学科のゼミに相当する演習」、「卒業研究」、「実験・実習・実技にかかわる科目」、「外国語科目のうちのCIS」、「単位互換による科目」、「卒業要件外の科目」は再試験の対象とはならない。
- 3 前項に挙げる科目のほか、再試験の対象とはならない科目を学環および各学科が指定する場合がある。

(再試験の手続き)

- 第18条 再試験を希望する者は、指定された期日に学務部において正式な再試験の手続きをしなければならない。
- 2 再試験を希望する者は、1科目あたり5,000円の再試験料を納入しなければならない。

(再試験の評価および卒業)

- 第19条 再試験の結果、合格した科目の評価は「C」とする。
- 2 再試験を受験して卒業要件単位を満たした者の卒業期日は、一般卒業者と同一期日とする。

第5章 その他

(改定)

- 第20条 この規程の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 本規程は2017年4月1日より施行する。
- 2 本規程は2018年4月1日より施行する。
- 3 本規程は2019年4月1日より施行する。
- 4 本規程は2022年4月1日より施行する。
- 5 本規程は2023年4月1日より施行する。
- 6 この規程は2024（令和6）年4月1日より施行する。

(2) 成績評価に関する内規

第1条 本内規は、学則第7章に基づき、成績評価に関する事項を定めるものとする。

(成績評価)

第2条 学業成績は、定期試験および臨時試験（筆記・口述・実技等の試験を含む）、レポート等の成績を総合して評価され、合格と判定された場合は所定の単位が与えられる。

2 成績評価の基準は、以下の通りとし、AA、A、B、Cを合格とし、Fを不合格とする。

- AA 90点以上
- A 80点～89点
- B 70点～79点
- C 60点～69点
- F 59点以下

3 定期試験に欠席し、追試験の手続きをしない場合の評価は「欠試」となり、単位は認定されない。

4 以下のいずれかに該当する場合の評価は「失格」となり、単位は認定されない。

- ① 出席時数が当該授業科目の全授業時数の3分の2に満たない場合
- ② 当該年度・学期の授業料等が未納の場合
- ③ 定期試験またはレポート作成に際し、不正行為があったと認められたとき
- ④ その他、担当教員が十分な根拠をもって評価に値しないと判断したとき

(評定平均値)

第3条 評定平均値（GPA：Grade Point Average）は下記の数式によって算出される。

$$\text{評定平均値 (GPA)} = \frac{(\text{科目の単位数} \times \text{科目の成績点}) \text{の合計}}{\text{総履修登録単位数}}$$

※1 「総履修登録単位数」には、次に該当する科目の単位は含まれない。

- ① 本学で修得したものとして単位が認定されたもの（記号「認」*のもの）
- ② 履修登録後、正規の手続きを経て取り消しを行ったもの

※2 「科目の成績点」は、各々の科目の評定を次の通りに点数化して計算式にあてはめる。

【合格】 AA=4.0 A=3.0 B=2.0 C=1.0

【不合格】 F=0 欠(欠試)=0 失(失格)=0

※3 不合格の評定を受けた科目を再履修して合格点を得た場合も、不合格評定と合格評定の双方が計算式に反映される。

※4 科目履修中に自身の判断で取り消しを決意した場合は、正規の手続きを経て取り消しを行うことができる。履修の取り消しは、学外実習等の一部科目を除き、定められた「履修登録取消期間」で行うことができる。取消手続きを行わない場合は失格もしくは欠試となり、評定平均値を下げることとなる。

2 評定平均値はIC-UNIPA上の個人成績画面、成績通知票、成績証明書に掲載され、優等賞、学業優秀賞、各種奨学金事業、教育実習履修要件等、学内の関連諸施策の運用に共通して使用される。

(成績通知)

第4条 成績評価の結果は、IC-UNIPAを通して、翌学期開始時に通知される。ただし、通年科目に関しては翌年度開始時に通知される。

- 2 前項の規定にも関わらず、卒業年次の成績通知に関しては、卒業生氏名発表と同時に行う。

(成績評価の変更)

第5条 科目担当者により、正式なものとして登録された成績は、原則として変更されない。

(成績評価に対する疑義)

第6条 成績評価に関して疑義が生じた場合は、学務部を通して調査等を依頼することができる。

- 2 前項の調査等の受付期間は、成績通知後1週間以内とし、期間が過ぎた場合は受け付けられない。
ただし、実習等により成績調査依頼票を受付期間内に提出することができない場合については、別途指示する。

(保証人への成績通知)

第7条 成績通知は、原則として保証人のIC-UNIPAアカウントへ開示する。

- 2 前項の規定にもかかわらず、学生本人が保証人への成績開示を希望しない場合には、所定の期日までに申し出るものとする。
- 3 前項の申し出があった場合には、成績開示を本人が希望していない旨、保証人に通知する。

(内規の改定)

第8条 本内規の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附 則

- 1 本内規は2017年4月1日より施行する。
- 2 本内規は2020年4月1日より施行する。

※「認」とは、本学入学以前に他大学または短期大学等で、また入学後に海外研修（留学を含む）等で修得した単位を表す記号である。

(3) 前期末卒業に関する内規

第1条 本内規は、学則第4条および第18条に基づき、前期末卒業に関して、必要な事項を定める

第2条 3月に卒業が認定されなかった者のうち、前期完結科目の単位を修得することによって卒業要件単位数が満たされる場合、本人の願い出によって前期末卒業が認められることがある。

第3条 前条の該当者は、4月の履修登録締切日までに「前期末卒業申請書」を学務部に提出しなければならない。

第4条 前期末卒業に関しては、再試験は実施しない。

第5条 前期末卒業を申請し、卒業要件を満たした場合、年度末卒業への変更はできない。

第6条 前期末卒業に関わる学納金については、別に定める。

第7条 この内規の改定は、教務委員会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 本内規は2017年4月1日より施行する。
- 2 本内規は2025（令和7）年4月1日から施行する。

(4) 転籍試験規程

(目的)

第1条 この規程は、学則第28条に基づき、転籍に関して必要な事項を定めるものである。

(転籍試験)

第2条 転籍を希望する場合は、事前に学務部、アドバイザー教員、および受け入れ学環および学科教務委員に申し出て、十分な指導を受けることとする。

第3条 転籍の受け入れ可能学環および学科は、該当年次在籍者数等により年度毎に決定し、10月中旬に掲示される。

- 2 前項の規定にもかかわらず、文学部児童教育学科幼児保育コース、生活科学部食物健康科学科、および看護学部看護学科においては転籍試験を実施しない。

(年次)

第4条 転籍を受け入れる年次は、原則として2年次とする。

- 2 前項の規定にもかかわらず、3年次への転籍を認める場合がある。

第5条 転籍を許可された者の年次は、原則として転籍する以前に在籍していた年次の翌年次とする。

(在籍期間)

第6条 転籍をした場合の在籍年限は、学則第4条に定められる期間を超えないものとする。

(出願および審査料)

第7条 転籍試験の受験を希望する者は、所定の願書により、指定された期日までに、審査料10,000円を納入し、出願しなければならない。

(選考方法)

第8条 転籍試験の選考方法は、受け入れ予定学環および学科の指定する試験・面接等による。

(合否判定および結果通知)

第9条 転籍試験の合否判定は、教務委員会の議を経て、受け入れ予定学環および学科の所属する学部教授会または学環会議において審議・決定する。

- 2 転籍の合否については、前項の学部教授会または学環会議の決定を受けて、学務部より通知する。

(改定)

第10条 この規程の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 本規程は2017年4月1日より施行する。ただし、2017年度に転科・転部を希望する者については、本規程を準用する。
- 2 本規程は2022年4月1日より施行する。
- 3 この規程は、「転科・転部試験規程」より「転籍試験規程」に名称変更および改定を行い、2024(令和6)年4月1日より施行する。

8. 科目コードと科目ナンバリング

(1) 科目コードとは

科目コードは、各科目がどの学部学科等が開講しているかわかるように付与している 5 桁の番号である。

(2) 科目コードの構成

10××××	全学教養科目
12××××	文学部現代英語学科科目
130×××、131×××、135×××	文学部児童教育学科
14××××	文学部文化交流学科
20××××、21××××	生活科学部心理福祉学科
20××××、22××××	生活科学部食物健康科学科
31××××	看護学部看護学科
40××××、41××××	経営学部経営学科
15××××	未来教養学環
50××××	卒業要件外科目

(3) 科目ナンバリングとは

科目ナンバリングは、教育課程の体系が理解しやすくなるように、各授業科目に記号・番号を付し、各科目の配置、相互関係、位置づけ、授業形式などを明示する仕組みであり、本学では、すべての学部および学環・大学院において「科目ナンバリング」の制度を導入している。

(4) 科目ナンバリングの構成

① ②③ ④ ⑤ ⑥
EN 11 A 01 E

例) English Communication I (現代英語学科 学科科目)

① アルファベット 2 文字：学科・専攻等を表す。

LA：全学教養科目

EN：文学部 現代英語学科 学科科目

PD：文学部 児童教育学科 学科科目

CC：文学部 文化交流学科 学科科目

WP：生活科学部 心理福祉学科 学科科目

FS：生活科学部 食物健康科学科 学科科目

NU：看護学部 看護学科 学科科目

MA：経営学部 経営学科 学科科目

FL：未来教養学環 学環科目

EX：卒業要件外科目

② 2桁の数字の十の位：年次レベルを表す。

1：大学 1年次レベル（1年次生から履修可能）の科目

2：大学 2年次レベル（2年次生から履修可能）の科目

3：大学 3年次レベル（3年次生から履修可能）の科目

4：大学 4年次レベル（4年次生が履修可能）の科目

③ 2桁の数字の一の位：科目（内容）の順位性を表す。

0：特に順位性が設けられていない科目

1～：科目名のローマ数字（Ⅰ～Ⅶ）に対応し、順位性が示される科目

④ アルファベット1文字：必修・選択必修・選択の別を表す。

A：当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「必修」となる科目

B：当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「選択必修」となる科目

C：当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「選択」となる科目

⑤ 2桁の数字：上記①～④の記号・数字が同一である科目グループの中の順番（カリキュラム表に現れる順番）を表す。

01～

⑥ アルファベット1文字：授業形式を表す。

K：講義科目

E：演習科目

J：実験科目、実習科目、実技科目

S：その他（卒業研究等）

履修要項Ⅰ 文学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1. 卒業に必要な最低修得単位	41
2. 授業科目、単位数および履修規程	
現代英語学科	
(1) 全学教養科目	46
(2) 学科科目	50
児童教育学科	
(1) 全学教養科目	52
(2) 学科科目	56
文化交流学科	
(1) 全学教養科目	60
(2) 学科科目	64

1. 卒業に必要な最低修得単位

文学部

＜2025(令和7)年度入学生＞

〔現代英語学科〕

2024年度～

	科目区分		最低修得単位	
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神	6 単位	合計 32単位
		現代教養	文化交流系教養	
			教育系教養	
			心理福祉系教養	
			食物健康系教養	
			看護系教養	
			経営系教養	
			自然環境系教養	
		言語コミュニケーション	英語 ※ 1	
			英語以外	
			留学	
		データサイエンス	2 単位	
		健康スポーツ	体育実技 2 単位	
		汎用的スキル	2 単位	
		問題解決	2 単位	
	学科科目	英語技能科目	10単位	合計 76単位
		専門科目	グローバル・コミュニケーション	
			ホスピタリティ	
			英語教育	
			言語と文化	
			演習	
			アクティブ・ラーニング	
		資格サポート科目		
	自由選択 ※ 2		16単位	
	合計		124単位以上	

※ 1 英語のうち「総合英語Ⅰ～Ⅳ」「英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」は卒業に必要な単位に含まれない。

※ 2 自由選択は、全学教養科目、学科科目、他学科科目、学環科目の中から履修。

		科目区分		最低修得単位	
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		6 単位	
		現代教養	文化交流系教養	16単位	
			教育系教養 ※ 1		
			心理福祉系教養		
			食物健康系教養		
			看護系教養		
			経営系教養		
			自然環境系教養		
		言語コミュニケーション	英語	4 単位	
			英語以外	6 単位	
			留学		
		データサイエンス	2 単位		
		健康スポーツ	体育実技 2 単位		
		汎用的スキル			
	問題解決				
	学科科目	基幹科目	22単位	合計 74単位	
		専門基礎科目	14単位		
		専門科目	38単位		
		資格科目Ⅰ ※ 2			
		資格科目Ⅱ ※ 2			
	自由選択 ※ 3		14単位		
	合計		124単位以上		

※ 1 教育系教養のうち「教育学」は卒業に必要な単位に含まれない。

※ 2 資格科目Ⅰ・資格科目Ⅱは卒業に必要な単位に含まれない。

※ 3 自由選択は、全学教養科目、学科科目（基幹科目・専門基礎科目・専門科目）、他学科科目、学環科目の中から履修。

卒業に必要な単位および規程	科目区分		最低修得単位	
	全学教養科目	建学の精神	4 単位	
		現代教養	16単位	
		言語コミュニケーション	英語	2 単位
			英語以外	2 単位
			留学	
		データサイエンス	2 単位	
		健康スポーツ	体育実技 2 単位	
		汎用的スキル		
		問題解決		
	学科科目	基幹科目	22単位	
		専門基礎科目	14単位	
		専門科目	44単位	
		資格科目Ⅰ ※ 2		
		資格科目Ⅱ ※ 2		
		自由選択 ※ 3	14単位	
	合計		124単位以上	

※ 1 教育系教養のうち「教育学」は卒業に必要な単位に含まれない。

※ 2 資格科目Ⅰ・資格科目Ⅱは卒業に必要な単位に含まれない。

※ 3 自由選択は、全学教養科目、学科科目（基幹科目・専門基礎科目・専門科目）、他学科科目、学環科目の中から履修。

卒業に必要な単位および規程	科目区分		最低修得単位		
	建学の精神		6 単位	合計 40単位	
	現代教養	文化交流系教養	16単位		
		教育系教養			
		心理福祉系教養			
		食物健康系教養			
		看護系教養			
		経営系教養			
		自然環境系教養			
	言語コミュニケーション	英語	8 単位		
		英語以外	6 単位		
		留学			
	データサイエンス		2 単位		
	健康スポーツ		体育実技 2 単位		
	汎用的スキル				
	問題解決				
	学科科目	基幹科目		30単位	合計 70単位
		文化交流を实践する	多文化協働	4 単位 (いずれか 1 区分から)	
			観光		
			地域貢献		
日本語教育					
文化を学ぶ					
特別研究					
キャリア教育					
自由選択 ※			14単位		
合計			124単位以上		

※ 自由選択は、全学教養科目、学科科目、他学科科目、学環科目の中から履修。

留意事項

1. 自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位はどの学科も合計124単位となっているが、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、文学部各学科とも不足（現代英語学科16単位、児童教育学科14単位、文化交流学科14単位）が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目・未来教養学環の学環科目（これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である）の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目・未来教養学環の学環科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2. 科目の重複履修について

全学教養科目の一部について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	履修可能回数		履修可能回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語Ⅲ B	3
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語Ⅳ B	3
体育実技Ⅱ A	7	コリアンⅢ B	3
体育実技Ⅱ B		コリアンⅣ B	3
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語 G	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語 H	2
ドイツ語Ⅲ B	3	その他の外国語 A	3
ドイツ語Ⅳ B	3	その他の外国語 B	3
フランス語Ⅲ B	3		
フランス語Ⅳ B	3		

<この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔文学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

<現代英語学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	10117	2	LA10C19K	歴史学	講義	30	2	1～4	12単位以上選択
	10140	1	LA10C42K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C43J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C35K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C23K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C16K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C13K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C33K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C26K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C36K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C15K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C55K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C18K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C17K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C45K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C48K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C56K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C57K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C58K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C47K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C46K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C37K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C30K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C38K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C32K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C41K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C29K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C49K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C51K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C52K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C54K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10062	1	LA31C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	}
	10063	1	LA32C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	□	1	
	10066	1	LA12B01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	□	1	
	10067	1	LA11B02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	□	1	
	10068	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	□	1	
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	□	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10070	1	LA24B01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	同一言語 6 単 位必修
		10071	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B03E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
		10074	1	LA12B03E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
		10075	1	LA11B04E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
		10076	1	LA12B04E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
		10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	
		10078	1	LA24B03E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	
		10079	1	LA23C02E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C02E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B05E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B05E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B06E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B06E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C03E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C03E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B07E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B08E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B07E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C04E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C04E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	留学	10101	2	LA10C59E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C60E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C61E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C62E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C63E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C64E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C65E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C66E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
		10031	1	LA10C08J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C09J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C10J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C11J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C12K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	②	1	2 単位必修
		10045	1	LA12B11E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	②	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	②	2	
		10137	2	LA11B12K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4	
		10166	1	LA12B13E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4	
		10152	1	LA10B01K	はじめての統計学	講義	30	②	1～4	
		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	②	2～4	
健康スポーツ		10155	1	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2 単位必修
		10160	1	LA12B11J	体育実技ⅡA	実技	30	①	1～4	
		10161	1	LA12B12J	体育実技ⅡB	実技	30	①	1～4	
		10030	1	LA10C07K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
汎用的スキル		10157	2	LA10B02K	汎用的スキルA	講義	30	②	1～4	2 単位必修
		10168	1	LA10B03K	汎用的スキルB	講義	30	②	1～4	
		10169	1	LA10B04K	汎用的スキルC	講義	30	②	1～4	
問題解決		10170	1	LA10B05E	問題解決演習A	演習	30	②	1～4	2 単位必修
		10171	1	LA10B06E	問題解決演習B	演習	30	②	1～4	
		10172	1	LA10B07E	問題解決演習C	演習	30	②	1～4	

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。
- 3) ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程》

A. 現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育コースの学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてI AとI Bを、および1年次後期においてⅡAとⅡBを履修すること（以上1年次4単位）。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてⅢAを、および後期においてⅣAを履修すること（以上2年次2単位、合計6単位）。

＜この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。＞

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Iの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔現代英語学科〕

「英語技能科目」10単位以上と専門科目「演習」12単位以上を含み、学科科目合計76単位以上

2021年度～

学科目	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										P	C	W	F	N	M	L
英語技能科目	12144	1	EN11A01E	English Communication I	演習	30	①	1	必修8単位 を含め10単位 以上選択	×	×	×	×	×	×	△
	12145	1	EN12A01E	English Communication II	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	△
	12146	1	EN23A01E	English Communication III	演習	30	①	2		△	×	×	×	×	×	△
	12147	1	EN24A01E	English Communication IV	演習	30	①	2		△	×	×	×	×	×	△
	12191	1	EN31C01E	Advanced English Communication I	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	△
	12192	1	EN32C01E	Advanced English Communication II	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	△
	12193	1	EN43C01E	Advanced English Communication III	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	△
	12194	1	EN44C01E	Advanced English Communication IV	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	△
	12195	1	EN10C01E	Study Skills (Study Abroad Seminar)	演習	30	1	1～3		×	×	×	×	×	×	○
	12151	1	EN21C01E	Discussion I	演習	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	12152	1	EN22C01E	Discussion II	演習	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	12153	1	EN30C01E	Advanced Discussion	演習	30	1	3～4		×	×	×	×	×	×	△
	12012	1	EN11A02E	Reading I	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	△
	12013	1	EN12A02E	Reading II	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	△
	12014	2	EN20C01E	Advanced Reading	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12004	1	EN11A03E	Listening I	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	△
	12005	1	EN12A03E	Listening II	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	△
	12006	2	EN20C02E	Advanced Listening	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12008	2	EN11C01E	Pronunciation I	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	12009	2	EN12C01E	Pronunciation II	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
専門科目	12010	3	EN20C03E	Presentation	演習	30	1	2～4	合計76単位 以上選択	△	×	×	×	×	×	×
	12016	2	EN11C02E	Grammar I	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	12017	2	EN12C02E	Grammar II	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	12018	2	EN21C02E	Writing I	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12019	2	EN22C02E	Writing II	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12158	1	EN10C02K	コミュニケーション概論	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	○
	12047	1	EN20C04K	異文化間コミュニケーション	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12180	1	EN20C05E	グローバルイングリッシュ	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	○
	12116	3	EN30C02K	地域研究 (英語圏)	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	12055	4	EN20C03E	政治・経済の英語	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
グローバル・コミュニケーション	12058	4	EN20C04E	文化・社会の英語	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	12133	3	EN20C05K	人権と英語表現	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	12162	1	EN20C06E	ソーシャル・ネットワーク演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	12063	3	EN20C07E	デジタル・コミュニケーション	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	12165	1	EN10C03K	ホスピタリティ論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	12117	2	EN20C08E	日本文化発信演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	○
	12169	1	EN20C09E	ホテル業界研究	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12043	1	EN20C10K	ホテル英語	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12170	1	EN20C11E	ホテル演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	○
	12171	1	EN20C12E	エアライン業界研究	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	○
ホスピタリティ	12042	3	EN20C13K	エアライン英語	講義	30	2	2～4	英語教育	×	×	×	×	×	×	○
	12109	3	EN20C14E	エアライン演習A	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	○
	12185	2	EN20C15E	エアライン演習B	演習	30	2	2～4		○	○	×	×	×	○	○
	12172	1	EN20C16E	観光業界研究	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	○
	12041	2	EN20C17K	観光英語	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12072	2	EN10C04K	言語習得論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	12071	1	EN20C18K	異文化理解教育	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12069	1	EN20C19K	子供の英語教育	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	12120	2	EN10C05K	英語教材論 (児童)	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	○
	12123	2	EN31C06E	英語教育実践研究 (児童)	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	○
英語教育	12125	1	EN30C07E	英語教育実践研究 (中等)	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	○
	12126	2	EN20C20E	英語教育演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	○
	12127	1	EN31C01E	英語科教育法Ⅰ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	△
	12128	1	EN32C01E	英語科教育法Ⅱ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	△
	12129	1	EN33C01E	英語科教育法Ⅲ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	△
	12130	1	EN34C01E	英語科教育法Ⅳ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	△

学科科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否								
											P	C	W	F	N	M	L		
専門科目	言語と文化	12049	2	EN20C21E	通訳入門	演習	30	2	2～4	12単位必修	○	○	○	○	○	○	○		
		12196	1	EN30C08E	通訳演習	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12111	1	EN20C22E	翻訳入門	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12197	1	EN30C09E	翻訳演習	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12198	1	EN30C10E	サブカルチャー翻訳	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12131	2	EN20C23K	英語学概論A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12075	3	EN20C24K	英語学概論B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12132	2	EN20C25K	英語学概論C	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12078	3	EN20C26K	英語文学概論A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12136	2	EN20C27K	英語文学概論B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12115	3	EN20C28E	英語文学講読	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
		12079	3	EN20C29K	児童文学（英語圏）	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○		
	12135	2	EN20C30K	児童文化（英語圏）	講義	30	2	2～4	○		○	○	○	○	○	○			
	演習	12138	1	EN11A04E	現代英語基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	×	
		12139	3	EN12A04E	現代英語基礎演習Ⅱ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×	×	
		12082	1	EN31A01E	現代英語演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		12083	1	EN32A01E	現代英語演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		12084	1	EN43A01E	現代英語演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	×	
		12085	1	EN44A01E	現代英語演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	×	
		12140	3	EN20C31E	特殊演習	演習	30	2	2～4		△	×	×	×	×	×	○		
		12142	1	EN30C11E	論文作成法	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×	×	
		12143	1	EN40C01S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×	×	
		アクティブ・ラーニング	12020	2	EN11C03E	Interactive StudiesⅠ	演習	30	1		1～4	×	×	×	×	×	×	×	×
			12021	2	EN12C03E	Interactive StudiesⅡ	演習	30	1		1～4	×	×	×	×	×	×	×	×
			12154	1	EN11C04E	Education ActivitiesⅠ	演習	60	2		1～4	×	×	×	×	×	×	×	×
			12155	1	EN12C04E	Education ActivitiesⅡ	演習	60	2		1～4	×	×	×	×	×	×	×	×
			12186	2	EN20C32J	Internship	実習	60	2		2～4	×	×	×	×	×	×	×	×
			12189	1	EN21C03J	プロジェクト実習Ⅰ	実習	60	2		2～4	○	○	×	×	×	×	×	×
	12190		1	EN22C03J	プロジェクト実習Ⅱ	実習	60	2	2～4		○	○	×	×	×	×	×	×	
資格サポート科目	12086	3	EN10C06E	英語検定試験対策講座A	演習	30	2	1～4	○	○	○	○	○	×	○				
	12087	3	EN10C07E	英語検定試験対策講座B	演習	30	2	1～4	○	○	○	○	○	×	○				
	12088	3	EN10C08E	英語検定試験対策講座C	演習	30	2	1～4	○	○	○	○	○	×	○				
	12091	2	EN20C33E	旅行業務資格講座	演習	30	2	2～4	○	×	○	○	○	○	○	○			
	12092	1	EN21C04E	秘書検定講座Ⅰ	演習	30	2	2～4	○	○	○	○	○	○	○	○			
	12093	1	EN22C04E	秘書検定講座Ⅱ	演習	30	2	2～4	○	○	○	演習	○	○	○	○			
	12097	2	EN20C34E	英語教員採用試験対策講座	演習	30	2	2～4	×	×	×	×	×	×	×	×			

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。△が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<児童教育学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング (児童教育コース)	科目 ナンバリング (幼児保育コース)	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	児童教育コース6単位 必修 幼児保育コースはⅠ・ Ⅲの4単位必修
	10051	1	LA12A01K	LA12C01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	10117	2	LA10C19K	LA10C14K	歴史学	講義	30	2	1～4	16単位以上選択
	10140	1	LA10C42K	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C43J	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C35K	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C23K	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C13K	LA10C08K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C33K	LA10C28K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C26K	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C36K	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C15K	LA10C10K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C57K	LA10C52K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C18K	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C17K	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C45K	LA10C40K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C48K	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C58K	LA10C53K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C59K	LA10C54K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C60K	LA10C55K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C47K	LA10C42K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C46K	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C37K	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C30K	LA10C25K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C38K	LA10C33K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C32K	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C41K	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C29K	LA10C24K	グローバル化を考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C49K	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C51K	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C52K	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C54K	LA10C49K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10058	1	LA11B01E	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	1単位必修
	10054	1	LA11B02E	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
	10059	1	LA12B01E	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10055	1	LA12B02E	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	1単位必修
	10060	1	LA23B01E	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
	10056	1	LA23B02E	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	児童教育コース1単位 必修
	10061	1	LA24B01E	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
	10057	1	LA24B02E	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	児童教育コース1単位 必修
	10062	1	LA35C01E	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B03E	LA11B02E	ドイツ語ⅠA	演習	30	①	1	
	10066	1	LA12B03E	LA12B02E	ドイツ語ⅡA	演習	30	①	1	
	10067	1	LA11B04E	LA11B03E	ドイツ語ⅠB	演習	30	①	1	
	10068	1	LA12B04E	LA12B03E	ドイツ語ⅡB	演習	30	①	1	
	10069	1	LA23B03E	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	①	2	
	10070	1	LA24B03E	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	
	10071	1	LA23C01E	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24C01E	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11B05E	LA11B04E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
	10074	1	LA12B05E	LA12B04E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
	10075	1	LA11B06E	LA11B05E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
	10076	1	LA12B06E	LA12B05E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
	10077	1	LA23B05E	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング (児童教育コース)	科目 ナンバリング (幼児保育コース)	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10078	1	LA24B05E	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	児童教育コース同一 言語6単位必修 幼児保育コース同 言語2単位必修 ※幼児保育コースは 英語選択必修2単 位・英語以外選択必 修2単位に加え、英 語または英語以外よ り2単位選択し、計 6単位が必修。なお、 英語以外は同一言語 で2単位または4単 位を選択すること。
		10079	1	LA23C02E	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C02E	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B07E	LA11B06E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B07E	LA12B06E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B08E	LA11B07E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B08E	LA12B07E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B07E	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B07E	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C03E	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C03E	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B09E	LA11B08E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B09E	LA12B08E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B10E	LA11B09E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B10E	LA12B09E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B09E	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B09E	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C04E	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C04E	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C61E	LA10C56E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10C62E	LA10C57E	その他の外国語B	演習	30	1	1		
	10101	2	LA10C63E	LA10C58E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中等教育 を受けた学生にのみ適 用	
	10102	2	LA10C64E	LA10C59E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4		
	10103	2	LA10C65E	LA10C60E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4		
	10104	2	LA10C66E	LA10C61E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4		
	10105	2	LA10C67E	LA10C62E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4		
	10106	2	LA10C68E	LA10C63E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4		
	10107	2	LA10C69E	LA10C64E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4		
10108	2	LA10C70E	LA10C65E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4			
	留学	10031	1	LA10C08J	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
10032		1	LA20C01J	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2		
10033		1	LA10C09J	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1		
10034		1	LA20C02J	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2		
10048		1	LA10C10J	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1～4		
10035		2	LA10C11J	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1～4		
10049		1	LA10C12K	LA10C07K	留学生のための日本語基礎	講義	30	2	1～4		
	データサイエンス	10044	1	LA11B13E	LA11B12E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	②	1	2単位必修
10045		1	LA12B13E	LA12B12E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	②	1		
10046		2	LA20B01E	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	②	2		
10137		2	LA11B14K	LA11B13K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4		
10166		1	LA12B16E	LA12B15E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4		
10152		1	LA10B01K	LA10B03K	はじめての統計学	講義	30	②	1～4		
10167		1	LA20B02E	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	②	2～4		
	健康スポーツ	10155	1	LA11A02J	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2単位必修
10160		1	LA12B14J	LA12B13J	体育実技ⅡA	実技	30	①	1～4		
10161		1	LA12B15J	LA12B14J	体育実技ⅡB	実技	30	①	1～4		
10030		1	LA10C07K	LA10C02K	運動と健康	講義	30	2	1～4		
	汎用的スキル	10157	2	LA10C56K	LA10C51K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
10168		1	LA10C71K	LA10C66K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4		
10169		1	LA10C72K	LA10C67K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4		
	問題解決	10170	1	LA10C73K	LA10C68K	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
10171		1	LA10C74K	LA10C69K	問題解決演習B	演習	30	2	1～4		
10172		1	LA10C75K	LA10C70K	問題解決演習C	演習	30	2	1～4		

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければII Aを履修することはできない。II Aの単位を修得していればIII AまたはIV Aを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければII Bを履修することはできない。II AまたはII Bの単位を修得していればIII BまたはIV Bを履修することができる。
- 3) III BおよびIV Bについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程》

A. 現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育コースの学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてI AとI Bを、および1年次後期においてII AとII Bを履修すること(以上1年次4単位)。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてIII Aを、および後期においてIV Aを履修すること(以上2年次2単位、合計6単位)。

B. 児童教育学科幼児保育コースの学生は、外国語科目6単位を次の1) または2) の方法で履修すること。

- 1) 英語2単位+英語以外の同一外国語4単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてI AとI Bを、および1年次後期においてII AとII Bを履修する。(以上1年次4単位)。

- 2) 英語4単位+英語以外の同一外国語2単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期において(I AとI B)を、または1年次の通年にわたって(I AとII A)もしくは(I BとII B)を履修する。(以上1年次2単位)。

<この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。>

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Iの単位を修得していなければ、体育実技II Aまたは体育実技II Bを履修することはできない。

<この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。>

(2) 学科科目〔児童教育学科〕

児童教育コース：基幹科目22単位、専門基礎科目14単位、専門科目38単位、学科科目合計74単位以上

幼児保育コース：基幹科目22単位、専門基礎科目14単位、専門科目44単位、学科科目合計80単位以上

2024年度～

学科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否								
											E	C	W	F	N	M	L		
基幹科目		13000	2	PD10A01K	キリスト教教育論	講義	30	②	1～2	22単位必修	○	○	○	○	×	○	○		
		13009	3	PD10A02E	教育基礎演習A	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13566	1	PD20A01E	教育基礎演習B	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13544	2	PD30A01E	児童教育演習A	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13545	2	PD30A02E	児童教育演習B	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13546	2	PD40A01E	児童教育演習C	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13547	2	PD40A02E	児童教育演習D	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13536	2	PD10A03E	音楽A	演習	30	①	1		○	○	○	○	×	○	○	○	
		13548	2	PD10A04E	音楽B	演習	30	①	1		○	○	○	○	×	○	○	○	
		13538	2	PD10A05E	美術A	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13539	2	PD10A06E	美術B	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13540	2	PD31A01E	労作体験Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13541	2	PD32A01E	労作体験Ⅱ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13542	2	PD10B01J	児童体育A	実技	30	①	1		※Pe	○	○	○	○	×	○	○	
		13198	2	PD20B01J	幼児体育A	実技	30	①	2		※Pc	×	×	×	×	×	×	×	
		13543	2	PD20B02J	児童体育B	実技	30	①	2		※Pe	○	○	○	○	×	○	○	
	13199	2	PD20B03J	幼児体育B	実技	30	①	2	※Pc	×	×	×	×	×	×	×			
	13046	1	PD40C01S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×			
専門基礎科目		13002	2	PD10A07K	教育原理	講義	30	②	1	14単位必修	○	○	○	○	×	○	○		
		13047	1	PD10A08K	教職論	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13015	1	PD20A02K	教育行政学	講義	30	②	2～3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13004	2	PD10B02K	教育心理学	講義	30	②	1		※Pe	×	×	×	×	×	×	×	
		13103	3	PD10B03K	保育の心理学	講義	30	②	1		※Pc	×	×	×	×	×	×	×	
		13562	1	PD10A09K	特別支援教育	講義	30	②	1～4		※Pe	△	×	×	×	×	×	×	
		13091	1	PD10B04K	教育課程論	講義	30	②	1		※Pc	△	×	×	×	×	×	×	
		13214	1	PD10B05K	幼児教育課程論	講義	30	②	1		※Pc	×	×	×	×	×	×	×	
		13051	5	PD10B06K	教育方法論（ICT活用含む）	講義	30	②	1		※Pe	△	×	×	×	×	×	×	
	13170	3	PD20B04K	教育方法論	講義	30	②	2	※Pc	×	×	×	×	×	×	×			
専門科目	児童教育コース科目	13049	3	PD20C01K	道徳教育の理論と方法	講義	30	2	2	児童教育コース 38単位以上選択	△	×	×	×	×	×	×		
		13559	1	PD30C01K	総合的な学習の時間の教育法	講義	30	2	3		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13050	3	PD20C02K	特別活動の理論と方法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13552	2	PD30C02K	生徒・進路指導の理論と方法	講義	30	2	3		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13553	2	PD30C03K	教育相談の基礎	講義	30	2	3		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13027	3	PD40C01K	教育相談実践	講義	30	2	4		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13058	3	PD20C03K	小学校国語科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13060	2	PD20C04K	小学校社会科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13062	3	PD20C05K	小学校算数科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13064	3	PD20C06K	小学校理科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13066	3	PD20C07K	小学校生活科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13067	4	PD30C04K	小学校音楽科教育法	講義	30	2	3		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13068	3	PD20C08K	小学校図工科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13072	3	PD20C09K	小学校家庭科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13070	3	PD30C05K	小学校体育科教育法	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13561	1	PD20C10K	外国語（英語）教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13057	2	PD20C11K	小学校国語科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13560	2	PD20C12E	書写	演習	15	1	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13059	1	PD20C13K	小学校社会科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13061	2	PD20C14K	小学校算数科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13063	2	PD20C15K	小学校理科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×	
		13065	2	PD20C16K	小学校生活科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13549	2	PD20C17E	音楽C	演習	30	1	2		○	○	○	○	×	○	○	○	
		13537	2	PD20C18E	音楽D	演習	30	1	2		○	○	○	○	×	○	○	○	
		13071	2	PD20C19E	小学校家庭科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13069	1	PD20C20E	小学校体育科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×	
		13041	3	PD20C21E	小学校英語教育A	演習	30	2	2		Pe可	×	×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	C	W	F	N	M	L
専門科目	児童教育コース科目	13042	3	PD20C22E	小学校英語教育B	演習	30	2	2	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13052	2	PD20C23J	介護等体験（事前事後指導含む）	講・実	45	2	2～3		×	×	×	×	×	×
		13053	2	PD31C01J	初等教育実習Ⅰ（事前事後指導1単位を含む）	実習	75	3	3		△	×	×	×	×	×
		13054	2	PD32C01J	初等教育実習Ⅱ	実習	60	2	3		×	×	×	×	×	×
		13089	2	PD40C02E	教職実践演習（小学校）	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13017	2	PD10C01K	教育統計学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13028	1	PD11C01K	児童文化Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13029	1	PD12C01K	児童文化Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13030	1	PD11C02K	言語教育Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13031	1	PD12C02K	言語教育Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13033	2	PD10C02K	数学教育	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13035	2	PD10C03K	自然科学教育	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13554	1	PD11C03K	地域社会研究Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13555	1	PD12C03K	地域社会研究Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13567	1	PD20C24E	野外活動	演習	30	1	2～3		○	○	○	○	×	○
		13012	2	PD20C25K	教育史	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○
		13019	2	PD20C26K	学習心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○
		13045	2	PD30C06K	児童教育特講A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○
		13092	1	PD30C07K	児童教育特講B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○
	幼児保育コース科目	13114	2	PD10C04K	保育原理	講義	30	2	1	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13115	3	PD10C05K	保育者論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13179	2	PD10C06E	子どもの理解と援助	演習	15	1	1		×	×	×	×	×	×
		13133	3	PD20C27K	子ども家庭支援論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13213	1	PD20C28K	子ども家庭支援の心理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13208	2	PD20C29K	子どもの保健	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13140	2	PD30C08E	子どもの食と栄養	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13181	3	PD30C09E	子どもの健康と安全	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×
		13117	3	PD30C10K	子ども家庭福祉	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13182	2	PD10C07K	保育の計画と評価	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13221	1	PD20C30E	保育内容総論	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13151	2	PD20C31E	保育内容教育法・健康	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13152	2	PD10C08E	保育内容教育法・人間関係	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13153	2	PD20C32E	保育内容教育法・環境	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13154	2	PD10C09E	保育内容教育法・言葉	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13156	3	PD30C11E	保育内容教育法・造形表現	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13155	3	PD30C12E	保育内容教育法・音楽表現	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13223	1	PD30C13E	子どもと健康	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13224	1	PD30C14E	子どもと人間関係	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13225	1	PD30C15E	子どもと環境	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13226	1	PD20C33K	子どもと言葉	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13227	1	PD20C34K	子どもと造形表現	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13228	1	PD30C16K	子どもと音楽表現	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13204	3	PD20C35E	保育の音楽A	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×
		13205	3	PD20C36E	保育の音楽B	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×
		13118	1	PD20C37K	社会福祉	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13116	3	PD21C01K	社会的養護Ⅰ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13132	3	PD22C01E	社会的養護Ⅱ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13216	1	PD20C38E	幼児理解	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13217	1	PD20C39E	教育相談	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13218	1	PD21C02K	乳児保育Ⅰ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13219	1	PD22C02E	乳児保育Ⅱ	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13121	1	PD20C40K	子ども文化論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13120	1	PD20C41K	キリスト教保育	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×
		13125	1	PD20C42K	発達障害学	講義	30	2	2～4	Pe可	○	○	○	○	○	○
		13129	1	PD20C43K	言語発達心理学	講義	30	2	2～4		○	×	×	×	×	×
		13142	2	PD20C44E	身体表現	演習	30	2	2～4	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13131	1	PD30C17E	障害児保育	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13105	2	PD20C45K	子育て支援論	講義	30	2	2	Pe可	×	×	○	×	×	×
		13215	1	PD20C46E	子育て支援演習	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13135	1	PD30C18K	地域発達臨床論	講義	30	2	3～4	Pe可	○	○	○	○	○	○
		13134	3	PD30C19E	地域子育て支援実践演習	演習	30	2	3～4		×	×	○	×	×	×
		13189	2	PD30C20E	地域発達支援実践演習	演習	30	2	3～4	Pe可	×	×	○	×	×	×
		13184	2	PD31C02E	保育実習指導Ⅰ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×

学科科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	C	W	F	N	M	L
専門科目	幼児保育コース科目	13160	2	PD32C02J	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	90	2	3	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13161	3	PD32C03J	保育実習Ⅰ（施設）	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×
		13167	2	PD41C01E	保育実習指導Ⅱ	演習	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		13162	3	PD42C01J	保育実習Ⅱ（保育所）	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×
		13163	3	PD42C02J	保育実習Ⅲ（施設）	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×
		13185	1	PD21C03J	初等教育実習Ⅲ（事前事後指導1単位を含む）	実習	45	2	2		×	×	×	×	×	×
		13186	2	PD22C03J	初等教育実習Ⅳ	実習	90	3	2		×	×	×	×	×	×
		13177	1	PD40C03E	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13210	1	PD20C47E	幼児保育特殊演習A	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×
		13211	1	PD20C48E	幼児保育特殊演習B	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×
		13212	1	PD20C49E	幼児保育特殊演習C	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○
		13511	2	PD30C21K	特別支援教育総論	講義	30	2	3	Pe可	×	×	×	×	×	×
資格科目Ⅰ		13512	2	PD20C50K	特別支援教育原論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13513	2	PD30C22K	発達障害と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13514	2	PD30C23K	知的障害と教育Ⅰ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13515	2	PD30C24K	知的障害と教育Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13557	2	PD30C25K	知的障害の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13518	2	PD30C26K	肢体不自由と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13519	2	PD30C27K	肢体不自由の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13520	2	PD30C28K	病弱と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13521	2	PD30C29K	病弱の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13522	2	PD30C30K	重度重複障害と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13558	3	PD30C31K	視覚・聴覚障害と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13524	1	PD30C32K	言語の発達と障害	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13526	2	PD40C04K	発達障害心理検査法	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13527	2	PD40C05K	障害と児童福祉	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13528	2	PD40C06K	世界の特別支援教育	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13529	2	PD40C07E	特別支援教育実践演習	演習	60	4	4		×	×	×	×	×	×
		13530	1	PD40C08J	特別支援教育実習（事前事後指導1単位を含む）	実習	75	3	4		×	×	×	×	×	×
資格科目Ⅱ		13531	1	PD30C33K	学校経営と学校図書館	講義	30	2	3～4	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13532	1	PD30C34K	学校図書館メディアの構成	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×
		13533	1	PD30C35K	学習指導と学校図書館	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×
		13534	1	PD30C36K	読書と豊かな人間性	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×
		13535	1	PD30C37K	情報メディアの活用	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×

基幹科目および専門基礎科目の選択必修については、備考欄に「※Pe」とあるものは児童教育コース必修、「※Pc」とあるものは幼児保育コース必修である。

専門科目の備考欄に「Pe可」または「Pc可」とあるものは、それぞれ児童教育コース所属学生および幼児保育コース所属学生が履修できる科目を示している。

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。△が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<文化交流学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神		10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
		10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
		10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	文化交流系教養	10117	2	LA10C14K	歴史学	講義	30	2	1～4	16単位以上選択
		10140	1	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
		10141	1	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
		10133	1	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
		10121	1	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	教育系教養	10114	2	LA10C11K	教育学	講義	30	2	1～4	
		10111	2	LA10C08K	倫理学	講義	30	2	1～4	
		10131	2	LA10C28K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
		10036	1	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
		10134	1	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	心理福祉系教養	10113	2	LA10C10K	心理学	講義	30	2	1～4	
		10162	1	LA10C52K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
		10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
		10115	1	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	食物健康系教養	10144	2	LA10C40K	生命科学	講義	30	2	1～4	
		10147	1	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1～4	
		10163	1	LA10C53K	食と文化	講義	30	2	1～4	
		10164	1	LA10C54K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	看護系教養	10165	1	LA10C55K	看護学	講義	30	2	1～4	
		10146	2	LA10C42K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
		10145	1	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
		10135	1	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	経営系教養	10128	2	LA10C25K	経済学	講義	30	2	1～4	
		10136	2	LA10C33K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
		10130	1	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
		10139	1	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
		10127	2	LA10C24K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	自然環境系教養	10148	1	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
		10150	1	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
		10151	1	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
		10153	2	LA10C49K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	英語	10058	1	LA11A02E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	8単位必修
		10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
		10060	1	LA23A01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
		10061	1	LA24A01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
		10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
		10063	1	LA36C02E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
		10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
		10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
		10056	1	LA23A02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	
		10057	1	LA24A02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	
	英語以外	10065	1	LA11B01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	①	1	
		10066	1	LA12B01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	①	1	
		10067	1	LA11B02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	①	1	
		10068	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	①	1	
		10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	①	2	
		10070	1	LA24B01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	
		10071	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B03E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
		10074	1	LA12B03E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
		10075	1	LA11B04E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
		10076	1	LA12B04E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
		10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	

学 科 目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10078	1	LA24B03E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	同一言語 6 単 位必修
		10079	1	LA23C02E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C02E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B05E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B05E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B06E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B06E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C03E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C03E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B07E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B08E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B07E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C04E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C04E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C56E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C57E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用	10101	2	LA10C58E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	
		10102	2	LA10C59E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C60E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C61E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C62E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C63E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C64E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C65E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C07K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス	2 単位必修	10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	②	1	
		10045	1	LA12B12E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	②	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	②	2	
		10137	2	LA11B12K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4	
		10166	1	LA12B15E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4	
		10152	1	LA10B01K	はじめての統計学	講義	30	②	1～4	
		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	②	2～4	
健康スポーツ	2 単位必修	10155	1	LA11A04J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	
		10160	1	LA12B13J	体育実技ⅡA	実技	30	①	1～4	
		10161	1	LA12B14J	体育実技ⅡB	実技	30	①	1～4	
		10030	1	LA10C02K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
汎用的スキル科目		10157	2	LA10C51K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
		10168	1	LA10C66K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
		10169	1	LA10C67K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	
問題解決科目		10170	1	LA10C68E	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
		10171	1	LA10C69E	問題解決演習B	演習	30	2	1～4	
		10172	1	LA10C70E	問題解決演習C	演習	30	2	1～4	

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければII Aを履修することはできない。II Aの単位を修得していればIII AまたはIV Aを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければII Bを履修することはできない。II AまたはII Bの単位を修得していればIII BまたはIV Bを履修することができる。
- 3) III BおよびIV Bについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程》

A. 現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育コースの学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてIAとIBを、および1年次後期においてIIAとIIBを履修すること(以上1年次4単位)。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてIIIAを、および後期においてIIIVを履修すること(以上2年次2単位、合計6単位)。

<この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。>

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Iの単位を修得していなければ、体育実技IIAまたは体育実技IIBを履修することはできない。

<この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。>

(2) 学科科目〔文化交流学科〕

基幹科目30単位、「文化交流を实践する」科目4単位を含み、学科科目合計70単位以上

2021年度～

学科目	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	W	F	N	M	L
基幹科目	14245	2	CC11A03E	基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1	合計30単位 選択必修	×	×	×	×	×	×	×
	14178	1	CC12A04E	基礎演習Ⅱ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	14179	1	CC23A03E	基礎演習Ⅲ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	14180	1	CC24A04E	基礎演習Ⅳ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	14182	1	CC31A01E	文化論演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	14183	1	CC32A01E	文化論演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	14184	1	CC41A01E	文化論演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	14185	1	CC42A01E	文化論演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	14186	2	CC10B01K	文化人類学A	講義	30	②	1～2		○	○	×	○	○	○	○
	14187	2	CC10B02K	文化人類学B	講義	30	②	1～2		○	○	×	○	○	○	○
	14188	3	CC20B01K	社会学A	講義	30	②	2～3		○	○	×	×	×	×	×
	14189	3	CC20B02K	社会学B	講義	30	②	2～3		○	○	×	×	×	×	×
	14155	5	CC20B03K	歴史学A	講義	30	②	2～3		○	○	○	○	×	○	○
	14190	4	CC20B04K	歴史学B	講義	30	②	2～3		○	○	○	○	×	○	○
	14191	2	CC21B01K	人文地理学Ⅰ	講義	30	②	2～3		○	○	×	○	×	×	○
	14192	2	CC22B01K	人文地理学Ⅱ	講義	30	②	2～3		○	○	×	○	×	×	○
文化交流を实践する	14115	1	CC40C01S	卒業研究			6	4	合計14単位 選択必修	×	×	×	×	×	×	×
	14117	4	CC10C03J	文化交流体験A	実習	60	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	14253	1	CC10C19J	文化交流体験B	実習	60	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	14237	1	CC30C02J	海外フィールドワーク	実習	60	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	14129	2	CC30C03K	異文化間コミュニケーション	講義	30	2	3～4		×	○	○	○	○	○	○
	14120	1	CC30C04K	国際協力	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14254	1	CC31C01K	多文化協働論Ⅰ	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	14255	1	CC32C01K	多文化協働論Ⅱ	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	14256	1	CC10C20E	多文化協働演習	演習	30	2	1～4		○	○	×	○	×	○	×
	14257	1	CC31C02K	外国人教育支援演習Ⅰ	演習	30	2	3～4		○	○	×	○	×	○	×
	14258	1	CC32C02K	外国人教育支援演習Ⅱ	演習	30	2	3～4		○	○	×	○	×	○	×
	14259	1	CC33C01K	外国人教育支援演習Ⅲ	演習	30	2	3～4		○	○	×	○	×	○	×
	14260	1	CC34C01K	外国人教育支援演習Ⅳ	演習	30	2	3～4		○	○	×	○	×	○	×
	14233	3	CC10C05E	情報デザイン演習	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	14118	1	CC30C08K	観光学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14172	2	CC30C09K	観光地理学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14173	3	CC30C10K	旅行業A（約款・法令）	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14193	2	CC30C11K	旅行業B（ホテル経営）	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14121	1	CC30C12E	観光英語	演習	30	2	3～4		×	○	○	○	×	○	○
	14194	1	CC30C13E	観光実務	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14231	1	CC10C01K	海外事情	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○	○
	14238	2	CC10C07K	ボランティア論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○	○
	14195	1	CC10C08K	ひたち学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○	○
	14196	1	CC10C09E	地域貢献研究	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○	○
	14239	1	CC30C14K	地方行政学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14261	1	CC11C01E	地域貢献演習Ⅰ	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	14262	1	CC12C01E	地域貢献演習Ⅱ	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	14133	3	CC20C02K	日本語学A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	14134	3	CC20C03K	日本語学B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	14131	3	CC20C04E	日本語教育演習A	演習	30	2	2～4		○	○	×	×	×	×	×
	14132	3	CC20C05E	日本語教育演習B	演習	30	2	2～4		○	○	×	×	×	×	×
	14202	3	CC30C17K	言語学A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	14203	3	CC30C18K	言語学B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
文化を学ぶ	14204	2	CC20C09K	民俗学	講義	30	2	2～4	4単位以上 (いずれか1区分から)	○	○	○	○	×	○	○
	14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	14246	1	CC21C03K	自然地理学Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	×	○	×	×	○
	14247	1	CC22C03K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	×	○	×	×	○
	14248	1	CC20C10K	地誌	講義	30	2	2～4		○	○	×	○	×	×	○
	14147	2	CC20C11K	西洋史	講義	30	2	2～4		○	○	×	○	×	×	○

学科科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
											E	P	W	F	N	M	L
文化を学ぶ	文化研究の基礎	14142	2	CC20C12K	東洋史	講義	30	2	2～4		○	○	×	○	×	×	○
		14206	2	CC20C13K	日本史A	講義	30	2	2～4		○	○	×	○	×	×	○
		14207	2	CC20C14K	日本史B	講義	30	2	2～4		○	○	×	○	×	×	○
		14153	4	CC30C06K	国際関係論	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14249	1	CC20C45K	法学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		14250	1	CC20C46K	生活と政治	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		14251	1	CC20C47K	生活と国際経済	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		14252	1	CC20C48K	女性学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	世界の歴史と文化	14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14214	2	CC30C22K	東南アジアの歴史と文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14265	1	CC30C23K	東南アジアの歴史と文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14216	2	CC30C24K	インドの歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14219	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14146	3	CC30C28K	北アメリカの歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
	現代文化のフロンティア	14139	3	CC30C29K	性的マイノリティの文学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		14160	3	CC30C30K	アジアの大衆文学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14152	3	CC30C31K	ものがたりの世界	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		14166	3	CC30C32K	現代の映像文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14167	3	CC30C33K	現代の映像文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14266	1	CC30C34K	仏像と語る	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
		14232	2	CC30C35K	伝統文化と現代アート	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○	○
		14164	3	CC30C36K	アジアの宗教	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○
特別研究	14267	1	CC30C37K	グローバルカルチャー論	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○	
	14268	1	CC30C38K	文化多様性と現代世界	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○	○	
	14224	2	CC10C10K	特殊講義A	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○	
	14225	2	CC10C11K	特殊講義B	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○	
	14241	2	CC10C12E	特別演習A	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×	
	14242	2	CC10C13E	特別演習B	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×	
	14243	2	CC10C14E	語学演習A	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×	
	14244	2	CC10C15E	語学演習B	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×	
キャリア教育	14175	3	CC20C49K	日本語教員試験対策講座（実践）	講義	30	2	2～4		○	○	×	×	×	×	×	
	14176	3	CC20C44K	日本語教員試験対策講座（入門）	講義	30	2	2～4		○	○	×	×	×	×	×	
	14165	2	CC20C07E	日本語教員育成演習A	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○	
	14240	2	CC20C06E	日本語教員育成演習B	演習	30	2	2～4		○	○	×	×	×	×	×	
	14269	1	CC20C50K	旅行業務資格講座	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	14171	1	CC20C51J	インターンシップ	実習	60	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

履修要項Ⅱ 生活科学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1. 卒業に必要な最低修得単位	67
2. 授業科目、単位数および履修規程	
心理福祉学科	
(1) 全学教養科目	70
(2) 学科科目	74
食物健康科学科	
(1) 全学教養科目	78
(2) 学科科目	82
3. 茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程	84
4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程	85

1. 卒業に必要な最低修得単位

生活科学部

<2025(令和7)年度入学生>

[心理福祉学科]

2024年度～

			最低修得単位			
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	科目区分		4 単位	合計 27単位	
		建学の精神	現代教養	文化交流系教養		16単位
				教育系教養		
				心理福祉系教養 ※ 1		
				食物健康系教養		
				看護系教養		
				経営系教養		
				自然環境系教養		
		言語コミュニケーション	英語	4 単位		
			英語以外			
			留学			
		データサイエンス		2 単位		
		健康スポーツ		1 単位		
	汎用的スキル					
	問題解決					
	学科科目	基幹科目	20単位	合計 92単位		
		専門基礎科目	10単位			
		心理カウンセリング系科目	4 単位			
		福祉系科目	4 単位			
		心理福祉教育系科目	4 単位			
		自由選択 ※ 2		5 単位		
	合計			124単位以上		

※ 1 心理福祉系教養のうち「心理学」「社会福祉学」は卒業に必要な単位に含まれない。

※ 2 自由選択は、全学教養科目、学科科目、他学科科目、学環科目の中から履修。

卒業に必要な単位および規程	科目区分		最低修得単位		
	全学教養科目	建学の精神	4 単位	合計 23単位	
		現代教養	文化交流系教養		10単位
			教育系教養		
			心理福祉系教養		
			食物健康系教養 ※		
			看護系教養		
			経営系教養		
			自然環境系教養		
		言語コミュニケーション	英語		4 単位
			英語以外		
			留学		
		データサイエンス	4 単位		
	健康スポーツ	1 単位			
	汎用的スキル				
	問題解決				
	学科科目	基幹科目	18単位	合計 105単位	
		専門基礎分野	32単位		
専門分野		45単位			
合計		128単位以上			

※ 食物健康系教養のうち「食と文化」「栄養と食生活」は卒業に必要な単位に含まれない。

留意事項

1. 自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位は心理福祉学科が124単位、食物健康科学科は128単位となっている。心理福祉学科は、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、5単位の不足が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目・未来教養学環の学環科目（これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である）の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目・未来教養学環の学環科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2. 科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	履修可能回数		履修可能回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語Ⅲ B	3
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語Ⅳ B	3
体育実技Ⅱ A	7	コリアンⅢ B	3
体育実技Ⅱ B		コリアンⅣ B	3
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語 G	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語 H	2
ドイツ語Ⅲ B	3	その他の外国語 A	3
ドイツ語Ⅳ B	3	その他の外国語 B	3
フランス語Ⅲ B	3		
フランス語Ⅳ B	3		

<この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔生活科学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

＜心理福祉学科＞

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4 単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	10117	2	LA10C17K	歴史学	講義	30	2	1～4	16単位以上選択
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C14K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C11K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C31K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C43K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C55K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C56K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C57K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C45K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C28K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C36K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C27K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	1 単位必修
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C52K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	
	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	
英語	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	1 単位必修
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
		10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
		10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
	英語以外	10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
		10101	2	LA10C63E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C64E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C65E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C66E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C67E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C68E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C69E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C70E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11B03E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
		10045	1	LA12B03E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10137	2	LA11B05K	データサイエンスⅠ	講義	30	2	1～4	
		10166	1	LA12B04E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10B05K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
健康スポーツ		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	
		10155	1	LA11B04J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	
		10160	1	LA12C11J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
		10161	1	LA12C12J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
		10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	1単位必修

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
汎用的スキル	10157	2	LA10C54K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
	10168	1	LA10C58K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
	10169	1	LA10C59K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	
問題解決	10170	1	LA10C60E	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
	10171	1	LA10C61E	問題解決演習B	演習	30	2	1～4	
	10172	1	LA10C62E	問題解決演習C	演習	30	2	1～4	

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。
- 3) ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔心理福祉学科〕

基幹科目20単位、専門基礎科目10単位以上、心理カウンセリング系科目 4 単位以上、福祉系科目 4 単位以上、心理福祉教育系科目 4 単位以上、学科科目合計92単位以上

2023年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否							
										E	P	C	F	N	M	L	
基幹科目	21000	2	WP11A03E	基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1	20単位必修	×	×	×	×	×	×	×	
	21177	1	WP12A03E	基礎演習Ⅱ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21101	2	WP11A02K	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21102	2	WP12A02K	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21103	1	WP31A02E	心理福祉演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	21104	1	WP32A01E	心理福祉演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	21105	1	WP43A01E	心理福祉演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	
	21106	1	WP44A01E	心理福祉演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	
専門基礎科目	21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	講義	30	2	1～2	10単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○	
	21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○	
	20008	1	WP10C14K	キリスト教福祉	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	×	×	
	21092	1	WP20C28K	愛と死の人間学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21109	1	WP20C29K	人体の構造と機能及び疾病	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21110	1	WP20C30K	神経・生理心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21097	2	WP20C31E	発展演習A	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	
	21098	2	WP20C32E	発展演習B	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	
	21062	3	WP20C33K	心理福祉特講A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21063	3	WP20C34K	心理福祉特講B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21111	1	WP20C35K	心理福祉特講C	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21112	1	WP20C36K	心理福祉特講D	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21113	2	WP10C38K	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21114	2	WP10C39K	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	×	
	21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	×	
	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21119	2	WP21C15E	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21120	2	WP22C17E	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21067	3	WP21C16J	ソーシャルワーク実習Ⅰ	実習	60	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21121	1	WP11C05K	心理福祉海外研修Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21122	1	WP22C08J	心理福祉海外研修Ⅱ	実習	60	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21069	1	WP40C02S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×	×
心理カウンセリング系科目	21123	2	WP20C51K	福祉心理学	講義	30	2	2	4 単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×	
	21124	2	WP20C52K	健康・医療心理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	
	21125	1	WP10C31K	発達心理学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21043	3	WP20C53K	心理学的支援法	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21048	1	WP20C18K	深層心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	×	
	21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21050	1	WP20C20K	老年心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21096	1	WP20C22J	心理検査法実習	実習	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21085	1	WP21C04K	心理学研究法Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21126	2	WP21C18J	心理学実験Ⅰ	実験	60	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21127	2	WP22C20J	心理学実験Ⅱ	実験	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21087	2	WP20C24E	心理演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21128	1	WP30C09K	司法・犯罪心理学	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	F	N	M	L
心理カウンセリング系科目	21053	1	WP30C04K	癒しのセラピー	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	21167	1	WP10C33K	公認心理師の職責	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21130	2	WP10C39K	心理学統計法	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21133	1	WP20C43K	関係行政論	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
福祉系科目	21134	1	WP30C10J	心理実習	実習	90	3	3～4	4 単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21139	2	WP11C06K	児童・家庭福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21140	2	WP12C04K	児童・家庭福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21141	2	WP11C07K	障害者福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21142	2	WP12C05K	障害者福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21143	2	WP11C08K	高齢者福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21144	2	WP12C06K	高齢者福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21037	1	WP20C13K	介護概論	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21078	1	WP20C14E	介護技術	演習	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	21145	2	WP21C08K	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21146	2	WP22C10K	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21076	2	WP20C07K	社会福祉調査の基礎	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21152	2	WP20C47K	権利擁護を支える法制度	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21153	2	WP21C10K	保健医療と福祉Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21154	2	WP22C12K	保健医療と福祉Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21033	1	WP20C10K	ジェンダー福祉論	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21155	1	WP21C11K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21156	1	WP22C13K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	21023	3	WP10C40E	ソーシャルワーク演習	演習	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21024	3	WP21C17E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21077	3	WP34C02E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21161	1	WP41C01K	社会福祉士試験対策講座Ⅰ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21162	1	WP42C03K	社会福祉士試験対策講座Ⅱ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ	実習	180	6	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21178	1	WP20C54K	医学概論	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
心理福祉教育系科目	20014	1	WP10C17K	法学	講義	30	2	1～2	4 単位以上選択	○	○	×	○	○	×	○
	20013	1	WP10C16K	社会学	講義	30	2	1～2		×	×	×	○	○	×	○
	21061	1	WP20C26K	社会病理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	20017	1	WP10C18K	高齢者生活論	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20006	1	WP10C21K	人権と教育	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20015	1	WP10C23K	生活と政治	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20012	1	WP10C22K	生活と国際経済	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20018	1	WP10C24K	女性学	講義	30	2	1～2		○	○	×	×	×	×	×
	20004	1	WP10C20K	人間と哲学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20003	2	WP10C19K	生命と倫理	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21165	1	WP11C09K	福祉教育論Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21166	1	WP12C07K	福祉教育論Ⅱ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21168	2	WP20C55K	日本史A	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21169	2	WP20C56K	日本史B	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21170	2	WP20C57K	東洋史	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21171	2	WP20C58K	西洋史	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21172	1	WP21C13K	人文地理学Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	F	N	M	L
教育系 心理福祉 科目	21173	1	WP22C15K	人文地理学Ⅱ	講義	30	2	2～4	}	×	×	×	×	×	×	×
	21174	1	WP21C14K	自然地理学Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21175	1	WP22C16K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21176	1	WP20C50K	地誌	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<食物健康科学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神		10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
		10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
		10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	文化交流系教養	10117	2	LA10C17K	歴史学	講義	30	2	1～4	10単位以上選択
		10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
		10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
		10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
		10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	教育系教養	10114	2	LA10C14K	教育学	講義	30	2	1～4	
		10111	2	LA10C11K	倫理学	講義	30	2	1～4	
		10131	2	LA10C31K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
		10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
		10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	心理福祉系教養	10113	2	LA10C13K	心理学	講義	30	2	1～4	
		10162	1	LA10C55K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
		10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
		10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	食物健康系教養	10144	2	LA10C43K	生命科学	講義	30	2	1～4	
		10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	看護系教養	10165	1	LA10C56K	看護学	講義	30	2	1～4	
		10146	2	LA10C45K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
		10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
		10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	経営系教養	10128	2	LA10C28K	経済学	講義	30	2	1～4	
		10136	2	LA10C36K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
		10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
		10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
		10127	2	LA10C27K	グローバルゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	自然環境系教養	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
		10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
		10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
		10153	2	LA10C52K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	英語	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	1単位必修
		10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
		10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
		10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	1単位必修
		10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
		10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	1単位必修
		10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
		10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	
		10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
		10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	英語以外	10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
		10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
		10101	2	LA10C62E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C63E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C64E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C65E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C66E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C67E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C68E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C69E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11A02E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	4単位必修
		10045	1	LA12A02E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA10C57E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10137	2	LA11B05K	データサイエンスⅠ	講義	30	2	1～4	
		10166	1	LA12B06E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10B05K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
健康スポーツ		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	
		10155	1	LA11B04J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	
		10160	1	LA12C11J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
		10161	1	LA12C12J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
汎用的スキル		10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	1単位必修
		10157	2	LA10C54K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
		10168	1	LA10C57K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
問題解決		10169	1	LA10C58K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	
		10170	1	LA10C59E	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
		10171	1	LA10C60E	問題解決演習B	演習	30	2	1～4	
		10172	1	LA10C61E	問題解決演習C	演習	30	2	1～4	

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。
- 3) ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔食物健康科学科〕

基幹科目18単位、専門基礎分野32単位以上、専門分野45単位以上、学科科目合計105単位以上

2025年度～

学科目	科目コード	科目明細	ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	N	M	L
基幹科目	22203	1	FS10A01E	基礎演習	演習	30	②	1	18単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22218	1	FS20A07K	基礎栄養学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22195	1	FS31A01E	総合演習Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22196	1	FS32A01E	総合演習Ⅱ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22169	2	FS40A01E	卒業演習	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22170	1	FS40A05S	卒業研究			②	4		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎分野	22179	1	FS20A08J	栄養統計処理	実習	30	②	2	32単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22100	1	FS10C11K	有機化学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	22106	2	FS22A08K	公衆衛生学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22197	1	FS40C01J	公衆衛生学実験	実験	45	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22204	1	FS20A09K	病理学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22109	3	FS12A03K	解剖生理学Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22110	3	FS10A03J	解剖生理学実験Ⅰ	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22205	1	FS32A02J	解剖生理学実験Ⅱ	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22180	1	FS10A04K	運動生理学	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22181	3	FS30A01J	運動栄養生理学実験	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22111	3	FS12A04K	生化学Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22198	1	FS30A02J	生化学実験	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22182	2	FS21A07K	医学一般Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22183	1	FS42C02K	医学一般Ⅱ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	22219	1	FS22A09K	食品学Ⅱ（食品加工学を含む）	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22184	1	FS10A05J	食品学実験	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22117	3	FS40C02J	食品化学実験	実験	45	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22118	1	FS10C01K	食品化学	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	22120	2	FS30A04J	食品加工学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22121	1	FS10C02K	食文化論	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	22123	2	FS10A06K	食品衛生学	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22124	2	FS30A02J	食品衛生学実験	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22199	1	FS11A05J	調理学実習Ⅰ	実習	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ	実習	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22126	3	FS10A07K	調理学	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22127	3	FS30A03J	調理学実験	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
専門分野	22185	2	FS10A08K	管理栄養士入門	講義	30	②	1	45単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22220	1	FS40C03K	食品機能学	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22130	1	FS40A04K	疾病予防のための栄養学	講義	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22201	2	FS30A04J	栄養学実験	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22174	3	FS30A05J	応用栄養学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22206	1	FS40C04E	応用栄養学演習	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22207	1	FS30C01K	スポーツ栄養学	講義	30	1	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	22208	1	FS40C05J	スポーツ栄養学実習	実習	45	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22133	3	FS21A03K	栄養教育論Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22135	3	FS23A01K	栄養教育論Ⅲ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22139	2	FS33A02K	臨床栄養学Ⅲ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22141	2	FS34A01K	臨床栄養学Ⅳ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	N	M	L
専門分野	22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習	実習	45	①	3	4単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22209	1	FS40C06E	応用臨床栄養学演習	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22144	3	FS22A10K	公衆栄養学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22176	2	FS11A07K	給食経営管理論Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22164	4	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22150	4	FS31A02J	臨地実習Ⅰ（給食の運営）*	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22210	1	FS32B01J	臨地実習Ⅱ（給食経営管理）*	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22151	4	FS33B01J	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）*	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22152	4	FS34B01J	臨地実習Ⅳ（臨床栄養）*	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22211	1	FS35B01J	臨地実習Ⅴ（臨床栄養）*	実習	135	③	3		×	×	×	×	×	×	×
	22171	3	FS31A03E	国家試験対策演習Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22202	1	FS42A01E	国家試験対策演習Ⅱ	演習	60	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22212	1	FS30C02K	食品開発論	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	22213	1	FS30C03K	マーケティング論（演習を含む）	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	22214	1	FS30C04K	災害栄養学（演習を含む）	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	22215	1	FS30C05K	在宅栄養管理学	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	22216	1	FS30C06K	嚥下と口腔ケア	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	22217	1	FS30C07K	子どもの食と栄養	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	20010	1	FS10C09K	生活経営論	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20011	1	FS10C10K	生活経済学	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	×	○
	22154	1	FS10C04K	保育学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22155	1	FS10C05K	児童臨床学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22156	1	FS10C06K	衣服環境論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22157	1	FS10C07K	居住環境論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22167	1	FS31C02K	学校栄養指導論Ⅰ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	22168	1	FS32C02K	学校栄養指導論Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×

*臨地実習は、以下のいずれかの組み合わせを選択して4単位必修とする。

- ・臨地実習Ⅰ（給食の運営）＋臨地実習Ⅱ（給食経営管理）＋臨地実習Ⅳ（臨床栄養）
- ・臨地実習Ⅰ（給食の運営）＋臨地実習Ⅲ（公衆栄養）＋臨地実習Ⅳ（臨床栄養）
- ・臨地実習Ⅰ（給食の運営）＋臨地実習Ⅴ（臨床栄養）

3. 茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、本学学則第4条第4項に基づき、生活科学部食物健康科学科の進級要件を定めるものである。

(進級要件の設定年次)

第2条 2年次から3年次への進級について要件を設ける。

(進級要件の内容)

第3条 3年次に進級するためには、2年以上在学し、学科科目（必修科目）について未修得の単位が11単位未満でなければならない。未修得単位が11単位以上の者は留年者とし、2年次とする。

<履修単位数>

年次	全学教養科目	学科科目	総単位
1年次	14	24	
2年次	9	37	
3年次		26	
4年次		8	
計	23	95+10	128

(その他)

第4条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は生活科学部教授会が定める。

(改定)

第5条 この規程の改定は、生活科学部教授会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

1. この規程は、2014年4月1日から施行する。
2. この規程は、2015年4月1日から施行する。
3. この規程は、2016年4月1日から施行する。
ただし、2014年度入学生から適用される。
4. この規程は、2017年4月1日から施行する。
5. この規程は、2020年4月1日から施行する。
6. この規程は、2021年4月1日から施行する。
7. この規程は、2024（令和6）年4月1日から施行する。
8. この規程は、「生活科学部食物健康科学科の卒業要件に関する規程」から「茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程」に名称変更および改定を行い、2025（令和7）年4月1日より施行する。

4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程

この規程は、生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる科目の履修要件を定めるものである。

1. 管理栄養士養成課程における臨地実習科目を履修するためには、各実習において関連科目(下表)の単位を全て修得済みであることが条件となる。

臨地実習Ⅰ (給食の運営) 臨地実習Ⅱ (給食経営管理) (3年次)	給食経営管理論Ⅰ (1年次 2単位)	6単位
	給食経営管理論Ⅱ (2年次 2単位)	
	給食経営管理実習Ⅰ (2年次 1単位)	
	給食経営管理実習Ⅱ (2年次 1単位)	
臨地実習Ⅲ (公衆栄養) (3年次)	公衆栄養学Ⅰ (2年次 2単位)	4単位
	公衆栄養学Ⅱ (2年次 2単位)	
臨地実習Ⅳ (臨床栄養) 臨地実習Ⅴ (臨床栄養) (3年次)	臨床栄養学Ⅰ (2年次 2単位)	5単位
	臨床栄養学Ⅱ (2年次 2単位)	
	臨床栄養学実習 (2年次 1単位)	

2. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する定期健康診断を受診していなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で受診し、大学に診断書を提出する。
3. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する感染症に対する指定の抗体検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査の結果が陰性の場合、指示された項目のワクチンを指定された日までに必ず接種する。
4. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する腸内細菌検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査結果が陽性の場合は実習取りやめとなり、陰性への改善を確認後、別日程で行う。
5. 臨地実習科目を履修するには、傷害・賠償等保険に加入しなければならない。
6. この規程に定めるもののほか、必要な事項は生活科学部教授会が定める。

附 則

1. この規程は、2014年4月1日から施行する。
2. この規程は、2017年4月1日から施行する。
3. この規程は、2025(令和7)年4月1日から施行する。

履修要項Ⅲ 看護学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1. 卒業に必要な最低修得単位	87
2. 授業科目、単位数および履修規程	
看護学科	
(1) 全学教養科目	88
(2) 学科科目	92
3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程	94

1. 卒業に必要な最低修得単位

看護学部

<2025(令和7)年度入学生>

[看護学科] 2024年度～

卒業に必要な単位および規程	科目区分		最低修得単位		
	全学教養科目	建学の精神		4 単位	合計 25単位
		現代教養	文化交流系教養	14単位	
			教育系教養		
			心理福祉系教養		
			食物健康系教養		
			看護系教養 ※ 1		
			経営系教養		
			自然環境系教養		
		言語コミュニケーション	英語	4 単位	
			英語以外		
			留学		
		データサイエンス ※ 2	2 単位		
	健康スポーツ	1 単位			
	汎用的スキル				
	問題解決				
学科科目	専門基礎科目	26単位	合計 102単位		
	専門科目	76単位			
合計			127単位以上		

※1 看護系教養のうち「看護学」「ライフサイクルと健康」は卒業に必要な単位に含まれない。
 ※2 データサイエンスは「コンピュータ基礎Ⅰ」「コンピュータ基礎Ⅱ」「コンピュータ実習」を選択必修とする。

留意事項

1. 科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

履修可能回数		履修可能回数	
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語Ⅲ B	3
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語Ⅳ B	3
体育実技Ⅱ A	7	コリアンⅢ B	3
体育実技Ⅱ B		コリアンⅣ B	3
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語 G	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語 H	2
ドイツ語Ⅲ B	3	その他の外国語 A	3
ドイツ語Ⅳ B	3	その他の外国語 B	3
フランス語Ⅲ B	3		
フランス語Ⅳ B	3		

<この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔看護学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

<看護学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	10117	2	LA10C17K	歴史学	講義	30	2	1～4	14単位以上選択
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C14K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C11K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C31K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C13K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C55K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C43K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C56K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C57K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C28K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C36K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C27K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C52K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10058	1	LA11A02E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	4単位必修
	10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10061	1	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
	10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
	10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
		10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C03E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C04E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C05E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C06E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C07E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C08E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C09E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C09E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C10E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C10E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用	10101	2	LA10C63E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	
		10102	2	LA10C64E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C65E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C66E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C67E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C68E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C69E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C70E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C10K	留学生のための日本語基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11B01E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
		10045	1	LA12B01E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10137	2	LA11C11K	データサイエンスⅠ	講義	30	2	1～4	
		10166	1	LA12C11E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
健康スポーツ		10167	1	LA20C03E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	
		10155	1	LA11B02J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	
		10160	1	LA12C11J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
		10161	1	LA12C12J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
汎用的スキル		10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	1単位必修
		10157	2	LA10C54K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
		10168	1	LA10C58K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
		10169	1	LA10C59K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
問題解決	10170	1	LA10C60E	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
	10171	1	LA10C61E	問題解決演習B	演習	30	2	1～4	
	10172	1	LA10C62E	問題解決演習C	演習	30	2	1～4	

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。
- 3) ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔看護学科〕

専門基礎科目26単位、専門科目76単位以上

2022年度～

学科科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	M	L
専門基礎科目	成り立ちと回復の促進・疾病の	31101	3	NU10A01K	人体構造機能学A	講義	30	②	1	26単位必修	×	×	×	×	×	×
		31186	2	NU10A02K	人体構造機能学B	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×
		31187	2	NU20A01E	人体構造機能学演習	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
		31103	1	NU10A03K	生化学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31104	3	NU10A04K	栄養・代謝学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31213	1	NU10C03E	食物健康演習	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×
		31106	3	NU10A05K	感染と防御	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31107	1	NU20A02K	病理病態学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31108	1	NU20A03K	薬理学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31109	1	NU20A04K	疾病治療論	講義	45	③	2		×	×	×	×	×	×
		31214	1	NU20A23K	疾病治療論（小児）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31215	1	NU20A24K	疾病治療論（母性）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31216	1	NU20A25K	疾病治療論（精神）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
	倫理・健康支援と社会	31217	1	NU10A14K	医療倫理	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31111	3	NU10A07K	社会保障制度論	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×
		31112	3	NU20A26K	保健医療福祉行政論	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31212	1	NU20C02K	カウンセリング技術	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×
	疫学と統計	31178	1	NU10A09K	公衆衛生学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31115	2	NU20A06K	疫学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31179	1	NU30C01K	保健統計	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
専門科目	看護学の基本	31218	1	NU10A15K	看護学概論	講義	30	②	1	22単位必修	×	×	×	×	×	×
		31219	1	NU20A27K	看護倫理	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31118	2	NU10A16E	看護学へのアプローチ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31191	2	NU10A17E	看護とコミュニケーション	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31119	3	NU10A18E	ヘルスアセスメントA	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31120	3	NU20A28E	ヘルスアセスメントB	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
		31123	3	NU10A11E	援助技術論A	演習	60	②	1		×	×	×	×	×	×
		31124	3	NU20A08E	援助技術論B	演習	60	②	2		×	×	×	×	×	×
		31125	3	NU20A29K	看護関係法規	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31220	1	NU20A30K	精神保健	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31192	2	NU20A10E	健康教育論	演習	60	②	2		×	×	×	×	×	×
		31221	1	NU10A19E	ライフステージと看護	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31222	1	NU21A01E	看護とクリティカルシンキング	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
	看護展開の基礎	31223	1	NU11A02J	地域・在宅看護学実習Ⅰ	実習	45	①	1	14単位必修	×	×	×	×	×	×
		31130	2	NU20A11J	基礎看護学実習	実習	135	③	2		×	×	×	×	×	×
		31122	3	NU20A31E	看護実践統合演習Ⅰ	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
		31224	1	NU20A32K	成熟期看護学概論	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31225	1	NU20A33K	成熟期療養支援看護学A	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31226	1	NU20A34K	成熟期生活支援看護学A	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31193	2	NU20A14K	小児看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31194	2	NU20A15K	母性看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31195	2	NU20A16K	精神看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31227	1	NU20A35K	公衆衛生看護学概論	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31228	1	NU20A36K	家族看護論	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31196	2	NU20A18K	在宅看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31229	1	NU22A01J	地域・在宅看護学実習Ⅱ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×
	看護展開の応用	31197	2	NU32A01E	看護実践統合演習Ⅱ	演習	30	①	3	27単位必修	×	×	×	×	×	×
		31230	1	NU30A13E	成熟期療養支援看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31144	3	NU30A02E	成熟期生活支援看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31199	2	NU30A03E	小児看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31146	3	NU30A04E	母性看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31200	2	NU30A05E	精神看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31201	2	NU30A06E	在宅看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31202	2	NU20C03K	公衆衛生看護活動展開論A	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		31180	3	NU30C02E	公衆衛生看護活動展開論B	演習	60	2	3		×	×	×	×	×	×
		31231	1	NU30C04K	公衆衛生看護活動展開論C	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	M	L
専門科目	看護展開の応用	31232	1	NU40C11K	公衆衛生看護管理論	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		31204	1	NU20C04E	学校保健	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×
		31205	2	NU30C05K	学校健康相談	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×
		31182	1	NU40C03K	産業保健	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31155	2	NU30A07J	成熟期療養支援看護学実習	実習	180	④	3		×	×	×	×	×	×
		31233	1	NU30A14J	成熟期生活支援看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31157	1	NU30A09J	小児看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31158	1	NU30A10J	母性看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31159	1	NU30A11J	精神看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31160	3	NU33A01J	地域・在宅看護学実習Ⅲ	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
	看護学の発展	31183	3	NU20C05J	公衆衛生看護学実習A	実習	45	1	2	11単位必修を含めて13単位選択	×	×	×	×	×	×
		31206	2	NU40C04J	公衆衛生看護学実習B	実習	180	4	4		×	×	×	×	×	×
		31154	2	NU40A05K	エンドオブライフケア論	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×
		31210	2	NU40A04E	災害看護論	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31164	2	NU40A02K	看護マネジメント	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×
		31167	1	NU40A03K	研究方法論	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×
		31208	1	NU41A01E	研究方法論演習Ⅰ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31209	1	NU42A01E	研究方法論演習Ⅱ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31163	1	NU40C12K	国際看護論	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31165	1	NU40C05K	看護教育学	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31170	1	NU40C07K	リハビリテーション看護	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31171	1	NU40C08K	がん看護	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31113	2	NU40C13K	保健医療看護経済学	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31211	1	NU40C10K	生と死の倫理	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31207	2	NU10C02E	異文化看護演習	演習	60	2	1~4		×	×	×	×	×	×
		31176	3	NU43A01E	看護実践統合演習Ⅲ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31234	1	NU40A07J	総合実習	実習	180	④	4		×	×	×	×	×	×

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程

この規程は、看護学部看護学科の臨地実習および研究方法論演習に関わる科目の履修要件を定めるものである。

1. 看護師養成課程における臨地実習科目（必修）を履修するためには、履修年次前年までの学科必修科目を修得済みであることが条件となる（ただし、下表に記載されている科目以外の未修得科目が2科目以内までは履修可とする）。
2. 保健師養成課程における公衆衛生看護学実習Bを履修するためには、1年次から3年次までの学科必修科目を全て修得済みであることが条件となる。

配置年次	科目	履修要件となる学科科目
3年次	成熟期療養支援看護学実習	地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習
	成熟期生活支援看護学実習	
	小児看護学実習	
	母性看護学実習	
	精神看護学実習	
	地域・在宅看護学実習Ⅲ	
4年次	総合実習	3年次のすべての実習
	研究方法論演習Ⅰ	
	研究方法論演習Ⅱ	研究方法論演習Ⅰ

3. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する定期健康診断を受診していなければならない。やむを得ず受診できなかった学生は、該当する項目を他の機関で受診し、大学に診断書を提出する。
4. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する感染症に対する指定の抗体検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査の結果で陰性の場合、指示された項目のワクチンを指定された期日までに必ず接種し、大学に証明書を提出する。
5. 臨地実習科目を履修するには、傷害・賠償等保険に加入しなければならない。
6. この規程に定めるもののほか、必要な事項は看護学部教授会が定める。

附 則

1. この規程は、2009年4月1日から施行する。
2. この規程は、2010年4月1日から施行する。
3. この規程は、2011年4月1日から施行する。
4. この規程は、2012年4月1日から施行する。
5. この規程は、2013年4月1日から施行する。
6. この規程は、2014年4月1日から施行する。ただし、2013年度入学生から適用する。
7. この規程は、2018年4月1日から施行する。
8. この規程は、2020年4月1日から施行する。
9. この規定は、2022年4月1日から施行する。

履修要項Ⅳ 経営学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1. 卒業に必要な最低修得単位……………	95
2. 授業科目、単位数および履修規程	
経営学科	
(1) 全学教養科目……………	98
(2) 学科科目……………	102

1. 卒業に必要な最低修得単位

経営学部

<2025(令和7)年度入学生>

〔経営学科〕 2024年度～

科目区分		最低修得単位	
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神	4 単位
		現代教養	18単位
		文化交流系教養	8 単位のうち 英語を 4 単位以上
		教育系教養	
		心理福祉系教養	
		食物健康系教養	
		看護系教養	
		経営系教養	
		自然環境系教養	
		言語コミュニケーション	8 単位のうち 英語を 4 単位以上
		英語	
		英語以外	
		留学	
		データサイエンス ※ 1	4 単位
		健康スポーツ	1 単位
		汎用的スキル	
		問題解決	
	学科科目	基幹科目	20単位
		専門基礎科目	60単位のうち 専門基礎科目 6 単位以上 専門科目52単位以上
		専門科目	
	自由選択 ※ 2		9 単位
	合計		124単位以上

※ 1 データサイエンスのうち「データサイエンスⅠ」は卒業に必要な単位に含まれない。

※ 2 自由選択は、全学教養科目、学科科目、他学科科目、学環科目の中から履修。

留意事項

1. 自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位は経営学科124単位となっているが、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、9単位の不足が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目・未来教養学環の学環科目（これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である）の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目・未来教養学環の学環科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2. 科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	履修可能回数		履修可能回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢB	3
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語ⅣB	3
体育実技ⅡA	7	コリアンⅢB	3
体育実技ⅡB		コリアンⅣB	3
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語G	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語H	2
ドイツ語ⅢB	3	その他の外国語A	3
ドイツ語ⅣB	3	その他の外国語B	3
フランス語ⅢB	3		
フランス語ⅣB	3		

<この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔経営学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、47単位未満とする。ただし、前年度のGPAが3.0以上の学生は、50単位未満とする。

<経営学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	10117	2	LA10C12K	歴史学	講義	30	2	1～4	18単位以上選択
	10140	1	LA10C35K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C36J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C28K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C16K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C09K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C06K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C26K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C19K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C29K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C08K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C50K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C11K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C10K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C38K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C41K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C51K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C52K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C53K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C40K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C39K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C30K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C23K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C31K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C25K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C34K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C22K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C42K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C44K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C45K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C47K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語コミュニケーション	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	}
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニケーション	英語	10062	1	LA35B01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	8単位必修 (うち英語 4単位以上) 英語以外の外国 を含める場合 は同一言語 2単位または 同一言語4単 位とする
		10063	1	LA36B01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
		10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	
		10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	
		10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
		10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	
	英語以外	10065	1	LA11B03E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
		10066	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11B04E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12B04E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B05E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12B05E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11B06E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12B06E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B07E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12B07E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11B08E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12B08E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B09E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12B09E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11B10E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12B10E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C54E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C55E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用	10101	2	LA10C56E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C57E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C58E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C59E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C60E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C61E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C62E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C63E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C01J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C02J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C03J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C04J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C05K	留学生のための日本語基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11B13E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	4単位必修
		10045	1	LA12B13E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10166	1	LA12B16E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10B10K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
健康スポーツ	10155	1	LA11B14J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	1単位必修
	10160	1	LA12C01J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12C02J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10030	1	LA10B09K	運動と健康	講義	30	②	1～4	
汎用的スキル	10157	2	LA10C49K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
	10168	1	LA10C64K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
	10169	1	LA10C65K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	
問題解決	10170	1	LA10C66E	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
	10171	1	LA10C67E	問題解決演習B	演習	30	2	1～4	
	10172	1	LA10C68E	問題解決演習C	演習	30	2	1～4	

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目)ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。
- 2) (B系列の科目)ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。
- 3) ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程》

経営学部経営学科の学生は、外国語科目8単位を次の1)または2)または3)の方法で履修すること。

- 1) 英語4単位+英語以外の同一外国語4単位。
英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてⅠAとⅠBを、および1年次後期においてⅡAとⅡBを履修する。(以上1年次4単位)。
- 2) 英語6単位+英語以外の同一外国語2単位。
英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期において(ⅠAとⅠB)を、または1年次の通年にわたって(ⅠAとⅡA)もしくは(ⅠBとⅡB)を履修する。(以上1年次2単位)。
- 3) 英語を8単位修得し、それ以外の外国語については上記の「原則」にしたがって自由に履修すること。

<この規程は2020(令和2)年度入学生から適用される。>

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

<この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。>

(2) 学科科目〔経営学科〕

基幹科目20単位、専門科目60単位のうち、専門基礎科目 6 単位以上、専門科目52単位以上、学科科目合計80単位以上

2023年度～

学科科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	N	L
基幹科目	41001	1	MA11A01K	経営学入門Ⅰ	講義	30	②	1	20単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	41002	1	MA12A01K	経営学入門Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	41126	1	MA10A01E	リーダーシップ基礎演習	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	41009	1	MA11A02E	リーダーシップ演習Ⅰ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	41012	2	MA22A01E	リーダーシップ演習Ⅱ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	41010	2	MA23A01E	リーダーシップ演習Ⅲ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	41110	1	MA31A01E	経営演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	41111	1	MA32A01E	経営演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	41112	1	MA43A01E	経営演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	41113	1	MA44A01E	経営演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎科目	41114	1	MA10C07K	行政学	講義	30	2	1～2	6 単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○
	41131	1	MA10C08K	企業倫理	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	41072	2	MA11C03K	会社法Ⅰ	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	41073	2	MA12C04K	会社法Ⅱ	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	41005	3	MA20B01K	経営学総論*	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○
	41047	3	MA10C02K	入門簿記論	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
	41028	3	MA20C06K	経営史	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	40015	1	MA10C05K	ミクロ経済学入門	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
	40016	1	MA10C04K	マクロ経済学入門	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
	41008	1	MA20C05K	ビジネスリサーチ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	41041	1	MA21B01K	マーケティング論Ⅰ*	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○
	41038	2	MA20B02K	ビジネスエコノミクス入門*	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○
	41132	1	MA10C09K	データサイエンス基礎	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
専門科目	戦略マネジメント系	41016	2	MA21C01K	経営戦略論Ⅰ	講義	30	2	2	52単位以上選択	○	○	○	○	○	○
		41017	1	MA32C01K	経営戦略論Ⅱ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41018	2	MA30C01K	経営組織論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41020	2	MA20C02K	経営管理論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41031	2	MA30C05K	ベンチャービジネス論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41022	1	MA21C02K	人材マネジメント論Ⅰ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41023	1	MA22C03K	人材マネジメント論Ⅱ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41090	1	MA30C06K	国際経営論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41071	2	MA20C07K	英語で学ぶ経営学入門	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41007	1	MA10C01K	キャリアデザイン	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×
	ICTマネジメント系	41133	1	MA20C26K	中小企業経営論	講義	30	2	2	52単位以上選択	○	○	○	○	○	○
		41019	3	MA30C02K	経営情報論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41127	1	MA30C20K	情報技術基礎	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41087	2	MA20C03K	情報システム論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41128	1	MA20C23E	情報システム演習	演習	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41088	2	MA20C04K	ITビジネス論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41129	1	MA30C21K	オペレーションズ・リサーチ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41026	3	MA30C03K	イノベーションマネジメント	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41027	2	MA30C04K	ビジネスプランニング	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41134	1	MA20C27K	Webビジネス	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
	マーケティング系	41135	1	MA20C28K	新技術とビジネス	講義	30	2	2	52単位以上選択	○	○	○	○	○	○
		41136	1	MA30C22K	デジタル広告	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
41042		1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ	講義	30	2	2	○		○	○	○	○	○	
41043		2	MA20C08K	流通システム論	講義	30	2	2	○		○	○	○	○	○	
41044		3	MA20C09K	流通経営論	講義	30	2	2	○		○	○	○	○	○	
41045		1	MA30C07K	マーケティング戦略論	講義	30	2	3	○		○	○	○	○	○	
41094		1	MA31C02K	消費者行動論Ⅰ	講義	30	2	3	○		○	○	○	○	○	
41095		1	MA32C02K	消費者行動論Ⅱ	講義	30	2	3	○		○	○	○	○	○	

学 科 目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	N	L
専 門 科 目	会計 ファイナンス系	41048	3	MA10C03K	基礎簿記論	講義	30	2	1							
		41049	3	MA20C10K	応用簿記論	講義	30	2	2							
		41050	3	MA20C11K	会社簿記論	講義	30	2	2							
		41003	1	MA11B01K	会計学入門Ⅰ*	講義	30	2	1							
		41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	講義	30	2	1							
		41051	1	MA21C03K	財務会計論Ⅰ	講義	30	2	2							
		41052	1	MA22C05K	財務会計論Ⅱ	講義	30	2	2							
		41059	3	MA30C11K	経営分析論	講義	30	2	3							
		41055	3	MA20C12K	原価計算論	講義	30	2	2							
		41056	3	MA20C13K	工業簿記論	講義	30	2	2							
		41137	1	MA30C23K	監査論	講義	30	2	3							
		41066	2	MA31C03K	租税論Ⅰ	講義	30	2	3							
		41067	2	MA32C03K	租税論Ⅱ	講義	30	2	3							
		41061	1	MA21C04K	ファイナンスⅠ	講義	30	2	2							
		41062	1	MA22C06K	ファイナンスⅡ	講義	30	2	2							
		41063	2	MA20C14K	金融論	講義	30	2	2							
		41064	2	MA20C15K	国際金融論	講義	30	2	2							
		41065	1	MA20C16K	証券市場論	講義	30	2	2							
	地域 イノベーション系	41039	2	MA21C05K	ビジネスエコノミクスⅠ	講義	30	2	2							
		41101	1	MA32C04K	ビジネスエコノミクスⅡ	講義	30	2	3							
		41102	2	MA20C29K	国際経済論	講義	30	2	2							
		41036	4	MA30C18K	公共経済論	講義	30	2	3							
		41138	1	MA20C30K	地域経済論	講義	30	2	2							
		41034	2	MA30C04K	地域産業経営論	講義	30	2	3							
		41035	2	MA30C24K	地域づくり論	講義	30	2	3							
		41120	1	MA30C14K	観光ビジネス論	講義	30	2	3							
		41098	2	MA30C15K	地域ブランド論	講義	30	2	3							
		41139	1	MA30C25K	環境ビジネス	講義	30	2	3							
		41085	3	MA20C19K	公共経営論	講義	30	2	2							
	ケ ー ジ ン ス コ ミ ュ ニ ー	41068	1	MA11C02K	ビジネスコミュニケーションⅠ	講義	30	2	1							
		41069	1	MA12C03K	ビジネスコミュニケーションⅡ	講義	30	2	1							
		41070	2	MA20C20K	外書講読	講義	30	2	2							
		41104	1	MA20C21K	ビジネス英語	講義	30	2	2							
		41105	1	MA30C17K	時事英語	講義	30	2	3							
		41076	2	MA10C06K	TOEFL/TOEIC集中講座	講義	30	2	1							
	フ タ イ ー ル デ ィ ル ド	41106	1	MA20C22E	グローバルビジネス演習	演習	30	2	2							
		41107	1	MA30C18E	地域マネジメント演習	演習	30	2	3							
		41108	1	MA30C19E	地域インターンシップ	演習	30	2	3							
	特 別 講 義	41079	1	MA21C06K	経営特講Ⅰ	講義	30	2	2							
		41080	1	MA22C07K	経営特講Ⅱ	講義	30	2	2							
		41081	1	MA23C01K	経営特講Ⅲ	講義	30	2	2							
		41109	1	MA40C01S	卒業研究			4	4							

*は選択必修科目。指定4科目（8単位）から2科目（4単位）以上を選択。

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

履修要項Ⅴ 未来教養学環

〔全学教養科目および学環科目の履修〕

1. 卒業に必要な最低修得単位……………	105
2. 授業科目、単位数および履修規程	
未来教養学環	
(1) 全学教養科目……………	108
(2) 学環科目……………	111

1. 卒業に必要な最低修得単位

未来教養学環

<2025(令和7)年度入学生>

〔未来教養学環〕

2024年度～

卒業に必要な単位および規程	科目区分		最低修得単位			
	全学教養科目	建学の精神	6 単位		合計 52単位	
		現代教養 ※ 1	文化交流系教養	14単位		
			教育系教養			
			心理福祉系教養			
			食物健康系教養			
			看護系教養			
			経営系教養			
			自然環境系教養			
		言語コミュニケーション	英語	8 単位		
			英語以外	6 単位		
			留学			
		データサイエンス	4 単位			
	健康スポーツ	2 単位				
	汎用的スキル	6 単位				
	問題解決	6 単位				
	学環科目	基幹科目	30単位		合計 40単位	
専門科目		10単位				
自由選択 ※ 2			32単位			
合計			124単位以上			

※ 1 現代教養は各区分から 2 単位、7 区分で14単位以上。

※ 2 自由選択は、全学教養科目、各学部の学科科目の中から履修。

留意事項

1. 自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位は未来教養学環124単位となっているが、全学教養科目と学環科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、32単位の不足が生じることになる。この不足は、全学教養科目・各学部の学科科目（これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である）の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、各学部の学科科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2. 科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	履修可能回数		履修可能回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢB	3
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語ⅣB	3
体育実技ⅡA	7	コリアンⅢB	3
体育実技ⅡB		コリアンⅣB	3
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語G	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語H	2
ドイツ語ⅢB	3	その他の外国語A	3
ドイツ語ⅣB	3	その他の外国語B	3
フランス語ⅢB	3		
フランス語ⅣB	3		

<この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔未来教養学環〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

＜未来教養学環＞

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	10117	2	LA10C01K	歴史学	講義	30	2	1～4	14単位以上選択 (各区分2単位以上)
	10140	1	LA10C02K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C03J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C04K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C05K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C06K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C07K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C08K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C09K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C10K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C11K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C12K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C14K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C15K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C16K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C17K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C18K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C19K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C20K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C21K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C22K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C23K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C24K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C25K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C26K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C27K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C28K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C29K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C30K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C31K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	8単位必修
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
	10062	1	LA35B01E	総合英語Ⅴ	演習	30	①	3	
	10063	1	LA36B01E	総合英語Ⅵ	演習	30	①	3	
	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	}
		10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	
		10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	
	英語以外	10065	1	LA11B03E	ドイツ語ⅠA	演習	30	①	1	同一言語6単位 必修
		10066	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡA	演習	30	①	1	
		10067	1	LA11B04E	ドイツ語ⅠB	演習	30	①	1	
		10068	1	LA12B04E	ドイツ語ⅡB	演習	30	①	1	
		10069	1	LA23B03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	①	2	
		10070	1	LA24B03E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B05E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
		10074	1	LA12B05E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
		10075	1	LA11B06E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
		10076	1	LA12B06E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
		10077	1	LA23B04E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	
		10078	1	LA24B04E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B07E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B07E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B08E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B08E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B09E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B09E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B10E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B10E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B06E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B06E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C32E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C33E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
		10101	2	LA10C34E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C35E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C36E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C37E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
	10105	2	LA10C38E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4		
	10106	2	LA10C39E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4		
	10107	2	LA10C40E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4		
	10108	2	LA10C41E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4		
	留学	10031	1	LA10C42J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
10033		1	LA10C43J	海外語学研修C	実習	60	2	1		
10034		1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2		
10048		1	LA10C44J	海外文化研修	実習	60	2	1～4		
10035		2	LA10C45J	異文化体験	実習	60	2	1～4		
10049		1	LA10C46K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4		
データサイエンス	10044	1	LA11C01E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	4単位必修	
	10045	1	LA12C01E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1		
	10046	2	LA20C03E	コンピュータ実習	演習	30	2	2		
	10137	2	LA11A02K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4		
	10166	1	LA12A02E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4		
	10152	1	LA10C47K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4		
		10167	1	LA20C04E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
健康スポーツ	10155	1	LA11B11J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2 単位必修
	10160	1	LA12C02J	体育実技ⅡA	実技	30	①	1～4	
	10161	1	LA12C03J	体育実技ⅡB	実技	30	①	1～4	
	10030	1	LA10B01K	運動と健康	講義	30	②	1～4	
汎用的スキル	10157	2	LA10A01K	汎用的スキルA	講義	30	②	1～4	6 単位必修
	10168	1	LA10A02K	汎用的スキルB	講義	30	②	1～4	
	10169	1	LA10A03K	汎用的スキルC	講義	30	②	1～4	
問題解決	10170	1	LA10A04E	問題解決演習A	演習	30	②	1～4	6 単位必修
	10171	1	LA10A05E	問題解決演習B	演習	30	②	1～4	
	10172	1	LA10A06E	問題解決演習C	演習	30	②	1～4	

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項》

原則

- 1) (A系列の科目)ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。
- 2) (B系列の科目)ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。
- 3) ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。
- 4) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

《ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程》

未来教養学環の学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてⅠAとⅠBを、および1年次後期においてⅡAとⅡBを履修すること（以上1年次4単位）。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてⅢAを、および後期においてⅣAを履修すること（以上2年次2単位、合計6単位）。

＜この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。＞

《健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程》

1. 体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2024(令和6)年度入学生から適用される。＞

(2) 学環科目〔未来教養学環〕

基幹科目30単位、専門科目10単位

2024年度～

学環科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	N	M
基幹科目	15001	1	FL11A01E	未来教養基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1	30単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	15002	1	FL12A01E	未来教養基礎演習Ⅱ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	15003	1	FL23A01E	未来教養基礎演習Ⅲ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	15004	1	FL24A01E	未来教養基礎演習Ⅳ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	15005	1	FL10A01K	サステイナビリティ入門	講義	30	②	1		○	○	○	○	○	○	○
	15006	1	FL20A01K	プレゼンテーション入門	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○
	15007	1	FL20A02K	ファシリテーション入門	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○
	15008	1	FL20A03K	多元的共生社会論	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○
	15009	1	FL20A04K	量的調査法	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	15010	1	FL20A05K	質的調査法	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	15011	1	FL31A01E	インターンシップⅠ	演習	45	③	3		×	×	×	×	×	×	×
	15012	1	FL32A01E	インターンシップⅡ	演習	45	③	3		△	△	△	△	△	△	△
	15013	1	FL30A01K	未来教養特講A	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	15014	1	FL30A02K	未来教養特講B	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
専門科目	15015	1	FL10A02K	未来教養概論	講義	30	②	1	10単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	15016	1	FL31A02E	未来教養プロジェクト演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	15017	1	FL32A02E	未来教養プロジェクト演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	15018	1	FL43A01E	未来教養プロジェクト演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	15019	1	FL44A01E	未来教養プロジェクト演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。△が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

履 修 要 項 VI

〔資格科目の履修(文学部・生活科学部・看護学部・経営学部・未来教養学環)〕

資格取得にあたって	113
1. 教育職員免許状取得に関する科目の履修	114
2. 学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修	146
3. 社会福祉主事任用資格に関する科目の履修	148
4. 学芸員資格に関する科目の履修 (文学部・未来教養学環)	150
5. 社会教育主事任用資格に関する科目の履修 (文学部)	152
6. 日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修 (文学部)	154
7. 小学校英語教育推進協議会資格認定に関する科目の履修 (文学部現代英語学科)	158
8. 保育士資格に関する科目の履修 (文学部児童教育学科幼児保育コース)	160
9. 社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修 (生活科学部心理福祉学科)	166
10. 公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修 (生活科学部心理福祉学科)	170
11. 認定心理士資格に関する科目の履修 (生活科学部心理福祉学科)	174
12. 福祉心理士資格に関する科目の履修 (生活科学部心理福祉学科)	176
13. 管理栄養士国家試験受験資格・栄養士資格に関する科目の履修 (生活科学部食物健康科学科)	180
14. 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目の履修 (生活科学部食物健康科学科)	186
15. 看護師国家試験受験資格に関する科目の履修 (看護学部看護学科)	189
16. 保健師国家試験受験資格に関する科目の履修 (看護学部看護学科)	193

資格取得にあたって

本学には、文学部・生活科学部・看護学部・経営学部の各学科および未来教養学環を卒業する課程と併せて、下記の資格を取得する課程がある。資格取得のためには、卒業要件に係る科目以外に履修しなければならない科目もある。資格取得にあたっては、自分の将来設計を十分考慮の上、履修計画を立てること。資格の多くは学外実習を伴っており、かなり質的に高度なものが要求され、対社会的な問題となることも十分認識すべきである。

学生諸君は、まず第一に卒業を確実にすべきであり、次に取得しようとする資格に優先順位をつけて履修すべきである。時間割の重複などで資格に必要な科目が履修できない場合もある。将来の可能性を広げる資格に対して、強い目的意識と自覚をもちながら履修することを心がけてほしい。

なお、資格取得を希望する場合は、必ずIC-UNIPAで資格登録をすること。

取得可能な資格 ＜2025(令和7)年度入学生＞

学部名	学科名	取得可能資格
文学部	現代英語学科	・小学校英語指導者資格 ・中学校教諭一種免許状（英語） ・高等学校教諭一種免許状（英語）
	児童教育学科 児童教育コース	・小学校教諭一種免許状 ・特別支援学校教諭一種免許状 （知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）
	児童教育学科 幼児保育コース	・保育士資格 ・幼稚園教諭一種免許状
	文化交流学科	・中学校教諭一種免許状（社会） ・高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
	全学科	・社会教育主事任用資格 ・日本語教育施設の教員資格
生活科学部	心理福祉学科	・社会福祉士国家試験受験資格 ・公認心理師国家試験受験資格 ※卒業後、大学院での学び、または実務経験が必要 ・日本心理学会認定心理士資格 ・福祉心理士資格 ・中学校教諭一種免許状（社会） ・高等学校教諭一種免許状（公民） ・高等学校教諭一種免許状（福祉）
	食物健康科学科	・管理栄養士国家試験受験資格 ・栄養士資格 ・食品衛生監視員任用資格 ・食品衛生管理者資格 ・中学校教諭一種免許状（家庭） ・高等学校教諭一種免許状（家庭） ・栄養教諭一種免許状
文学部 生活科学部	全学科	・学校図書館司書教諭 （小中高の教員免許状を取得する場合）
文学部 未来教養学環	全学科	・学芸員資格
看護学部	看護学科	・看護師国家試験受験資格 ・保健師国家試験受験資格 ・養護教諭一種免許状
全学部 未来教養学環	全学科	・社会福祉主事任用資格

1. 教育職員免許状取得に関する科目の履修

(1) 教育職員免許状取得の要件

本学で取得できる教育職員免許状は、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の特別支援学校教諭一種免許状、「英語」「社会」「家庭」の中学校教諭一種免許状、「英語」「地理歴史」「公民」「福祉」「家庭」の高等学校教諭一種免許状、養護教諭一種免許状、栄養教諭一種免許状である。これを取得するためには、次の要件を満たさなくてはならない。（教育職員免許法、同施行規則による。）

1. 教育職員免許状取得の要件

〔2019(平成31)年度以降入学生〕

〔施行規則第66条の6〕

免許状の種類	免許教科	基礎資格	大学における最低修得単位数				合計
			日本国憲法	体育	外国語 コミュニケーション	数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	
幼稚園一種		学士	2	2	2	2	8
小学校一種		学士	2	2	2	2	8
特別支援 学校 一種	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	学士 小学校・中学校・ 高等学校又は幼稚園の 普通免許状					
中学校 一種	英語 社会 家庭	学士	2	2	2	2	8
高等学校 一種	英語 地理歴史 公民 福祉 家庭	学士	2	2	2	2	8
養護教諭一種		学士	2	2	2	2	8
栄養教諭一種		学士 管理栄養士 養成課程修了	2	2	2	2	8

〔施行規則第2～5、7、9、10条〕

免許状の種類	免許教科	基礎資格	大学における最低修得単位数									
			教科及び教職に関する科目等						養護に関する科目	栄養に係る教育に関する科目	特別支援教育に関する科目	合計
			領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目				
					教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法（内容）及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目					
幼稚園一種		学士	16		10	4	7	14			51	
小学校一種		学士		30	10	10	7	2			59	
特別支援学校一種	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	学士 小学校・中学校・ 高等学校又は幼稚園の普通免許状								26	26	
中学校一種	英語 社会 家庭	学士		28	10	10	7	4			59	
高等学校一種	英語 地理歴史 公民 福祉 家庭	学士		24	10	8	5	12			59	
養護教諭一種		学士			8	6	7	7	28		56	
栄養教諭一種		学士 管理栄養士 養成課程修了			8	6	4			4	22	

〔参考〕二種免許状取得に必要な単位数

免許状の種類	科目の区分と最低修得単位数								
学校種別等	教科及び教職に関する科目						養護に関する科目	栄養に係る教育に関する科目	特別支援教育に関する科目
	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目			
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法（内容）及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目				
幼稚園	12		6	4	7	2			
小学校		16	6	6	7	2			
特別支援									16
中学校		12	6	6	7	4			
養護			5	3	6	4	24		
栄養			5	3	4			2	

小一種：児童教育学科児童教育コース

(2) 小学校教諭一種（児童教育学科児童教育コース）

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目 コード	科目 明細	該当授業科目	配置年次				
					1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔 2 〕				
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔 ① 〕				
		10160	1	体育実技ⅡA	〔 ① 〕				
		10161	1	体育実技ⅡB	〔 ① 〕				
		10030	1	運動と健康	〔 2 〕				
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				2科目選択必修
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語Ⅰ	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語ⅠB	1				
		10068	1	ドイツ語ⅡB	1				
		10075	1	フランス語ⅠB	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語ⅠB	1				
		10084	1	中国語ⅡB	1				
		10091	1	コリアンⅠB	1				
		10092	1	コリアンⅡB	1				
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目又は 情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	②				1科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	②				
		10046	2	コンピュータ実習		②			

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考				
	各科目に含めることが必要な事項	小学校一種	小学校二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次					
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	16	13057	2	PD20C11K	○小学校国語科研究		2							
				13560	2	PD20C12E	○書写		1							
				13030	1	PD11C02K	言語教育Ⅰ	〔 2 〕								
				13031	1	PD12C02K	言語教育Ⅱ	〔 2 〕								
	社会			13059	1	PD20C13K	○小学校社会科研究		2							
				13554	1	PD11C03K	地域社会研究Ⅰ	〔 2 〕								
				13555	1	PD12C03K	地域社会研究Ⅱ	〔 2 〕								
				13061	2	PD20C14K	○小学校算数科研究		2							
	算数			13033	2	PD10C02K	数学教育	〔 2 〕								
				13063	2	PD20C15K	○小学校理科研究		2							
	理科			13035	2	PD10C03K	自然科学教育	〔 2 〕								
				13065	2	PD20C16K	○小学校生活科研究		2							
	生活			13540	2	PD31A01E	○劳作体験Ⅰ			①						
				13541	2	PD32A01E	○劳作体験Ⅱ			①						
				音楽	13536	2	PD10A03E	○音楽A	①							
					13548	2	PD10A04E	○音楽B	①							
	13549				2	PD20C17E	音楽C		1							
	13537				2	PD20C18E	音楽D		1							
	図画工作			13538	2	PD10A05E	○美術A	①								
				13539	2	PD10A06E	○美術B	①								
	家庭			13071	2	PD20C19E	○小学校家庭科研究		2							
				13069	1	PD20C20E	○小学校体育科研究		2							
				体育	13542	2	PD10B01J	○児童体育A	①							
					13543	2	PD20B02J	○児童体育B		①						
	13567				1	PD20C24E	野外活動		〔 1 〕							
	外国語				13041	3	PD20C21E	○小学校英語教育A		2						
				13042	3	PD20C22E	○小学校英語教育B		2							
	（情報通信技術の活用を含む。） 各教科の指導法			国語（書写を含む。）			13058	3	PD20C03K	○小学校国語科教育法			2			
				社会			13060	2	PD20C04K	○小学校社会科教育法			2			
				算数			13062	3	PD20C05K	○小学校算数科教育法			2			
理科				13064	3	PD20C06K	○小学校理科教育法		2							
生活				13066	3	PD20C07K	○小学校生活科教育法		2							
音楽				13067	4	PD30C04K	○小学校音楽科教育法			2						
図画工作				13068	3	PD20C08K	○小学校図工科教育法		2							
家庭				13072	3	PD20C09K	○小学校家庭科教育法		2							
体育				13070	3	PD30C05K	○小学校体育科教育法			2						
外国語				13561	1	PD20C10K	○外国語（英語）教育法		2							

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※規則上は、「教科に関する専門的事項」について、小学校10教科から1以上の科目について修得する。

※規則上は、「各教科の指導法」について、小学校一種では10教科各1単位以上、小学校二種では10教科のうち6教科以上（音楽、図画工作、体育のうち2教科以上を含む）をそれぞれ1単位以上、となっている。

小一種：児童教育学科児童教育コース

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得 単位数		本学開設科目				配置年次および 単位数				備考
	各科目に含める ことが必要な事項	小学校 一種	小学校 二種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	6	13002	2	PD10A07K	○教育原理	②				
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			13047	1	PD10A08K	○教職論	②				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			13015	1	PD20A02K	○教育行政学		〔②〕			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			13004	2	PD10B02K	○教育心理学	〔2〕				
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			13562	1	PD10A09K	○特別支援教育	〔 ② 〕				
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			13091	1	PD10B04K	○教育課程論	〔2〕				
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	10	6	13049	3	PD20C01K	○道徳教育の理論と方法		2			
	・総合的な学習の時間の指導法			13559	1	PD30C01K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
	・特別活動の指導法			13050	3	PD20C02K	○特別活動の理論と方法		2			
	・教育の方法及び技術			13051	5	PD10B06K	○教育方法論（ICT活用含む）	〔2〕				
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法											
	・生徒指導の理論及び方法			13552	2	PD30C02K	○生徒・進路指導の理論と方法			2		
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法											
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			13553	2	PD30C03K	○教育相談の基礎			2		
	13027	3	PD40C01K	教育相談実践				2				
教育実践に関する科目	・教育実習	5	5	13053	2	PD31C01J	○初等教育実習Ⅰ（事前事後指導1単位を含む）			3		
				13054	2	PD32C01J	○初等教育実習Ⅱ			2		
	・教職実践演習	2	2	13089	2	PD40C02E	○教職実践演習（小学校）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※「教職実践演習（小学校）」は、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」の所定の実習期間を終了した者のみ受講可能。なお、「教職実践演習（小学校）」履修の最終的な可否は、児童教育学科児童教育コース会議の合議により決定する。

4. 大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目	最低修得 単位数	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	配置年次および 単位数				備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
	2	13052	2	PD20C23J	○介護等体験（事前事後指導含む）		〔2〕			

(3) 特別支援教育〔特別支援学校教諭一種（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）〕

1. 特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数		本学開設科目						配置年次および単位数				備考
	特別支援一種	特別支援二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	中心となる領域	含む領域	1年次	2年次	3年次	4年次	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	2	13512	2	PD20C50K	○特別支援教育原論				2			
			13528	2	PD40C06K	世界の特別支援教育						2	
			13527	2	PD40C05K	障害と児童福祉						2	
			13511	2	PD30C21K	特別支援教育総論					2		
特別支援教育領域に関する科目	16	8	13557	2	PD30C25K	○知的障害の心理・生理・病理	知的障害者				2		
			13519	2	PD30C27K	○肢体不自由の心理・生理・病理	肢体不自由者				2		
			13521	2	PD30C29K	○病弱の心理・生理・病理	病弱者				2		
			13514	2	PD30C23K	○知的障害と教育Ⅰ	知的障害者				2		
			13515	2	PD30C24K	○知的障害と教育Ⅱ	知的障害者				2		
			13518	2	PD30C26K	○肢体不自由と教育	肢体不自由者	知的障害者			2		
			13520	2	PD30C28K	○病弱と教育	病弱者	知的障害者			2		
			13529	2	PD40C07E	○特別支援教育実践演習	知的障害者	肢体不自由者 病弱者				4	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	5	13526	2	PD40C04K	発達障害心理検査法	発達	知的障害者				2	自閉・情緒・LD・ADHD
			13522	2	PD30C30K	○重度重複障害と教育	重複				2		重複
			13513	2	PD30C22K	○発達障害と教育	発達				2		自閉・言語・情緒・LD・ADHD
			13524	1	PD30C32K	○言語の発達と障害	発達	知的障害者 聴覚障害者			2		言語・情緒
			13558	3	PD30C31K	○視覚・聴覚障害と教育		視覚障害者 聴覚障害者			2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	3	13530	1	PD40C08J	○特別支援教育実習（事前事後指導1単位を含む）						3	

※授業科目の前の○印は教職必修科目

※備考欄に、重複、言語、自閉、情緒、LD、ADHDという記載がある授業科目では、その内容も学ぶ。

重複：重複障害 言語：言語障害 自閉：自閉症 情緒：情緒障害 LD：学習障害 ADHD：注意欠陥多動性障害

幼一種：児童教育学科幼児保育コース

(4) 幼稚園教諭一種（児童教育学科幼児保育コース）

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目 コード	科目 明細	該当授業科目	配置年次				
					1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔 2 〕				
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔 ① 〕				
		10160	1	体育実技ⅡA	〔 ① 〕				
		10161	1	体育実技ⅡB	〔 ① 〕				
		10030	1	運動と健康	〔 2 〕				
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				2科目選択必修
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語Ⅰ	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語ⅠB	1				
		10068	1	ドイツ語ⅡB	1				
		10075	1	フランス語ⅠB	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語ⅠB	1				
		10084	1	中国語ⅡB	1				
		10091	1	コリアンⅠB	1				
		10092	1	コリアンⅡB	1				
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目又は 情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	②				1科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	②				
		10046	2	コンピュータ実習		②			

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および 単位数				備考
	各科目に含める ことが必要な事項	幼稚園 一種	幼稚園 二種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
領域に 関する専門的 事項	健康	16	12	13223	1	PD30C13E	○子どもと健康			2		
	人間関係			13224	1	PD30C14E	○子どもと人間関係			2		
	環境			13225	1	PD30C15E	○子どもと環境			2		
	言葉			13226	1	PD20C33K	○子どもと言葉		2			
	表現			13228	1	PD30C16K	○子どもと音楽表現			2		
				13227	1	PD20C34K	○子どもと造形表現		2			
保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活 用を含む。)				13221	1	PD20C30E	○保育内容総論		2			
				13151	2	PD20C31E	○保育内容教育法・健康		2			
				13152	2	PD10C08E	○保育内容教育法・人間関係	2				
				13153	2	PD20C32E	○保育内容教育法・環境		2			
				13154	2	PD10C09E	○保育内容教育法・言葉	2				
				13156	3	PD30C11E	○保育内容教育法・造形表現			2		
				13155	3	PD30C12E	○保育内容教育法・音楽表現			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

幼一種：児童教育学科幼児保育コース

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得 単位数		本学開設科目				配置年次および 単位数				備考
	各科目に含める ことが必要な事項	幼稚園 一種	幼稚園 二種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	6	13002	2	PD10A07K	○教育原理	②				
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			13047	1	PD10A08K	○教職論	②				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			13015	1	PD20A02K	○教育行政学		〔②〕			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			13103	3	PD10B03K	○保育の心理学	〔2〕				
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			13562	1	PD10A09K	○特別支援教育	〔 ② 〕				
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			13214	1	PD10B05K	○幼児教育課程論	〔2〕				
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	4	13170	3	PD20B04K	○教育方法論		〔2〕			
	・幼児理解の理論及び方法			13216	1	PD20C38E	○幼児理解		1			
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			13217	1	PD20C39E	○教育相談		1			
教育実践に関する科目	・教育実習	5	5	13185	1	PD21C03J	○初等教育実習Ⅲ （事前事後指導 1 単位を含む）		2			
				13186	2	PD22C03J	○初等教育実習Ⅳ		3			
	・教職実践演習	2	2	13177	1	PD40C03E	○保育・教職実践演習 （幼稚園）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

※「保育・教職実践演習（幼稚園）」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

4. 大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目	最低修得 単位数	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	配置年次および 単位数				備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
	14	13198	2	PD20B01J	○幼児体育A		〔1〕			
		13199	2	PD20B03J	○幼児体育B		〔1〕			

※「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

(5) 中学校教諭一種、高等学校一種（現代英語学科、文化交流学科、心理福祉学科、食物健康科学科）

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	該当学科	科目 コード	科目 明細	該当授業科目	配置年次				
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
日本国憲法	2	全学科	10036	1	○日本国憲法	〔	2	〕		
体育	2	現代英語 文化交流	10155	1	体育実技Ⅰ	〔	①	〕	2単位選択必修	
			10160	1	体育実技ⅡA	〔	①	〕		
			10161	1	体育実技ⅡB	〔	①	〕		
			10030	1	運動と健康	〔	2	〕		
		心理福祉 食物健康科	10155	1	体育実技Ⅰ	〔	①	〕		
			10160	1	体育実技ⅡA	〔	1	〕		
			10161	1	体育実技ⅡB	〔	1	〕		
			10030	1	運動と健康	〔	②	〕		
外国語コミュニケーション	2	現代英語	12144	1	English CommunicationⅠ	①				2科目選択必修
			12145	1	English CommunicationⅡ	①				
		文化交流	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	①				
			10055	1	英語コミュニケーションⅡ	①				
			10056	1	英語コミュニケーションⅢ		①			
			10057	1	英語コミュニケーションⅣ		①			
		心理福祉 食物健康科	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				
			10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
			10058	1	総合英語Ⅰ	1				
			10059	1	総合英語Ⅱ	1				
			10056	1	英語コミュニケーションⅢ		1			
			10057	1	英語コミュニケーションⅣ		1			
			10060	1	総合英語Ⅲ		1			
			10061	1	総合英語Ⅳ		1			
数理、データ活用及び人工知能に 関する科目又は情報機器の操作	2	現代英語 文化交流 心理福祉	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	②				1科目選択必修
			10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	②				
			10046	2	コンピュータ実習		②			
		食物健康科	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	②				1科目選択必修
			10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	②				

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔現代英語学科〕中学校教諭一種（英語）、高等学校教諭一種（英語）

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得単位数			本学開設科目				配置年次および 単位数				備考
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	高等学校 一種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教科に関する専門的 事項	英語学	28	12	24	12131	2	EN20C23K	○英語学概論A			[2]	最低修得単位 中一種20単位以上 高一種20単位以上 (中二種10単位以上)	
					12075	3	EN20C24K	○英語学概論B			[2]		
					12132	2	EN20C25K	○英語学概論C			[2]		
					12016	2	EN11C02E	○Grammar I			[1]		
					12017	2	EN12C02E	○Grammar II			[1]		
					12072	2	EN10C04K	言語習得論			[2]		
	英語文学				12078	3	EN20C26K	○英語文学概論A			[2]		
					12136	2	EN20C27K	○英語文学概論B			[2]		
					12115	3	EN20C28E	英語文学講読			[2]		
					12079	3	EN20C29K	児童文学（英語圏）			[2]		
					12146	1	EN23A01E	○English CommunicationⅢ		①			
					12147	1	EN24A01E	○English CommunicationⅣ		①			
	英語コミュニケーション				12018	2	EN21C02E	○Writing I			[1]		
					12019	2	EN22C02E	○Writing II			[1]		
					12055	4	EN20C03E	政治・経済の英語			[2]		
					12058	4	EN20C04E	文化・社会の英語			[2]		
					12006	2	EN20C02E	Advanced Listening			[1]		
					12014	2	EN20C01E	Advanced Reading			[1]		
					12153	1	EN30C01E	Advanced Discussion			[1]		
					12191	1	EN31C01E	Advanced English Communication I			1		
					12192	1	EN32C01E	Advanced English Communication II			1		
					12193	1	EN43C01E	Advanced English CommunicationⅢ					1
					12194	1	EN44C01E	Advanced English CommunicationⅣ					1
					異文化理解	12071	1	EN20C18K	○異文化理解教育				[2]
	12116					3	EN30C02K	地域研究（英語圏）			[2]		
	12135					2	EN20C30K	児童文化（英語圏）			[2]		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。)				12127	1	EN31C01E	○英語科教育法Ⅰ			[2]	最低修得単位 中一種 8 単位以上、 高一種 4 単位以上 (中二種 2 単位以上)	
					12128	1	EN32C01E	○英語科教育法Ⅱ			[2]		
12129			1	EN33C01E	○英語科教育法Ⅲ			[2]					
12130			1	EN34C01E	○英語科教育法Ⅳ			[2]					

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

中一種：文化交流学科

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔文化交流学科〕中学校教諭一種（社会）

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および 単位数				備考			
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次				
教科に関する専門的 事項	日本史・外国史	28	12	14206	2	CC20C13K	○日本史A		〔 2 〕				最低修得単位 中一種20単位以上 (中二種10単位以上)		
				14207	2	CC20C14K	○日本史B		〔 2 〕						
				14147	2	CC20C11K	○西洋史		〔 2 〕						
				14142	2	CC20C12K	○東洋史		〔 2 〕						
				14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化			〔 2 〕					
				14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ		〔 2 〕						
				14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ		〔 2 〕						
				14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化A			〔 2 〕					
				14219	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化B			〔 2 〕					
				14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A			〔 2 〕					
				14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B			〔 2 〕					
				14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化			〔 2 〕					
	地理学（地誌を含む。）			14191	2	CC21B01K	○人文地理学Ⅰ			〔2〕					
				14192	2	CC22B01K	○人文地理学Ⅱ			〔2〕					
				14246	1	CC21C03K	○自然地理学Ⅰ			〔 2 〕					
				14247	1	CC22C03K	○自然地理学Ⅱ			〔 2 〕					
				14248	1	CC20C10K	○地誌			〔 2 〕					
	「法律学、政治学」			14249	1	CC20C45K	○法学			〔 2 〕					
				14250	1	CC20C46K	○生活と政治			〔 2 〕					
				14153	4	CC30C06K	国際関係論				〔 2 〕				
	「社会学、経済学」			14188	3	CC20B01K	○社会学A			〔2〕					
				14189	3	CC20B02K	○社会学B			〔2〕					
				14251	1	CC20C47K	○生活と国際経済			〔 2 〕					
				14252	1	CC20C48K	女性学			〔 2 〕					
	「哲学、倫理学、宗教学」			14164	3	CC30C36K	アジアの宗教					〔 2 〕			
				10111	2	LA10C08K	○倫理学			〔 2 〕					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)				50093	1	EX31C02K	○社会科教育法Ⅰ				2				最低修得単位 中一種8単位以上 (中二種2単位以上)
				50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ				2				
				50095	1	EX31C03K	○社会科・地理歴史科教育法Ⅰ				2				
				50096	1	EX32C04K	○社会科・地理歴史科教育法Ⅱ				2				

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔文化交流学科〕高等学校教諭一種（地理歴史）

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得 単位数	本学開設科目				配置年次および 単位数				備考	
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
教科に関する専門的事項	日本史	24	14206	2	CC20C13K	○日本史A			[2]		最低修得単位 20単位以上	
			14207	2	CC20C14K	○日本史B			[2]			
			14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化			[2]			
			14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ			[2]			
			14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ			[2]			
	外国史		14147	2	CC20C11K	○西洋史			[2]			
			14142	2	CC20C12K	○東洋史			[2]			
			14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化A			[2]			
			14219	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化B			[2]			
			14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A			[2]			
			14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B			[2]			
			14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化			[2]			
	人文地理学・自然地理学		14191	2	CC21B01K	○人文地理学Ⅰ			[2]			
			14192	2	CC22B01K	○人文地理学Ⅱ			[2]			
			14246	1	CC21C03K	○自然地理学Ⅰ			[2]			
			14247	1	CC22C03K	○自然地理学Ⅱ			[2]			
	地誌		14128	1	CC20C10K	○地誌			[2]			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		50095	1	EX31C03K	○社会科・地理歴史科教育法Ⅰ			2		最低修得単位 4単位以上		
		50096	1	EX32C03K	○社会科・地理歴史科教育法Ⅱ			2				

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

中一種：心理福祉学科

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕中学校教諭一種（社会）

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および 単位数				備考		
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次			
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	28	12	21168	2	WP20C55K	○日本史A			[2]		最低修得単位 中一種20単位以上 (中二種10単位以上)		
				21169	2	WP20C56K	○日本史B			[2]				
				21171	2	WP20C57K	○西洋史			[2]				
				21170	2	WP20C58K	○東洋史			[2]				
				21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A			[2]				
				21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B			[2]				
	地理学（地誌を含む。）			21172	1	WP21C13K	○人文地理学Ⅰ			[2]				
				21173	1	WP22C15K	○人文地理学Ⅱ			[2]				
				21174	1	WP21C14K	○自然地理学Ⅰ			[2]				
				21175	1	WP22C16K	○自然地理学Ⅱ			[2]				
				21176	1	WP20C50K	○地誌			[2]				
				「法律学、政治学」	20014	1	WP10C17K	○法学			[2]			
	20015				1	WP10C23K	○生活と政治			[2]				
	20006				1	WP10C21K	人権と教育			[2]				
	21157				2	WP20C48K	刑事司法と福祉A			[2]				
	21158				2	WP20C49K	刑事司法と福祉B			[2]				
	「社会学、経済学」				20013	1	WP10C16K	○社会学			[2]			
				20012	1	WP10C22K	○生活と国際経済			[2]				
				20018	1	WP10C24K	女性学			[2]				
				21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ			[2]				
				21061	1	WP20C26K	社会病理学			[2]				
				21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A			[2]				
	「哲学、倫理学、宗教学」			20004	1	WP10C20K	○人間と哲学			[2]				
				20003	2	WP10C19K	○生命と倫理			[2]				
				21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A			[2]				
				21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B			[2]				
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)						50093	1	EX31C02K	○社会科教育法Ⅰ			2	
						50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ			2		
						50097	1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法Ⅰ			2		
						50098	1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕高等学校教諭一種（公民）

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得 単位数	本学開設科目				配置年次および 単位数				備考	
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
教科に関する専門的 事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	24	20014	1	WP10C17K	○法学	〔2〕				最低修得単位 20単位以上	
			20015	1	WP10C23K	○生活と政治	〔2〕					
			20006	1	WP10C21K	人権と教育	〔2〕					
			21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A		〔 2 〕				
			21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B		〔 2 〕				
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」		20013	1	WP10C16K	○社会学	〔2〕					
			20012	1	WP10C22K	○生活と国際経済	〔2〕					
			20018	1	WP10C24K	女性学	〔2〕					
			21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	〔2〕					
			21061	1	WP20C26K	社会病理学		〔 2 〕				
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A		〔 2 〕				
			20004	1	WP10C20K	○人間と哲学	〔2〕					
			20003	2	WP10C19K	○生命と倫理	〔2〕					
			21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	〔2〕					
			21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	〔2〕					
	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		21125	1	WP10C31K	発達心理学	〔2〕					
50097		1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法Ⅰ			2			最低修得単位 4単位以上		
50098		1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法Ⅱ			2					

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

高一種：心理福祉学科

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕高等学校教諭一種（福祉）

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得 単位数	本学開設科目				配置年次および 単位数				備考			
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次				
教科に関する専門的 事項	社会福祉学 (職業指導を含む。)	24	21165	1	WP11C09K	○福祉教育論Ⅰ	[2]				最低修得単位 20単位以上			
			21166	1	WP12C07K	○福祉教育論Ⅱ	[2]							
			21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ		[2]						
			21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ		[2]						
			21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援		[2]						
			21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B		[2]						
	高齢者福祉・児童福祉・障 害者福祉		21139	2	WP11C06K	○児童・家庭福祉Ⅰ		[2]						
			21140	2	WP12C04K	○児童・家庭福祉Ⅱ		[2]						
			21141	2	WP11C07K	○障害者福祉Ⅰ		[2]						
			21142	2	WP12C05K	○障害者福祉Ⅱ		[2]						
			21143	2	WP11C08K	○高齢者福祉Ⅰ		[2]						
			21144	2	WP12C06K	○高齢者福祉Ⅱ		[2]						
	社会福祉援助技術		21113	2	WP10C38K	○ソーシャルワークの基盤と専門職	2							
			21114	2	WP10C39K	○ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	2							
			21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		[2]						
			21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		[2]						
			21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法 (専門)Ⅰ		[2]						
			21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法 (専門)Ⅱ		[2]						
	介護理論・介護技術		21037	1	WP20C13K	○介護概論		[2]						
			21078	1	WP20C14E	○介護技術		2						
	社会福祉総合実習（社会福 祉援助実習及び社会福祉施 設等における介護実習を含 む。）		21023	3	WP10C40E	○ソーシャルワーク演習		[2]						
			21024	3	WP21C17E	○ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ		[2]						
			21119	2	WP21C15E	○ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		[2]						
			21120	2	WP22C17E	○ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		[2]						
			21067	3	WP21C16J	○ソーシャルワーク実習Ⅰ		[2]						
			21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ		[2]						
			21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ			[2]					
			21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			[2]					
			21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ			[2]					
			21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ			[6]					
			人体構造に関する理解・日 常生活行動に関する理解	20017	1	WP10C18K	○高齢者生活論		[2]					
				21049	2	WP20C19K	○障害者・障害児心理学			[2]				
	21050			1	WP20C20K	○老年心理学			[2]					
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)			50099	1	EX31C05K	○福祉科教育法Ⅰ			2			最低修得単位 4単位以上	
				50100	1	EX32C05K	○福祉科教育法Ⅱ			2				

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

高一種免（福祉）単独で取得希望することは認めないので注意すること。

中一種免（社会）と高一種免（公民）を合わせて取得希望すること。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔食物健康科学科〕 中学校教諭一種（家庭）、高等学校教諭一種（家庭）

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得単位数			本学開設科目				配置年次および 単位数				備考		
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	高等学校 一種	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次			
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	28	12	24	20010	1	FS10C09K	○生活経営論	[2]				最低修得単位 中一種20単位以上 高一種20単位以上 (中二種10単位以上)		
	20011				1	FS10C10K	○生活経済学	[2]							
	被服学（被服実習を含む。）				22107	2	FS30A01K	○社会福祉概論			②				
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）				22156	1	FS10C06K	○衣服環境論	[2]						
					22128	2	FS21A02K	○ライフステージ栄養学Ⅰ		②					
					22129	1	FS22A03K	○ライフステージ栄養学Ⅱ		②					
					22218	1	FS20A07K	○基礎栄養学		②					
					22201	2	FS30A04J	○栄養学実験			①				
					22102	1	FS11A02K	○食品学Ⅰ	②						
					22219	1	FS22A09K	○食品学Ⅱ (食品加工学を含む)		②					
					22120	2	FS30A04J	○食品加工学実習			①				
					22220	1	FS40C03K	食品機能学				2			
					22184	1	FS10A05J	○食品学実験	①						
					22199	1	FS11A05J	○調理学実習Ⅰ	①						
					22200	1	FS12A02J	○調理学実習Ⅱ	①						
					22126	3	FS10A07K	○調理学	②						
					22127	3	FS30A03J	○調理学実験			①				
					22121	1	FS10C02K	食文化論	[2]						
					22118	1	FS10C01K	食品化学	[2]						
	住居学				22157	1	FS10C07K	○居住環境論	[2]						
	保育学				22154	1	FS10C04K	○保育学	[2]						
					22155	1	FS10C05K	児童臨床学	[2]						
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)				50011	1	EX21C01K	○家庭科教育法Ⅰ		2			中免のみ 最低修得単位 中一種8単位以上 高一種4単位以上 (中二種2単位以上)		
					50012	1	EX22C01K	○家庭科教育法Ⅱ		2					
					50013	1	EX33C01K	○家庭科教育法Ⅲ			2				
					50014	1	EX34C01K	○家庭科教育法Ⅳ			2				

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数			本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	中学校一種	中学校二種	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	6	10	50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）				50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）				50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	10	6	8	50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			中免のみ
	・総合的な学習の時間の指導法*1				50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
	・特別活動の指導法				50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
	・教育の方法及び技術				50017	5	EX20C06K	○教育方法論（ICT活用含む）		2			
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
	・生徒指導の理論及び方法				50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				50020	2	EX40C01K	学校カウンセリング実践				2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				50092	1	EX30C20K	○進路指導論			1		
教育の実践に関する科目	・教育実習	5	5	3	50025	1	EX41C01J	○中等教育実習Ⅰ（事前事後指導1単位を含む）				3	中一種免必修
					50026	1	EX42C01J	中等教育実習Ⅱ				2	
	・教職実践演習*2	2	2	2	50070	1	EX40C02E	○教職実践演習（中学校・高等学校）				2	

* 1 高一種免における免許法施行規則上の科目区分等の名称は「総合的な探究の時間の指導法」。

* 2 「教職実践演習（中学校・高等学校）」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

4. 大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目	最低修得単位数			科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	配置年次および単位数				備考
	中学校一種	中学校二種	高等学校一種					1年次	2年次	3年次	4年次	
	4	4	12						〔2〕			
				50031	2	EX20C08J	介護等体験（事前事後指導含む）					中一種免必修

※「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

(6) 養護教諭

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目 コード	科目 明細	該当授業科目	配置年次				
					1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	[	2	]		
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	[	①	]		
		10160	1	体育実技ⅡA	[	1	]		
		10161	1	体育実技ⅡB	[	1	]		
		10030	1	○運動と健康	[	②	]		
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	①				
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	①				
		10058	1	総合英語Ⅰ	①				
		10059	1	総合英語Ⅱ	①				
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目又は 情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	②			1科目選択必修	
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	②				

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等			本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			
			50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
			50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		50017	5	EX20C06K	○教育方法論(ICT活用含む)		2			
	・生徒指導の理論及び方法		50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
教育実践に関する科目	・養護実習	5	50069	1	EX40C05J	○養護実習(事前事後指導1単位を含む)				5	
	・教職実践演習	2	50072	1	EX40C06E	○教職実践演習(養護)				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※修得した単位のあふれは、大学が独自に設定する科目に算入する。

※「教職実践演習(養護)」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

3. 養護に関する科目

免許法施行規則上の科目区分等		本学開設科目				配置年次および 単位数				備考
各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	31115	2	NU20A06K	○疫学		②			予防医学を含む
		31179	1	NU30C01K	保健統計			2		
		31112	3	NU20A26K	○保健医療福祉行政論		②			
学校保健	2	31227	1	NU20A35K	○公衆衛生看護学概論		①			食品学を含む
		31204	1	NU20A21E	○学校保健		1			
		31193	2	NU20A14K	○小児看護学A		①			
養護概説	2	50073	1	EX40C07K	○養護概説			2		
健康相談活動の理論・健康相談 活動の方法	2	31202	2	NU20C03K	○公衆衛生看護活動展開論A		1			
		31180	3	NU30C02E	公衆衛生看護活動展開論B			2		
		31205	2	NU30C05K	○学校健康相談			1		
		31191	2	NU10A17E	○看護とコミュニケーション	①				
栄養学 (食品学を含む。)	2	31104	3	NU10A04K	○栄養・代謝学	①				
		31103	1	NU10A03K	○生化学	①				
		31213	1	NU10C03E	食物健康演習	1				
解剖学・生理学	2	31101	3	NU10A01K	○人体構造機能学A	②				
		31186	2	NU10A02K	○人体構造機能学B	②				
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	31108	1	NU20A03K	○薬理学		②			
		31106	3	NU10A05K	○感染と防御	①				
精神保健	2	31220	1	NU20A30K	○精神保健		①			
		31195	2	NU20A16K	○精神看護学A		①			
		31200	2	NU30A05E	○精神看護学B			②		
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	31218	1	NU10A15K	○看護学概論		②			救急処置を含む 臨床実習 臨床実習 臨床実習
		31199	2	NU30A03E	○小児看護学B			②		
		31214	1	NU20A23K	○疾病治療論 (小児)		①			
		31215	1	NU20A24K	○疾病治療論 (母性)		①			
		31216	1	NU20A25K	○疾病治療論 (精神)		①			
		31230	1	NU30A13E	○成熟期療養支援看護学B			②		
		31157	1	NU30A09J	○小児看護学実習			②		
		31155	2	NU30A07J	○成熟期療養支援看護学実習			④		
		31206	2	NU40C04J	公衆衛生看護学実習B				4	臨床実習

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

4. 大学が独自に設定する科目

「養護に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

(7) 栄養教諭

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目 コード	科目 明細	該当授業科目	配置年次および 単位数				
					1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔	2	〕		
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔	①	〕	2 単位選択必修	
		10160	1	体育実技ⅡA	〔	1	〕		
		10161	1	体育実技ⅡB	〔	1	〕		
		10030	1	運動と健康	〔	②	〕		
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				2 科目選択必修
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語Ⅰ	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10056	1	英語コミュニケーションⅢ		1			
		10057	1	英語コミュニケーションⅣ		1			
		10060	1	総合英語Ⅲ		1			
		10061	1	総合英語Ⅳ		1			
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目又は 情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	②				1 科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	②				

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 栄養に係る教育に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	配置年次および単位数				備考
						1年次	2年次	3年次	4年次	
・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	22167	1	FS31C02K	○学校栄養指導論Ⅰ			2		
・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項										
・食生活に関する歴史的及び文化的事項		22168	1	FS32C02K	○学校栄養指導論Ⅱ			2		
・食に関する指導の方法に関する事項										

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等			本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及び	・道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			
	・道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容		50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		50017	5	EX20C06K	○教育方法論（ICT活用含む）		2			
	・生徒指導の理論及び方法		50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
関する実践科目	・栄養教育実習	2	50056	1	EX40C03J	○栄養教育実習（事前事後指導1単位を含む）				2	
	・教職実践演習	2	50071	1	EX40C04E	○教職実践演習（栄養）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目

※「教職実践演習（栄養）」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

(8)「介護等体験」について

中学校・小学校教諭の免許状を取得する場合、介護等の体験を義務づける法律、いわゆる「介護等体験特例法」が1997（平成9）年に公布された。それにより、1998（平成10）年4月以降の大学入学者等から、7日間以上の介護等体験が義務づけられている。

この体験をとおして、①人間の尊さや人権を理解する ②一人一人が違った個性と能力を有することを実感し、様々な価値観があることを理解する ③諸施設やそこで働いている人々を理解する、ことを学ぶことになっている。

本学の位置する茨城県でも、介護等体験について関係各機関が協議を重ね、該当者は福祉施設で5日間（以上）、特別支援学校で2日間の介護、介助、交流等の体験を行うことになっている。近年一部の学生の心構えや態度に問題があるとの指摘が全国的に受入れ施設側からなされており、本学では事前指導の徹底をはかっている。なお、介護等体験中の学生の態度に著しい問題があり、施設利用者に不利益をあたえるおそれがある場合には、該当学生の介護等体験を中止することもあり得る。

本学では、上記のとおり「介護等体験」は授業（2単位）として開講している。中学校及び小学校一種免許状取得希望の学生は、必ず履修すること。

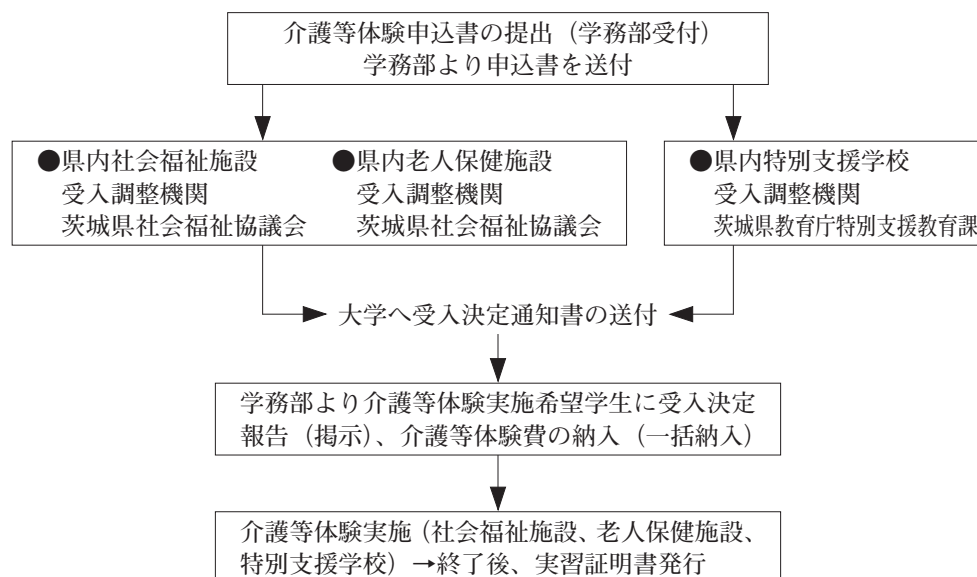
※介護等体験の履修登録については「履修登録の手引き」を確認すること。

介護等体験を実施するにあたって、様々な調整や準備が必要となるので、学生は以下の留意事項（手続きの流れ）を十分理解すること。

1) 事前指導

介護等体験実施にあたっては、授業での事前指導を必ず受けること。事前指導を欠席した場合は、介護等体験の実施ができなくなる。

2) 介護等体験実施のための手続き



手続きの詳細については、IC-UNIPAにて掲示するので希望者はよく確認すること。

3) 実施期間及び費用

実施期間（日数）は以下のとおりだが、実施日は各受入れ施設が決定するので、必ずしも希望どおりになるとは限らない。費用は、大学でまとめて、社会福祉協議会へ振り込む。

- ・ 県内社会福祉施設 5日間（実施時期は10～12月、1～2月）
- ・ 県内老人保健施設 介護等体験費、8,000円
- ・ 県内特別支援学校 2日間（実施時期は6月～翌年2月）
 手数料（証明書代）400円

※その他、実習施設等への交通費、昼食代は自己負担となる。

4) 介護等体験の証明書発行とその保管について

介護等体験を実施した施設（学校）では、終了後介護等体験証明書を発行する。その証明書は、教員免許状申請時（卒業年次）に使用するので、介護等体験実施後ただちに学務部に提出し、コピーを本人が保管しておくこと。証明書を紛失すると再発行されない場合もあるので注意すること。

(9) 教育実習に関わる履修規程

教育実習は、大学が実習校（施設）に対してお願いし、実施可能となる特殊な科目である。実習の受講について学生の希望は尊重されるが、権利ではない。

したがって、たとえ、下記の履修条件を満たしている場合でも、学科会および本学教職課程委員会が、実習生として適性に欠けると判断する場合は、実習を許可しない場合や実習途中でも実習を中止させる場合がある。

なお、初等教育実習Ⅰ・Ⅱ、中等教育実習Ⅰ・Ⅱを履修しようとする者は、下記の履修条件に加え、教職課程委員会が実施する「教職課程一般教養試験」を受験し、教育実習を行う年度当初までにこれに合格しておくこと。

また、教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であることが求められる。

教職課程一般教養試験について

- ※1 この試験は毎年度末（2月上旬～中旬）に実施する。
- ※2 試験の内容（範囲）や試験日等の詳細については、毎年6月上旬に学務部掲示版に掲示する。
- ※3 この試験は1年次末に受験し、合格しておくことが望ましい。不合格となり、さらに教員免許状の取得を目指す者は、次年度以降に再受験することができる。

＜初等教育実習Ⅰ・Ⅱを行うための履修条件＞

「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」（小学校）を履修しようとする者は、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。かつ、実習を行う年度の当初（通常は3年次4月）までに、下記の科目の単位を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち2分の1（62単位）以上。
- ② 教育原理、教職論、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道德教育の理論と方法、特別活動の理論と方法、教育方法論（ICT活用含む）、計16単位のうち14単位以上。
- ③ 小学校各教科研究（小学校英語教育A及びB及び書写を含む）及び、各教科教育法（外国語（英

語) 教育法を含む) のうち30単位以上。

④ 音楽A、音楽B、美術A、美術B、児童体育A、計 5 単位。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜特別支援学校教諭一種免許状取得課程の履修要件＞

特支一種免許取得課程を履修する場合、特支免課程が開始される年度の当初（通常は3年次の4月）までに、下記の要件を満たしていなければならない。ただし、特支免課程の履修は、一定の人数制限を設けるため、要件を満たしている場合であっても、課程の履修が認められない場合がある。

- ① 「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」(小学校)の履修条件を満たしていること。
- ② 「特別支援教育原論」の単位を修得していること。

＜特別支援教育実習を行うための履修条件＞

「特別支援教育実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は4年次4月）までに、下記の科目の単位を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (93単位) 以上。
- ② 初等教育実習Ⅰ・Ⅱ、計 5 単位。
- ③ 発達障害と教育、知的障害と教育Ⅰ、知的障害と教育Ⅱ、知的障害の心理・生理・病理、肢体不自由と教育、肢体不自由の心理・生理・病理、病弱と教育、病弱の心理・生理・病理、重度重複障害と教育、言語の発達と障害、視覚・聴覚障害と教育、計22単位のうち14単位以上。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜初等教育実習Ⅲを行うための履修条件＞

「初等教育実習Ⅲ」(幼稚園)を履修しようとする者は、実習を行う年度の当初（通常は2年次4月）までに、下記の科目の単位を修得していなければならない。

教育原理、教職論、保育の心理学、幼児教育課程論、保育原理、子どもの理解と援助、保育者論、保育の計画と評価、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、音楽A、音楽B、美術A、美術B、合計23単位のうち14単位以上。

※GPAは問わない。

＜初等教育実習Ⅳを行うための履修条件＞

教育実習を行う前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜中等教育実習を行うための履修条件＞

「中等教育実習Ⅰ・Ⅱ」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は4年次4月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

【免許状の教科(領域)が英語以外の場合】

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (93単位。食物健康科学科は96単位) 以上。
- ② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道德教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論 (ICT活用含む)、生徒指導

論、進路指導論、教育相談の基礎、計24単位のうち18単位以上。

③ 各科教育法

④ 教科及び教科の指導法に関する科目（中高共通の科目）20単位以上（各科教育法は含めない）。

【免許状の教科（領域）が英語の場合】

① 卒業に必要な単位のうち4分の3（93単位）以上。

② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道德教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論（ICT活用含む）、生徒指導論、進路指導論、教育相談の基礎、計24単位のうち18単位以上。

③ 英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ、計8単位。

④ ③の4科目と英語学概論A、英語学概論B、英語学概論C、GrammarⅠ、GrammarⅡ、英語文学概論A、英語文学概論B、English CommunicationⅢ、English CommunicationⅣ、WritingⅠ、WritingⅡ、異文化理解教育、計16科目中12科目以上。

※留学等の理由により、履修することができなかった科目がある場合は、10科目以上の単位を修得していれば、『中等教育実習』の履修を認める場合がある。

さらに下記の条件を満たしていなければならない。

「③および④の16科目のうち、履修した科目のGPAが2.5以上であること。」

「中等教育実習を行うために必要な英語力を有していること。教育実習を行う前年度末の定められた期日までに、下記の条件のうちいずれかを必ず満たすこと。」

(1) 英語力診断テスト（520点以上）

(2) TOEIC Listening & Reading Test（470点以上）

(3) TOEFL ITP（455点以上）

※いずれも大学入学後に受験した結果のみ有効とする。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。（免許状の教科に関わらず共通の条件）

＜**養護実習を行うための履修条件**＞

「養護実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は4年次4月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

① 卒業に必要な単位のうち4分の3（96単位）以上。

② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道德教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論（ICT活用含む）、生徒指導論、教育相談の基礎、計23単位のうち18単位以上。

③ 公衆衛生看護学概論、学校保健、小児看護学A、養護概説、計5単位。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜**栄養教育実習を行うための履修条件**＞

「栄養教育実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は4年次4月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

① 卒業に必要な単位のうち4分の3（96単位）以上。

② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道德教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論（ICT活用含む）、生徒指導論、教育相談の基礎、計23単位のうち18単位以上。

③ 学校栄養指導論Ⅰ、学校栄養指導論Ⅱ、計 4 単位。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

○教育実習の実習年次、期間と場所

「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」は、3年次に、日立市近辺の小学校（実習協力校）において、4週間にわたって行う。実習Ⅰには、事前・事後指導1単位分が含まれ、一日観察実習も行う。

「初等教育実習Ⅲ」は、2年次前期に大学附属認定こども園で計1週間にわたって行う。「初等教育実習Ⅳ」は、2年次2月に大学附属認定こども園や実習協力園で計3週間にわたって行う。実習園を学生自身が探すこともできる。実習Ⅲには、事前事後指導1単位分が含まれ、一日観察実習も行う。

「特別支援教育実習」は、4年次に特別支援学校において2週間にわたって行う。実習には事前事後指導1単位分が含まれる。

「中等教育実習Ⅰ・Ⅱ」は、4年次に、原則として出身中学校・高等学校において、15日間にわたって行う。実習Ⅰには事前・事後指導1単位分が含まれる。

「養護実習」は4年次に、原則として日立市内の小学校（実習協力校）または出身小学校・中学校において、15日間にわたって行う。実習には事前事後指導1単位分が含まれる。

「栄養教育実習」は4年次に、小・中学校において5日間にわたって行う。なお、4年次6月に事前準備として一日観察実習を行う。

(10) その他

< 1 > 資格課程費および教育実習費

教育職員免許状を取得しようとする者は教育実習の履修登録をする際、以下の表の通り、資格課程費および教育実習費を納入しなければならない。

資格課程費

学科	取得予定の免許	金額	納入者	納入年次	納期
現代英語学科	中一種免（英語）	10,000	履修者	2 年次	5 月下旬
	高一種免（英語）	10,000	履修者		
児童教育学科 児童教育コース	小一種免	15,000	履修者	3 年次	
	特支一種免	10,000	履修者		
児童教育学科 幼児保育コース	幼一種免	10,000	履修者	2 年次	
文化交流学科	中一種免（社会）	10,000	履修者	2 年次	
	高一種免（地歴）	10,000	履修者		
心理福祉学科	中一種免（社会）	10,000	履修者		
	高一種免（公民）	10,000	履修者		
	高一種免（福祉）	10,000	履修者		
食物健康科学科	中一種免（家庭）	10,000	履修者		
	高一種免（家庭）	10,000	履修者		
	栄教一種免	10,000	履修者		
看護学科	養教一種免	10,000	履修者		

- ・資格課程費は、取得予定の免許状の種類ごとに納入することになる。たとえば、中一種免（社会）と高一種免（公民）および高一種免（福祉）を取得予定の学生は、30,000円を納入することになる。
- ・2年次以降に受講可となる教職課程科目は、資格課程費を納入しなければ履修できないので注意すること。
- ・なお、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」を除く教育実習には教育実習費（下表参照）が必要となる。

教育実習費

種別	金額(予定)	納入者	納入年度	納期
特別支援教育実習	10,000	履修者	履修登録年度	別途指示
初等教育実習Ⅲ	4,000	履修者	履修登録年度	5月下旬
初等教育実習Ⅳ	12,000	履修者	履修登録年度	別途指示
中等教育実習Ⅰ・Ⅱ	15,000	履修者	履修登録年度	実習時
栄養教育実習	5,000	履修者	履修登録年度	7月中旬
養護実習	15,000	履修者	履修登録年度	別途指示

- ・上記教育実習費は予定額である。詳細については実習前に指示する。

＜２＞免許状授与申請の手続

教員免許状は、授与権者である都道府県教育委員会が発行するが、要件を満たしている者は本学を通して申請の手続きを行う。

A. 幼一種免、小一種免、特支一種免、中一種免、高一種免、養教一種免

- 1) 本学から茨城県教育委員会への教員免許状一括申請（所属学科課程認定教科免許状）は、教職課程認定上の必修科目を含めた単位を修得した場合に限られる。
 - 2) 教育職員免許状授与申請にあたっては、４年次11月下旬頃に説明会を実施するので必ず出席して提出書類等を確認し手続きを行うこと。詳細はIC-UNIPAで連絡する。
- ※免許状は学位授与式当日に受取ることになる。

B. 栄教一種免

- 1) 本学から茨城県教育委員会への教員免許状申請（所属学科課程認定教科免許状）は、教職課程認定上の必修科目を含めた単位を修得した場合に限られる。
 - 2) 教育職員免許状授与申請にあたっては、４年次３月に説明会を実施するので必ず出席して提出書類等を確認し手続きを行うこと。詳細はIC-UNIPAで連絡する。
- ※上記Aの一括申請とは申請時期や提出書類等が異なるため注意すること。
- ※栄養士免許証の写しが必要になる。
- ※免許状は卒業後４月以降に受取ることになる。
- ※卒業の翌年度に栄養教諭として採用が確定している場合、個人で免許状を申請するので、速やかに学務部に申し出ること。

2. 学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修

司書教諭は、学校図書館の専門的職務を担当する者であり、学校図書館法によって小学校、中学校及び高等学校に置くように規定されている。学校図書館法には、司書教諭になるためには学校図書館司書教諭講習を修了する必要があると定められている。本学の児童教育学科には、資格の取得を希望する者のために、学校図書館司書教諭講習規程に定められた科目が開設されている。

＜1＞ 資格取得の要件

- 1) 教育職員免許状（幼稚園教諭、栄養教諭、養護教諭は除く）を有する者であること。

したがって教職課程科目と併せて履修しなければならない。

- 2) 大学において、この資格を取得するのに必要な科目の単位を修得していること。

この単位は司書教諭講習会を受講することによって修得するものであるが、本学に開講されている科目の単位の修得により、この要件をみたすことができる。

- 3) 必修科目とその単位数

必修科目は5科目10単位である。

- ① 児童教育学科児童教育コース学生の場合、児童教育学科資格科目Ⅱにある以下の科目を履修すること。

科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次
13531	1	PD30C33K	学校経営と学校図書館			〔 2 〕	
13532	1	PD30C34K	学校図書館メディアの構成			〔 2 〕	
13533	1	PD30C35K	学習指導と学校図書館			〔 2 〕	
13534	1	PD30C36K	読書と豊かな人間性			〔 2 〕	
13535	1	PD30C37K	情報メディアの活用			〔 2 〕	

- ② 中等教職課程履修者の場合

原則として3年次からの履修となる。

このため、児童教育学科資格科目Ⅱと同様の科目が、「卒業要件外の科目」に配置されているので、その科目コードで登録すること。

科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次
50050	1	EX30C13K	学校経営と学校図書館			〔 2 〕	
50051	1	EX30C14K	学校図書館メディアの構成			〔 2 〕	
50052	1	EX30C15K	学習指導と学校図書館			〔 2 〕	
50053	1	EX30C16K	読書と豊かな人間性			〔 2 〕	
50054	1	EX20C17K	情報メディアの活用		〔 2 〕		

＜ 2 ＞ 学校図書館司書教諭資格申請

申請は以下のとおり行う。単位の修得状況により申請時期が異なるので注意すること。

1) 対象

＜前年度終了（3年次修了）までに、以下の条件を全て満たしている者＞

- ① 3年次修了までに、学校図書館司書教諭に関する科目全てを修得済の者
- ② 児童教育学科児童教育コースの学生は初等教育実習Ⅰ・Ⅱの単位を修得済の者、もしくは4年次で教育実習参加が確実な者。中等教職課程履修者の場合は4年次での教育実習参加が確実な者
- ③ 3年次修了までに、卒業に必要な単位のうち62単位以上を修得済の者

※上記の条件を一つでも満たせない場合には学校図書館司書教諭資格申請を取り消すものとする。

※申請は4年次の前期に行う。修了証書は卒業した年の3月頃までに郵送される。ただし、教育職員免許状を取得できなかった場合には資格として認められない。

＜4年次修了までに、以下の条件を全て満たす者＞

- ① 4年次修了までに、学校図書館司書教諭に関する科目全てを修得見込みの者
- ② 4年次修了までに、教育職員免許状取得が可能な者で、教育職員免許状一括申請者（または、教育職員免許状を既に取得している者）。

※上記の条件を一つでも満たせない場合には学校図書館司書教諭資格申請を取り消すものとする。

※4年次後期に申請についての説明会を行い、申請は卒業後に行う。修了証書は卒業後司書教諭資格および教育職員免許状を取得した翌年の3月頃までに郵送される。

2) 学校図書館司書教諭資格申請ガイダンス

申請手続きに関するガイダンスを実施する。具体的な手続き方法や提出すべき書類についてはガイダンス時に指示する。日時・場所については掲示で告知する。

3. 社会福祉主事任用資格に関する科目の履修 〔文学部・生活科学部・看護学部・経営学部・未来教養学環〕

社会福祉主事任用資格に関する科目

社会福祉主事任用資格は公務員試験に合格し、市町村の福祉サービス担当課や福祉事務所に配属になり、福祉職として仕事をする際に名乗ることのできる資格である。

しかし、実際には民間の社会福祉法人等で就職の採用条件とされる場合もあり、福祉の職場に就職したいと考えている人は取得しておいた方がよい。

この資格は右記の厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を3科目以上（ただし、福祉に関わる専門科目を1科目以上選択するようにしてほしい）修得し、本学を卒業すると取得できる。なお、社会福祉主事任用資格は、社会福祉士試験受験資格と異なる。混同しないよう注意すること。

＜文学部・生活科学部・看護学部・経営学部・未来教養学環 2025(令和7)年度以降入学生＞

厚生労働大臣の 指定する社会福祉に 関する科目	本学指定授業科目			配置 年次	単位数	履修可能学科								備考
	科目 コード	科目 明細	科目名			E	P	C	W	F	N	M	L	
社会福祉概論	10162	1	社会福祉学	1～4	2	○	○	○	×	○	○	○	○	
	13118	1	社会福祉	2	2	×	○	×	×	×	×	×	×	
	21101	2	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	×	×	×	○	×	×	×	×	2科目修得して 1科目とみなす
	21102	2	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
	22107	2	社会福祉概論	3	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
社会福祉事業史	21115	1	社会福祉発達史A	2～4	2	○	○	○	○	○	○	×	×	2科目修得して 1科目とみなす
	21116	1	社会福祉発達史B	2～4	2	○	○	○	○	○	○	×	×	
社会福祉援助技術論	21113	2	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2	×	×	×	○	×	×	×	×	6科目修得して 1科目とみなす
	21114	2	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
	21135	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2～3	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
	21136	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2～3	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
	21137	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2～3	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
	21138	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2～3	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
社会福祉調査論	21076	2	社会福祉調査の基礎	2～4	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
社会福祉施設経営論	21149	2	福祉サービスの組織と経営A	2～4	2	×	×	×	○	×	×	×	×	2科目修得して 1科目とみなす
	21150	2	福祉サービスの組織と経営B	2～4	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
社会保障論	21147	2	社会保障Ⅰ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して 1科目とみなす
	21148	2	社会保障Ⅱ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	31111	2	社会保障制度論	1	2	×	×	×	×	×	○	×	×	
公的扶助論	21029	2	貧困に対する支援	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
児童福祉論	13117	3	子ども家庭福祉	3	2	×	○	×	×	×	×	×	×	
	21139	2	児童・家庭福祉Ⅰ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して 2科目とみなす
	21140	2	児童・家庭福祉Ⅱ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
家庭福祉論	21139	2	児童・家庭福祉Ⅰ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して 2科目とみなす
	21140	2	児童・家庭福祉Ⅱ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
保育理論	13114	2	保育原理	1	2	×	○	×	×	×	×	×	×	
	22154	1	保育学	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
老人福祉論	21143	2	高齢者福祉Ⅰ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して 1科目とみなす
	21144	2	高齢者福祉Ⅱ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域福祉論	21145	2	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して 1科目とみなす
	21146	2	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
法学	14249	1	法学	2～4	2	×	×	○	×	×	×	×	×	
	20014	1	法学	1～2	2	○	○	×	○	×	○	×	○	
経済学	10128	2	経済学	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
心理学	10113	2	心理学	1～4	2	○	○	○	×	○	○	○	○	
	21099	1	心理学概論Ⅰ	1	2	×	×	×	○	×	×	×	×	2科目修得して 1科目とみなす
	21100	1	心理学概論Ⅱ	1	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
社会学	14188	3	社会学A	2～3	2	○	○	○	×	×	×	×	×	2科目修得して 1科目とみなす
	14189	3	社会学B	2～3	2	○	○	○	×	×	×	×	×	
	20013	1	社会学	1～2	2	×	×	×	○	○	○	×	○	
教育学	10114	2	教育学	1～4	2	○	×	○	○	○	○	○	○	
	13002	2	教育原理	1	2	○	○	○	○	○	×	○	×	
	50001	2	教育原理	2	2	○	×	○	○	○	○	×	×	
倫理学	10111	2	倫理学	1～4	2	○	×	○	○	○	○	○	○	
公衆衛生学	22104	1	公衆衛生学Ⅰ	2	2	×	×	×	×	○	×	×	×	2科目修得して 1科目とみなす
	22106	2	公衆衛生学Ⅱ	2	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	31178	1	公衆衛生学	1	1	×	×	×	×	×	○	×	×	
医学一般	21109	1	人体の構造と機能及び疾病	2～4	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	21178	1	医学概論	2～4	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
	22182	2	医学一般Ⅰ	2	2	×	×	×	×	○	×	×	×	2科目修得して 1科目とみなす
	22183	1	医学一般Ⅱ	4	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
看護学	10165	1	看護学	1～4	2	○	○	○	○	○	×	○	○	
	31218	1	看護学概論	1	2	×	×	×	×	×	○	×	×	
介護概論	21037	1	介護概論	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
栄養学	22218	1	基礎栄養学	2	2	×	×	×	×	○	×	×	×	

- ・科目については、福祉の内容に関する科目を1つは履修することが望ましい。
- ・本学指定授業科目のいずれか1科目を修得することで、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を1科目修得したとみなす。
ただし、科目が複数の科目に区分される場合(「Ⅰ、Ⅱ」「A、B」など)は、社会福祉に関する科目上、当該区分された科目の全てを修得して1科目とみなす。
- 例)「社会福祉の原理と政策Ⅰ」と「社会福祉の原理と政策Ⅱ」を修得して、社会福祉に関する科目の「社会福祉概論」1科目とみなす。
- ・「児童・家庭福祉Ⅰ・Ⅱ」については、社会福祉に関する科目の「児童福祉論」と「家庭福祉論」にまたがるため、2科目修得して2科目とみなす。
- ・「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」「ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ」は社会福祉に関する科目上、6科目修得して1科目とみなす。
- ・本学指定授業科目の中で社会福祉に関する科目が同様の科目を複数修得したとしても、社会福祉に関する科目は1科目とみなされるので注意すること。
- 例)「社会保障Ⅰ・Ⅱ」と「社会保障制度論」を修得したとしても、社会福祉に関する科目の「社会保障論」1科目とみなす。
- ・「社会福祉」「子ども家庭福祉」「保育原理」は、児童教育学科幼児保育コースの学生のみ履修可。

4. 学芸員資格に関する科目の履修 〔文学部・未来教養学環〕

学芸員資格に関する科目

学芸員となるには、大学において法定の単位を修得するか、または文部科学大臣による資格認定を受ける必要がある。本課程は前者に相当するが、これによってその資格を取得するには博物館法、博物館法施行規則によって定められた必修科目と選択科目（考古学含む）を修得し、併せて学士の学位を取得しなければならない。

また、資格取得に必要な博物館実習の履修にあたっては、博物館の機能に関する相当な専門知識と研究心が必要とされる。

<文学部・未来教養学環 2024(令和6)年度以降入学生>

省令科目		大学開設科目						配置 年次	備考
科目名	単 位 数	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	単位数			
						必 修	選 択		
生涯学習概論	2	50081 50082	2 2	EX21C03K EX22C03K	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ	2 2		1～2 1～2	(事前事後指導1単位含む)
博物館概論	2	50037	2	EX10C02K	博物館概論	2		1	
博物館経営論	2	50075	1	EX20C09K	博物館経営論	2		2～3	
博物館資料論	2	50076	1	EX20C10K	博物館資料論	2		2～3	
博物館資料保存論	2	50077	1	EX20C13K	博物館資料保存論	2		2～3	
博物館展示論	2	50078	1	EX20C14K	博物館展示論	2		2～3	
博物館教育論	2	50080	1	EX10C03K	博物館教育論	2		1	
博物館情報・メディア論	2	50079	1	EX20C11K	博物館情報・メディア論	2		2～3	
博物館実習	3	50041	1	EX30C11J	博物館実習	3		3	
その他関連科目		14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化		2	3～4	
		14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化A		2	3～4	
		14219	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化B		2	3～4	
		14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A		2	3～4	
		14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B		2	3～4	
		14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化		2	3～4	
		14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ	2		2～4	
		14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ	2		2～4	
		14204	2	CC20C09K	民俗学		2	2～4	
		14186	2	CC10B01K	文化人類学A		2	1～2	
		14187	2	CC10B02K	文化人類学B		2	1～2	

その他関連科目は考古学Ⅰ・Ⅱ 4単位を含めて8単位以上修得すること。

＜１＞ 博物館実習

学芸員資格に関する科目のうち、博物館実習は、茨城県内外の博物館等において行っている。尚、履修者は３年次生以上とし、博物館実習費を納入しなければならない。実習の登録は、実習する年の前年度12月～１月に実施する説明会に出席し、希望届けを学務部に提出すること。

＜２＞ 実習の履修に関する規程

博物館実習を履修しようとする場合は、前年度終了までに、下記の科目を修得していなければ、その履修は認められない。

- ① 卒業に必要な単位のうち、２分の１以上。
- ② 「博物館概論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」及び「考古学Ⅰ」「考古学Ⅱ」の７科目、計14単位。
- ③ 「生涯学習概論Ⅰ」及び「生涯学習概論Ⅱ」の２科目、もしくは「博物館経営論」「博物館情報・メディア論」のうち１科目以上。

5. 社会教育主事任用資格に関する科目の履修 〔文学部〕

(1) 社会教育主事任用資格及び社会教育士（養成課程）

1. 概要

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担う。また、2018年度の文部科学省法改正により、2020年度から「社会教育主事任用資格」を得た者は、「社会教育士（養成課程）」と称することができるようになった。

従来社会教育主事は任用資格（≡教育委員会や公民館等、必要な部署に就いた時のみ有効）だったが、この改正では「学習成果を活かし、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働し、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割」が求められた。地域において、子供のみならず大人、高齢者をも対象とした多様な学習活動を計画、実施、支援し、住民の生きがいを生み出し、地域を活性化するような活動が期待されている。

そのため社会教育主事任用資格と同様の単位取得証明書をもって「社会教育士」という称号を付与できるようになった。

2. 資格取得に関する規程

下記の要件及び次ページの科目群における所定の単位を修得することによって、社会教育主事任用資格及び社会教育士（養成課程）を同時に取得することができる。

1. 社会教育実習Ⅰ・Ⅱまたは社会教育演習を履修しようとするものは、実習を行う年度の当初までに生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ及び社会教育経営論Ⅰ・Ⅱを履修し、単位を修得していなければならない。
2. 社会教育実習Ⅰ・Ⅱの履修を予定している者は、社会教育実習費20,000円を納入すること。
3. 省令科目における各分野（科目名）から、必要な単位数を修得すること。
 - ・生涯学習概論から4単位を修得すること。
 - ・生涯学習支援論から4単位を修得すること。
 - ・社会教育経営論から4単位を修得すること。
 - ・社会教育特講から8単位を修得すること。
 - ・社会教育実習から1単位を修得すること。
 - ・社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究から3単位を修得すること。（大学開設科目の社会教育実習Ⅱの単位を含み3単位修得のこと）

(2) 社会教育主事任用資格に関する科目

<文学部 2024(令和6)年度以降入学生>

省令科目		大学開設科目						配置 年次	備考
科目名	単 位 数	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	単位数			
						必修	選択		
生涯学習概論	4	50081 50082	2 2	EX21C03K EX22C03K	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ	2 2		1～2 1～2	
生涯学習支援論	4	50102 50103	1 1	EX21C06K EX22C06K	生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	2 2		2～3 2～3	
社会教育経営論	4	50104 50105	1 1	EX21C07K EX22C07K	社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ	2 2		2～3 2～3	
社会教育特講	8	13554	1	PE11C04K	地域社会研究Ⅰ		2	1～4	文化交流学科 文化交流学科を除く 他学部履修
		13555	1	PE12C04K	地域社会研究Ⅱ		2	1～4	
		14252	1	CC20C48K	女性学		2	2～4	
		20018	1	WP10C24K	女性学		2	1～2	
		20017	1	WP10C18K	高齢者生活論		2	1～2	
		50037	2	EX10C02K	博物館概論		2	1	
		50075	1	EX20C09K	博物館経営論		2	2～3	
		50076	1	EX20C10K	博物館資料論		2	2～3	
		50079	1	EX20C11K	博物館情報・メディア論		2	2～3	
		13015	1	PD20A02K	教育行政学		2	2～3	
		50003	1	EX20C03K	教育行政学		2	2	
		13002	2	PD10A07K	教育原理		2	1	
		13028	1	PD11C01K	児童文化Ⅰ		2	1～4	
		13029	1	PD12C01K	児童文化Ⅱ		2	1～4	
		13567	1	PD20C24E	野外活動		1	2～3	
		13542	2	PD10B01J	児童体育A		1	1	
13543	2	PD20B02J	児童体育B		1	2			
14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化		2	3～4			
50001	1	EX20C01K	教育原理		2	2			
社会教育実習	1	50106	1	EX31C06K	社会教育実習Ⅰ	1		3～4	社会教育実習Ⅱ 同時履修
社会教育演習	選択必修 3	50085	2	EX30C22E	社会教育演習	2		3～4	社会教育実習Ⅱ を含め3単位以 上修得
社会教育実習		50035	2	EX32C06K	社会教育実習Ⅱ	1		3～4	
社会教育課題研究		50036	1	EX30C10K	社会教育課題研究	2		3～4	

6. 日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修 〔文学部〕

日本語教育施設の教員資格に関する科目

文化審議会国語分科会が平成31年3月4日に取りまとめた「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版」において示された「日本語教師【養成】における教育内容」に基づき、「日本語教育施設の教員資格に関する科目」が定められている。修得科目・単位数に従って「主専攻コース」「副専攻コース」のいずれかの修了を認定する。

実習履修者は、学外の日本語教育施設、または、学内の授業等において責任ある行動をとれる者に限られるため、審査を経て選抜される。審査結果によっては「履修上の条件」を満たしていても履修不可とすることがある。

主専攻コース

「日本語教育施設の教員資格に関する科目」から、必修科目14単位および選択必修科目14単位を含め、合計48単位以上を修得した場合、「主専攻コース」の修了を認定する。

主専攻コースの「日本語教育実習A」（必修科目）は、主に学外の日本語教育施設で実施される。

「日本語教育実習A」履修上の条件

日本語教育実習Aを履修するためには、実習を行う年度の当初までに以下の条件を満たすこと。

- ① 必修科目「日本語教育概論」を修得していること。
- ② 必修科目「日本語と社会」「日本語と心理」「異文化間コミュニケーション」「日本語の構造A」のうち、少なくとも1科目を修得していること。
- ③ 以上を含んで、日本語教員資格科目を合計20単位以上修得していること。
- ④ 実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

履修希望者は、4月のガイダンス期間に実施されるガイダンスに出席すること。また、指定の期日までに履修の動機等を記した小レポートの提出をすること。ガイダンスでは、履修希望者に対して、複数の教員による面接審査が行われる。小レポート、面接審査、および、上述の履修上の条件に合致しているかを総合的に判断し、履修の可否が決定される。

副専攻コース

「日本語教育施設の教員資格に関する科目」から、必修科目11単位および選択必修科目16単位を含め、合計27単位以上を修得した場合、「副専攻」コースの修了を認定する。

副専攻コースの「日本語教育実習B」（必修科目）は、主に学内の授業等で実施される。

「日本語教育実習B」履修上の条件

日本語教育実習Bを履修するためには、実習を行う年度の当初までに以下の条件を満たすこと。

- ① 必修科目「日本語教育概論」を修得していること。
- ② 実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

履修希望者は、4月のガイダンス期間に実施されるガイダンスに出席すること。また、指定の期日までに履修の動機等を記した小レポートの提出をすること。小レポート、および、上述の履修上の条件に合致しているかを総合的に判断し、履修の可否が決定される。

<文学部 2021(令和3)年度以降入学生>

区分	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	配置年次および 単位数				※1 主専攻 コース	※2 副専攻 コース	備考
					1 年次	2 年次	3 年次	4 年次			
社会・文化・地域	50059	1	EX10C04K	日本語教育概論	〔 2 〕				◎	◎	
	14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化			〔 2 〕		○	○	
	14214	2	CC30C22K	東南アジアの歴史と文化A			〔 2 〕				
	14265	1	CC30C23K	東南アジアの歴史と文化B			〔 2 〕				
	14120	1	CC30C04K	国際協力			〔 2 〕				
	14155	5	CC20B03K	歴史学A		〔 2 〕					
	14190	4	CC20B04K	歴史学B		〔 2 〕					
	14160	3	CC30C30K	アジアの大衆文学			〔 2 〕				
	14139	3	CC30C29K	性的マイノリティの文学			〔 2 〕				
	14254	1	CC31C01K	多文化協働論Ⅰ			〔 2 〕		○	○	
	14255	1	CC32C01K	多文化協働論Ⅱ			〔 2 〕		○	○	
	14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A			〔 2 〕				
	14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B			〔 2 〕				
言語と社会	50060	1	EX10C05K	日本語と社会	〔 2 〕				◎	◎	
	14131	3	CC20C04E	日本語教育演習A		〔 2 〕			○	○	
	14186	2	CC10B01K	文化人類学A	〔 2 〕						
	14187	2	CC10B02K	文化人類学B	〔 2 〕						
	14188	3	CC20B01K	社会学A		〔 2 〕					
	14189	3	CC20B02K	社会学B		〔 2 〕					
言語と心理	50061	1	EX20C15K	日本語と心理		〔 2 〕			◎	◎	
	12072	2	EN10C04K	言語習得論	〔 2 〕				○	○	
	13019	2	PD20C26K	学習心理学		〔 2 〕			○	○	
	13129	1	PD20C43K	言語発達心理学		〔 2 〕			○	○	児童教育学科幼児保育コース、現代英語学科のみ
	14132	3	CC20C05E	日本語教育演習B		〔 2 〕			○	○	
言語と教育	12047	1	EN20C04K	異文化間コミュニケーション		〔 2 〕			◎	◎	現代英語学科のみ
	14129	2	CC30C03K	異文化間コミュニケーション			〔 2 〕		◎	◎	現代英語学科を除く
	50062	2	EX30C12J	日本語教育実習A			〔 2 〕		◎		
	50101	1	EX30C21J	日本語教育実習B			〔 1 〕			◎	
	12071	1	EN20C18K	異文化理解教育		〔 2 〕			○	○	
	13030	1	PD11C02K	言語教育Ⅰ	〔 2 〕				○	○	
	13031	1	PD12C02K	言語教育Ⅱ	〔 2 〕						
	14240	2	CC20C06E	日本語教員育成演習B		〔 2 〕			○	○	
	14175	3	CC20C49K	日本語教員試験対策講座(実践)		〔 2 〕			○		
	14176	3	CC20C44K	日本語教員試験対策講座(入門)		〔 2 〕			○		

区分	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	配置年次および単位数				※1 主専攻コース	※2 副専攻コース	備考
					1年次	2年次	3年次	4年次			
言語	50065	2	EX21C05K	日本語の構造A		[2]			◎	◎	
	50066	2	EX22C05K	日本語の構造B		[2]			◎		
	14202	3	CC30C17K	言語学A			[2]				
	14203	3	CC30C18K	言語学B			[2]				
	50067	1	EX20C16K	日本語の歴史		[2]			○	○	
	12049	2	EN20C21E	通訳入門		[2]					
	14133	3	CC20C02K	日本語学A		[2]			○	○	
	14134	3	CC20C03K	日本語学B		[2]			○	○	
	14165	2	CC20C07E	日本語教員育成演習A		[2]			○	○	
	50063	2	EX11C02K	日本語学各論A（音声）	[2]				○	○	
	50064	2	EX12C02K	日本語学各論B（文字）	[2]				○	○	

※1 主専攻コースをめざす者は、◎必修科目14単位および○選択必修科目から14単位を含め、合計48単位以上を修得すること。

※2 副専攻コースをめざす者は、◎必修科目11単位および○選択必修科目から16単位を含め、合計27単位以上を修得すること。

7. 小学校英語教育推進協議会資格認定に関する科目の履修 〔文学部現代英語学科〕

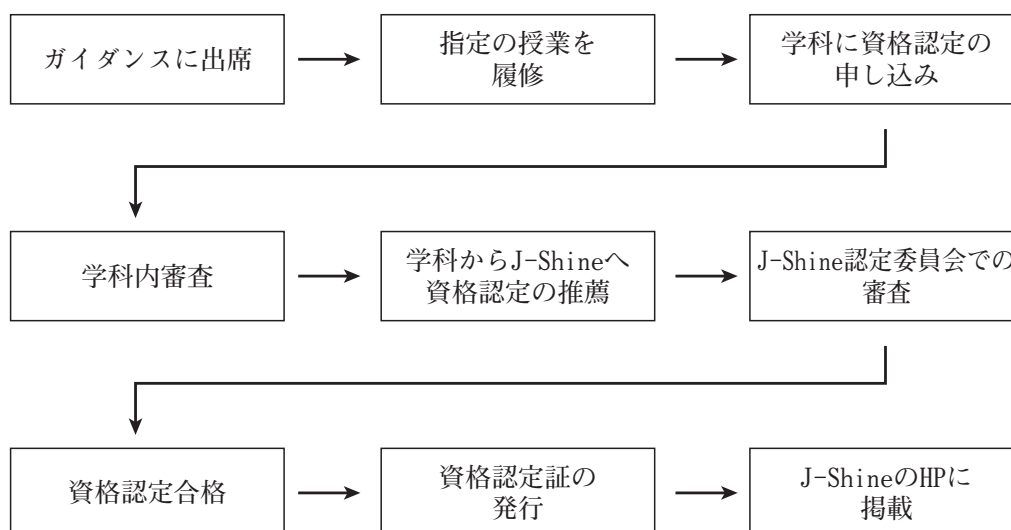
1. 小学校英語教育推進協議会とは

小学校英語教育推進協議会（通称：J-Shine）とは2002年に設立したNPO法人で、小学校における英語活動指導者を育成し、高水準の指導者を小学校に供給するために活動している団体である。指導者に統一資格を付与し、資格者の情報を協議会のホームページ上（<http://www.j-shine.org/>）で公開することによって各地の教育委員会などに有資格者の採用を働きかけている。

2. J-Shineの小学校英語指導者資格の取得方法

現代英語学科は、J-Shineの認定教育機関となっており、必要な科目（下記）を履修し、その単位を修得した学生を学科からJ-Shineに推薦することができる。J-Shineが指導者として認めた学生には認定証が発行され、「小学校英語指導者」として活動する資格が与えられる。

◆資格取得までの流れ



3. J-Shineの小学校英語指導者資格取得に関する科目

現代英語学科の学生で、J-Shineの資格取得を希望する者は、卒業までに次表の「本学設置科目」を全て修得することが必要となる。

<文学部現代英語学科 2021(令和3)年度以降入学生>

小学校英語教育推進協議会 資格認定科目の履修方法	本学設置科目				単位数	配置 年次
	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名		
必修科目	12008	2	EN11C01E	Pronunciation I	1	1～4
	12009	2	EN12C01E	Pronunciation II	1	1～4
	12069	1	EN20C19K	子供の英語教育	2	2～4
	12127	1	EN31C01E	英語科教育法 I	2	3～4
	12072	2	EN10C04K	言語習得論	2	1～4
	12123	2	EN31C06E	英語教育実践研究 (児童)	2	3～4
	12120	2	EN20C05K	英語教材論 (児童)	2	1～4

4. 学科推薦の基準

- ①卒業要件科目のGPAが2.5以上であること。
- ②上記の資格取得に関する科目のGPAが2.75以上であること。

8. 保育士資格に関する科目の履修 〔文学部児童教育学科幼児保育コース〕

児童教育学科幼児保育コースは指定保育士養成施設となっており定員は60名である。

学則第37条第6項に定められている保育士の資格を取得するためには、以下の要件を満たさなければならない。

○児童福祉法施行規則（第6条の2第1項第三号）による授業科目の最低修得単位数

教科目の種類	設置単位数	本学開設科目の単位数	本学における最低修得単位数
教 養 科 目	10単位以上	22	12
告示別表第1による教科目	51単位以上	62	62
告示別表第2による教科目	18単位以上	29	19
小 計		113	93

＜1＞ 保育士資格取得の要件（細則）

- 1) 本学を卒業し、学士の学位を有すること。
- 2) 児童福祉法施行規則（第6条の2第1項第三号）に基づく保育士養成のための本学所定の授業科目の単位を、以下の1～3に従い修得すること。

1. 全学教養科目（教養科目） 開設科目22単位中12単位必修

- ・「キリスト教の精神と文化Ⅰ」（2単位）および「キリスト教の精神と文化Ⅲ」（2単位）、計4単位必修（卒業要件上必修）
- ・「英語コミュニケーションⅠ」または「総合英語Ⅰ」（1単位）、「英語コミュニケーションⅡ」または「総合英語Ⅱ」（1単位）、計2単位選択必修（卒業要件上必修）
- ・「コンピュータ基礎Ⅰ」（2単位）、「コンピュータ基礎Ⅱ」（2単位）、「コンピュータ実習」（2単位）より2単位選択必修（卒業要件上必修）
- ・「運動と健康」（2単位）必修
- ・「体育実技Ⅰ」（1単位）、「体育実技ⅡA」（1単位）または「体育実技ⅡB」（1単位）計2単位必修（卒業要件上必修）

2. 必修科目（「告示別表第1による教科目」） 開設科目62単位すべて必修

「教育原理」（2単位）、「保育の心理学」（2単位）、「音楽A」（1単位）、「音楽B」（1単位）、「美術A」（1単位）、「美術B」（1単位）、「幼児体育A」（1単位）、「幼児体育B」（1単位）は卒業要件上必修

3. 選択科目（「告示別表第2による教科目」） 開設科目29単位中19単位以上選択必修

「保育実習Ⅱ（保育所）」または「保育実習Ⅲ（施設）」（2単位）はいずれかを必ず修得しなければならない。

また、「保育実習指導Ⅱ」（1単位）は、「保育実習Ⅱ（保育所）」または「保育実習Ⅲ（施設）」のために必修である。

したがって、上記3単位のほかに16単位以上を選択し修得する必要がある。

1. 教養科目

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科の開設					配置年次および単位数				備考	
系 列	教 科 目	授 業 形 態	単 位 数	左に対応して開設されている教科目				授 業 形 態	1年次	2年次	3年次	4年次		
				科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目							
教養科目	外国語、 体育以外の科目	不問	6以上	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	②					2単位 選択必修
				10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義			②			
				10044	1	LA11B12J	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	②					
				10045	1	LA12B12J	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	②					
				10046	2	LA20B01J	コンピュータ実習	演習		②				
	外国語	演習	2以上	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	1					総合英語Ⅰ または英語 コミュニケーションⅠ から1単位選 択必修
				10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	1					
				10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習		1				
				10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習		1				
				10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	1					総合英語Ⅱ または英語 コミュニケーションⅡ から1単位選 択必修
				10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	1					
				10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習		1				
				10061	1	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習		1				
	体育	講義	1	10030	1	LA10C02K	運動と健康	講義	〔 2 〕				保育士資格必修	
		実技	1	10155	1	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	〔 ① 〕					
				10160	1	LA12B13J	体育実技Ⅱ A	実技	〔 ① 〕				1科目 選択必修	
				10161	1	LA12B14J	体育実技Ⅱ B	実技	〔 ① 〕					
合計		10単位以上	22単位開設					本学において12単位必修						

○印は卒業要件上の必修科目を意味する。

□印は卒業要件上の選択必修科目を意味する。

2. 必修科目

告示別表第による教科目				指定保育士養成施設における教科の開設					配置年次および 単位数				備考
系列	教科目	授業	単 位 数	左に対応して開設されている教科目				授業 形態	1年次	2年次	3年次	4年次	
				科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目						
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	13114	2	PD10C04K	保育原理	講義	2				
	教育原理	講義	2	13002	2	PD10A07K	教育原理	講義	②				
	子ども家庭福祉	講義	2	13117	3	PD30C10K	子ども家庭福祉	講義			2		
	社会福祉	講義	2	13118	1	PD20C37K	社会福祉	講義		2			
	子ども家庭支援論	講義	2	13133	3	PD20C27K	子ども家庭支援論	講義		2			
	社会的養護Ⅰ	講義	2	13116	3	PD21C01K	社会的養護Ⅰ	講義		2			
	保育者論	講義	2	13115	3	PD10C05K	保育者論	講義	2				
解に 関する 対象の 科目理	保育の心理学	講義	2	13103	3	PD10B03K	保育の心理学	講義	②				
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	13213	1	PD20C28K	子ども家庭支援の心理学	講義		2			
	子どもの理解と援助	演習	1	13179	2	PD10C06E	子どもの理解と援助	演習	1				
	子どもの保健	講義	2	13208	2	PD20C29K	子どもの保健	講義		2			
	子どもの食と栄養	演習	2	13140	2	PD30C08E	子どもの食と栄養	演習			2		
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	13182	2	PD10C07K	保育の計画と評価	講義	2				
	保育内容総論	演習	1	13221	1	PD20C30E	保育内容総論	演習		2			
	保育内容演習	演習	5	13151	2	PD20C31E	保育内容教育法・健康	演習		2			
				13152	2	PD10C08E	保育内容教育法・人間関係	演習	2				
				13153	2	PD20C32E	保育内容教育法・環境	演習		2			
				13154	2	PD10C09E	保育内容教育法・言葉	演習	2				
				13155	3	PD30C12E	保育内容教育法・音楽表現	演習			2		
				13156	3	PD30C11E	保育内容教育法・造形表現	演習			2		
	保育内容の理解と方法	演習	4	13536	2	PD10A03E	音楽A	演習	①				
				13548	2	PD10A04E	音楽B	演習	①				
				13538	2	PD10A05E	美術A	演習	①				
				13539	2	PD10A06E	美術B	演習	①				
				13198	2	PD20B01J	幼児体育A	実技		①			
				13199	2	PD20B03J	幼児体育B	実技		①			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	13218	1	PD21C02K	乳児保育Ⅰ	講義		2			
	乳児保育Ⅱ	演習	1	13219	1	PD22C02E	乳児保育Ⅱ	演習		1			
子どもの健康と安全	演習	1	13181	3	PD30C09E	子どもの健康と安全	演習			1			
障害児保育	演習	2	13131	1	PD30C17E	障害児保育	演習			2			
社会的養護Ⅱ	演習	1	13132	3	PD22C01E	社会的養護Ⅱ	演習		2				
子育て支援	演習	1	13215	1	PD20C46E	子育て支援演習	演習		1				
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	13161	3	PD32C03J	保育実習Ⅰ（施設）	実習			2		
				13160	2	PD32C02J	保育実習Ⅰ（保育所）	実習			2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	13184	2	PD31C02E	保育実習指導Ⅰ	演習			2		
総合演習	保育実践演習	演習	2	13177	1	PD40C03E	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習				2	
合計		51単位	62単位開設					本学において62単位開設					

単位数が○で囲まれているものは、卒業要件上の必修科目を意味する。

単位数が□で囲まれているものは、卒業要件上の選択必修科目を意味する。

3. 選択必修科目

告示別表第による教科目				指定保育士養成施設における教科の開設					配置年次および 単位数				備考		
系列	教科目	授業 形態	単位数	左に対応して開設されている教科目				授業 形態	1年次	2年次	3年次	4年次			
				科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目								
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	不問	15 単位以上	13105	2	PD20C45K	子育て支援論	講義		2					
保育の対象の理解に関する科目				13120	1	PD20C41K	キリスト教保育	講義		〔 2 〕					
				13134	3	PD30C19E	地域子育て支援実践演習	演習			〔 2 〕				
				13189	2	PD30C20E	地域発達支援実践演習	演習			〔 2 〕				
				13135	1	PD30C18K	地域発達臨床論	講義			〔 2 〕				
保育の内容・方法に関する科目				13125	1	PD20C42K	発達障害学	講義		〔 2 〕					
				13129	1	PD20C43K	言語発達心理学	講義		〔 2 〕					
				13216	1	PD20C38E	幼児理解	演習		1					
				13217	1	PD20C39E	教育相談	演習		1					
				13204	3	PD20C35E	保育の音楽A	演習		1					
				13205	3	PD20C36E	保育の音楽B	演習		1					
				13142	2	PD20C44E	身体表現	演習		〔 2 〕					
				13121	1	PD20C40K	子ども文化論	講義		2					
保育実習	保育実習Ⅱ 又は 保育実習Ⅲ	実習	2	13162	3	PD42C01J	保育実習Ⅱ（保育所）	実習				2			
				13163	3	PD42C02J	保育実習Ⅲ（施設）	実習				2			
	保育実習指導Ⅱ 又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1	13167	2	PD41C01E	保育実習指導Ⅱ	演習				1			
合計		18単位以上		27単位開設					本学において 19単位以上修得						

＜ 2 ＞ 保育実習を行うための履修条件

1) 「保育実習指導Ⅰ」の履修

「保育実習指導Ⅰ」（演習 2 単位 3 年次）は保育実習Ⅰ（保育所）・保育実習Ⅰ（施設）のための実習事前事後指導なので必ず受講しなければならない。

2) 保育実習Ⅰ（保育所）（2 単位 3 年次 5 月）

保育実習Ⅰ（保育所）を履修するためには、実習を行う年度の当初（通常は 3 年次 4 月）までに、次の①②の単位を修得していなければならない。

- ① 全学教養科目の1 年次配置のうちキリスト教の精神と文化Ⅰ 2 単位、コンピュータ基礎Ⅰ 2 単位、運動と健康 2 単位、体育実技Ⅰ 1 単位、体育実技Ⅱ A 1 単位または体育実技Ⅱ B 1 単位の計 8 単位中 4 単位以上。
- ② 必修科目（「告知別表第 1 による教科目」）1 年次配置（保育原理、教育原理、保育者論、保育の心理学、子どもの理解と援助、保育の計画と評価、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、音楽 A、音楽 B、美術 A、美術 B）の19 単位中 13 単位以上。

3) 保育実習Ⅰ（施設）（2 単位 3 年次 9 月）

保育実習Ⅰ（施設）を履修するためには、実習を行う年度の当初（通常は 3 年次 4 月）までに、次の①～③の単位を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち二分の一（62 単位）以上を修得していること。
- ② 全学教養科目の1・2 年次配置（上記 1 年次科目に英語コミュニケーションⅠまたは総合英語Ⅰ、英語コミュニケーションⅡまたは総合英語Ⅱのうち 2 単位が加わる）の10 単位のうち 6 単位以上。
- ③ 2 年次配置までの必修科目（「告知別表第 1 による教科目」）計 43 単位中 33 単位以上。〔1 年次科目に加わる 2 年次配置の科目＝社会福祉、子育て支援演習、社会的養護Ⅰ、子ども家庭支援の心理学、子どもの保健、子ども家庭支援論、保育内容総論、保育内容教育法・健康、保育内容教育法・環境、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ、社会的養護Ⅱ、幼児体育 A、幼児体育 B 24 単位。〕

4) 「保育実習指導Ⅱ」の履修

「保育実習指導Ⅱ」（演習 1 単位 4 年次）は保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習Ⅲ（施設）のための実習事前事後指導なので必ず受講しなければならない。

5) 保育実習Ⅱ（保育所）（4 年次 5 月 2 単位）

保育実習Ⅲ（施設）（4 年次 9 月 2 単位）

保育実習Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅲ（施設）を履修するためには、実習を行う年度の当初（通常は 4 年次 4 月）までに保育実習Ⅰ（施設）と同じ履修条件を満たしていなければならない。

※なお、保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲを履修するためには保育実習Ⅰ（保育所）・保育実習Ⅰ（施設）の所定の実習期間を終えなければならない。

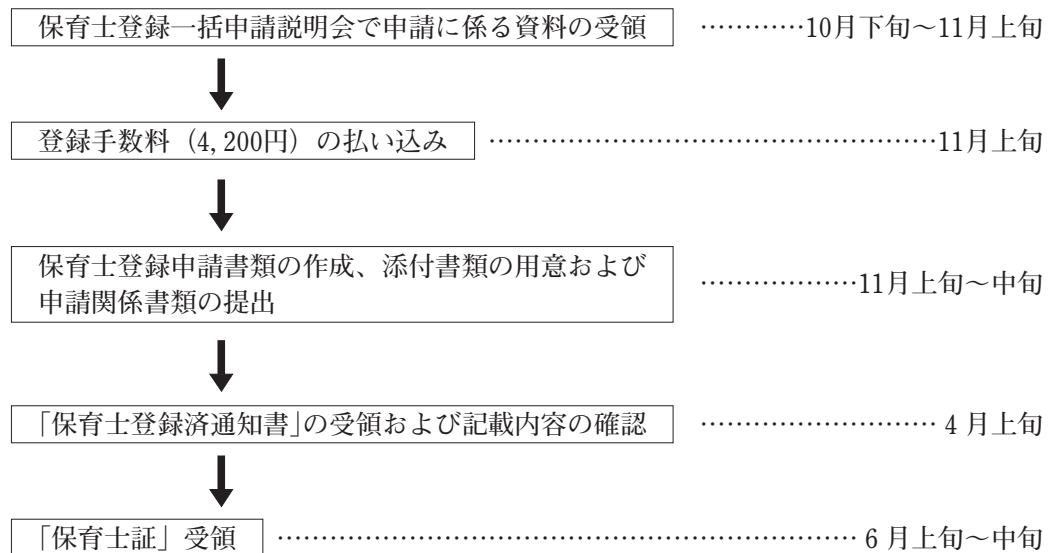
なお、保育実習履修の最終的な可否は、児童教育学科幼児保育コース会議の合議により決定する。上記の履修条件すべて満たしている場合であっても同会議が実習生としての適正に欠けると判断する場合は実習の履修を許可しない場合がある。

＜ 3 ＞ 保育士登録申請（2025年3月現在）

保育士登録申請は、都道府県知事委託保育士登録機関である登録事務処理センター発行の『保育士登録の手引き』に則って申請を行う。具体的な申請手続きについては説明会で指示する。

なお、①登録申請書類に添付する証明書（2種）の発行手数料として800円、②登録手数料として登録事務処理センターに4,200円の払い込みが必要となるので留意すること。

保育士登録申請から「保育士証」の交付までの流れ



9. 社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修 〔生活科学部心理福祉学科〕

(1) 社会福祉士とは

社会福祉士とは、国家資格である「社会福祉士」の名称を用いて、社会で生活するにあたって様々な困難を感じ、サポートを必要とする人々に対し、その人権を尊重し、社会福祉の専門知識・技術を駆使して支援するソーシャルワーク専門職をいう。

社会福祉の仕事は、大きく相談援助業務（ソーシャルワーク）と介護業務にわけることができる。社会福祉士は、主としてソーシャルワークに携わる。具体的には、地域や施設で福祉サービスを利用する人たち（日常生活の支援を必要とする高齢者や障害児・者、親と生活することのできない児童、経済的な課題のある人など）やその家族の相談に応じたり、必要な交渉や手続きを手伝ったり、仕事や住まいを探したりすることを仕事としている。

したがって、福祉の知識や技術はもちろんのこと、法律や医学など関連領域の専門知識のほか、一人の社会人として生活する際の常識や日常の知識が併せて必要となる。

社会福祉士は、「全ての人の人権を尊重しその生活を支えること」を専門職として守ることを旨とし、本学では、社会福祉の専門職としての知識と技術を学ぶとともに、この人権尊重の価値観を育むことを目指す。

なお、社会福祉の仕事に関する国家資格には、社会福祉士の他に上記介護業務を担う介護福祉士がある。

(2) 社会福祉士の資格の取得方法は

社会福祉士の資格は、『社会福祉士及び介護福祉士法』によって定められた課程を経て社会福祉士国家試験受験資格を取得し、年一回実施される国家試験に合格した後、資格登録をすることによって得られる。

(3) 社会福祉士国家試験受験資格に関する科目

心理福祉学科の学生で社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する者は、卒業までに次表の「大学開設科目」を順次取得することが必要となる。

なお、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ等の科目の履修については、それぞれ以下に定める科目について修得・履修を条件とする。

- 1) ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱおよびソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ・Ⅱを履修しようとする者は、以下の科目を修得していることが必要である。

①社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ ②ソーシャルワークの基盤と専門職 ③ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) ④ソーシャルワーク演習 ⑤心理学概論Ⅰ・Ⅱ

- 2) ソーシャルワーク実習Ⅱおよびソーシャルワーク実習指導Ⅲ・Ⅳを履修しようとする者は、1)に示した科目に加えて、以下の科目のうち①②③④が修得済みであること。なお、⑤⑥については、同時履修が条件となる。

- ①ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱおよびソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱ
 - ②ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ
 - ③ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ・Ⅱ
 - ④高齢者福祉Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉Ⅰ・Ⅱ、児童・家庭福祉Ⅰ・Ⅱ、貧困に対する支援、保健医療と福祉Ⅰ・Ⅱのうち、自分の実習希望配属先に関連する科目
 - ⑤ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ
 - ⑥ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ
- 3) その他の科目については、以下の条件となる。
- ①ソーシャルワークの基盤と専門職の科目を修得していなければ、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）を履修することはできない。
 - ②ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱを履修することはできない。
 - ③ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲを履修することはできない。
 - ④ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳを履修することはできない。
 - ⑤ソーシャルワーク実習指導Ⅰの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱを履修することはできない。
 - ⑥ソーシャルワーク実習指導Ⅲの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク実習指導Ⅳを履修することはできない。

社会福祉士国家試験受験資格関係科目履修モデル

	1 年目		2 年目		3 年目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
講 義	社会福祉の 原理と政策Ⅰ ソーシャルワークの 基盤と専門職	社会福祉の 原理と政策Ⅱ ソーシャルワークの 基盤と専門職(専門)	ソーシャルワーク の理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの 理論と方法(専門)Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ・Ⅱ、社会保障Ⅰ・Ⅱ、貧困に対する支援、保健医療と福祉Ⅰ・Ⅱ、権利擁護を支える法制度 * 4	ソーシャルワーク の理論と方法Ⅱ ソーシャルワークの 理論と方法(専門)Ⅱ	医学概論、福祉サービスの組織と経営A・B、社会福祉調査の基礎、刑事司法と福祉A・B * 5	
	社会学 * 1、心理学概論Ⅰ・Ⅱ * 2					
	高齢者福祉Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉Ⅰ・Ⅱ、児童・家庭福祉Ⅰ・Ⅱ * 3					
演 習		ソーシャルワーク 演習	ソーシャルワーク 演習(専門)Ⅰ	ソーシャルワーク 演習(専門)Ⅱ	ソーシャルワーク 演習(専門)Ⅲ	ソーシャルワーク 演習(専門)Ⅳ
実 習				ソーシャルワーク 実習Ⅰ	ソーシャルワーク 実習Ⅱ	
実 習 指 導			ソーシャルワーク 実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク 実習指導Ⅱ	ソーシャルワーク 実習指導Ⅲ	ソーシャルワーク 実習指導Ⅳ

- * 1 「社会学」は1年次または2年次のうちに履修することが望ましい。
- * 2 「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」の配置年次は1年次だが、1年次または2年次で履修することが望ましい。
- * 3 「高齢者福祉Ⅰ・Ⅱ」「障害者福祉Ⅰ・Ⅱ」「児童・家庭福祉Ⅰ・Ⅱ」のうち、いずれかは1年次に履修することが望ましい。残りの科目も2年次までに履修することが望ましい。
- * 4 「地域福祉と包括的支援体制Ⅰ・Ⅱ」「社会保障Ⅰ・Ⅱ」「貧困に対する支援」「保健医療と福祉Ⅰ・Ⅱ」「権利擁護を支える法制度」は、可能な限り2年次に履修することが望ましい。
- * 5 「医学概論」「福祉サービスの組織と経営A・B」「社会福祉調査の基礎」「刑事司法と福祉A・B」は3年次に履修することが望ましい。

〔社会福祉士資格科目〕

〔2023(令和5)年度以降入学生〕

社会福祉士及び介護福祉法 第7条第一号の規定に基づく 社会福祉に関する科目	本学指定授業科目				配置年次および 単位数			
	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
医学概論	21178	1	WP20C54K	医学概論		〔 2 〕		
心理学と心理的支援	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ	2			
	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ	2			
社会学と社会システム	20013	1	WP10C16K	社会学	〔 2 〕			
社会福祉の原理と政策	21101	2	WP11A02K	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2			
	21102	2	WP12A02K	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2			
社会福祉調査の基礎	21076	2	WP20C07K	社会福祉調査の基礎		〔 2 〕		
ソーシャルワークの基盤と専門職	21113	2	WP10C38K	ソーシャルワークの基盤と専門職	2			
ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	21114	2	WP10C39K	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2			
ソーシャルワークの理論と方法	21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		〔 2 〕		
	21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		〔 2 〕		
ソーシャルワークの理論と方法 (専門)	21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ		〔 2 〕		
	21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ		〔 2 〕		
地域福祉と包括的支援体制	21145	2	WP21C08K	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		〔 2 〕		
	21146	2	WP22C10K	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		〔 2 〕		
福祉サービスの組織と経営	21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A		〔 2 〕		
	21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B		〔 2 〕		
社会保障	21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ		〔 2 〕		
	21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ		〔 2 〕		
高齢者福祉	21143	2	WP11C08K	高齢者福祉Ⅰ	〔 2 〕			
	21144	2	WP12C06K	高齢者福祉Ⅱ	〔 2 〕			
障害者福祉	21141	2	WP11C07K	障害者福祉Ⅰ	〔 2 〕			
	21142	2	WP12C05K	障害者福祉Ⅱ	〔 2 〕			
児童・家庭福祉	21139	2	WP11C06K	児童・家庭福祉Ⅰ	〔 2 〕			
	21140	2	WP12C04K	児童・家庭福祉Ⅱ	〔 2 〕			
貧困に対する支援	21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援		〔 2 〕		
保健医療と福祉	21153	2	WP21C10K	保健医療と福祉Ⅰ		〔 2 〕		
	21154	2	WP22C12K	保健医療と福祉Ⅱ		〔 2 〕		
権利擁護を支える法制度	21152	2	WP20C47K	権利擁護を支える法制度		〔 2 〕		
刑事司法と福祉	21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A		〔 2 〕		
	21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B		〔 2 〕		
ソーシャルワーク演習	21023	3	WP10C40E	ソーシャルワーク演習	〔 2 〕			
ソーシャルワーク演習（専門）	21024	3	WP21C17E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ		〔 2 〕		
	21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ		〔 2 〕		
	21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ			〔 2 〕	
	21077	3	WP34C02E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ			〔 2 〕	
ソーシャルワーク実習指導	21119	2	WP21C15E	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		〔 2 〕		
	21120	2	WP22C17E	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		〔 2 〕		
	21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			〔 2 〕	
	21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ			〔 2 〕	
ソーシャルワーク実習	21067	3	WP21C16J	ソーシャルワーク実習Ⅰ		〔 2 〕		
	21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ			〔 6 〕	

※実習施設の種類のについては、社会福祉法施行規則にある指定施設のみとする。

10. 公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修 〔生活科学部心理福祉学科〕

(1) 公認心理師とは

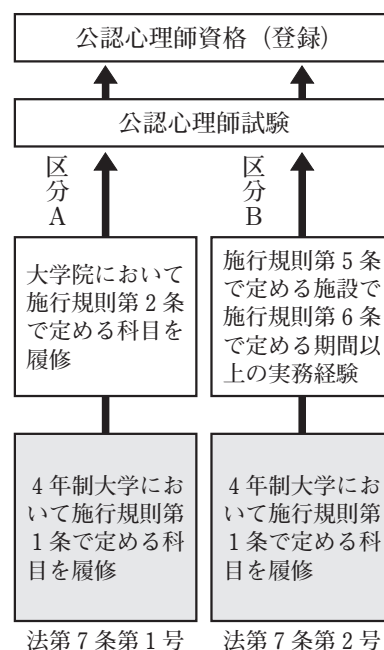
公認心理師とは、心の健康に関わる諸活動の実践に際して必要な高度の専門性を有する者に与えられる国家資格である。公認心理師法（第2条）においては、「公認心理師」とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育、司法、産業等の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者であることが規定されている。

- ① 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- ② 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- ③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- ④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師には、国民の心の健康の保持増進にむけて、医師、教員その他の関係者と連携し、幅広く多様な職務を担うことが期待されている。

(2) 公認心理師資格の取得方法

公認心理師の資格は、公認心理師法によって定められた課程（大学4年間と大学院2年間で心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令、厚生労働省令で定める科目を修めて卒業／修了していることなど）を経て、公認心理師試験受験資格を取得し、国家試験に合格した後、資格登録をすることによって得られる（第7条第1号及び第2号）。学部を卒業したのちに所定の専門機関における定められた期間の実務経験を経て受験資格が発生するルート（区分B；第7条第1号）も設けられているが、基本的には公認心理師養成に対応した大学院（修士課程）へ進学して受験資格を得るルート（区分A；第7条第1号）を想定しておくことが望ましい。なお、この資格を取得した者は、法に定められた職責に反する行為を行わない限り、永続的にその資格を有する。



(3) 履修登録上の留意点

- ① 公認心理師国家試験受験資格を得るためには、(4)で示した表の公認心理師法施行規則第1条に定められた科目の25科目（本学設置科目26科目）すべての単位修得が必須である。なお、1科目でも未修得の科目がある状態で卒業した場合、卒業後の科目等履修などによる追加の履修は不可能であり、改めて公認心理師養成課程（学部）を有する大学に入学し直す必要がある。
- ② 進級に伴い他の卒業要件科目等の履修も必要となるため、(5)の履修モデル（一部、履修要件科目有）を踏まえつつ1年次からの計画的かつ余裕をもった履修登録が必要である。

(4) 公認心理師法施行規則に定められた科目及び本学設置科目

<2023年(令和5年)度以降入学生>

公認心理師法施行規則 第1条に定められた科目	本学設置科目								
	科目名	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	形式	配置年次			
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
①公認心理師の職責	○公認心理師の職責	21167	1	WP10C33K	講義	〔 2 〕			
②心理学概論	○心理学概論Ⅰ	21099	1	WP11A01K	講義	②			
③臨床心理学概論	○臨床心理学概論	21046	2	WP10C08K	講義	〔 2 〕			
④心理学研究法	○心理学研究法Ⅰ	21085	1	WP21C04K	講義		〔 2 〕		
⑤心理学統計法	○心理学統計法	21130	2	WP10C39K	講義	〔 2 〕			
⑥心理学実験	○心理学実験Ⅰ	21126	2	WP21C18J	実験		〔 2 〕		
⑦知覚・認知心理学	○知覚・認知心理学	21058	2	WP20C25K	講義		〔 2 〕		
⑧学習・言語心理学	○学習・言語心理学	21131	1	WP20C41K	講義		〔 2 〕		
⑨感情・人格心理学	○感情・人格心理学	21042	2	WP20C16K	講義		〔 2 〕		
⑩神経・生理心理学	○神経・生理心理学	21110	1	WP20C30K	講義		〔 2 〕		
⑪社会・集団・家族心理学	○社会・集団・家族心理学Ⅰ	21117	1	WP11C03K	講義	〔 2 〕			
	○社会・集団・家族心理学Ⅱ	21118	1	WP12C02K	講義	〔 2 〕			
⑫発達心理学	○発達心理学	21125	1	WP10C31K	講義	〔 2 〕			
⑬障害者・障害児心理学	○障害者・障害児心理学	21049	2	WP20C19K	講義		〔 2 〕		
⑭心理的アセスメント	○心理的アセスメント	21083	3	WP20C21K	講義		〔 2 〕		
⑮心理学的支援法	○心理学的支援法	21043	3	WP20C53K	講義		〔 2 〕		
⑯健康・医療心理学	○健康・医療心理学	21124	2	WP20C52K	講義		2		
⑰福祉心理学	○福祉心理学	21123	2	WP20C51K	講義		2		
⑱教育・学校心理学	○教育・学校心理学	21132	1	WP20C42K	講義		〔 2 〕		
⑲司法・犯罪心理学	○司法・犯罪心理学	21128	1	WP30C09K	講義			〔 2 〕	
⑳産業・組織心理学	○産業・組織心理学	21088	2	WP30C05K	講義			〔 2 〕	
㉑人体の構造と機能及び疾病	○人体の構造と機能及び疾病	21109	1	WP20C29K	講義		〔 2 〕		
㉒精神疾患とその治療	○精神疾患とその治療	21129	1	WP20C39K	講義		〔 2 〕		
㉓関係行政論	○関係行政論	21133	1	WP20C43K	講義		〔 2 〕		
㉔心理演習	○心理演習	21087	2	WP20C24E	演習		〔 2 〕		
㉕心理実習	○心理実習	21134	1	WP30C10J	実習			〔 3 〕	

※授業科目の前の○印は公認心理師資格必修科目である。

丸数字は卒業要件上の必修科目の単位数である。

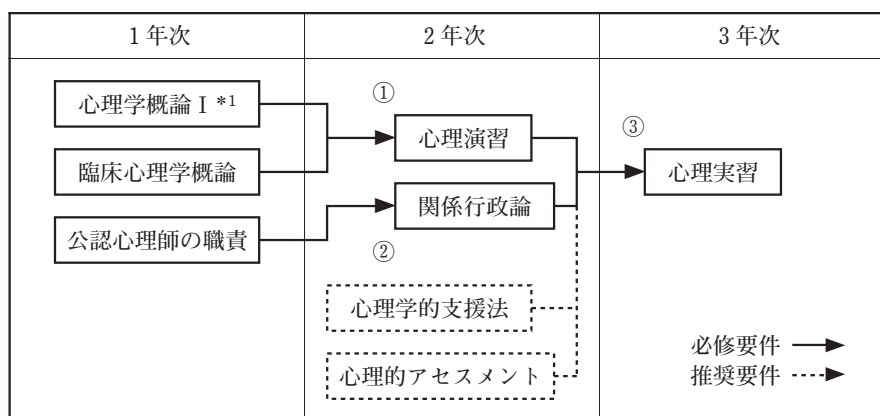
(5) 「心理実習」および「心理学実験Ⅰ」を履修するには

「心理実習」および「心理学実験Ⅰ」の履修に際しては、下記に示す履修要件や科目履修の順序性があることを十分に留意して履修計画を立てる必要がある。

1. 「心理実習」の履修要件

- ① 「心理学概論Ⅰ」と「臨床心理学概論」の単位修得の後に「心理演習」を履修できる。
- ② 「公認心理師の職責」の単位修得の後に「関係行政論」を履修できる。
- ③ 「心理演習」と「関係行政論」の単位修得の後に「心理実習」を履修できる。
- ④ 「心理実習」を履修する年度の前年度までに履修した科目について、GPAが、2.0以上であること。

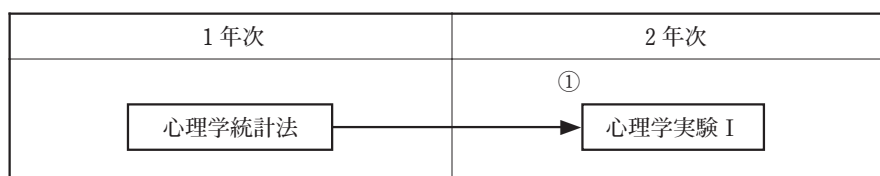
なお、必須ではないが「心理実習」の履修に先行して「心理学的支援法」と「心理的アセスメント」を単位修得済であることが望ましい。



* 1 公認心理師関連科目は「心理学概論Ⅰ」のみだが、心理学概論ⅠはⅡと合わせて卒業要件であるため、Ⅰ、Ⅱともに単位修得すること。

2. 「心理学実験Ⅰ」の履修要件

- ① 「心理学統計法」の単位修得の後に「心理学実験Ⅰ」を履修できる。



11. 認定心理士資格に関する科目の履修 〔生活科学部心理福祉学科〕

日本心理学会が認定する資格で、心理学の専門家としての職務を遂行する上で必要な最少限の標準的、基礎的学力と技能を修得していると認定された人に対して与えられる資格である。下記の科目を修得し、本学心理福祉学科を卒業すれば、申請資格を有することになる。なお、資格申請は個人で行うことになる。

〔2023(令和5)年度以降入学生〕

	認定心理士該当科目	本学設置科目				配置 年次	認定 単位数
		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名		
(1) 基礎科目 12単位以上	(a)心理学概論	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ*1	1	2
		21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ*1	1	2
	(b)心理学研究法	21085	1	WP21C04K	心理学研究法Ⅰ	2～4	2
		21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ	2～4	2
		21130	2	WP10C39K	心理学統計法	1～4	2
	(c)心理学実験	21126	2	WP21C18J	心理学実験Ⅰ	2～4	2
		21127	2	WP22C20J	心理学実験Ⅱ	2～4	1
		21096	1	WP20C22J	心理検査法実習	2～4	1
(2) 選択科目 16単位以上	(d)知覚心理学・学習心理学	21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学	2～3	2
		21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学	2～4	2
		21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学	2～4	2
	(e)生理心理学・比較心理学	21110	1	WP20C30K	神経・生理心理学	2～4	2
	(f)教育心理学・発達心理学	21125	1	WP10C31K	発達心理学	1～2	2
		21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学	2～4	2
	(g)臨床心理学・人格心理学	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	1～2	2
		21123	2	WP20C51K	福祉心理学	2	2
		21043	3	WP20C53K	心理学的支援法	2～4	2
		21048	1	WP20C18K	深層心理学	2～4	2
		21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学	2～4	2
		21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	2～4	2
		21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学	3～4	2
		21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療	2～4	1*2
	(h)社会心理学・産業心理学	21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ	1～2	2
		21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	1～2	2
		21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学	3～4	2
(3) その他の科目 (最大4単位)	(i)心理学関連の科目・卒業論文・卒業研究						

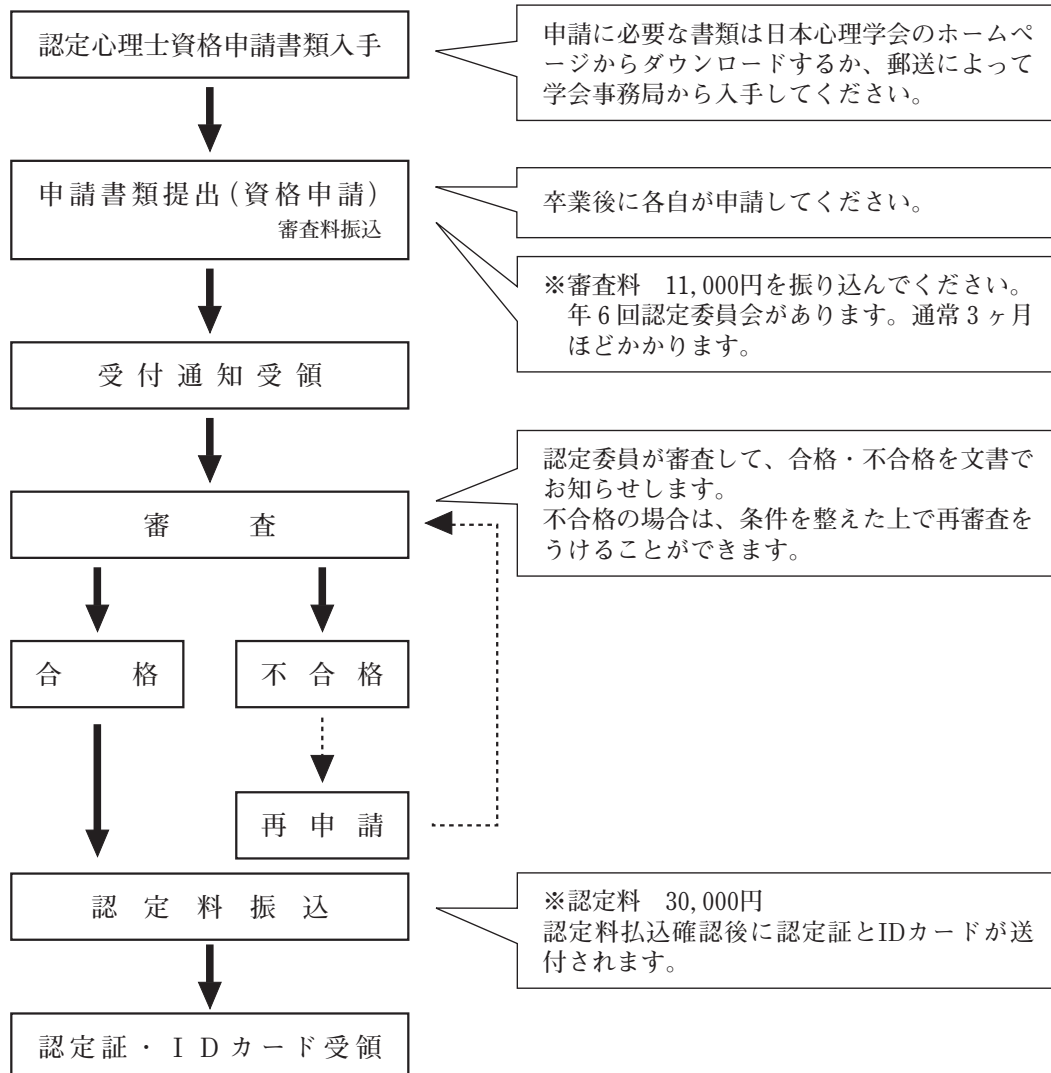
- (a), (c) : 各領域4単位以上
 (b), (c) : 領域の合計が8単位以上 } 小計が12単位以上
 (d)～(h) : 5領域中3領域以上で各領域4単位以上、かつ、5領域の小計が16単位以上

(1)「基礎科目」、(2)「選択科目」、(3)「その他の科目」(i)の単位を加えて総計36単位以上

*1 心理福祉学科必修科目

*2 「精神疾患とその治療」は2単位の科目だが、認定心理士資格に関する副次主題の科目として1単位が認定される。

認定心理士資格申請の流れ



※ 申請時に一部修得科目のシラバスが必要になるので、当該科目の履修登録時にIC-UNIPAよりシラバスを印刷し、申請時まで保管しておくこと。

※ 審査料11,000円と認定料30,000円は個人負担。

12. 福祉心理士資格に関する科目の履修 〔生活科学部心理福祉学科〕

(1) 福祉心理士とは

福祉心理士とは日本福祉心理学会が認定する民間資格で、専門家として、福祉職場で福祉心理支援などを行うことができる基礎学力・技能を有していると認定された人のことである。福祉サービスの利用者への心理相談援助の他に、利用者の家族やそこで働く職員への心理相談援助を行う。

(2) 福祉心理士資格の取得方法

本学が開講している科目のうち日本福祉心理学会が指定している科目で32単位以上修得し、学部を卒業もしくは大学院を修了すれば資格認定の申請ができる。審査の結果、認定されると福祉心理士資格を取得できる。

学部生3年次以降で既に指定科目32単位以上修得している者は資格の仮認定申請ができる。審査の結果認定されると、卒業までの期間は仮認定の福祉心理士資格を取得できる。卒業時に卒業証明書を提出すると本認定の福祉心理士資格を取得できる。

なお、この資格は日本福祉心理学会会員に対して認定される資格であるため、申請時などに日本福祉心理学会に入会することが必要である。

資格認定の申請は、必要書類を揃えて個人で行うことになるが、事前に担当教員に相談するのもよい。申請に必要な書類は担当教員から、もしくは日本福祉心理学会ホームページから入手できる。

資格認定に必要な費用は

認定審査料 20,000円

認定料 10,000円（審査に合格した後に必要な費用）

である。資格認定申請と同時に日本福祉心理学会へ入会する場合は、準会員（学部学生）の学会費3,500円が別に必要となる。

(3) 福祉心理士資格に関する科目

福祉心理士資格の認定申請をするためには、「福祉心理士資格認定のための指定科目」表の「大学開設科目」の修得が必要である。

福祉心理士資格認定のための指定科目

〔2023(令和5)年度以降入学生〕

指定科目		本学設置科目				必要科目・単位数	配置年次	単位数
		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名			
基礎科目	心理学 福祉心理学 社会福祉学	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ	2科目以上 4単位以上	1	2
		21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ		1	2
		21123	2	WP20C51K	福祉心理学		2	2
		21101	2	WP11A02K	社会福祉の原理と政策Ⅰ		1	2
		21102	2	WP12A02K	社会福祉の原理と政策Ⅱ		1	2
心理学関係科目	臨床心理学 心理査定法 カウンセリング(心理相談) 心理療法 発達心理、児童心理 障害者の心理 高齢者の心理	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	4科目 8単位以上	1～2	2
		21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療		2～4	2
		21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント		2～4	2
		21096	1	WP20C22J	心理検査法実習		2～4	1
		21043	3	WP20C53K	心理学的支援法		2～4	2
		21087	2	WP20C24E	心理演習		2～4	2
		21125	1	WP10C31K	発達心理学		1～2	2
		21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学		2～4	2
		21050	1	WP20C20K	老年心理学		2～4	2
	その他の心理学関係*1	21110	1	WP20C30K	神経・生理心理学	4単位以上	2～4	2
		21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ		1～2	2
		21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ		1～2	2
		21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学		2～3	2
		21048	1	WP20C18K	深層心理学		2～4	2
		21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学		2～4	2
		21128	1	WP30C09K	司法・犯罪心理学		3～4	2
		21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学		3～4	2
		21053	1	WP30C04K	癒しのセラピー		3～4	2
		21085	1	WP21C04K	心理学研究法Ⅰ		2～4	2
		21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ		2～4	2
		21126	2	WP21C18J	心理学実験Ⅰ		2～4	2
		21127	2	WP22C20J	心理学実験Ⅱ		2～4	1
		21124	2	WP20C52K	健康・医療心理学		2	2
		21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学		3～4	2
		21130	2	WP10C39K	心理学統計法		1～4	2
		21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学		2～4	2
		21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学		2～4	2
社会福祉学関係科目	相談援助 精神保健福祉援助技術	21113	2	WP10C38K	ソーシャルワークの基盤と専門職	1科目 2単位以上	1	2
		21114	2	WP10C39K	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)		1	2
		21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2～3	2
		21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2～3	2
		21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ		2～3	2
		21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ		2～3	2
		21023	3	WP10C40E	ソーシャルワーク演習		1～2	2
		21024	3	WP21C17E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ		2～3	2
		21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ		2～3	2
		21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ		3～4	2
		21077	3	WP34C02E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ		3～4	2
		21119	2	WP21C15E	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		2～3	2
		21120	2	WP22C17E	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		2～3	2
		21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		3～4	2
		21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ		3～4	2
		21067	3	WP21C16J	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2～3	2
		21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ		3～4	6

指定科目		本学設置科目				必要科目・単位数	配置年次	単位数
		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名			
社会福祉学関係科目	その他の社会福祉学関係*2	21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ	10単位以上	2～4	2
		21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ		2～4	2
		21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A		2～4	2
		21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B		2～4	2
		21153	2	WP21C10K	保健医療と福祉Ⅰ		2～4	2
		21154	2	WP22C12K	保健医療と福祉Ⅱ		2～4	2
		21145	2	WP21C08K	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2～4	2
		21146	2	WP22C10K	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2～4	2
		21152	2	WP20C47K	権利擁護を支える法制度		2～4	2
		21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A		2～4	2
		21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B		2～4	2
		21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援		2～4	2
		21139	2	WP11C06K	児童・家庭福祉Ⅰ		1～4	2
		21140	2	WP12C04K	児童・家庭福祉Ⅱ		1～4	2
		21141	2	WP11C07K	障害者福祉Ⅰ		1～4	2
		21142	2	WP12C05K	障害者福祉Ⅱ		1～4	2
		21143	2	WP11C08K	高齢者福祉Ⅰ		1～4	2
		21144	2	WP12C06K	高齢者福祉Ⅱ		1～4	2
		21076	2	WP20C07K	社会福祉調査の基礎		2～4	2
		21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A		2～4	2
		21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B		2～4	2
		21037	1	WP20C13K	介護概論		2～4	2
				21078	1		WP20C14E	介護技術
	合計					32単位		

* 1 「臨床心理学」「心理査定法」「カウンセリング（心理相談）」「心理療法」「発達心理」「児童心理」「障害者の心理」「高齢者の心理」で4科目12単位以上を修得し、かつ全体で32単位以上を修得している場合は、修得しなくてもよい。

* 2 「相談援助」で3科目12単位以上を修得し、かつ全体で32単位以上を修得している場合は、修得しなくてもよい。

※科目が複数の科目に区分される場合（「Ⅰ、Ⅱ」「A、B」など）は、当該区分された科目の全てを修得して1科目とみなす。

例）「心理学概論Ⅰ」と「心理学概論Ⅱ」を修得して、1科目とみなす。

13. 管理栄養士国家試験受験資格・栄養士資格に関する科目の履修 〔生活科学部食物健康科学科〕

(1) 管理栄養士とは

高齢社会をむかえ、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病に悩む人が増えており、健康課題も深刻化している。また、同時に食をめぐる問題も深刻化・多様化しており、疾病を予防し、健康づくりを果す上で生涯を通じた食育の実施が重要視されている。そのため、専門的な栄養の知識に基づき、人々の栄養状態、食行動を総合的に判断し、対象者に応じた適切な栄養教育ができる優れた技能と人格を備えた人材の育成が求められている。管理栄養士は、健康づくりを「食」の領域から支援する専門家として、社会から大きな期待が寄せられている。

栄養士法（第1条第2項）において、管理栄養士は以下の3項目に該当する業務を行うことを業とする者であることが規定されている。

- ① 傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導
- ② 個人の身体状況、栄養状態等に応じた高度の専門知識及び技術を要する健康の保持のための栄養の指導
- ③ 特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行う。

なお、①を行う場合、医師等の医療職種との連携（医師の指導）のもとに栄養量や摂取方法などの指導を行うことが義務づけられている（栄養士法第5条の5）。

管理栄養士の免許は、管理栄養士国家試験に合格した者に対して厚生労働大臣から与えられる（栄養法第2条3項）。管理栄養免許取得後は、病院、学校、保健所・保健センター、社会福祉施設（高齢者・児童）等の専門職員として、また、食品関係の技術員、研究員として活躍が期待できる。

(2) 管理栄養士養成施設の指定科目（管理栄養士国家試験受験資格）

生活科学部食物健康科学科は、厚生労働大臣により、栄養士及び管理栄養士の養成施設に指定されている。本学科において栄養士の免許、及び管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには、本学学則の定める規定に基づき、管理栄養士学校指定規則に定める次頁以降の必修科目について所定の単位を修得し、併せて学士の資格を取得しなければならない。なお、所定の単位を修得したものは、4年次に実施される管理栄養士国家試験を受験することができる。

管理栄養士学校指定規則に定める科目及び本学設置科目（管理栄養士養成課程）

〔2025(令和7)年度以降入学生〕

管理栄養士学校指定規則に定める科目・単位数				本学設置科目						
教育内容		単位数		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	単位数		配置 年次
		講義 又は 演習	実験 又は 実習					講義 又は 演習	実験 又は 実習	
専門基礎分野	社会・環境と健康	6		22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	2		2
				22106	2	FS22A08K	公衆衛生学Ⅱ	2		2
				22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	2		3
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	2		1
				22109	3	FS12A03K	解剖生理学Ⅱ	2		1
				22110	3	FS10A03J	解剖生理学実験Ⅰ		1	1
				22205	1	FS32A02J	解剖生理学実験Ⅱ		1	3
				22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	2		1
				22111	3	FS12A04K	生化学Ⅱ	2		1
				22198	1	FS30A02J	生化学実験		1	3
				22182	2	FS21A07K	医学一般Ⅰ	2		2
				22204	1	FS20A09K	病理学	2		2
				22180	1	FS10A04K	運動生理学	2		3
	22181	3	FS30A01J	運動栄養生理学実験		1	3			
	食べ物と健康	8		22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	2		1
				22219	1	FS22A09K	食品学Ⅱ（食品加工学を含む）	2		2
				22184	1	FS10A05J	食品学実験		1	1
				22120	2	FS30A04J	食品加工学実習		1	3
				22123	2	FS10A06K	食品衛生学	2		1
				22124	2	FS30A02J	食品衛生学実験		1	3
				22199	1	FS11A05J	調理学実習Ⅰ		1	1
				22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ		1	1
				22126	3	FS10A07K	調理学	2		1
				22127	3	FS30A03J	調理学実験		1	3
	小計		28	10				小計	28	10

管理栄養士学校指定規則に定める科目・単位数				本学設置科目						
教育内容		単位数		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	単位数		配置 年次
		講義 又は 演習	実験 又は 実習					講義 又は 演習	実験 又は 実習	
専門分野	基礎栄養学	2	}	22218	1	FS20A07K	基礎栄養学	2	2	
				22201	2	FS30A04J	栄養学実験		1	3
	応用栄養学	6	}	22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	2		2
				22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	2		2
				22174	3	FS30A05J	応用栄養学実習		1	3
				22130	1	FS40A04K	疾病予防のための栄養学	2		4
	栄養教育論	6	}	22133	3	FS21A03K	栄養教育論Ⅰ	2		2
				22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	2		2
				22135	3	FS23A01K	栄養教育論Ⅲ	2		2
				22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習		1	3
	臨床栄養学	8	}8	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	2		2
				22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	2		2
				22139	2	FS33A02K	臨床栄養学Ⅲ	2		3
				22141	2	FS34A01K	臨床栄養学Ⅳ	2		3
				22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習		1	2
				22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習		1	3
	公衆栄養学	4	}	22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	2		2
				22144	3	FS22A10K	公衆栄養学Ⅱ	2		2
				22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習		1	3
	給食経営管理論	4	}	22176	2	FS11A07K	給食経営管理論Ⅰ	2		1
				22164	4	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	2		2
				22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ		1	2
				22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ		1	2
	総合演習	2	—	22195	1	FS31A01E	総合演習Ⅰ	1		3
				22196	1	FS32A01E	総合演習Ⅱ	1		3
	臨地実習*	—	4	22150	4	FS31A02J	臨地実習Ⅰ(給食の運営)*		1	3
				22210	1	FS32C03J	臨地実習Ⅱ(給食経営管理)		1	3
				22151	4	FS33C01J	臨地実習Ⅲ(公衆栄養)		1	3
				22152	4	FS34C01J	臨地実習Ⅳ(臨床栄養)		2	3
				22211	1	FS35C01J	臨地実習Ⅴ(臨床栄養)		3	3
	小計	32	12				小計	32	12	
	累計	60	22				累計	60	22	
	合計	82					合計	82		

*臨地実習は、以下のいずれかの組み合わせを選択して4単位必修とする。

- ①臨地実習Ⅰ(給食の運営)＋臨地実習Ⅱ(給食経営管理)＋臨地実習Ⅳ(臨床栄養)
- ②臨地実習Ⅰ(給食の運営)＋臨地実習Ⅲ(公衆栄養)＋臨地実習Ⅳ(臨床栄養)
- ③臨地実習Ⅰ(給食の運営)＋臨地実習Ⅴ(臨床栄養)

※給食の運営に係る校外実習

栄養士法施行規則に定める科目及び本学設置科目（栄養士養成課程）

〔2025(令和7)年度以降入学生〕

栄養士法施行規則に定める科目・単位数			本学設置科目						
教育内容	単位数		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	単位数		配置 年次
	講義 又は 演習	実験 又は 実習					講義 又は 演習	実験 又は 実習	
社会生活と健康	4		22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	2		2
			22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	2		3
人体の構造と機能	8	4	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	2		1
			22110	3	FS10A03J	解剖生理学実験Ⅰ		1	1
			22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	2		1
			22182	2	FS21A07K	医学一般Ⅰ	2		2
			22204	1	FS20A09K	病理学	2		2
食品と衛生	6		22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	2		1
			22219	1	FS22A09K	食品学Ⅱ（食品加工学を含む）	2		2
			22184	1	FS10A05J	食品学実験		1	1
			22120	2	FS30A04J	食品加工学実習		1	3
			22123	2	FS10A06K	食品衛生学	2		1
			22124	2	FS30A02J	食品衛生学実験		1	3
栄養と健康	8		22218	1	FS20A07K	基礎栄養学	2		2
			22201	2	FS30A04J	栄養学実験		1	3
			22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	2		2
			22174	3	FS30A05J	応用栄養学実習		1	3
			22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	2		2
			22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	2		2
			22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習		1	2
栄養の指導	6	10	22133	3	FS21A03K	栄養教育論Ⅰ	2		2
			22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	2		2
			22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習		1	3
			22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	2		2
			22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習		1	3
給食の運営	4		22176	2	FS11A07K	給食経営管理論Ⅰ	2		1
			22164	4	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	2		2
			22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ		1	2
			22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ		1	2
			22126	3	FS10A07K	調理学	2		1
			22199	1	FS11A05J	調理学実習Ⅰ		1	1
			22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ		1	1
			22150	4	FS31A02J	臨地実習Ⅰ（給食の運営）※		1	3
小計	36	14				小計	38	14	
合計	50					合計	52		

※給食の運営に係る校外実習

(3) 学内外実験・実習計画

○管理栄養士養成に関わる4年間の実験・実習科目

履修年次	履修科目	単位	履修方法	備考
1年次	調理学実習Ⅰ	1	週2コマ×12週	
	調理学実習Ⅱ	1	週2コマ×12週	
	食品学実験	1	週2コマ×12週	
	解剖生理学実験Ⅰ	1	週2コマ×12週	
2年次	臨床栄養学実習	1	週2コマ×12週	
	給食経営管理実習Ⅰ	1	週3コマ×8週	
	給食経営管理実習Ⅱ	1	週3コマ×8週	
3年次	栄養学実験	1	週2コマ×12週	
	調理学実験	1	週2コマ×12週	
	食品衛生学実験	1	週2コマ×12週	
	食品加工学実習	1	週2コマ×12週	
	生化学実験	1	週2コマ×12週	
	応用栄養学実習	1	週2コマ×12週	
	解剖生理学実験Ⅱ	1	週2コマ×12週	
	栄養教育論実習	1	週2コマ×12週	
	公衆栄養学実習	1	週2コマ×12週	
	応用臨床栄養学実習	1	週2コマ×12週	
	運動栄養生理学実験	1	週2コマ×12週	
	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	1	集中	A
	臨地実習Ⅱ（給食経営管理）	1	集中	A
	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）	1	集中	B
	臨地実習Ⅳ（臨床栄養）	2	集中	C
	臨地実習Ⅴ（臨床栄養）	3	集中	C
4年次	公衆衛生学実験	1	週2コマ×12週	
	スポーツ栄養学実験	1	週2コマ×12週	
	食品化学実験	1	週2コマ×12週	

○臨地実習

臨地実習は、2～4名の学生を1組として各実習施設に配属する。実習を効果的に進めるため、事前指導では学習課題の作成に取り組み、実習の意義・目的の明確化に努める。

実習中には「実習記録」の記録を、また、終了後には「実習報告書」の提出を義務付ける。各自が十分な目的意識を持ち、主体的、意欲的に実習に臨む事を期待する。

A. 臨地実習Ⅰ（給食の運営）、臨地実習Ⅱ（給食経営管理）

特定給食施設に位置づけられる学校給食センター（共同調理場）または単独調理方式の小・中学校における給食経営管理の実際ならびに管理栄養士の役割を学ぶ。各施設の実習担当者の指導に従い、現場実習を通して経営管理（原価管理、帳票類の扱い方）、栄養管理（基準栄養量の扱い方、献立作成法、喫食状況の把握）、衛生・安全管理、食材料管理（発注、検品・検収の方法）、作業管理（作業計画のあり方、作業の効率化・標準化の方法）、施設設備管理について要点を学習する。また、栄養教育教材の作成、食指導の実際を通して栄養教育の手法を体得する。

B. 臨地実習Ⅲ（公衆栄養）

行政機関である保健所・市町村保健センターの役割と、そこでの管理栄養士の役割を学び、国民の健康づくり推進のための仕組みや地域保健対策についての理解を深める。

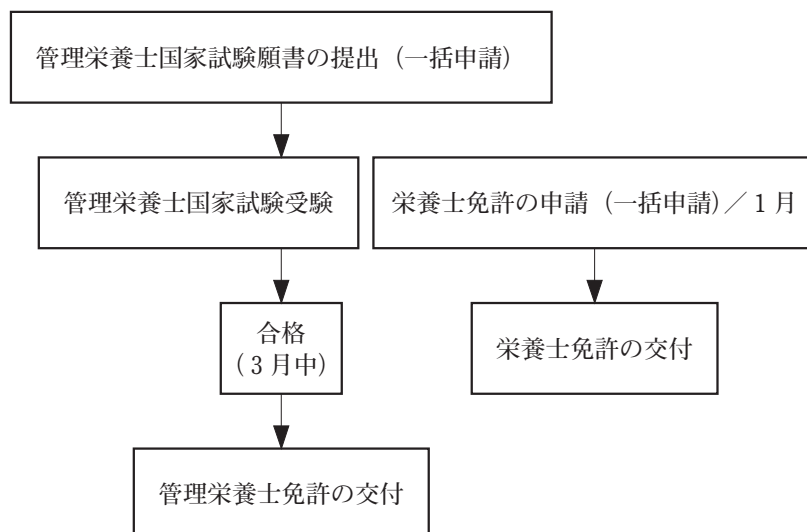
特に、保健所では、地域保健栄養体制の整備業務、市町村に対する支援業務、広域的または専門的な知識や技術を必要とする栄養指導業務、特定給食施設・栄養関連企業等への実施体制の調整業務、栄養相談・一般的栄養指導業務などの要点および住民の栄養改善の推進、地域組織の育成・啓発・普及の方法等についての理解を深める。

C. 臨地実習Ⅳ（臨床栄養）、臨地実習Ⅴ（臨床栄養）

栄養士法において、病院などの医療施設における傷病者に対する栄養食事指導は管理栄養士の業務に位置づけられている。傷病者に対する栄養管理の実際を通して、各実習施設の特徴をふまえながら、臨床栄養管理（栄養アセスメント、各種調査、栄養食事指導、チーム医療など）の要点、方法および管理栄養士の役割を理解する。

また、医療の一環として提供される病院給食について、種類・特性、食数管理などの要点を学ぶと同時に、入院時食事療養制度の運用と併せて給食経営管理の視点からの運営システムを学習する。

管理栄養士資格取得まで〔該当年次に詳細説明あり〕



14. 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目の履修 〔生活科学部食物健康科学科〕

(1) 食品衛生監視員・食品衛生管理者とは

食品衛生監視員とは、食品衛生法の規定に基づき、食品に起因する衛生上の危害を防止するために営業施設等への立入検査や食品衛生に関する指導の職務等を行う公務員のことをいい、任用されるには本資格が必要となる（食品衛生法第30条）。国の食品衛生監視員は、検疫所における輸入食品の監視指導や地方厚生局における総合衛生管理製造過程の承認等を行っている。一方、自治体の食品衛生監視員は、保健所などにおいて各自治体の所管地域の営業施設等への監視指導を行う。平成15年の法改正により、国は、監視指導実施に関する統一的な考え方である「食品衛生に関する監視指導指針」を策定し、その指針に基づき国は輸入食品について「輸入食品監視指導計画」を策定し、自治体は「都道府県等監視指導計画」を策定し、それぞれの計画に従って監視指導を行うことになっている。

また食品衛生管理者とは、乳畜肉製品、食品添加物、及び特に衛生上の考慮を必要とする食品の製造、加工を行う施設で、監督、指導の業務にあたる者をいう。なお、このような施設では資格者を置くことが法律で義務づけられている（食品衛生法第48条）。

(2) 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目

生活科学部食物健康科学科は、厚生労働大臣により、食品衛生監視員（任用）、及び食品衛生管理者の養成施設に指定されている。本学科において食品衛生法（施行令第9条第1項第1号及び法第48条第6項第3号）に定める食品衛生監視員任用資格及び食品衛生管理者の資格を取得するためには、本学学則の定める規程に基づき、所定の科目を修得することが必要である。

[2025(令和7)年度以降入学生]

区分	本学設置科目							配置 年次
	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	単位数			
					必修	選択		
A 群 化学関係	22100	1	FS10C11K	有機化学		2	1～2	
B 群 生物化学関係	22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	2		1	
	22111	3	FS12A04K	生化学Ⅱ	2		1	
	22198	1	FS30A02J	生化学実験	1		3	
	22117	3	FS40C02J	食品化学実験		1	4	
	22184	1	FS10A05J	食品学実験	1		1	
	22118	1	FS10C01K	食品化学		2	1～4	
C 群 微生物学関係	22219	1	FS22A09K	食品学Ⅱ(食品加工学を含む)	2		2	
	22120	2	FS30A04J	食品加工学実習	1		3	
D 群 公衆衛生学関係	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	2		2	
	22106	2	FS22A08K	公衆衛生学Ⅱ	2		3	
	22197	1	FS40C01J	公衆衛生学実験		1	4	
	22123	2	FS10A06K	食品衛生学	2		1	
	22124	2	FS30A02J	食品衛生学実験	1		3	
E 群 その他の関連 科目	22218	1	FS20A07K	基礎栄養学	2		2	
	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	2		1	
	22109	3	FS12A03K	解剖生理学Ⅱ	2		1	
	22110	3	FS10A03J	解剖生理学実験Ⅰ	1		1	
	22182	2	FS21A07K	医学一般Ⅰ	2		3	
	22183	1	FS42C02K	医学一般Ⅱ		2	4	
	22204	1	FS20A09K	病理学	2		2	
	22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	2		2	
	22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	2		2	
	22201	2	FS30A04J	栄養学実験	1		2	
	22174	3	FS30A05J	応用栄養学実習	1		3	
	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	2		2	
	22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習	1		2	
	22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習	1		3	
	22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	1		2	
	22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習	1		3	
	22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ	1		2	
	22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ	1		2	
	22150	4	FS31A02J	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	1		3	

- (1) A群～D群までの各群において、それぞれ1科目以上修得すること。
- (2) A群～D群までの科目の中から、合計22単位以上修得すること。
- (3) 上記22単位を含み、A群～E群までの各科目の中から、合計40単位以上修得すること。

15. 看護師国家試験受験資格に関する科目の履修 〔看護学部看護学科〕

看護師とは

少子・高齢化や医療の高度化、社会や自然環境の変化に伴い、看護をめぐる情勢は著しく変化し、保健・医療・福祉の一端を担う看護職への期待はかつてなく高まっている。

看護職とは、保健師・助産師・看護師の総称であり、すべて「看護」を基盤に持つ専門職である。看護職能団体である日本看護協会は「看護とは、健康のあらゆるレベルにおいて個人が健康的に正常な日常生活ができるように援助することであり、この場合のあらゆるレベルにおける援助というのは、健康危機、健康回復など健康のどのレベルにおいても、対象となる人が、それまで持ち続けていた生活リズム（健康な状態）にまで整えることである」と述べている。

このように看護職の行う仕事は、人々のさまざまなレベルの健康状態に関心を持って、その人の生活上に起こる諸問題に対して専門的な知識と技術を活用して健康問題の改善や解決をめざす援助活動であり、人間にとって最も大切な健康、すなわち生命に直接関わる仕事といえる。

看護師の具体的な役割としては、①健康を障害した人々の身の回りの世話、②疾病に罹患した者に対して医師の行う診断や治療・検査の介助、③健康を保持し疾病の回復に必要な生理的、心理的、社会的環境づくり、④疾病予防に対する保健指導や健康教育、⑤円滑な医療遂行のための医療従事者との協力・調整などがあげられる。これらの役割を果たすためには専門的な知識・技術・態度が必要である。看護の三大要素とも言われるものである。

看護師は、人間を対象とする仕事であるところから、学習内容也多岐にわたる。健康や疾病に関する医学的知識、心理や情緒に関する心理学的知識、社会や経済に関する社会学的知識などである。また、看護は実践の科学といわれるように科学的な根拠を持った技術の修得が必要であり、看護専門職業人としての態度面の学習も欠かせない。これらは、講義だけでなく演習や学外の医療・保健・福祉施設での臨地実習を合わせて実施することによって修得できる。

本学看護学部では、これらの一般教養から専門知識や技術を修得する内容を含む科目を整え、学習の場を準備しており、所定の単位を修得すれば看護師国家試験受験資格が得られる。

教育課程と指定規則の対比表

[2024(令和6)年度以降入学生]

指定規則の教育内容							看護師課程																計			
							基礎分野 科学的思考の基盤	専門基礎分野 人間の生活・社会の理解 人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	基礎看護学	専門分野							臨地実習									
										健康支援と社会保障制度	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学		母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践
区分	科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位数 必修 選択	履修方法及び卒業要件	14	16	6	11	6	6	4	4	4	4	4	3	2	4	2	2	2	2	102	
全学教養科目			全学教養科目			8単位必修＋17単位選択必修	25											23						25		
	計						25	0		0							0						25			
	専門基礎科目	疾病の成り立ちと回復の促進	31101	3	人体構造機能学A	1	2		②																	26
31186			2	人体構造機能学B	1	2		②																		
31187			2	人体構造機能学演習	2	1		①																		
31103			1	生化学	1	1		①																		
31104			3	栄養・代謝学	1	1		①																		
31213			1	食物健康演習	1		1																			
31106			3	感染と防御	1	1		①																		
31107			1	病理病態学	2	2		②																		
31108			1	薬理学	2	2		②																		
31109			1	疾病治療論	2	3		③																		
31214			1	疾病治療論（小児）	2	1									①											
31215			1	疾病治療論（母性）	2	1										①										
31216			1	疾病治療論（精神）	2	1											①									
倫理・社会と健康支援	31217	1	医療倫理	1	1		①																			
	31111	3	社会保障制度論	1	2				②																	
	31112	3	保健医療福祉行政論	2	2				②																	
	31212	1	カウンセリング技術	2		1			1																	
疫学と統計	31178	1	公衆衛生学	1	1				①																	
	31115	2	疫学	2	2		②																			
	31179	1	保健統計	3		2			2																	
計						28	3	15	5	0	0	0	0	1	1	1	0	0								
専門科目	看護学の基本	31218	1	看護学概論	1	2					②														22	
		31219	1	看護倫理	2	2			②																	
		31118	2	看護学へのアプローチ	1	1		①																		
		31191	2	看護とコミュニケーション	1	1					①															
		31119	3	ヘルスアセスメントA	1	1					①															
		31120	3	ヘルスアセスメントB	2	1					①															
		31123	3	援助技術論A	1	2					②															
		31124	3	援助技術論B	2	2					②															
		31125	3	看護関係法規	2	1					①															
		31220	1	精神保健	2	1			①																	
		31192	2	健康教育論	2	2					②															
		31221	1	ライフステージと看護	1	1						①														
		31222	1	看護とクリティカルシンキング	2	1		①																		
		31223	1	地域・在宅看護学実習Ⅰ	1	1														①						
		31130	2	基礎看護学実習	2	3													③							
	計						22	4	1	1	11	1	0	0	0	0	0	4								
	看護展開の基礎	31122	3	看護実践統合演習Ⅰ	2	1		①																	14	
		31224	1	成熟期看護学概論	2	2							②													
		31225	1	成熟期療養支援看護学A	2	2							②													
		31226	1	成熟期生活支援看護学A	2	2								②												
		31193	2	小児看護学A	2	1									①											
		31194	2	母性看護学A	2	1										①										
		31195	2	精神看護学A	2	1											①									
		31227	1	公衆衛生看護学概論	2	1					①															
		31228	1	家族看護論	2	1						①														
		31196	2	在宅看護学A	2	1						①														
		31229	1	地域・在宅看護学実習Ⅱ	2	1													①							
		計						14	1	0	0	0	3	4	2	1	1	1	0	1						

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。
※単位数が○印で囲まれているものは看護師国家試験受験資格を得るための必修科目。

教育課程 指定規則の教育内容							看護師課程																		計			
							基礎分野	専門基礎分野		専門分野							臨地実習											
							科学的思考の基盤	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保障制度	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学		母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践
区分	科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位数 必修 選択	履修方法及び卒業要件	14	16	6	11	6	6	4	4	4	4	4	3	2	4	2	2	2	2	2	2	102	
							23																					
専門科目	看護展開の応用	31197	2	看護実践統合演習Ⅱ	3	1	27単位必修	①																			27	
		31230	1	成熟期療養支援看護学B	3	2							②															
		31144	3	成熟期生活支援看護学B	3	2									②													
		31199	2	小児看護学B	3	2										②												
		31146	3	母性看護学B	3	2											②											
		31200	2	精神看護学B	3	2												②										
		31201	2	在宅看護学B	3	2						②																
		31202	2	公衆衛生看護活動展開論A	2	1													1									
		31180	3	公衆衛生看護活動展開論B	3	2														2								
		31231	1	公衆衛生看護活動展開論C	3	2														2								
		31232	1	公衆衛生看護管理論	4	2														2								
		31204	1	学校保健	2	1														1								
		31205	2	学校健康相談	3	1														1								
		31182	1	産業保健	4	1														1								
		31155	2	成熟期療養支援看護学実習	3	4																④						
		31233	1	成熟期生活支援看護学実習	3	2																②						
		31157	1	小児看護学実習	3	2																	②					
		31158	1	母性看護学実習	3	2																		②				
		31159	1	精神看護学実習	3	2																			②			
		31160	3	地域・在宅看護学実習Ⅲ	3	2															②							
		31183	3	公衆衛生看護学実習A	2	1																						
		31206	2	公衆衛生看護学実習B	4	4																						
		計							41	1	0	0	0	2	2	2	2	2	2	0	14							
	看護学の発展	31154	2	エンドオブライフケア論	4	1	11単位必修を含めて13単位選択	①																			13	
		31210	2	災害看護論	4	1		①																				
		31164	2	看護マネジメント	4	1												①										
		31167	1	研究方法論	4	1													①									
31208		1	研究方法論演習Ⅰ	4	1													①										
31209		1	研究方法論演習Ⅱ	4	1													①										
31163		1	国際看護論	4	1																							
31165		1	看護教育学	4	1																							
31170		1	リハビリテーション看護	4	1																							
31171		1	がん看護	4	1																							
31113		2	保健医療看護経済学	4	1																							
31211		1	生と死の倫理	4	1																							
31207		2	異文化看護演習	1ー4	2																				2			
31176		3	看護実践統合演習Ⅲ	4	1			①																				
31234		1	総合実習	4	4																				④			
計							13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4										
卒業要件単位数							127	39	16	6	11	6	6	4	4	4	4	23						127				
指定規則に対する増単位数							25	0						0			0						25					

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。
※単位数が○印で囲まれているものは看護師国家試験受験資格を得るための必修科目。

16. 保健師国家試験受験資格に関する科目の履修 〔看護学部看護学科〕

保健師とは

日本は世界屈指の先進国、長寿国といわれているが、地域では虐待や登校拒否、中・高年者の過労死や自殺など、身体に現れた病気だけでなく「生きる」「生活する」「学び、発達する」「働く」という場面でさまざまな障害が発生している。また、地球の温暖化や自然の破壊が進行し、生命そのものが危機に曝されている。このような状況下で、身体と心の悩みを総合的に捉えるヒューマンケアや保健・予防の考え方を重視して、人々が生活の場で自らの健康の決定要因をコントロールし続けられるように、地域（個人、家庭、地域社会、学校、職場）の環境条件を整備支援する活動がますます期待されている。

看護師が病気や障害などの援助を必要とする人に対して、個人個人の健康を取り戻す過程へのケアを中心に行うのに対して、保健師は、地域で生活するすべての人々を対象にして、援助を求めてくる人だけでなく、家庭の事情や経済的問題などさまざまな理由で必ずしも援助を求めてこない人々を見つけ出し、保健・予防の観点から地域住民の健康を守る活動をする。つまり、保健師は、看護技術、予防的・公衆衛生的援助技術、社会事業的援助技術を駆使して、地域の人々の健康を守り、その人の持っている生命力や能力を最大限に発揮して楽しく生活が続けられるよう支援する専門職である。

保健師の具体的な役割として、①人々の健康ならびに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程を、社会的条件の中でとらえた支援、②地域の人々が自らの健康状態を認識して健康の保持・増進を図れるよう健康学習や自助グループ活動を実施し、また社会資源を活用できるような支援活動、③地域に潜在している健康問題を見出すとともに、潜在している健康問題を予測し、これらの問題を組織的に解決していくこと、④保健・医療・福祉行政の基本的知識を踏まえ、地域の健康問題の解決に必要な社会資源の開発や、保健・医療・福祉サービスを評価し、調整することなどがあげられる。

保健師教育は、看護教育の大学化に伴い、養成所・短大専攻科から学部での保健師看護師統合カリキュラム、そして学部選択制・選抜制と移行し、さらに大学院教育へと多様化している。すなわち、高度実践者として活躍できる専門職人材の育成が、ますます求められているところである。保健師のアイデンティティを持ち、保健師として「保健指導」できる知識・技術の基礎を修得できる教育体制として、本学看護学部も学部選抜制を導入している。選抜方法は以下の通りである。

1. 募集定員 20名
2. 出願時期 2年次8月初旬（前期定期試験期間終了後）
3. 出願資格 1年次後期までのGPA2.0以上の者であり、かつ、1年次および2年次前期の必修全科目が、2年次後期開始時に履修済みであること。
在学期間中、出願できるのは1回限りとする。

4. 選抜方法

出願者の中から、1年次後期までのGPAおよび2年次前期までに履修する公衆衛生看護及び関連科目（公衆衛生看護学概論、公衆衛生学、看護とコミュニケーション、ライフステージと看護）の成績上位者から定員数を選抜する。

選抜合格者は、看護師国家試験受験資格に関する科目の履修に加えて所定の単位を修得すれば、保健師国家試験受験資格を得ることができる。

〔2024(令和6)年度以降入学生〕

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。
※単位数が○印で囲まれているものは保健師国家試験受験資格を得るための必修科目。

教育課程 指定規則の教育内容							保健師課程										計			
							公衆衛生看護学				疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	臨地実習						
							公衆衛生看護学概論	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護管理論				公衆衛生看護学実習						
														実習	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論実習		公衆衛生看護管理論実習		
区分	科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位数 必修 選択	履修方法及び卒業要件	2	16			2	2	4	2	3		31			
専門科目	看護展開の応用	31197	2	看護実践統合演習Ⅱ	3	1	41単位必修										16			
		31230	1	成熟期療養支援看護学B	3	2														
		31144	3	成熟期生活支援看護学B	3	2														
		31199	2	小児看護学B	3	2														
		31146	3	母性看護学B	3	2														
		31200	2	精神看護学B	3	2														
		31201	2	在宅看護学B	3	2			②											
		31202	2	公衆衛生看護活動展開論A	2	1				①										
		31180	3	公衆衛生看護活動展開論B	3	2				②										
		31231	1	公衆衛生看護活動展開論C	3	2				②										
		31232	1	公衆衛生看護管理論	4	2					②									
		31204	1	学校保健	2	1			①											
		31205	2	学校健康相談	3			1												
		31182	1	産業保健	4	1				①										
		31155	2	成熟期療養支援看護学実習	3	4														
		31233	1	成熟期生活支援看護学実習	3	2														
		31157	1	小児看護学実習	3	2														
		31158	1	母性看護学実習	3	2														
		31159	1	精神看護学実習	3	2														
		31160	3	地域・在宅看護学実習Ⅲ	3	2														
		31183	3	公衆衛生看護学実習A	2	1													①	
		31206	2	公衆衛生看護学実習B	4	4													④	
		計						41	0	4	5	2	0	0	0			5		
	看護学の発展	31154	2	エンドオブライフケア論	4	1	11単位必修を含めて13単位選択 2単位選択											1		
		31210	2	災害看護論	4	1		①												
		31164	2	看護マネジメント	4	1														
		31167	1	研究方法論	4	1														
		31208	1	研究方法論演習Ⅰ	4	1														
		31209	1	研究方法論演習Ⅱ	4	1														
		31163	1	国際看護論	4			1												
		31165	1	看護教育学	4			1												
		31170	1	リハビリテーション看護	4			1												
		31171	1	がん看護	4			1												
		31113	2	保健医療看護経済学	4			1												
		31211	1	生と死の倫理	4			1												
		31207	2	異文化看護演習	1-4			2												
		31176	3	看護実践統合演習Ⅲ	4			1												
		31234	1	総合実習	4			4												
		計						13	0	1	0	0	0	0	0		0			
卒業要件単位数						127	—													
保健師国家試験受験資格を取得する場合の最低必要単位数						143	2	9	5	2	2	2	4		5		31			
指定規則に対する増単位数							0		0		0	0	0		0		0			

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

※単位数が○印で囲まれているものは保健師国家試験受験資格を得るための必修科目。

履 修 要 項 VII

〔 諸 規 程 ・ 諸 制 度 ・ そ の 他 〕

1. 卒業研究規程	197
2. 茨城キリスト教大学研究倫理指針	200
3. 茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム	204
4. 海外研修制度	206
5. 『異文化体験』の履修	216
6. 単位互換制度	218
7. 茨城キリスト教大学派遣学生および特別聴講学生に関する規程	220
8. 茨城キリスト教大学国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程	222
9. 茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定に関する規程	224
10. 茨城キリスト教大学科目等履修生に関する規程	225
11. その他	227

1. 卒業研究規程

卒業研究提出にかかわる注意事項、指示事項がある場合は掲示にて指示する。

提出締切日 IC-UNIPA、学事暦及び掲示で確認すること

提出先 学務部（文化交流学科を除く）

文学部

現代英語学科

1. 研究内容の範囲 英語学・英米文学・英語教育・異文化間コミュニケーション・観光学・メディア論・その他英語および英語（圏）文化に関連するテーマであること。
2. 卒業研究の様式：
 - A. 論文
 - ◆英文の場合、A4判用紙を使用。1ページ25行程度で12枚以上に相当するワード数であること。さらに、和文（400字詰原稿用紙3枚程度）の要旨を付けること。ただし、表紙、目次、要旨はページ数に入れない。参考文献、図表は本文のページ数に入れる。
 - ◆和文の場合、A4判用紙を使用。400字詰原稿用紙30枚以上に相当する字数であること。さらに、本文の前に英文（400語程度）の要旨を付けること。ただし、表紙、目次、要旨はページ数に入れない。参考文献、図表は本文のページ数に入れる。
 - B. ドラマ・プレゼンテーション：指導教員の指示に従い、CD、DVD等に保存し、概要とともに提出する。概要はA4判用紙を使用し、400字程度とする。
 - C. その他：学科の担当教員に問い合わせること。
3. 注意点
指導教員と十分にコミュニケーションをとりながら研究を進めること。

児童教育学科

1. 研究内容の範囲 教育学、教育心理学、児童学に関わる論文（作品、演奏等を含む）とする。
2. 卒業研究の様式 担当教員の指示に従うものとする。

文化交流学科

1. 研究内容の範囲 文化交流学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。
2. 指導教員
原則として学科所属の教員とする。
学科外教員の指導を希望する場合には、学科主任に相談すること。

生活科学部

心理福祉学科

1. 研究内容の範囲 心理福祉にかかわる研究（調査等を含む）で卒業研究にふさわしいテーマとする。
※様式の詳細は、学科の申し合わせに基づく担当教員の指示に従うものとする。
2. 用紙規格・枚数
A4用紙（和文40字×30行）、本文（表紙、目次、図表等を除く）10枚以上を目安とする。原則として、日本語ワープロでの作成とする。ただし、担当者の指示があった場合はそれに従うこととする。
3. 指導教員
心理福祉演習の担当者を原則とする。
心理福祉演習を担当しない学科専任教員の指導を希望する場合は、当該教員の了解を得るものとする。
他学科の専任教員の指導を希望する場合は、学科主任ならびに当該教員に相談すること。
兼任講師の指導は認めない。

食物健康科学科

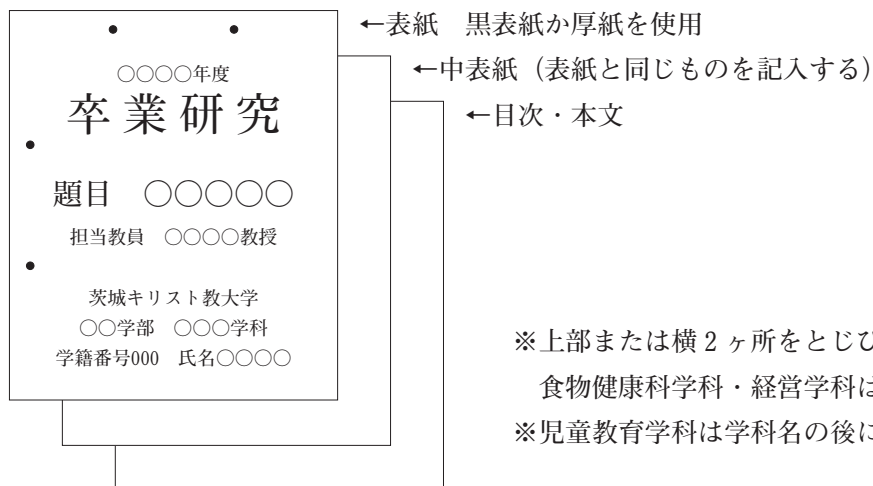
1. 研究内容の範囲 (1) 食物健康科学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。
(2) 指導は、学科所属の担当教員が行う。
2. 用紙規格・枚数 (1) A4判用紙を使用し、横とじとすること。
(2) 構成は表紙、目次、本文、図表、謝辞、参考文献とする。

経営学部

経営学科

1. 研究内容の範囲 経営学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。
2. 指導は、学科所属の担当教員が行う。
3. その他詳細については、卒業研究要項にて説明する。

●卒業研究の体裁例（文学部・生活科学部・経営学部共通）

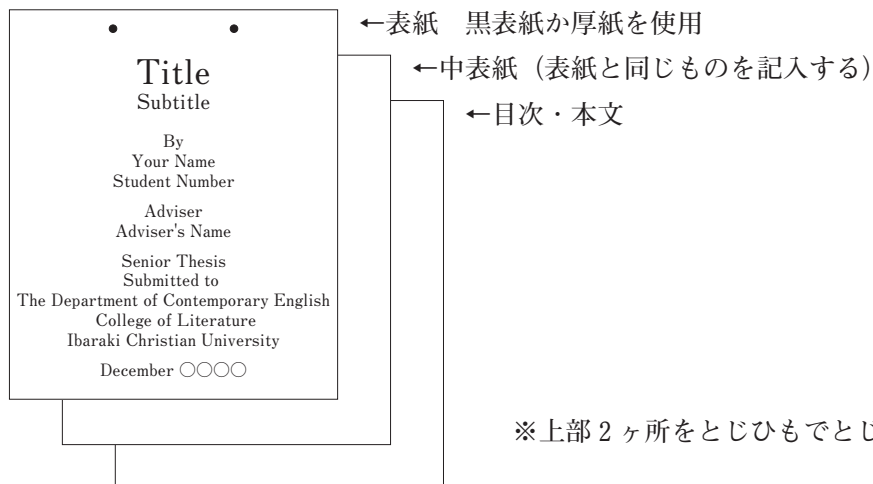


※上部または横2ヶ所をとじひもでとじる。

食物健康科学科・経営学科は横2ヶ所をとじる。

※児童教育学科は学科名の後にコース名を記載する。

●現代英語学科卒業研究（英文）体裁例



※上部2ヶ所をとじひもでとじる。

2. 茨城キリスト教大学研究倫理指針

(目的)

第1条 茨城キリスト教大学（以下「本学」という。）は、本学の学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究を遂行する上で求められる研究者および研究に関与する事務職員の行動、態度の倫理的指針をここに定める。

(研究の基本)

第2条 研究者は、良心と信念に従って、自らの責任で研究を遂行し、不当な圧力により研究成果の客観性を歪めることがあってはならない。

2 研究者は、生命の尊厳を重んじ、個人のプライバシーに配慮し、基本的人権を尊重しなければならない。

3 研究者は、国際的に認められた規範、規約および条約等、国内の法令、告示等および本学の諸規程を遵守しなければならない。

(定義)

第3条 「研究者」は、次の者とする。

(1) 本学教育職員任用規程第2条(1)から(7)に定める者

(2) 前(1)と共同で研究を行う全ての者

2 「研究」とは、研究計画の立案、計画の実施、成果の発表、評価にいたる全ての過程における行為、決定およびそれに付随する全ての事項をいう。

3 「発表」とは、自己の研究に係る新たな知見、発見または専門的知見を公表する全ての行為をいう。

4 「研究に関与する事務職員」とは、本学の研究に対する事務、管理等（以下「研究事務等」という。）に携わる専任事務職員、嘱託員、臨時職員、およびアルバイト職員をはじめとする全ての研究事務等に従事する者をいう。

(研究者の態度)

第4条 研究者は、自己の専門研究が及ぶ範囲を自覚し、他分野の専門研究を尊重するとともに、自己研鑽に努めなければならない。

2 研究者は、他の国、地域、組織等の研究活動における、文化、慣習、規律の理解に努めなければならない。

3 研究者は、他の研究者と共同で研究活動を行う場合は、相互の学問的立場を尊重しなければならない。

4 研究者は、研究協力者、研究支援者等に対しては、謝意をもって接しなければならない。

5 研究者は、学生が共に研究活動に関わる場合は、学生が不利益を蒙らないよう十分に配慮をしなければならない。

6 研究者は、自己の研究計画について、分かり易く、明瞭に説明できるよう努めなければならない。

7 研究者は、研究遂行中において、計画進捗状況の自己点検を行い、適切な時期に途中経過の報告ができるよう努めなければならない。

(研究のための情報、データ等の収集)

第5条 研究者は、科学的かつ一般的に妥当な方法、手段で、研究のための資料、情報、データ等を収集しなければならない。

2 研究者が、研究のために資料、情報、データ等を収集する場合は、その目的に適う必要な範囲におい

て収集するよう努めなければならない。

(インフォームド・コンセント)

第6条 研究者が、人の行動、環境、心身等に関する個人の情報、データ等の提供を受けて研究を行う場合は、提供者に対してその目的、収集方法等について、分かり易く説明し、提供者の明確な同意を得なければならない。

2 組織、団体等から、当該組織、団体等に関する資料、情報、データ等の提供を受ける場合も前項に準じるものとする。

(個人情報の保護)

第7条 研究者は、プライバシー保護の重要性に鑑み、研究のために収集した資料、情報、データ等で、個人を特定できるものは、これを他に洩らしてはならない。

(実験ノート、情報、データ等の利用および管理)

第8条 研究者は、実験ノート、研究のために収集または生成した資料、情報、データ等の滅失、漏洩、改ざん等を防ぐために適切な措置を講じなければならない。

2 研究者は、実験ノート、研究のために収集または生成した資料、情報、データ等を適切な期間保存しなければならない。ただし、法令または規程等に保存期間の定めのある場合はそれに従うものとする。

(機器、薬品・材料等の安全管理)

第9条 研究者が、研究実験において研究装置・機器等および薬品・材料等を用いるときは、関係取扱規程、要領等を遵守し、その安全管理に努めなければならない。

2 研究者は、研究の過程で生じた残渣物、使用済みの薬品・材料等について、責任をもってその最終処理をしなければならない。

(研究成果の発表)

第10条 研究者は、研究の成果を広く社会に還元するため、公表しなければならない。ただし、産業財産権等の取得およびその他合理的理由のため公表に制約のある場合は、その合理的期間内において公表しないものとするができる。

2 研究成果は、学問的誠実性と論理的忠実性によって導かれた、新たな知見、発見であることに鑑み、研究者は、他者の成果を自己の成果として発表してはならない。

3 研究者は、研究成果の発表に際しては、先行研究を精査し尊重するとともに、他者の知的財産を侵害してはならない。

4 研究者は、研究成果発表における不正な行為は、本学および研究者に対する社会の信頼性を喪失する行為であることを自覚し、次に掲げる不正な行為は、絶対にこれをしてはならない。

(1) 捏造（存在しないデータの作成）

(2) 改ざん（データの変造、偽造）

(3) 盗用（他人のデータや研究成果等を適切な引用なしで使用）

5 研究者は、研究発表における不適切な引用、引用の不備、誇大な表現、都合のよい誤解をさせる表現等は、不正行為とみなされる恐れがあることを自覚し、適切な引用、誤解のない完全な引用、そして真摯な表現をしなければならない。

(オーサiership)

第11条 研究者は、研究活動に実質的な関与をし、研究内容に責任を有し、研究成果の創意性に十分な貢献をしたと認められる場合に、適切なオーサiershipを認められる。

(研究費の取扱い)

第12条 研究者および研究に関与する事務職員は、研究費の源泉が、学生納付金、国・地方公共団体等か

らの補助金、財団、企業等からの助成金、受託・共同研究費、寄附金等によって賄われていることを常に留意し、研究費の適正な使用および管理に努め、その負託に応えなければならない。

- 2 研究者は、交付された研究費を当該研究に必要な経費のみに使用しなければならない。
- 3 研究者および研究に関与する事務職員は、研究費の使用および管理に当たっては、法令、本学の諸規程、当該研究費の使用規定等を遵守しなければならない。
- 4 研究者および研究に関与する事務職員は、証憑書類等を適切に管理し、実績報告においては、研究遂行の真実を明瞭に記載しなければならない。

(他者の業績評価)

第13条 研究者が、レフリー、論文査読、審査委員等の委嘱を受けて、他者の研究業績の評価に関わるときは、被評価者に対して予断を持つことなく、評価基準、審査要綱等に従い、自己の信念に基づき評価しなければならない。

- 2 研究者は、他者の業績評価に関わり知り得た情報を不正に利用してはならない。当該業績に関する秘密は、これを保持しなければならない。

(本学の責務)

第14条 本学は、研究者の研究倫理意識を高揚するために、必要な啓発、倫理教育の計画を策定し、実施するものとする。

- 2 本学は、この指針の運用を実効あるものとするため、研究者の研究倫理に反する行為および研究に関与する事務職員の研究倫理に反する行為に加担する行為に対しては適切な措置を講じるものとする。
- 3 前2項に関する事項は別に定める。

(改定)

第15条 この指針の改定は、研究支援委員会の議を経、合同教授会の承認を得てこれを行う。

附則

- 1 この指針は、2010年4月1日から施行する。
- 2 この指針は、2014年4月1日から施行する。
- 3 この指針は、2015年4月1日から施行する。

3. 茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

現在の情報化社会では、インターネットとICTの発達からビッグデータが扱えるようになり、これをAI、機械学習、ディープラーニングなどの新技術で分析・解析し、データにもとづく意思決定・課題解決を行うようになっている。このようなデータから有意義な洞察を引き出すことをデータサイエンスと言う。

データサイエンスの活用分野としては、データから新たな顧客ニーズを発見し新事業の立ち上げに繋がるといった、ビジネス分野が取り上げられることが多い。しかしながら、例えばヘルスケアの分野では、医療データ、看護行動、看護の必要度などから次の日の業務量を予測する。心理学では人の行動やコミュニティの生成パターンの分析に活用する。食品分野では、メニュー、食数実績、販売価格、天気予報などから日毎の食数を予測する。教育分野では、学習効果が向上する要因を分析する。など、さまざまな分野でデータサイエンスが活用されている。

また政府は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を、文理を問わず全ての大学生が主体的に身に付けることを求めている。

このような社会環境に合わせ、本学では2022年度からデータサイエンス教育を全学的に展開している。実施する教育プログラムは、数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムが策定・公開した内容*に基づく履修プログラムで、内閣府、文部科学省及び経済産業省が創設した「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されている。データサイエンス教育プログラムの修了要件を満たし、かつ履修登録期間中にIC-UNIPAの「資格等希望登録」機能で「データサイエンス教育プログラム」を登録した学生には修了証を授与する。

*「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」2020年4月公開

プログラム名称

茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

学修内容

- ・データから価値を創出する一連の課程に関する基礎知識
- ・数理・データサイエンス・AIが社会変化に深く寄与しているものであり、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るものであること
- ・活用に当たって必要となる情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項
- ・「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法

修了要件

各学科および学環で定めた科目、合計6単位を履修する。

【文学部現代英語学科・文化交流学科】

科目コード	科目明細	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次
10137	2	データサイエンスⅠ	〔	②	〕	
10166	1	データサイエンスⅡ	〔	②	〕	
10152	1	はじめての統計学	〔	②	〕	

【文学部児童教育学科】

科目コード	科目明細	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
10137	2	データサイエンスⅠ	〔 ② 〕			
10166	1	データサイエンスⅡ	〔 ② 〕			
13017	2	教育統計学	〔 2 〕			

【生活科学部心理福祉学科】

科目コード	科目明細	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
10137	2	データサイエンスⅠ	〔 ② 〕			
10166	1	データサイエンスⅡ	〔 ② 〕			
21130	2	心理学統計法	〔 2 〕			
10152	1	はじめての統計学	〔 ② 〕			

※本プログラムを修了するためには「データサイエンスⅠ」、「データサイエンスⅡ」必修。
「心理学統計法」、「はじめての統計学」のいずれか選択で合計6単位履修。

【生活科学部食物健康科学科】

科目コード	科目明細	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
10137	2	データサイエンスⅠ	〔 ② 〕			
10166	1	データサイエンスⅡ	〔 ② 〕			
22179	1	栄養統計処理		②		

【看護学部看護学科】

科目コード	科目明細	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
10137	2	データサイエンスⅠ	〔 2 〕			
10166	1	データサイエンスⅡ	〔 2 〕			
31179	1	保健統計			〔 2 〕	

【経営学部経営学科】

科目コード	科目明細	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
41132	1	データサイエンス基礎	2			
10166	1	データサイエンスⅡ	〔 ② 〕			
10152	1	はじめての統計学	〔 ② 〕			

【未来教養学環】

科目コード	科目明細	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
10137	2	データサイエンスⅠ	〔 ② 〕			
10166	1	データサイエンスⅡ	〔 ② 〕			
10152	1	はじめての統計学	〔 2 〕			

※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。

4. 海外研修制度

(1) 海外語学研修

海外語学研修は、学部・学科・学年を問わず全ての学生を対象として、夏期／春期休業中の約2週間または4週間で実施される。語学研修を中心に、それぞれの国の歴史や文化などを直接体験できる内容が盛り込まれている。参加に伴い、海外語学研修の単位修得が可能である。

なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

○研修先

アメリカ合衆国

機 関 名：オクラホマ・クリスチャン大学（Oklahoma Christian University: OC）

所 在 地：オクラホマ州 オクラホマ市

時期・内容：春期休業中の約4週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位：海外語学研修A または B（4単位）

機 関 名：ウェストアラバマ大学（University of West Alabama）

所 在 地：アラバマ州 リビングストン市

時期・内容：夏期休業中の約2週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。英語学習コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修C または D（2単位）

カナダ

機 関 名：ファンショーカレッジ（Fanshawe College）

所 在 地：オンタリオ州 ロンドン市

時期・内容：夏期／春期休業中の約4週間または2週間。英語学習コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修A または B（4単位）、C または D（2単位）

イギリス

機 関 名：イーストサセックスカレッジ（East Sussex College）

所 在 地：ルイス市

時期・内容：夏期／春期休業中の約4週間または2週間。英語学習コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修A または B（4単位）、C または D（2単位）

ニュージーランド

機 関 名：ワイカト大学カレッジ (University of Waikato College)

所 在 地：ハミルトン市

時期・内容：春期休業中の約 4 週間。一般英語コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 A または B (4 単位)

フランス共和国

機 関 名：現代フランス語視聴覚センター カヴィラム

(Centre d'Approches Vivantes des Langues et des Médias-Alliance Française: CAVILAM)

所 在 地：ヴィシー市

時期・内容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間。フランス語学習コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 A または B (4 単位)、C または D (2 単位)

ドイツ連邦共和国

機 関 名：ブレーメン州立大学外国語センター

(Fremdsprachenzentrum der Hochschulen im Land Bremen: FZHB)

所 在 地：ブレーメン市

時期・内容：夏期休業中の約 4 週間。ドイツ語学習コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 A または B (4 単位)

機 関 名：インターナショナル・コミュニケーション研究所デュッセルドルフ校

(Institut für Internationale Kommunikation in Düsseldorf: iik)

所 在 地：デュッセルドルフ市

時期・内容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間。ドイツ語学習コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 A または B (4 単位)、C または D (2 単位)

中華人民共和国

機 関 名：天津師範大学 (Tianjin Normal University)

所 在 地：天津市

時期・内容：夏期休業中の約 2 週間。中国語、中国文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 C または D (2 単位)

最低催行人数：10名

台 湾

機 関 名：南華大学（Nanhua University）

所 在 地：嘉義県

時 期・内 容：夏期休業中の約 3 週間。中国語、台湾文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 C または D（2 単位）

大韓民国

機 関 名：明知大学校（Myongji University）

所 在 地：ソウル市、龍仁市

時 期・内 容：夏期休業中の約 2 週間。韓国語、韓国文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 C または D（2 単位）

フィリピン共和国

機 関 名：ネグロス・オクシデンタル・レコレトス大学（University of Negros Occidental-Recoletos）

所 在 地：バコロド市

時 期・内 容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間。英語学習コースを受講する。

修 得 単 位：海外語学研修 A または B（4 単位）、C または D（2 単位）

最低催行人数：3 名

(2) 海外文化研修

海外文化研修は、全ての学生を対象として、当該年度の引率教員がデザインしたテーマに沿って、夏期／春期休業中の約 2 週間で実施される。参加に伴い、海外文化研修の単位修得が可能である。

修得単位：海外文化研修（2 単位）

(3) 学科科目および学環科目における海外研修

文学部

【エアライン演習B】

〔履修条件：現代英語学科、児童教育学科、文化交流学科、経営学科、未来教養学環〕 キャビンアテンダントやグランドスタッフを志望する文学部、経営学部、未来教養学環2年次から4年次の学生を対象として、夏期の約2週間で実施される。

修得単位：エアライン演習B（2単位）

【特殊演習】

〔履修条件：現代英語学科、児童教育学科〕 特殊演習は、小学校・中学校・高等学校の英語教員を志望する文学部現代英語学科と児童教育学科の学生を対象として、夏期の約2週間で実施される。

修得単位：特殊演習（2単位）

【文化交流体験A】

〔履修条件：文化交流学科〕 7日～10日間の外国訪問を通じて文化交流体験を行う、アクティブラーニング型の海外研修である。訪問先は毎回異なる。これまでに、ヨーロッパや東南アジア、東アジア、南アジア、国内で研修を行った。

修得単位：文化交流体験A（2単位）

文学部共通

【日本語教育実習A】

〔履修条件：日本語教員主専攻〕 日本語教師を目指す学生向けに開講される実習科目である。学習の一環として、国内の提携先あるいはインドネシア・リアウ大学で教育実習を行うことができる。なお、インドネシアで実習する場合には、日本語を専攻するリアウ大学の大学生に対して、日本語の教育指導を行う。

修得単位：日本語教育実習A（2単位）

看護学部

【異文化看護演習（Seminar of Cross-Cultural Nursing）】

〔履修条件：看護学科〕 看護学の専門科目（選択）として、事前準備後に2週間の Oklahoma Christian University での研修（現地でのプレゼンテーション含む）と帰国後の報告会を行う。異文化における授業・医療施設の見学、学生との交流などの体験を通じて、看護の本質と国際的な視野に立ち、多様化する社会でのこれからの看護の役割について学ぶ。

修得単位：異文化看護演習（2単位）

未来教養学環

【インターンシップⅡ】

〔履修条件：未来教養学環、全学科学生を対象とするが説明会に出席すること〕 「インターンシップⅡ」の一部クラスにおいて、長期休暇を利用して海外の企業等におけるインターンシップを実施する。

修得単位：インターンシップⅡ（3単位）

(4) 交換留学

協定を結んでいる大学に、学生を約1年間派遣する制度である。

また、留学中に修得した単位の一部は本学の単位として認定される（最大30単位）。認定方法としては、留学先で修得した科目の内容及び時間数と、本学の単位として認定を希望する科目の内容及び時間数を勘案し、認定となる。そのため、留学先で修得したすべての単位が認定されるとは限らないため注意すること。なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

留学期間は本学における在学期間として算入されるため、4年間で卒業することも可能であり、経済的な支援制度もある。

○留学先

アメリカ合衆国

機 関 名：オクラホマ・クリスチャン大学 (Oklahoma Christian University: OC)

所 在 地：オクラホマ州 オクラホマ市

留学先授業料：全額免除

機 関 名：ウェストアラバマ大学 (University of West Alabama)

所 在 地：アラバマ州 リビングストン市

留学先授業料：全額免除

機 関 名：グアム大学 (University of Guam)

所 在 地：グアム準州 マンギラオ市

留学先授業料：全額免除

カナダ

機 関 名：ファンショーカレッジ (Fanshawe College)

所 在 地：オンタリオ州 ロンドン市

留学先授業料：全額免除

スウェーデン王国

機 関 名：リンネ大学 (Linnaeus University)

所 在 地：ヴェクショー市

留学先授業料：全額免除

イタリア共和国

機 関 名：ミラノ大学 (University of Milan)

所 在 地：ミラノ市

留学先授業料：全額免除

中華人民共和国

機 関 名：天津師範大学 (Tianjin Normal University)

所 在 地：天津市

留学先授業料：全額免除

機 関 名：広東海洋大学 (Guangdong Ocean University)

所 在 地：湛江市

留学先授業料：全額免除

台 湾

機 関 名：南華大学 (Nanhua University)

所 在 地：嘉義県

留学先授業料：全額免除

大韓民国

機 関 名：明知大学校 (Myongji University)

所 在 地：ソウル市

留学先授業料：全額免除

機 関 名：韓瑞大学校 (Hanseong University)

所 在 地：瑞山市

留学先授業料：全額免除

機 関 名：江西大学校 (Gangseo University)

所 在 地：ソウル市

留学先授業料：全額免除

機 関 名：新羅大学校 (Silla University)

所 在 地：釜山市

留学先授業料：全額免除

ベトナム社会主義共和国

機 関 名：ホーチミン市外国語情報技術大学

(Ho Chi Minh City University of Foreign Languages and Information Technology: HUFLIT)

所 在 地：ホーチミン市

留学先授業料：全額免除

機 関 名：フエ大学外国語大学（Hue University-University of Foreign Languages）
所 在 地：フエ市
留学先授業料：全額免除

機 関 名：ホーチミン市テクノロジー大学（Ho Chi Min City University of Technology: HUTECH）
所 在 地：ホーチミン市
留学先授業料：全額免除

インドネシア共和国

機 関 名：リアウ大学（University of Riau）
所 在 地：プカンバル市
留学先授業料：全額免除

キルギス共和国

機 関 名：カラサエフ記念ビシケク国立大学（K. Karasaev Bishkek State University）
所 在 地：ビシケク市
留学先授業料：全額免除

ウクライナ

機 関 名：イワン・フランコ記念リヴィウ国立大学（Ivan Franko National University of Lviv）
所 在 地：リヴィウ市
留学先授業料：全額免除

※詳細（内容、手続き方法等）は、本学ホームページを参照するか、直接、地域・国際交流センター国際交流課に問い合わせること。

申込みにあたっては、通常の授業に支障をきたさないよう注意して計画を立てること。

(5) セメスター留学〔文学部現代英語学科〕

文学部現代英語学科の学生のみを対象とし、提携している大学に約7ヵ月間派遣する制度である。

また、留学中に修得した単位の一部は本学の単位として認定される（最大20単位）。認定方法としては、留学先で修得した科目の内容及び時間数と、次ページのリストから認定を希望する科目の内容及び時間数を勘案し、認定となる。そのため、留学先で修得したすべての単位が認定されるとは限らないため注意すること。なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

留学期間は本学における在学期間として算入されるため、4年間で卒業することも可能であり、経済的な支援制度もある。

○留学先

アメリカ合衆国

機 関 名：ウェスト大学（University of the West）
所 在 地：カリフォルニア州 ローズミード市
留学先授業料：16週以上 50%免除
対 象 学 年：1年～3年次後期
修 得 単 位：必修科目及び選択科目最大20単位

フィリピン共和国

機 関 名：ネグロス・オキシデンタル・レコレトス大学（University of Negros Occidental-Recoletos）
所 在 地：バコロド市
対 象 学 年：1年～3年次後期
修 得 単 位：必修科目及び選択科目最大20単位

イギリス

機 関 名：イーストサセックスカレッジ（East Sussex College）
所 在 地：ルイス市
留学先授業料：24週以上 10%免除
対 象 学 年：1年～3年次後期
修 得 単 位：必修科目及び選択科目最大20単位

オーストラリア

機 関 名：クイーンズランド大学（The University of Queensland）
所 在 地：クイーンズランド州 ブリスベン市
留学先授業料：10%免除
対 象 学 年：1年～3年次後期
修 得 単 位：必修科目及び選択科目最大20単位

※詳細（内容、手続き方法等）は、本学ホームページを参照するか、直接、地域・国際交流センター国際交流課に問い合わせること。

申込みにあたっては、通常の授業に支障をきたさないよう注意して計画を立てること。

セメスター留学における単位認定可能科目

セメスター留学で修得した単位は、下記の授業科目の単位（最大20単位）として充当することができる。

	科目コード	科目ナンバリング	授業科目	必須／選択	単位数	年次	
1	12004	EN11A03E	Listening I	必須	1	1	
2	12005	EN12A03E	Listening II	必須	1	1	
3	12006	EN20C02E	Advanced Listening	選択	1	2～4	*1
4	12008	EN11C01E	Pronunciation I	選択	1	1～4	
5	12009	EN12C01E	Pronunciation II	選択	1	1～4	
6	12010	EN20C03E	Presentation	選択	1	2～4	
7	12012	EN11A02E	Reading I	必須	1	1	
8	12013	EN12A02E	Reading II	必須	1	1	
9	12014	EN20C01E	Advanced Reading	選択	1	2～4	*1
10	12018	EN21C02E	Writing I	選択	1	2～4	*1
11	12019	EN22C02E	Writing II	選択	1	2～4	*1
14	12047	EN20C04K	異文化間コミュニケーション	選択	2	2～4	
15	12083	EN32A01E	現代英語演習 II	必須	2	3	
20	12140	EN20C31E	特殊演習	選択	2	2～4	
21	12144	EN11A01E	English Communication I	必須	1	1	
22	12145	EN12A01E	English Communication II	必須	1	1	
23	12146	EN23A01E	English Communication III	必須	1	2	*1
24	12147	EN24A01E	English Communication IV	必須	1	2	*1
25	12191	EN31C01E	Advanced English Communication I	選択	1	3	*1
26	12192	EN32C01E	Advanced English Communication II	選択	1	3	*1
27	12020	EN11C03E	Interactive Studies I	選択	1	1～4	
28	12021	EN12C03E	Interactive Studies II	選択	1	1～4	
29	12151	EN21C01E	Discussion I	選択	1	2～4	
30	12152	EN22C01E	Discussion II	選択	1	2～4	
31	12180	EN20C05E	グローバルイングリッシュ	選択	2	2～4	
32	12186	EN20C32J	Internship	選択	2	2～4	*2

*1：教職課程に必要な科目であるため、教員免許状取得を希望する学生は単位認定ができない。

*2：フィリピンのセメスタープログラムの参加者のみ認定が可能。

- 1) 単位認定は留学する学年次内で履修できる科目に限る。
- 2) 留学によって認定できる単位数の上限は20単位である。各科目で単位数や授業期間、授業時間が異なることがあるので、よく確認すること。

5. 『異文化体験』の履修

授業科目『異文化体験』のねらい

『異文化体験』は、「学ぶ者の主体的な体験」を尊重し、「学生個人が自発的に準備し、計画を練り、実行に移した海外研修」を、大学の授業科目として認めるものである。

そのため、手がかりとなる現代英語学科科目『異文化間コミュニケーション』（2単位）または、文化交流学科科目『異文化間コミュニケーション』（2単位）を事前に履修しているか、履修中であることが望ましい。

想定される『異文化体験』

- (1) 本学とは提携関係にない海外の教育機関への短期留学。
- (2) 明確な研究テーマを設定して、海外において調査を行う場合。

いずれの場合も実施時期は、夏期休業中・冬期休業中・春期休業中を原則とする。

同時に修得できる外国語の単位

上記(1)の場合、『異文化体験』（2単位）に加えて、その教育機関において学習する外国語科目の単位（1～2単位）を認定する。

認定される外国語科目は、

『総合英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ』

『英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』

『フランス語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『ドイツ語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『中国語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『コリアンⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『その他の外国語A、B』

のいずれか1外国語とする。ただし、現代英語学科の学生の場合は、『総合英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』および『英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』は該当しない。

履修登録から単位の修得まで

希望者は、履修登録から単位修得に至るまでのスケジュールを右表で確認し、所定書類の提出や期限等を遵守すること。（不明な点は随時、学務部窓口にて相談すること）

手続きのスケジュール

手続き \ 体験期間	夏期休業中	冬期休業中 (卒業年次は不可)	春期休業中 (卒業年次は不可)
履修登録 (夏期・冬期休業中に 体験する場合)	体験しようとする年度の 4 月 (後期科目として登録)	体験しようとする年度の 4 月または 9 月 (後期科目として登録)	
計画書作成	学環および所属学科の教務委員に相談し、体験前に詳細な計画書を作成すること。		
計画書提出期限 (提出先：学務部窓口)	5 月末	10月末	12月下旬
教務委員会による 計画書審査結果通知	6 月	11月	1 月
体験実施			
レポート作成必要書類準備	帰国後、その成果をレポートにまとめること。教育機関において外国語を学んできた場合は、合計60時間（2 単位分）の学習を証明する文書も同時に準備しておくこと。		
履修登録 (春期休業中に体験する場合)			体験・帰国後の 4 月 (前期科目として登録)
レポート提出期限 (提出先：学務部窓口)	10月末	2 月中旬	4 月末
教務委員による 口頭試問	11月	2 月下旬	5 月
教務委員会による 成績認定審査	12月	2 月下旬	6 月
成績通知	3 月 (後期成績として通知)	3 月 (後期成績として通知)	9 月 (前期成績として通知)

※提出締切等の具体的な日時については毎年度、IC-UNIPAにて掲示する。

6. 単位互換制度

単位互換制度

本学では、茨城大学、茨城県立医療大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学及び常磐短期大学、沖縄大学、放送大学との間で、単位互換に関する協定を結んでいる。

この制度は、「相互の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図る」ことを目的とし、各大学がお互いの独自性を生かした授業を公開し合い、それぞれの学生が自由に他大学で学べるようにしたものである。

(1) 茨城大学、茨城県立医療大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学及び常磐短期大学との単位互換制度

前年度末から、単位互換可能な授業科目を学生に明示するので、その中から希望する科目を選択してもらうことになる。特に単位互換科目は、単位数や授業期間、授業時限が異なることがあるので、よく確認してから申し込むこと。受講できる科目数は、一人3科目までである。修得した単位は、本学の卒業要件単位として認定される。

なお、申込期間は、履修登録との関係上、短くなっているので、〆切日および必要書類等をよく確認すること。書類は大学を通して受入れ大学（茨城大学 他）に一括申請することになるので、期日までに遅れないよう提出すること。

また、受入れ大学と定期試験の日時が重なる場合には追試験の対象となるため、早めに学務部に相談すること。

●申込みに必要な書類

特別聴講学生願（指定用紙）

- ・ 上記書類の提出~~〆切日~~ 4月上旬、詳しくは掲示等で確認すること。
- ・ 受入学生の決定（許可） 4月中旬
- ・ 聴講開始時期 4月中旬以降

※受講希望者は、正式な受入許可が決定する前に授業が始まることになるので、第1回目の授業から出席するよう、心がけること。

(2) 沖縄大学との単位互換制度

本学に在籍したまま沖縄大学で1年間学ぶことができる単位互換制度に関わる協定が2005年度に締結された。この協定は、相互に学生を派遣する制度で、沖縄大学からの学生も本学で受け入れている。

沖縄大学との単位互換制度については、10月（予定）に説明会を行うので、希望者は必ず出席すること。

沖縄大学における受講科目単位数の上限は48単位となっているが、本学で認定できる単位数は30単位までとなっている（「茨城キリスト教大学派遣学生および特別聴講学生に関する規程」第4条）。沖縄大学における受講科目については、申込時から所属学科と随時相談し、決定することになる。なお、受講に際し、有料となる科目もあるので、事前によく確認すること。

沖縄大学への派遣は、1年間となるので、保護者ともよく相談し、十分な理解を得たうえで、応募すること。

●申込みに必要な書類

- ① 特別科目等履修生願書（指定用紙）
- ② 派遣学生志望動機（指定用紙）
- ③ 成績証明書（派遣決定時）

・上記書類の提出〆切日 11月上旬、詳しくは掲示等で確認すること。

・派遣学生の決定 11月中旬（面接等実施）

・聴講開始時期 翌年度4月

※説明会は10月を予定しているが、希望者は前期中に学務部窓口で相談することが望ましい。

(3) 放送大学との単位互換制度

従来型の教室における授業とは異なり、放送による自宅での学習も可能になり、また受講時間の制約も大幅に緩和されることが予想される。（逆に自分自身をしっかりと管理していかないと、失敗の元にもなるので、注意すること。）

本学の学生が修得できる放送大学の単位は、在学期間を通じて20単位、1学期間では4単位が上限となっている。特別聴講学生として履修できる授業科目は、放送大学で開講されるすべての放送及び印刷教材による授業科目のうち、茨城キリスト教大学において認めたものとする。また、単位を修得するためには、放送大学が定める通信指導あるいは単位認定試験を受けて、合格しなければならない。

放送大学の授業を受講する場合は、放送大学が定める額の授業料を支払わなければならない。

申込方法、必要書類、受講開始時期等については、後日掲示するので、注意すること。

包括連携協定

本学と神戸親和大学は、それぞれの伝統と教育理念を尊重しつつ、教育研究の面で連携することによって、大学教育の発展と両大学の学生の一層の成長を期するために、2024年1月に連携協定を締結した。学生間の交流、双方の授業科目の単位互換、相互の授業科目の科目履修、海外研修の実施および相互の学生の参加などさまざまな連携協力事業を実施予定である。

7. 茨城キリスト教大学派遣学生および特別聴講学生に関する規程

第1章 総則

(趣旨)

第1条 茨城キリスト教大学（以下「本学」とする。）の学生で、本学学則第59条の規程により、他大学または短期大学等（以下「他大学等」とする。）の授業科目を履修しようとする派遣学生、および他大学等の学生で、本学学則第60条の規程により、本学の授業科目を履修しようとする特別聴講学生の取扱については、本規程の定めるところによる。

(他大学等との協議)

第2条 本学学則第59条および第60条の規程による派遣学生の派遣および特別聴講学生の受入れについては、次の各号に掲げる事項について、他大学等と協議し、合同教授会の承認を得るものとする。

- (1) 履修を認める授業科目の範囲
- (2) 履修を認める学生数
- (3) 単位の認定方法と評価方法
- (4) 履修期間
- (5) 学生の身分
- (6) 授業料等の費用
- (7) その他必要と思われる事項

第2章 派遣学生

(履修願と許可)

第3条 本学学生が他大学等の授業の履修を希望する場合には、所属する学部教授会または学環会議の承認を得て当該大学等に履修願を提出し、当該大学等の許可を得なければならない。

- 2 前項に規定する許可を得た者の当該大学等における身分は、当該大学等の規定するものとする。

(単位と評価)

第4条 派遣学生としての許可を受けた者は、大学にあっては30単位、短期大学にあっては15単位を超えない範囲で、本学の卒業要件中の科目の単位として認定を受けることができる。

- 2 前項の単位数は、本学学則第14条の算定基準によるものとする。
- 3 本学の卒業要件中の科目の単位として認定を受ける科目の成績評価については、本規程第2条に規定するとおり、本学と当該大学等との協議によってその評価基準を設定し、当該大学等は成績証明書を交付するものとする。

(検定料・入学金・授業料等)

第5条 派遣学生としての許可を受けた者は、当該大学等に対し、本学との協議によって決定される額の検定料・入学金・授業料等を支払わなければならない。

(身分証明書と規則等の遵守)

第6条 派遣学生の許可を受けた者で当該大学等から所定の学生証またはそれに準ずる証明書の交付を受けた者は、当該大学等に滞在する間はそれを携帯しなければならない。

- 2 派遣学生は、当該大学等の規則を遵守しなければならない。

第3章 特別聴講学生

(履修願と許可)

第7条 他大学等の学生が本学の授業の履修を希望する場合には、当該大学等を通して本学に履修願を提出し、本学学部教授会、学環会議または合同教授会の承認を得なければならない。

2 前項に規定する許可を得た者の本学における身分は、特別聴講学生とする。

(単位と評価)

第8条 特別聴講学生の許可を得て本学の授業を履修する者の単位は、本学との協議に基づいて、当該大学等における単位として認定される。

2 本学は当該大学等と協議して評価基準を設定し、成績証明書を交付するものとする。

(検定料・入学金・授業料等)

第9条 特別聴講学生は、本学と当該大学等との協議によって決定される額の検定料・入学金・授業料等を本学に支払わなければならない。

(学生証と規則等の遵守)

第10条 特別聴講学生の許可を受けた者に対し、本学は特別聴講学生としての学生証を交付する。この学生証は当該特別聴講学生が本学に滞在する間はそれを携帯しなければならない。

2 特別聴講学生は、本学の規則を遵守しなければならない。

第4章 その他

(改定)

第11条 この規程の改定は、合同教授会の議を経て学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、1996年4月1日より施行する。
- 2 この規程は、1999年4月1日より施行する。
- 3 この規程は、2013年4月1日より施行する。
- 4 この規程は、2017（平成29）年4月1日より施行する。
- 5 この規程は、2019（平成31）年4月1日より施行する。
- 6 この規程は、2024（令和6）年4月1日より施行する。

8. 茨城キリスト教大学国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程

第1条（目的）

この規程は、茨城キリスト教大学（以下、「本学」と記す）学則第34条に則り、本学とデュアル・ディグリー制に関する協議が成立した国外大学との間のデュアル・ディグリー制運営に関して規定することを目的とする。

第2条（用語の定義）

デュアル・ディグリー制とは、本学と国外大学での学位取得要件を充足した者に、両大学で学位を授与する制度のことである。

第3条（修学期間および身分）

1. デュアル・ディグリー取得を目指す学生（以下、「デュアル・ディグリー生」と記す）の修学期間は、本学で2年、国外大学で2年を基本とする。ただし、修学期間を調整する必要がある場合は、学長の承認を受けなければならない。
2. 国外大学で修学しているデュアル・ディグリー生は、修学期間中、本学の学籍を維持する在学留学生として扱う。

第4条（志願要件）

デュアル・ディグリー取得を志願する者は、以下の要件を満たさなければならない。

- (1) 本学で1学期以上を修了し、GPAが2.5以上の者。
- (2) 国外大学の使用言語で受講が可能な者。
- (3) 学則による懲戒履歴がない者。
- (4) 海外旅行資格停止などの処分を受けたことがない者。

第5条（申請手続および選抜手続）

1. デュアル・ディグリーを志願する学生は、所定の期日までに申請書を学務部に提出しなければならない。
2. 学務部は、当該学生の所属する学科と連携し、申請者の資格要件、修学能力などに関して審査を行い、教務委員会の議を経てデュアル・ディグリー候補生を選抜する。
3. デュアル・ディグリー候補生の選抜が完了したら、学務部は学生の氏名等必要事項を地域・国際交流センターに通知しなければならない。
4. 前項の通知を受け、地域・国際交流センターは当該学生を特別在学留学生とすることの可否について当該委員会の議を経て決定しなければならない。
5. 上記3.および4.を経てデュアル・ディグリー候補生として選抜された学生は、所属教授会の議を経て、学長の承認を受けなければならない。

第6条（派遣・受け入れ・時期および人数）

1. 派遣・受け入れの時期は、毎学期開始時とする。
2. 派遣・受け入れの人数は、国外大学との協定による。ただし、両大学間での別途の協議によって、派遣・受け入れ・人数等の調整をおこなうことができるものとする。

第7条（登録および授業料）

1. デュアル・ディグリー生は、両大学の登録手順により、所定の登録をしなければならない。
2. デュアル・ディグリー生の授業料は、両大学間の協定による。

3. 授業料以外の生活費等は、両大学間の協定によって定める。

第8条（卒業単位認定）

1. デュアル・ディグリー生は、国外大学の教育課程を履修しなければならない。
2. 国外大学で履修した科目の成績評価は、当該国外大学の規程により、卒業単位および成績認定は本学の規程による。
3. 国外大学からのデュアル・ディグリー生の一学期当たりの取得単位の範囲は、本学の学則による。

第9条（学位授与）

1. 国外大学からのデュアル・ディグリー生は、本学卒業に必要な単位の二分の一以上を取得しなければならない。
2. デュアル・ディグリー生は、本学と国外大学両校の規程に定められるそれぞれの卒業要件を満たした場合に、双方の大学から学位を取得できる。

第10条（遵守事項）

1. デュアル・ディグリー生は、本学と国外大学の学則および諸規程を遵守しなければならない。
2. デュアル・ディグリー生は、出入国管理法および諸般の法規を遵守しなければならない。

第11条（途中放棄）

1. デュアル・ディグリー生は国外大学で修学中、本学学長の承認なく就学放棄および休学はできない。
2. デュアル・ディグリー生として派遣された者が途中放棄する場合、デュアル・ディグリー履修放棄願を学務部に提出しなければならない。取得済みの単位の扱いについては本学の規程を適用する。

第12条（その他）

この規程に明示されていない事項は、国外大学との相互協議により定める。

第13条（改定）

この規程の改定は、合同教授会の議を経て行う。

附 則

1. この規程は、2015年4月1日から施行する。
2. この規程は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

9. 茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、茨城キリスト教大学（以下「本学」という。）学則第22条および第23条により転入学または編入学を許可された者の、本学入学前の既修得単位の認定に関して必要な事項を定めるものである。

(単位認定)

第2条 本学2年次に転入学または編入学を認められた者については、1年次生が履修を認められている卒業要件科目に相当すると認められる科目について、最大30単位の範囲で本学において修得したものととしてその単位を認定することがある。

2 本学3年次に転入学または編入学を認められた者については、1年次生および2年次生が履修を認められている卒業要件科目に相当すると認められる科目について、最大60単位の範囲で本学において修得したものととしてその単位を認定することがある。

3 デュアル・ディグリー制度により本学に編入学を認められた者については、当該海外提携校との協議に基づき、卒業要件単位の2分の1を、本学において修得した単位として認定する。

4 留学に関する協議が成立している外国の大学等から本学への編入学または転入学を認められた者の既修得単位の認定については、別に定める。

第3条 この規程による単位認定については、学務部長が原案を作成し、当該学科主任および当該学部長、もしくは学環長の承認を得るものとする。

(改定)

第4条 この規程の改定は、合同教授会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

1 この規程は2015年4月1日より施行する。ただし、2015年度に本学に編入学・転入学を認められた者については、この規程により単位の認定を行うものとする。

2 この規程は2020（令和2）年4月1日より施行する。ただし、2020（令和2）年度に本学に編入学・転入学を認められた者については、この規程により単位の認定を行うものとする。

3 この規程は、「茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関する規程」より「茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定に関する規程」に名称変更および改定を行い、2024（令和6）年4月1日より施行する。

10. 茨城キリスト教大学科目等履修生に関する規程

(目的)

第1条 この規程は本学学則第21章の各条文に基づき、科目等履修生の取扱いに関し必要事項を定めるものである。

(出願資格)

第2条 科目等履修生として出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 短期大学または高等専門学校を卒業した者。
- (2) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得して中途退学した者。
- (3) 大学を卒業した者。
- (4) 本学の卒業生で、教職関連科目および各種資格関連科目の修得を希望する者。
- (5) 本学と提携関係にある外国の大学からの留学生。

2 外国人については、前項各号のいずれかに該当し、履修する年度の4月より1年間以上の日本在留資格を有している者。または、本学と提携関係にある外国の大学の留学生。

(受講科目の制限)

第3条 科目等履修生は、本学の開講科目中、次の各号に該当する科目の履修は認められない。

- (1) 実験・実技関連科目および外国語科目
- (2) 教職関連科目（教育実習を含む）および各種資格関連科目
- (3) その他本学が受講を認めない科目

2 前項第2号に掲げる科目については、本学の卒業生および大学院生、その他本学がその受講を特に認めた者に限り、受講できるものとする。

(受講期間)

第4条 受講期間は1年以内とする。ただし、希望により第6条の手続きを経て継続を許可することがある。

(履修単位等の制限)

第5条 科目等履修生が履修できる単位数は30単位までとする。

(出願手続きおよび審査料)

第6条 科目等履修生を志願する者は、次の各号に定める審査料と書類を期日までに提出しなければならない。ただし本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

- (1) 審査料：10,000円（本学の卒業生は、5,000円）
なお、継続する場合、審査料は無料とする。
- (2) 提出書類：科目等履修生願書、卒業証明書、単位修得証明書、写真1枚
- (3) 外国人については、前項のいずれかに該当する書類の他、在留資格認定証明書または在留カードの写しを添付すること。

(選考方法および許可)

第7条 科目等履修生の選考は書類審査と面接とし、教務委員会が審査に当たり、学部教授会または学環会議に諮り許可する。ただし、本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

(登録料および受講料等)

第8条 科目等履修生として入学を許可された者は、定められた期間内に次の各号に該当する登録料およ

び受講料を納入する。ただし、本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

(1) 登録料：8,000円（本学の卒業生は、4,000円）

(2) 受講料：1単位17,000円

（許可の取消）

第9条 前条に定められた納付金を所定の期日までに納入しない場合は、許可を取り消すことがある。

（納付金の返還）

第10条 既に納入された納入金は、原則として返還しない。

（証明書の発行）

第11条 科目等履修生から願い出があったときは、単位修得証明書を発行する。

（改定）

第12条 この規程の改定は、合同教授会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

1 この規程は2005年4月1日より施行する。

尚、この規程の発効をもって「聴講生および科目等履修生に関する規程」は廃止する。

2 この規程は2011年4月1日より施行する。

尚、2011年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を2010年度末より行う。

3 この規程は2015年4月1日より施行する。ただし、2015年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を本規程に則り、2014年度末より行う。

4 この規程は2017（平成29）年4月1日より施行する。ただし、2017年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を本規程に則り、2016年度末より行う。

5 この規程は2019（平成31）年4月1日より施行する。ただし、2019年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を本規程に則り、2018年度末より行う。

6 この規程は、「科目等履修生に関する規程」より「茨城キリスト教大学科目等履修生に関する規程」に名称変更および改定を行い、2024（令和6）年4月1日より施行する。

11. その他

(1) コンピュータ教室・コンピュータ自習室の利用について

学内には学生が利用できるコンピュータが下記のとおり設置されています。これらのコンピュータは授業で使用するほか、IC-UNIPA、電子メールの送受信、ホームページの閲覧、図書館システム、レポート作成などに利用することができます。全てのコンピュータは茨城キリスト教学園LAN (IC-Net) に接続されており、学内LANを経由してインターネットに接続できるようになっています。コンピュータ教室、コンピュータ自習室の場所は、次ページの配置図に記載しています。

<コンピュータ教室>

- 6号館 2階6204教室 (Windows 10×48台)
- 7号館 4階7401教室 (Windows 10×52台)
- 11号館 3階11301教室 (Windows 10×48台)
- 11号館 3階11302教室 (Windows 10×40台 ノートPC)
- シオン館 3階325教室 (Windows 10×48台)

<コンピュータ自習室 (PC-Room)>

- PC-Room (7号館 4階7402教室) (Windows 10×40台)

<利用時間>

① コンピュータ教室

授業以外でコンピュータ教室を利用できる時間は、掲示でお知らせします。学務部掲示板にて確認してください。

※夏・冬・春期休業期間については、原則として利用することは出来ません。

② コンピュータ自習室 (PC-Room)

PC-Room 月曜日～金曜日 9:00～20:00 土曜日 9:00～11:30

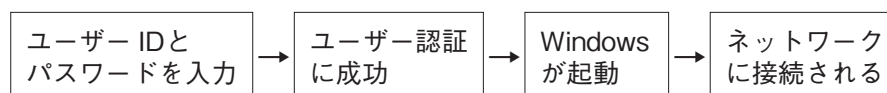
※利用時間は授業時間帯(1時限単位)で区切っています。他の利用者の迷惑にならないよう節度をもって利用してください。

※授業・年末年始・学内行事による使用不可日は、学務部より掲示にてお知らせしますので確認してください。

<コンピュータの利用方法>

① 認証方法

ユーザー IDとパスワードはIC-UNIPAと同一です。



② 学生用個人フォルダの割り当て

ユーザー認証に成功すると、学生用ファイルサーバーの中に設定されている個人フォルダを利用することができるようになります (Windows上のライブラリがこの個人フォルダになっています)。フォルダの容量は上限300MB (メガバイト) です。授業の課題やレポートなど個人のファイルを保存することが出来ます。また、この個人フォルダは、学内のどのコンピュータからログインしても同じとなります。

※私用データ (画像や音楽) を保存すると容量超過につながります。容量の追加はできませんので、個人で管理してください。

③ ユーザー ID・パスワードの管理

ユーザー IDとパスワードは、コンピュータを起動させるために必要なだけでなく、自分の個人的なデータが保存されている個人フォルダを開く鍵でもあります。同時に IC-UNIPA へのログインや自分の宛の電子メールを読むための鍵でもありますので、個人の責任において厳重に管理してください。万一、他人があなたのユーザー IDやパスワードを使った場合、自分の個人情報盗まれるだけでなく、悪意のあるものが犯罪行為に利用した際、あなたがその責任に問われることがあります。厳重に管理すると同時に、パスワードは他の人が推測できないものにしましょう。

<ユーザー IDと仮パスワードの配付について>

- ① ユーザー IDと仮パスワードは、入学時全員に配付します。
- ② パスワードの変更方法については、履修ガイダンス時に説明します。
- ③ 仮パスワードは、4月20日まで有効です。それまでの間に自分だけがわかるパスワードに変更してください。

(4) 正規授業に係る実習による授業欠席届について

学生が、教育実習などの正規授業に係る学外実習で授業を欠席する場合は、学務部入口に備え付けの、「授業欠席届」（下記様式）に記入し朱肉印を押して、欠席授業1週間前までに授業担当教員へ本人が直接提出すること。

詳細は、各実習に関する説明会や授業等で説明する。

就職活動や個人的事由の場合は、この欠席届の提出は不要である。

なお、当該授業が休講になる場合は、提出しなくてよい。

<様式>

年 月 日届出

_____先生

正規授業「_____」の学外実習による授業欠席届

「_____」に該当実習名を必ず記入すること

上記の実習のため、先生の下記の授業を欠席いたします。

記

学部・学環・学科	学部 学環		学科	コース 専攻	年次
学 籍 番 号		氏 名			
欠席授業科目	欠 席 授 業 科 目 名			日 付 ・ 曜 日 ・ 時 限	
				月	日 曜日 時限
				月	日 曜日 時限
				月	日 曜日 時限
				月	日 曜日 時限
				月	日 曜日 時限
実習校・施設名 及び 住所・電話番号	Tel. _____				
実 習 期 間	年 月 日 () から				
	年 月 日 () まで				
備 考					

茨城キリスト教大学

〈注〉この届出を提出しても出席扱いとならないので注意してください。

担当教員各位：この欠席届に関する問い合わせは、学務部までお願いいたします。

大学院について

1. 文学研究科英語コミュニケーション専攻／修士課程…………… 231
2. 文学研究科先取り履修制度と、1年半・3年履修制度について… 232
3. 生活科学研究科食物健康科学専攻／修士課程…………… 233
4. 生活科学研究科心理学専攻／修士課程…………… 234
5. 看護学研究科看護学専攻／修士課程…………… 236

1. 文学研究科英語コミュニケーション専攻／修士課程

本専攻の教育課程は、英語文学・文化、英語学、英語教育の3分野の専門科目を中心に、基礎科目、関連科目、研究指導から編成されている。

英語文学・文化の分野では、リベラル・アーツとして英語圏文学および文化を広く学ぶとともに、翻訳や通訳の理論や技術を修得できる科目も用意している。

英語学の分野では、多様な言語理論に基づく高度な英語分析を行うことにより、英語という言語への理解を深めることを目標としている。

英語教育の分野は、すでに英語教育に携わっている人や、これから英語教育に携わろうとしている人を対象に、最新の教育理論をベースとした実践的な授業を提供する。

教育職員免許状の取得

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）を有する者が、本専攻において、教育職員免許法及び同施行規則に定められている単位を修得した場合、中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）を取得することができる。

英語コミュニケーション専攻科目

(2021年度以降)

科目	単位数	科目	単位数
〔基礎科目〕		〔関連科目〕	
Academic Communication Skills A (Listening & Speaking)	2	特殊演習 A	2
Academic Communication Skills B (Reading & Writing)	2	特殊演習 B	2
〔英語文学・文化の分野〕			
英語コミュニケーション文化研究 A (英語文学・文化概論)	2	〔研究指導〕	
英語コミュニケーション文化研究 B (英語文学・文化演習)	2	英語文学・文化研究指導 I	2
英語コミュニケーション文化研究 C (翻訳概論)	2	英語文学・文化研究指導 II	2
英語コミュニケーション文化研究 D (翻訳演習)	2	英語文学・文化研究指導 III	2
英語コミュニケーション文化研究 E (通訳概論)	2	英語文学・文化研究指導 IV	2
英語コミュニケーション文化研究 F (通訳演習)	2	英語教育学研究指導 I	2
〔英語教育学の分野〕		英語教育学研究指導 II	2
英語コミュニケーション教育研究 A (英語教育学概論)	2	英語教育学研究指導 III	2
英語コミュニケーション教育研究 B (英語教育学演習)	2	英語教育学研究指導 IV	2
英語コミュニケーション教育研究 C (第二言語習得論概論)	2	英語学研究指導 I	2
英語コミュニケーション教育研究 D (第二言語習得論演習)	2	英語学研究指導 II	2
英語コミュニケーション教育研究 E (ICTを活用した英語教育)	2	英語学研究指導 III	2
英語コミュニケーション教育研究 F (小学校英語教育)	2	英語学研究指導 IV	2
〔英語学の分野〕			
英語コミュニケーション言語研究 A (形態論・統語論概論)	2		
英語コミュニケーション言語研究 B (形態論・統語論演習)	2		
英語コミュニケーション言語研究 C (意味論・語用論概論)	2		
英語コミュニケーション言語研究 D (意味論・語用論演習)	2		
英語コミュニケーション言語研究 E (応用言語学)	2		
英語コミュニケーション言語研究 F (社会言語学)	2		
備考			
研究を行う分野から研究指導 8 単位を含め12単位以上、研究を行う分野以外の科目を含め総計30単位以上を修得する。(2021年度入学生から)			

2. 文学研究科先取り履修制度と、1年半・3年履修制度について

「先取り履修制度」とは、文学部の4年次生（以上）が、後期期間中に大学院科目等履修生として大学院の科目を履修する制度のことです。この制度を利用すれば、大学院進学前に大学院の授業を受講することができますし、単位を取得できれば、大学院に進学後、文学研究科が定めた修了要件の一部として認定されます。さらに、本学在校生がこの「先取り履修制度」を利用して大学院科目を履修する場合、科目等履修生の審査料・登録料・受講料がすべて半額になります。

「先取り履修制度」を利用するには？

- (1) 学務部から「先取り履修可能科目」と「先取り履修希望届・推薦書」を入手します。
- (2) 履修したい科目の決定および推薦状の依頼

科目等履修生として履修したい科目が決まったら、ゼミの先生に推薦状の作成をお願いしてください。

- (3) 科目等履修生の申し込み

「先取り履修制度」希望者受付期間（6月）が設定（IC-UNIPA参照）されますので、その期間中に「先取り履修希望届・推薦書」を提出します。「先取り履修制度」に申し込みができる資格は下記の通りです。

- 1) 茨城キリスト教大学文学部に3年以上在学し、かつ卒業要件単位108単位以上取得している者。
- 2) 3年次までのGPAが2.5以上の者。
- 3) 9月の大学院文学研究科Ⅰ期入学試験に出願予定の者。

- (4) 「先取り履修制度」申込者の面接
- (5) 「先取り履修制度」許可の確認
- (6) 科目等履修生として登録
- (7) 大学院科目履修開始および大学院Ⅰ期試験の受験申込

後期の授業開始日から、科目等履修生として大学院の授業を履修し、大学院Ⅰ期試験の申し込みをします。大学院Ⅱ期試験を受験することも可能です。

○1年半履修制度と3年履修制度について

1. 「1年半履修制度」とは、通常より早く修士号を取得したい学生のための制度です。この「1年半履修制度」のメリットは、短期間で修士号を取得できるだけでなく、学納金の総支払金額も軽減されることです。ただし、1年半で30単位を取得し、さらに修士論文を修了期間内に仕上げるのは困難ですので、「1年半履修制度」を希望する学生は、4年次後期に「先取り履修制度」により、大学院の授業を科目等履修生として、年間10単位を上限として単位を取得することができます。
2. 「3年履修制度」とは、通常よりも時間をかけて研究し、修士号を取得する希望を持つ学生のための制度です。この「3年履修制度」のメリットは、3年間の在籍に対して、学納金は2年分で済みますので、1年間で支払う金額が軽減されることです。

◎「1年半」、「2年」、「3年」、いずれの履修制度を選択するのが最適であるか、大学院の試験を受験する前に、事前相談を受けて、慎重に検討してください。事前相談は入試広報部で受け付けています。

3. 生活科学研究科食物健康科学専攻／修士課程

茨城キリスト教大学大学院生活科学研究科食物健康科学専攻（修士課程）では、食物を介した人間の健康における諸問題を科学的に探究し解決する能力を養い、食品管理、健康管理、医療、食育分野で地域社会に貢献する人材の養成を目指す。

基本となる教育・研究のフィールドとして、「食物科学」と、「人間栄養学」の2分野を配置した。

「食物科学」分野では、食物中の機能成分、危害因子等、人間の健康やQOL（Quality of Life）に影響を与える因子を研究し、食品機能分析、食品有害物質対策等の専門技能をみがく。

「人間栄養学」分野では、摂取後の栄養素の機能発現、食物と健康や疾病との関係を神経機能など心の側面からも研究し、専門職業人としての知識技術を身につける。

また、両分野の発展系として〔専門応用科目〕と〔食教育支援科目〕の科目群を設けて、高度な専門性と倫理性を培い、崇高な精神、高い指導力を有する教育者の養成を目指す。

修了することにより、修士（食物健康科学）の学位が授与されるほか、中学校・高等学校教諭（家庭）の一種免許状の取得者、栄養教諭一種免許状の取得者は、必要な単位を履修することにより、それぞれの専修免許状を取得することができる。昼夜間開講制、3年間の長期履修制度を設けているので、仕事をもちながらの学びも可能である。

食物健康科学専攻科目

（2019年度以降）

科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
〔食物科学分野〕		〔人間栄養学分野〕		専門関連分野	
食物科学特論Ⅰ	2	人間栄養学特論Ⅰ	2	〔専門応用科目〕	
食物科学特論Ⅱ	2	人間栄養学特論Ⅱ	2	分子栄養学特論	2
食物科学特論Ⅲ	2	人間栄養学特論Ⅲ	2	栄養生理学特論	2
食物科学演習	2	人間栄養学演習	2	神経栄養学特論	2
食物科学特別実習	1	人間栄養学特別実習	1	神経生理学特論	2
食物科学特別研究	8	人間栄養学特別研究	8	病態臨床栄養学特論	2
				保健統計学特論	2
				食教育特論	2
				人間栄養学特論Ⅳ	2
				ライフステージ栄養学特論	2
				医療栄養学特論	2
				食行動科学特論	2
				食品開発特論	2
				調理科学特論	2
				〔食教育支援科目〕	
				教育方法学特論	2
				教育方法学演習	2
				教育支援特論	2
				教育支援演習	2
				臨床心理学特論	2
				障害者支援特論	2
				障害児教育研究	2
				発達心理学特論	2
				発達心理学演習	2

備考

- ・生活科学研究科を修了し修士の学位を得るためには30単位以上を修得しなければならない。
- ・専門教育を構成する「食物科学」、「人間栄養学」の2分野を総合的に履修するため、各分野の特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの3科目6単位、合計12単位必修の履修のほか、修士論文を含め、専攻する分野の選択科目11単位の履修、及び選択科目7単位以上の履修が必要（修了要件30単位以上）。

4. 生活科学研究科心理学専攻／修士課程

茨城キリスト教大学大学院生活科学研究科心理学専攻（修士課程）では、建学の精神の下、心理に関する支援や研究を行う上で求められる優れた思考力・判断力・表現力とともに倫理性の深化を通して、将来、高度専門職業人として託された責務を適正に行い、広く市民の福祉に貢献する人材の育成をめざしている。

心理学専攻を修了した者には、修士（心理学）の学位が授与される。また公認心理師法の定めに従い、学部教育においてすべての指定科目を取得済みの者であり、かつ本専攻において同法が定めるすべての大学院指定科目を修得した者は、課程修了と同時に公認心理師国家試験受験資格を得ることができる。公認心理師には、いじめや不登校、自死・自殺、虐待など、現代社会において専門的介入によって当事者やその関係者の心理や生活の質の向上、発達の支援等に寄与することが期待されている。

本専攻の教育課程は、「基礎科目」「応用科目」「実習科目」の3群から構成されている。

「基礎科目」群は、人間の心身の健康に関する科学的・専門的知識を深めるための根幹となる講義科目が配置されている。

「応用科目」群には、心理学の理論と技能との相互連環と有機的な関連付けを図るための講義および演習科目が配置されている。「心理学課題研究Ⅰ～Ⅳ」は、自ら批判的思考を持って研究に従事することを通して現代社会における心理社会的課題を読み解く能力とともに心理専門職として科学的視点を持って実践に臨む能力を養うことをめざすものであり、その成果は修士論文として結実される。

「実習科目」群は、「心理実践実習Ⅰ～ⅢB」から構成されている。「基礎科目」と「応用科目」の各群において培われた専門知識と技術を病院や学校等、学内外における実習協力施設において実際に試行、体現する学びを通して実践者として求められる力の涵養を図る。

本専攻では、これらの学修を通して、心理に関する支援や研究を遂行する優れた思考力・判断力・表現力の醸成を図る。

心理学専攻科目

(2022年度以降)

科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
〔基礎科目〕		〔応用科目〕		〔実習科目〕	
生活科学研究法	2	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習Ⅰ	2
生活科学特論	2	福祉分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習ⅡA	2
心理学特論A	2	教育分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習ⅡB	2
心理学特論B	2	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習ⅢA	2
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習ⅢB	2
		心理的アセスメントに関する理論と実践	2		
		心理支援に関する理論と実践	2		
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2		
		心の健康教育に関する理論と実践	2		
		心理学課題研究Ⅰ	2		
		心理学課題研究Ⅱ	2		
		心理学課題研究Ⅲ	2		
		心理学課題研究Ⅳ	2		
備考					
「心理学課題研究Ⅰ～Ⅳ」の8単位を含め、総計30単位以上を修得しなければならない。					

5. 看護学研究科看護学専攻／修士課程

すべての人のよき生を支える研究能力または高度の専門職性の育成をめざし、共通科目、専門共通科目、専門科目を配置し、履修者が実践と理論を往還し深化をはかる講義群を編成している。特に演習科目や実技・実習科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション、模擬授業や臨床講義等のアクティブ・ラーニングをとおして知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図る。また、学生同士または教員と研究に励む経験を通して実践的ボランティアリズムや公正性を深化させる。

看護マネジメント学、看護教育学、生活支援看護学、発達支援看護学、精神看護学の5分野を設置している。看護教育学分野では養護教諭専修免許状取得に必要な科目群、生活支援看護学分野では高度実践看護師教育課程（慢性看護、クリティカルケア看護）を設置し、研究能力のみならず高度の専門職性を育成する。

1年次には実践者、研究者、教育者、高度な専門職業人となりうる基本的能力を獲得できるよう、2年次においては看護学に関連する研究テーマをもち、研究に取り組み、修士論文や課題研究論文を作成できるよう構成している。

社会人が仕事を継続しながら学べるよう昼夜開講制や長期履修制度を導入している。

看護学専攻科目

(2024年度以降)

科目	単位数	科目	単位数
〔共通選択科目〕		生活支援看護学演習Ⅰ	2
保健統計学特論	2	生活支援看護学演習Ⅱ	2
教育方法学特論	2	生活支援看護学演習Ⅲ	2
発達心理学特論	2	生活支援看護学演習Ⅳ	2
カウンセリング特論	2	急性期看護学特論	2
栄養生理学特論	2	急性期看護学援助特論Ⅰ	2
障害者支援特論	2	急性期看護学援助特論Ⅱ	2
マネジメント特論	2	急性期看護学援助特論Ⅲ	2
ヘルスアセスメント特論	2	急性期看護学演習Ⅰ	2
病態生理学特論	2	急性期看護学演習Ⅱ	2
臨床薬理学特論	2	急性期看護学演習Ⅲ	2
		急性期看護学演習Ⅳ	2
〔専門共通科目〕		看護学特別研究（生活支援看護学）Ⅰ	4
看護学研究法特論	2	看護学特別研究（生活支援看護学）Ⅱ	4
看護理論特論	2	課題研究（クリティカルケア看護学）	2
看護倫理特論	2	クリティカルケア看護学実習Ⅰ	2
ヘルスプロモーション特論	2	クリティカルケア看護学実習Ⅱ	3
コンサルテーション特論	2	クリティカルケア看護学実習Ⅲ	5
看護管理学特論	2		
看護教育論	2	〔発達支援看護学分野〕	
看護政策論	2	発達支援看護学特論Ⅰ	2
地域看護論	2	発達支援看護学特論Ⅱ	2
		発達支援看護学特論Ⅲ	2
専門科目		発達支援看護学演習Ⅰ	2
〔看護マネジメント学分野〕		発達支援看護学演習Ⅱ	2
看護マネジメント学特論Ⅰ	2	看護学特別研究（発達支援看護学）Ⅰ	4
看護マネジメント学特論Ⅱ	2	看護学特別研究（発達支援看護学）Ⅱ	4
看護マネジメント学演習	2		
看護学特別研究（看護マネジメント学）Ⅰ	4	〔精神看護学分野〕	
看護学特別研究（看護マネジメント学）Ⅱ	4	精神保健学特論	2
		臨床精神看護学特論	2
〔看護教育学分野〕		精神看護学演習	2
看護教育学特論Ⅰ	2	看護学特別研究（精神看護学）Ⅰ	4
看護教育学特論Ⅱ	2	看護学特別研究（精神看護学）Ⅱ	4
看護教育学演習	2		
養護実践特論Ⅰ	2	養護教育支援科目	
養護実践特論Ⅱ	2	教授学習心理学特論	2
養護実践演習	2	教授学習心理学演習	2
看護学特別研究（看護教育学）Ⅰ	4	学校カウンセリング特論	2
看護学特別研究（看護教育学）Ⅱ	4	特別支援教育特論	2
〔生活支援看護学分野〕		〈備考〉	
慢性看護学特論	2	・論文コースの場合は、共通選択科目6単位以上、	
慢性看護学援助特論Ⅰ	2	専門共通科目8単位以上、専門科目の中から8単	
慢性看護学援助特論Ⅱ	2	位以上、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ各4単位の合計30	
慢性看護学援助特論Ⅲ	2	単位以上を修得しなければならない。	
慢性看護学援助特論Ⅳ	2		
慢性看護学演習Ⅰ	2	・CNSコースの場合は、共通選択科目6単位以上、	
慢性看護学演習Ⅱ	2	専門共通科目8単位以上、看護専門科目14単位以	
慢性看護学実習Ⅰ	2	上、看護学実習10単位以上、課題研究2単位の合	
慢性看護学実習Ⅱ	4	計40単位以上を修得しなければならない。	
慢性看護学実習Ⅲ	4		
課題研究（慢性看護学）	2		
生活支援看護学特論Ⅰ	2		
生活支援看護学特論Ⅱ	2		
生活支援看護学特論Ⅲ	2		
生活支援看護学特論Ⅳ	2		

施設案内図および教員研究室配置図

施設案内図および教員研究室配置図

■災害時指定避難場所

- ★A 大学2号館、3号館、10号館、
- ★B 大学1号館、大学11号館、大学北体育館、図書館
- ★C 大学8号館、シオン館、大学南体育館、
大学テニスコート、クラブハウス
- ★D 大学4号館、5号館、6号館、7号館、キアラ館、
デザイン館、学生会館、若草寮

学内の場所から★A、B、C、Dに1次避難します。
避難場所について、事前に確認しておきましょう。
災害時には、あわてず、落ち着いて行動しましょう。



○地震発生時

- ・まず自分自身の身を守ってください。
- ・冷静に対処しましょう。
- ・揺れが沈静化するまでその場で待機してください。
- ・衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
- ・窓際から離れ、机の下などにもぐり、身を守ってください。
- ・ドア付近の学生はドアを開放して、出口を確保してください。
- ・窓ガラスの飛散を防ぐため、カーテン・ブラインドを閉めてください。

○原子力災害発生時

- ・建物（できればコンクリート製）に入り、ドアを閉めてください。
- ・窓を閉めてください。
- ・エアコン・換気扇を止めてください。
- ・カーテン・ブラインドを開けてください。

○地震がおさまったら…

- ・屋外退避の避難指示放送がなかった場合は、授業を再開します。
- ・屋外退避の避難指示放送があった場合は、指定避難場所へ避難します。
- ・余震に十分気をつけましょう。
- ・出口に殺到しないでください（前後のドアを利用）。
- ・障がい者や負傷者の避難をサポートしてください。
- ・上下階への移動は階段を使用してください。
- ・移動の際は、姿勢を低く保ちましょう。
- ・エレベータは使用しないでください。
- ・全員の退出を確認するので、グループから離れないでください。

○Jアラート（全国瞬時警報システム）発令時の対処方法

弾道ミサイルが発射された場合、国からJアラートが発令された際には以下のように行動し、身の安全を確保してください。

※Jアラートを自ら受信し、その内容を確認できた場合は、必ずその指示に従ってください。

※Jアラートが発令されたら落ち着いて行動してください。

〔屋外にいる場合〕

- ・できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
- ・近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

〔屋内にいる場合〕

- ・窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

〔大学内にいる場合〕

- ・授業時間中の場合

可能であれば窓を閉め、さらに窓ガラスの飛散を最小限にとどめるためにカーテンやブラインドで窓を覆い、できるだけ窓から離れて机の下に隠れるなど身を守ってください。授業担当者の指示に従って行動してください。

- ・授業時間外の場合

上記の〔屋外にいる場合〕〔屋内にいる場合〕の行動指針に従って身の安全を確保してください。

※原則として8:40から19:20までの間にJアラートが発令された場合には、学務部から緊急構内放送で避難等を促す場合があります。

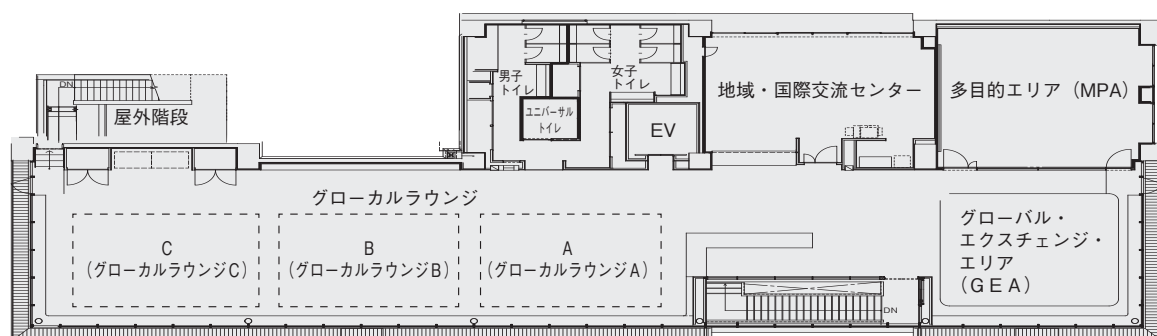
〔その他〕

Jアラート発令により、休講の措置を講ずる場合には、IC-UNIPAや大学ホームページでお知らせします。

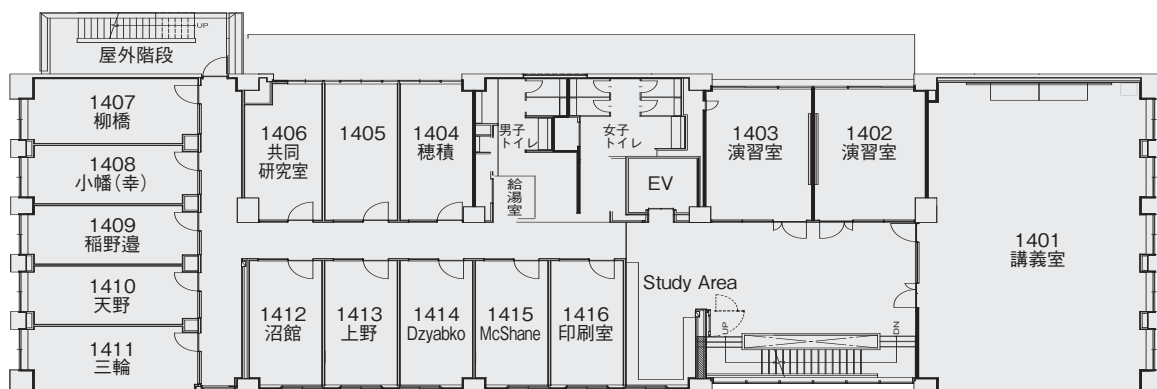
◆施設案内図

● 1号館

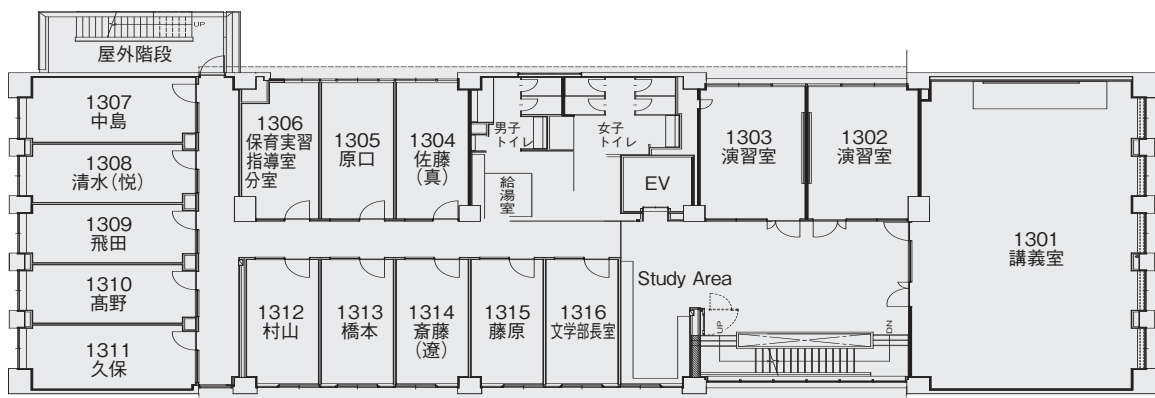
〈5階〉



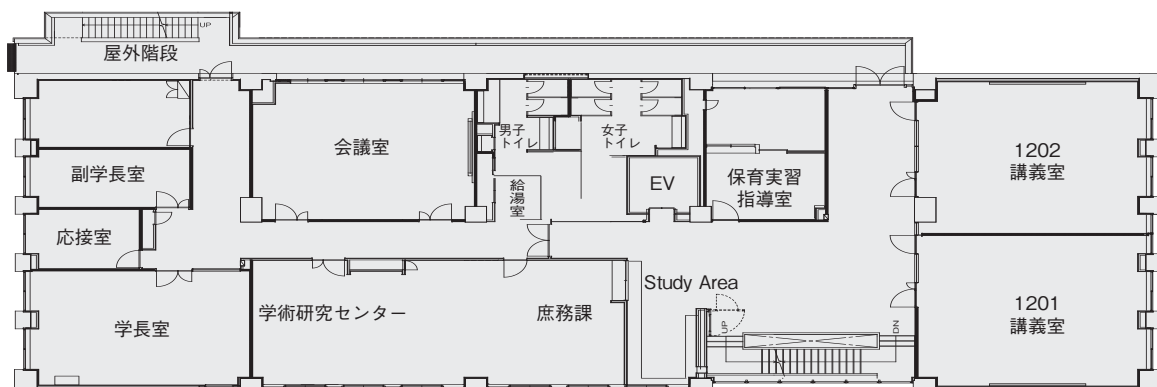
〈4階〉



〈3階〉

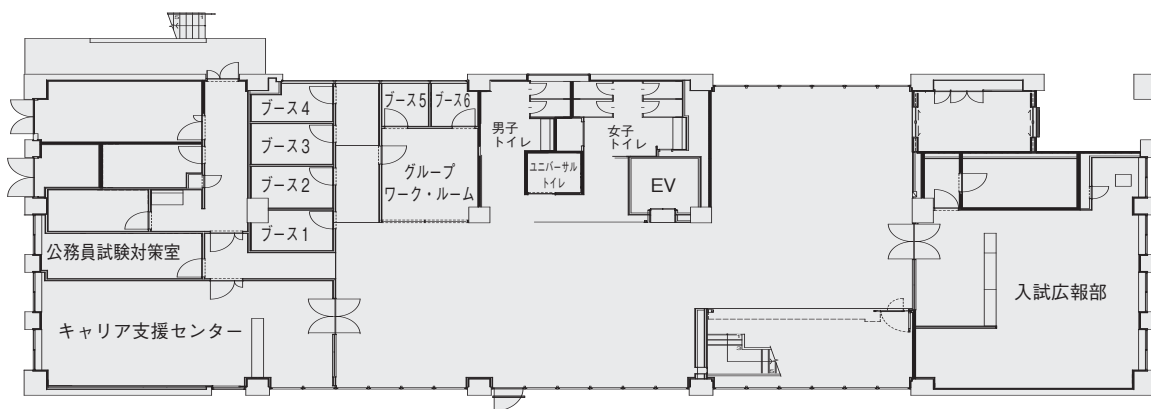


〈2階〉



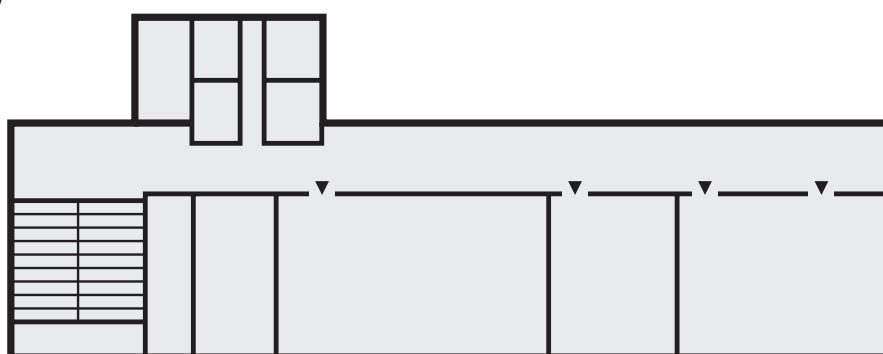
● 1 号館

〈1階〉

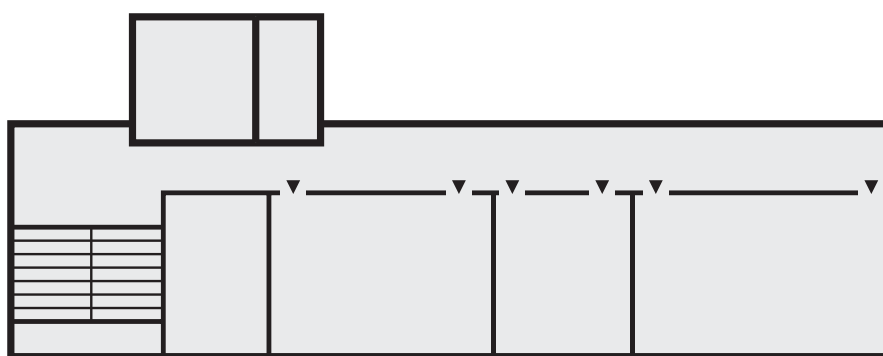


● 2 号館 (解体予定)

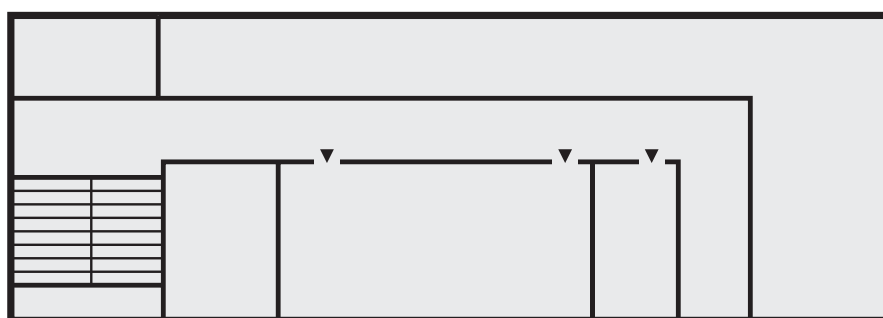
〈3階〉



〈2階〉

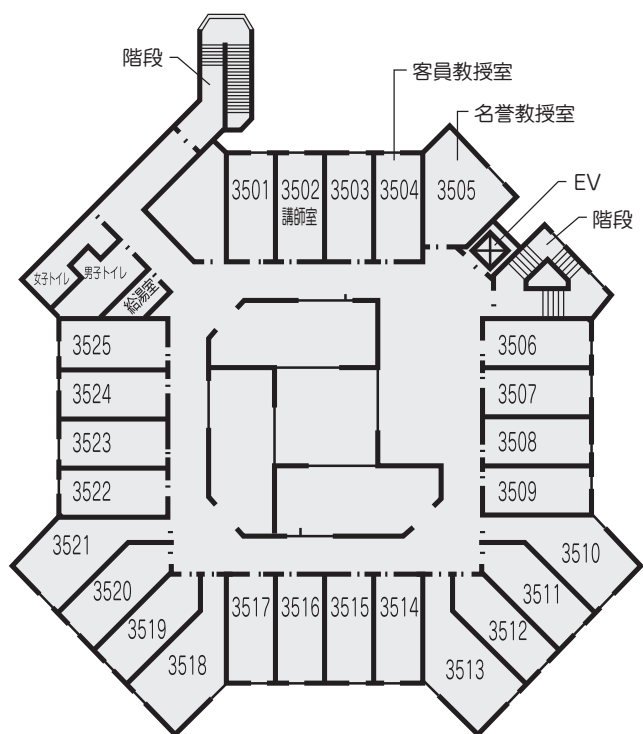


〈1階〉

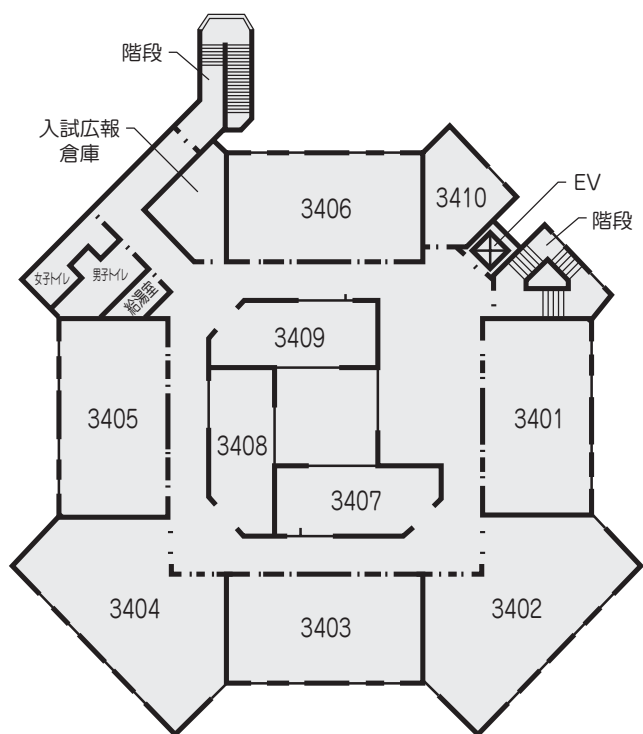


● 3号館

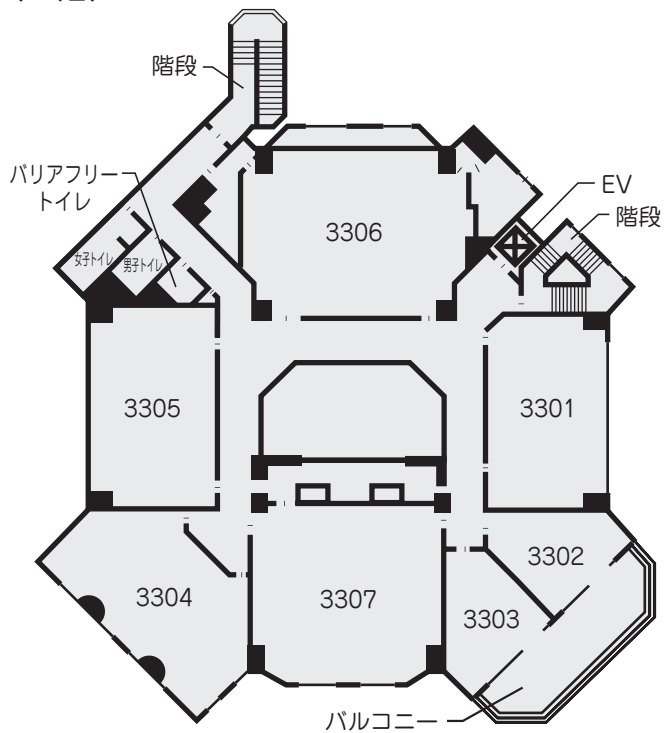
〈5階〉



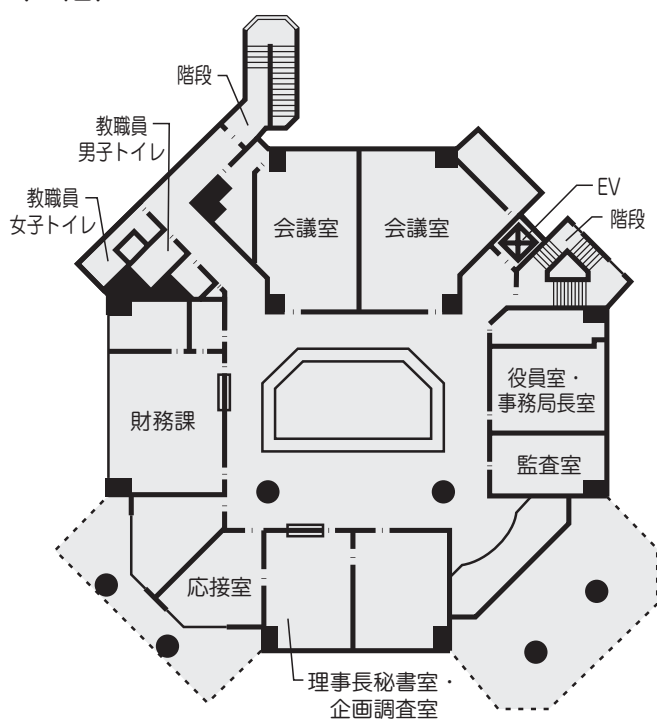
〈4階〉



〈3階〉

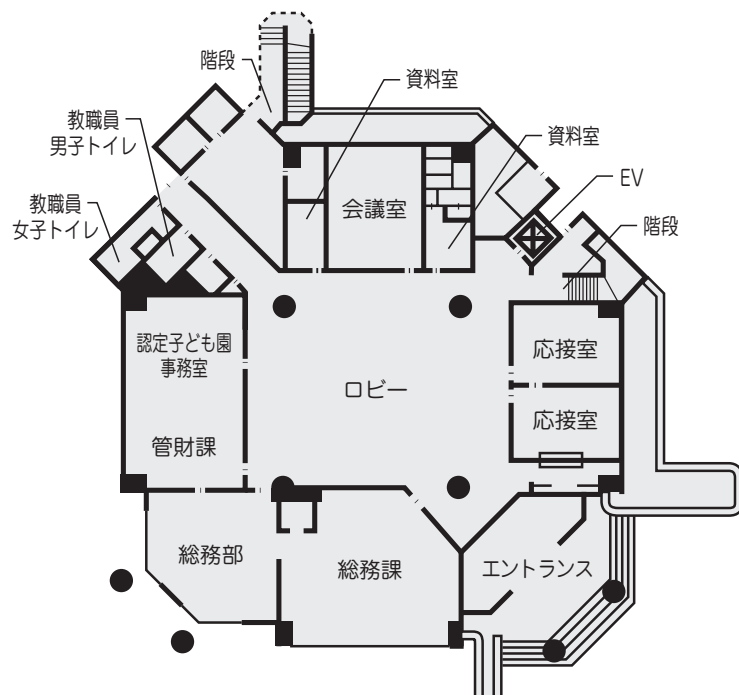


〈2階〉



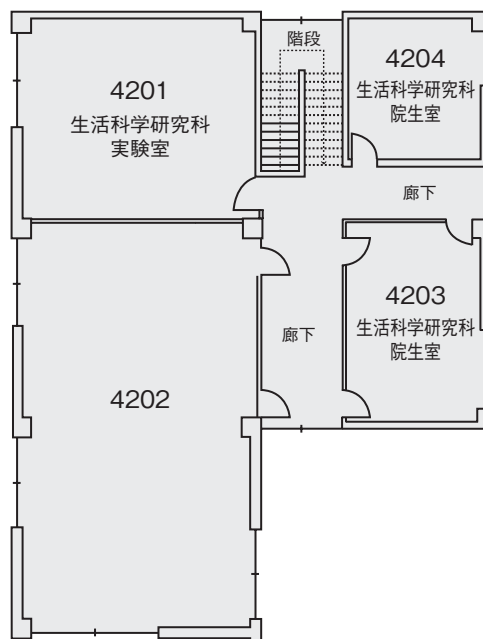
● 3号館

〈1階〉

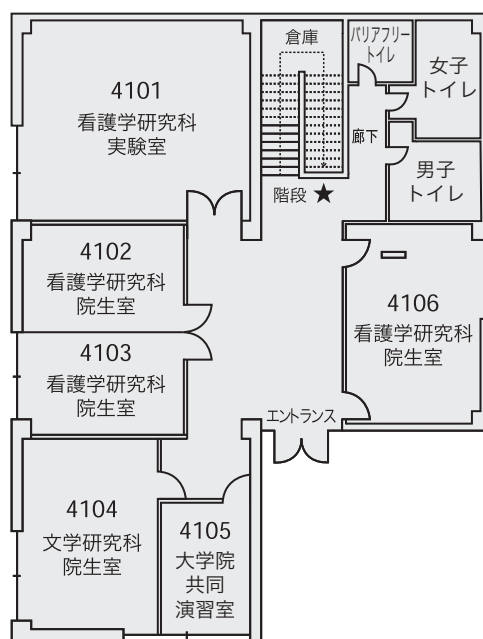


● 4号館

〈2階〉



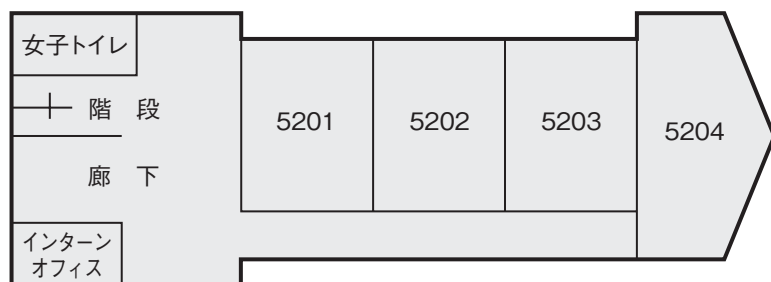
〈1階〉



★ AED（自動体外式除細動器）設置

●5号館

〈2階〉

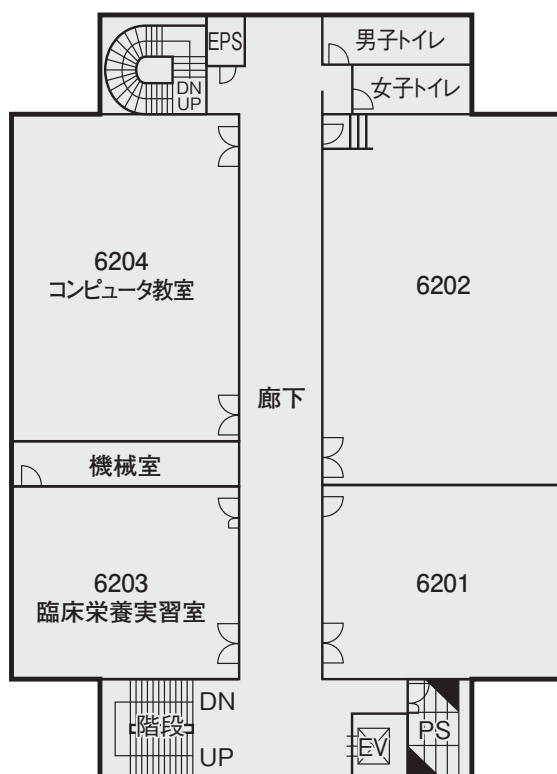


〈1階〉



● 6号館

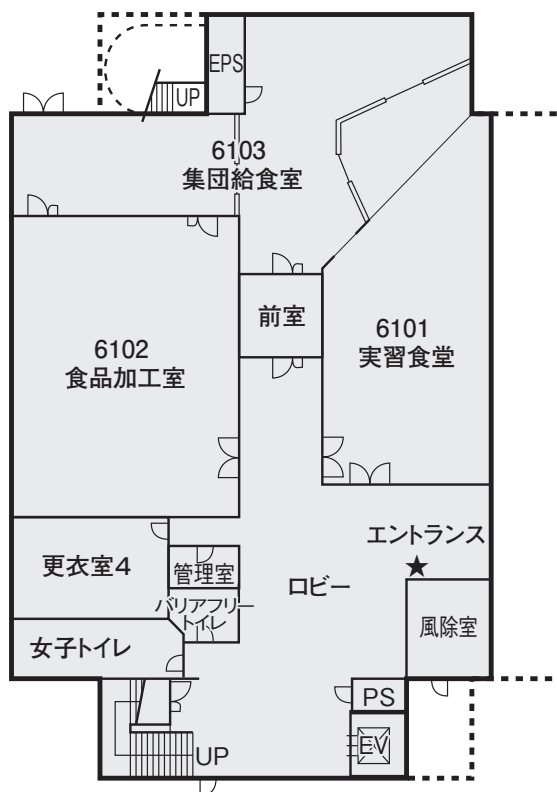
〈2階〉



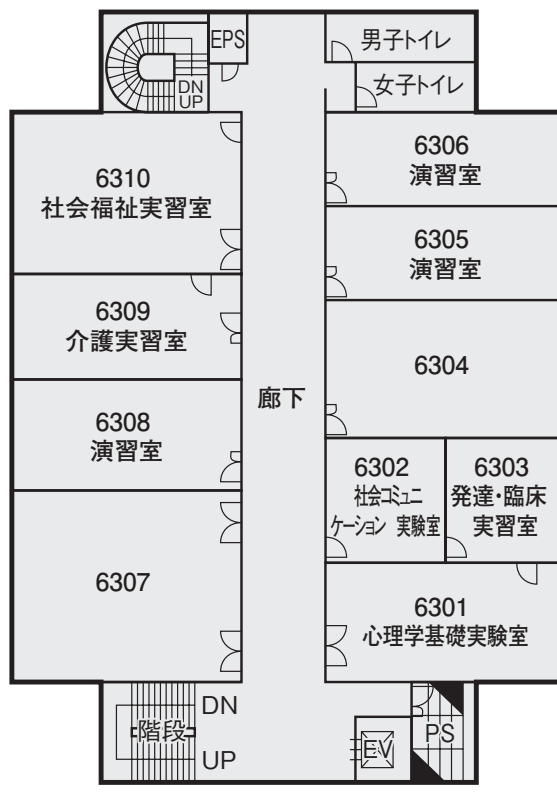
〈4階〉



〈1階〉



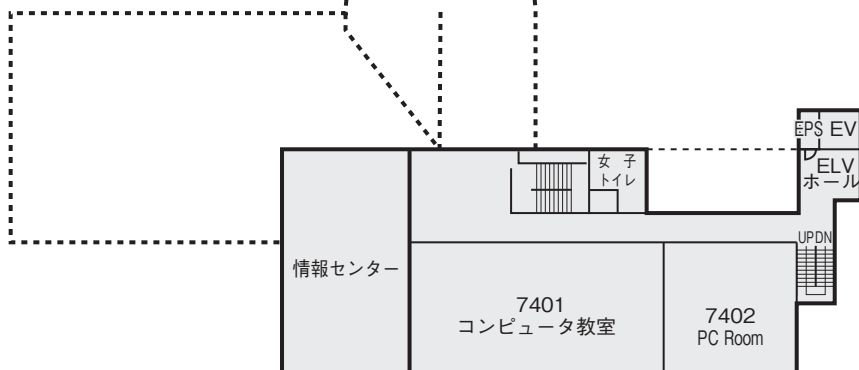
〈3階〉



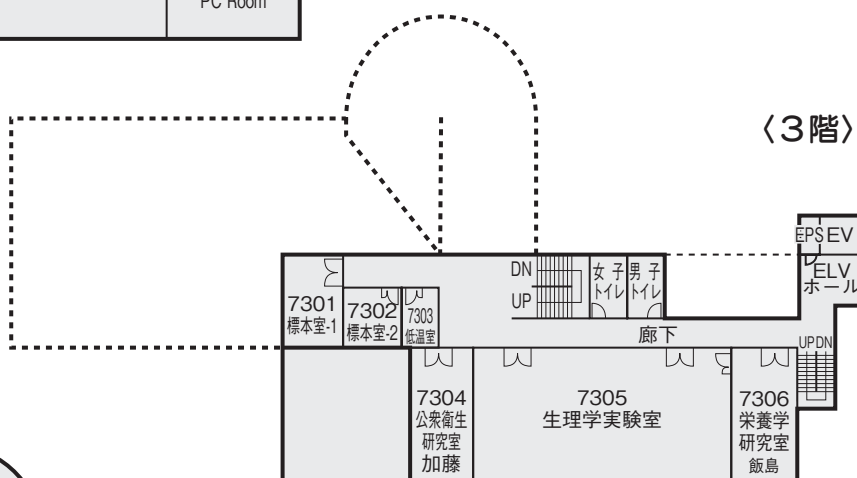
★ AED（自動体外式除細動器）設置

● 7号館

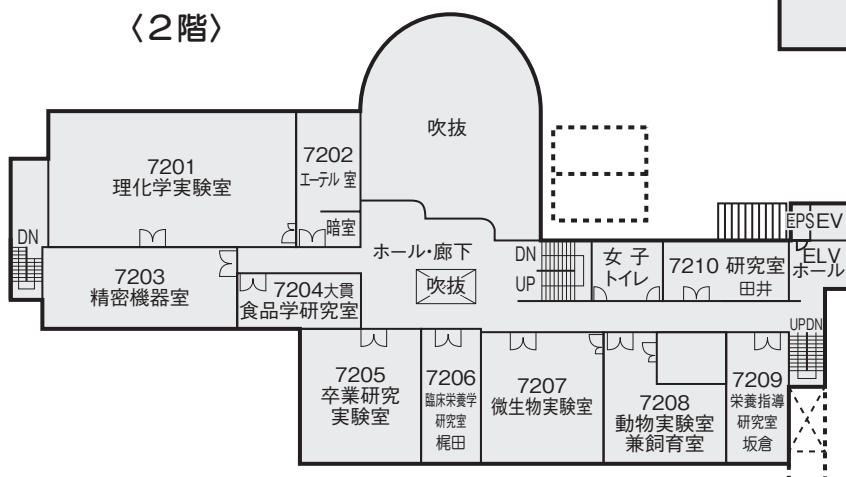
〈4階〉
(情報センター)



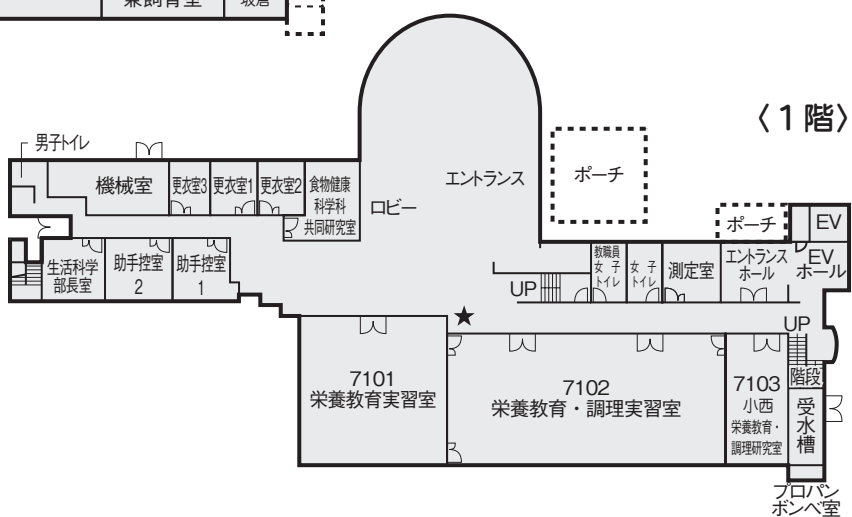
〈3階〉



〈2階〉

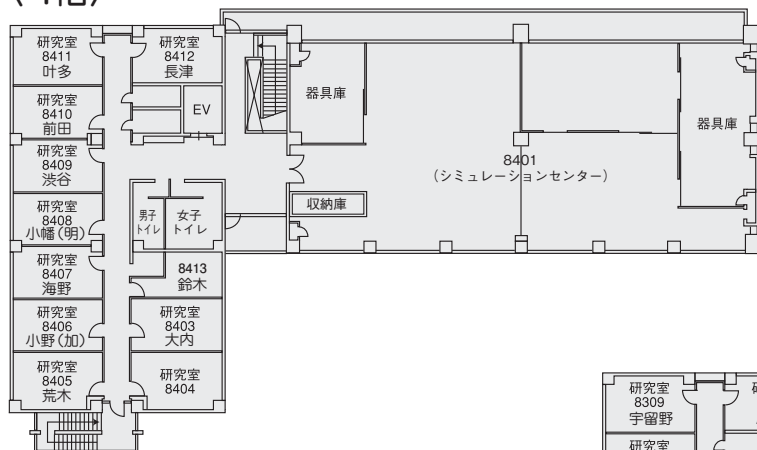


〈1階〉

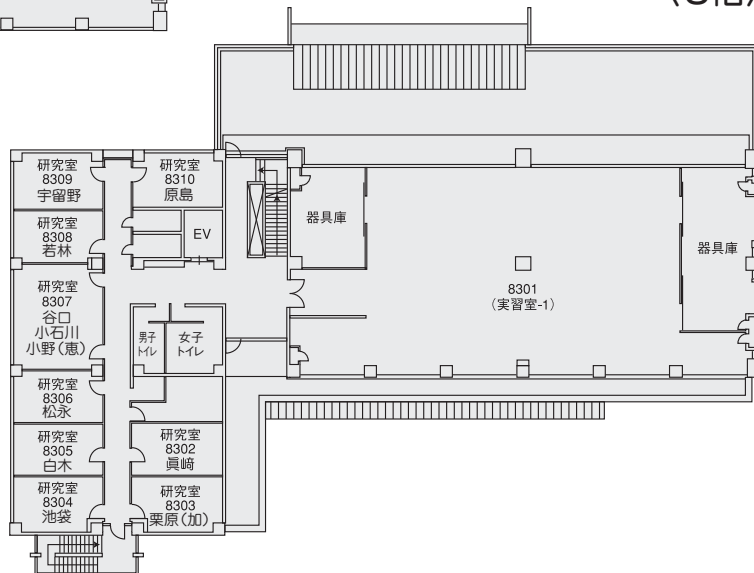


● 8号館

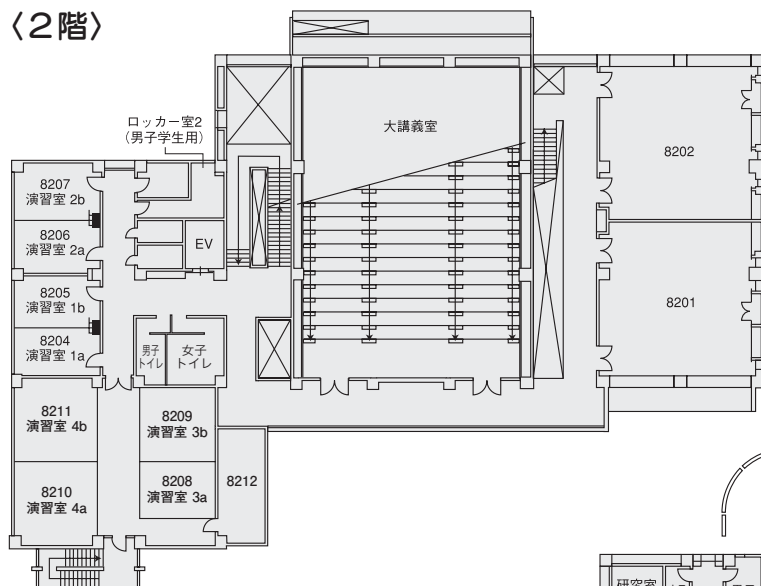
〈4階〉



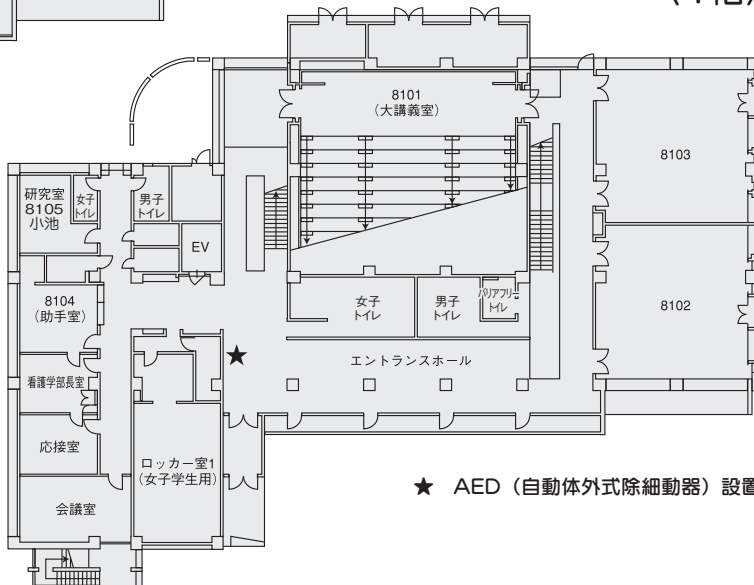
〈3階〉



〈2階〉



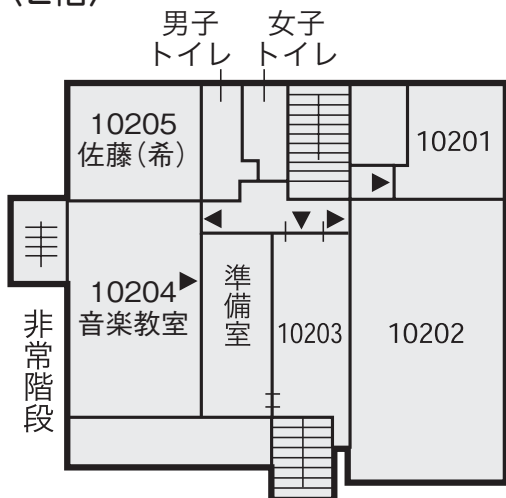
〈1階〉



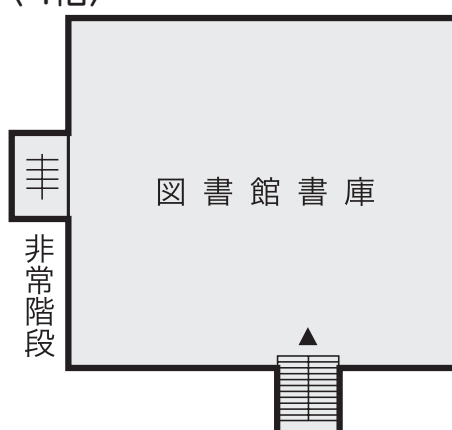
★ AED (自動体外式除細動器) 設置

●10号館

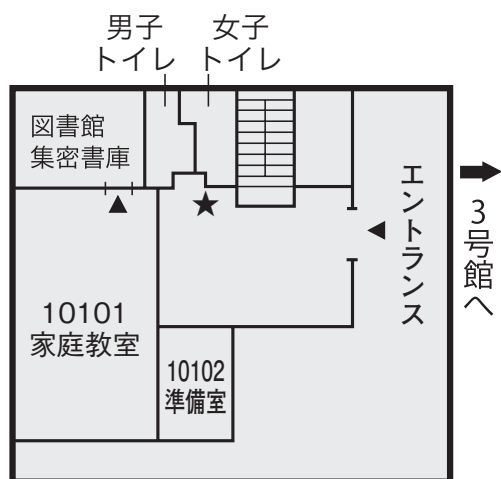
〈2階〉



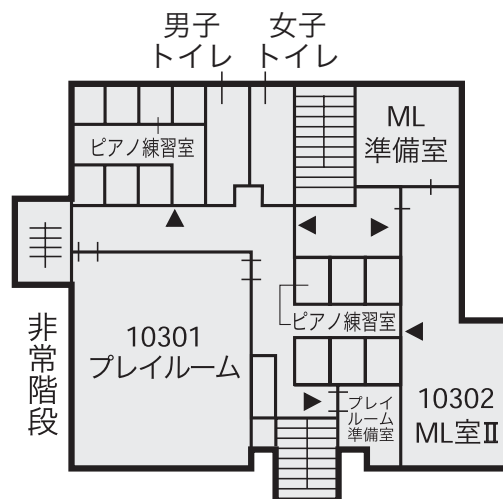
〈4階〉



〈1階〉



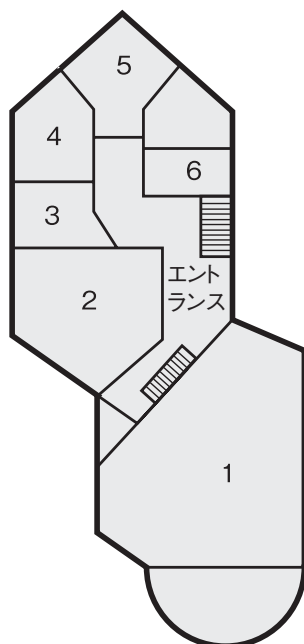
〈3階〉



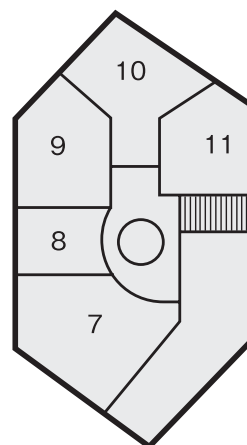
★ AED (自動体外式除細動器) 設置

●キアラ館

〈1階〉



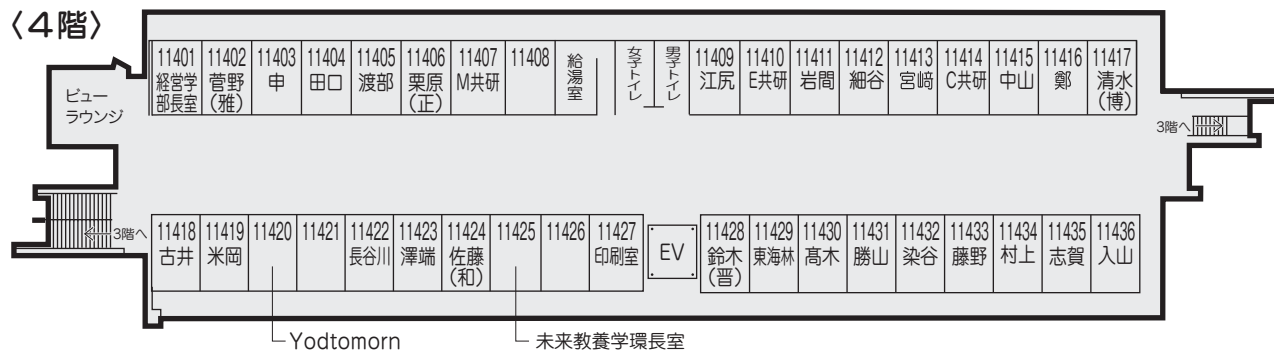
〈2階〉



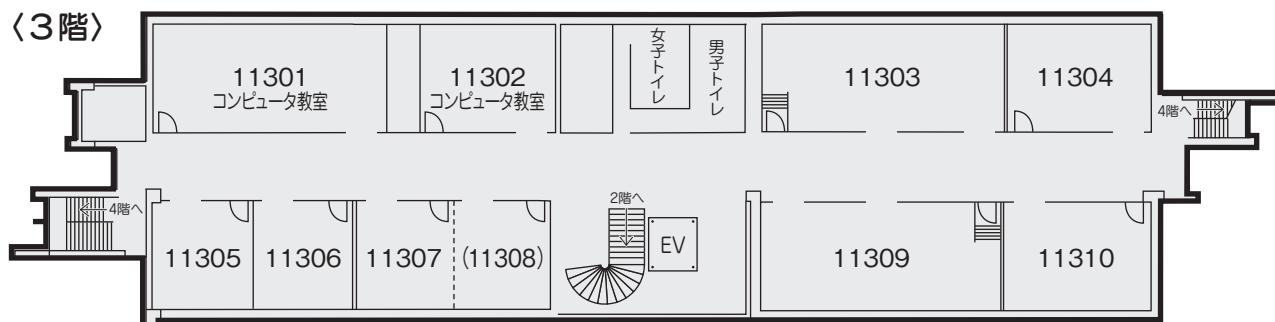
- 1 礼拝堂
- 2 キリスト教センター事務室
- 3 チャプレン室
- 4 リエゾン・オフィス
- 5 アリーナ
- 6 男子トイレ
- 7 資料センター
- 8 メディテーション・ルーム
- 9 総長室
- 10 アッパー・ルーム
- 11 女子トイレ

●11号館

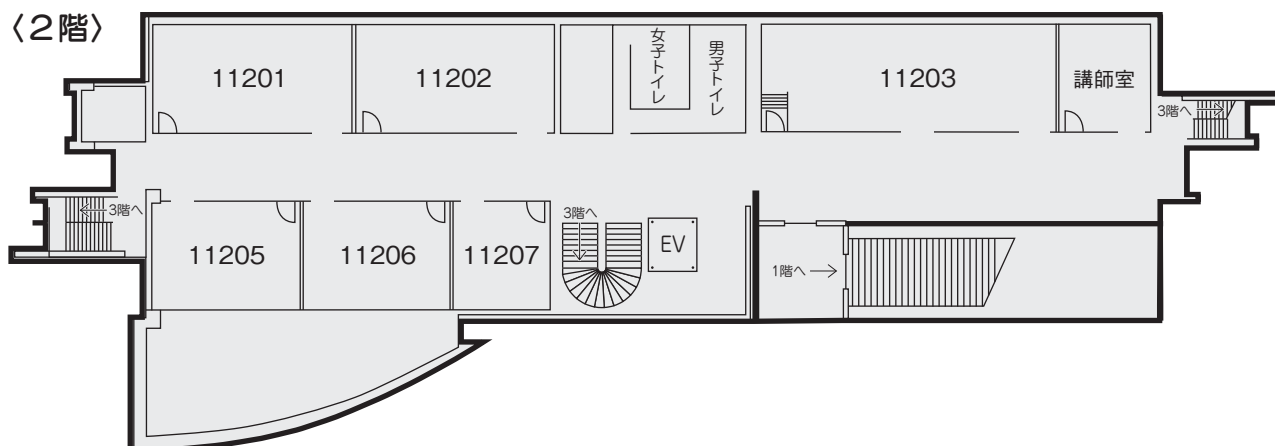
〈4階〉



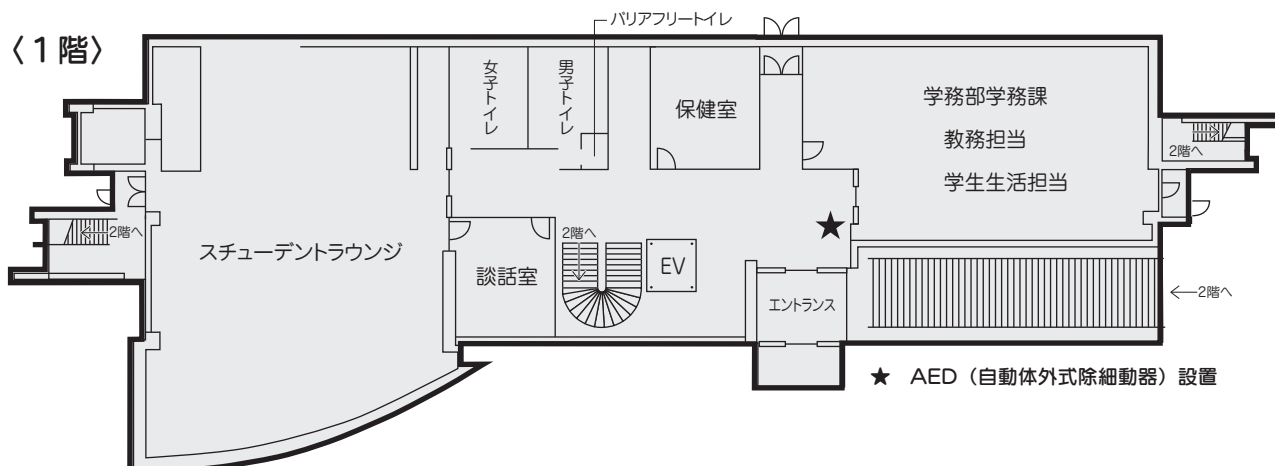
〈3階〉



〈2階〉

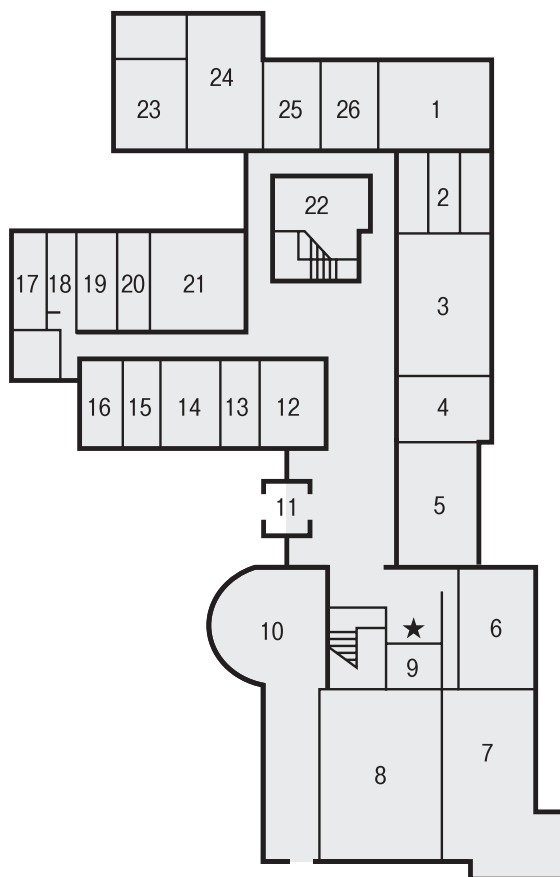


〈1階〉

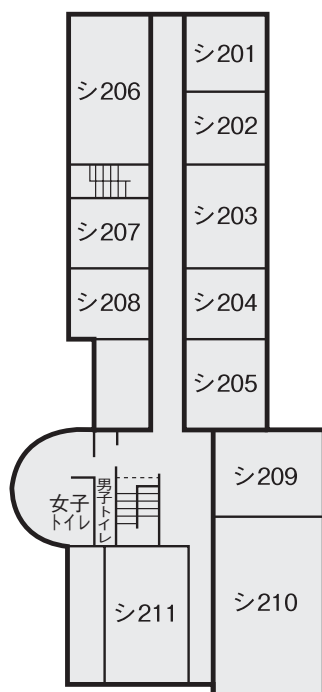


●シオン館〈1階〉

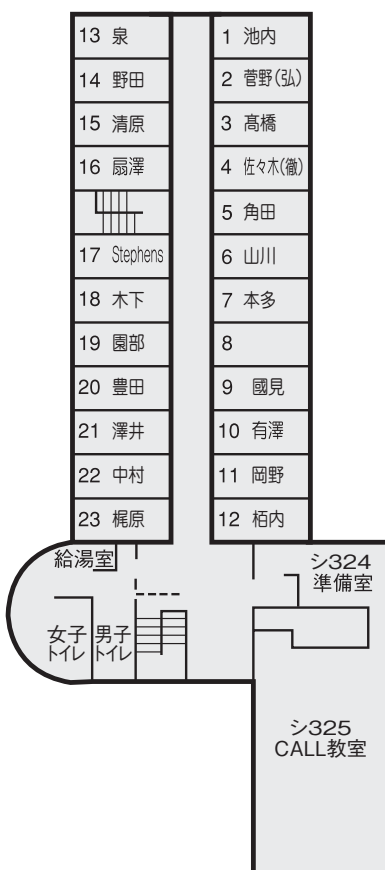
- 1 教職支援センター（相談室）
- 2 教職支援センター
- 3 ミーティングルーム
- 4 カウンセリング子育て支援センター事務室
- 5 子育て支援室1（講座室）
- 6 子育て支援室2（アンネローゼ）
- 7 ラウンジ
- 8 ユニバーサルトイレ（みんなのトイレ）
- 9 ロッカー室
- 10 エントランス
- 11 カウンセリング研究室 相談室1
- 12
- 13 講師室
- 14
- 15 清掃員控室
- 16 倉庫
- 17 職員更衣室
- 18 教職員女子トイレ
- 19 教職員男子トイレ
- 20
- 21 資料室
- 22 機械室
- 23 大会議室
- 24
- 25 カウンセリング研究室 相談室2
- ★ AED（自動体外式除細動器）設置



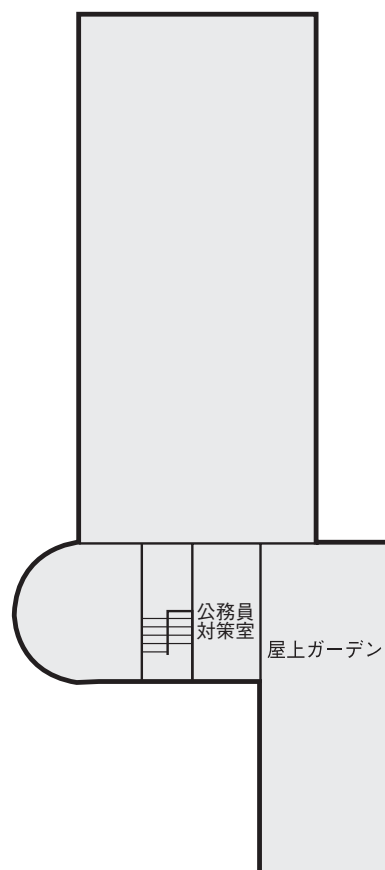
〈2階〉



〈3階〉

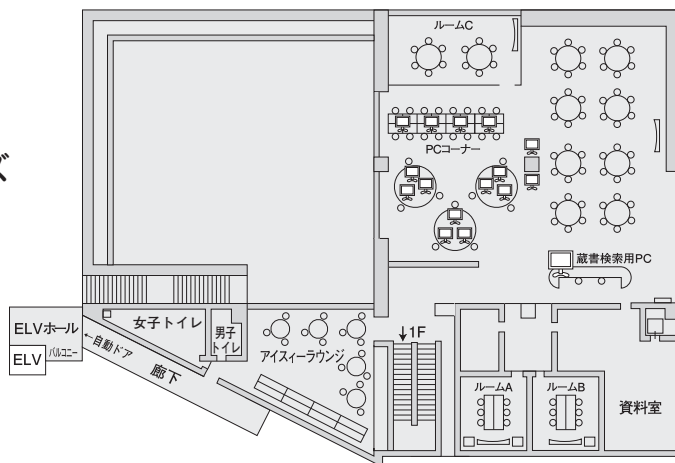


〈4階〉

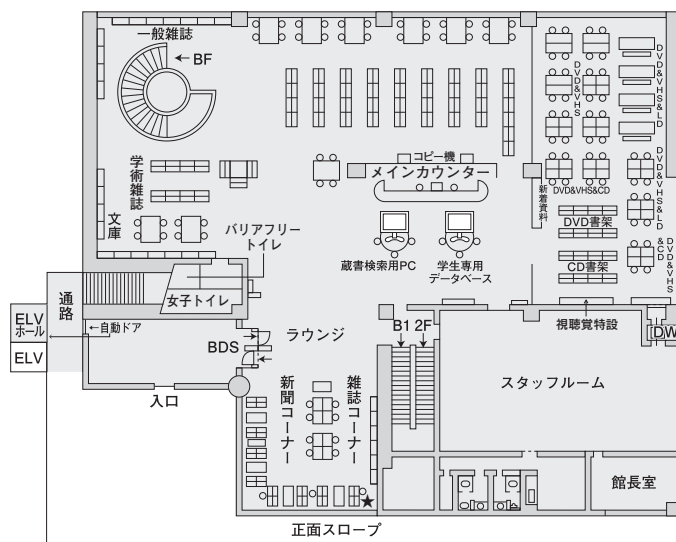


●図書館

〈2階〉ラーニング・commons

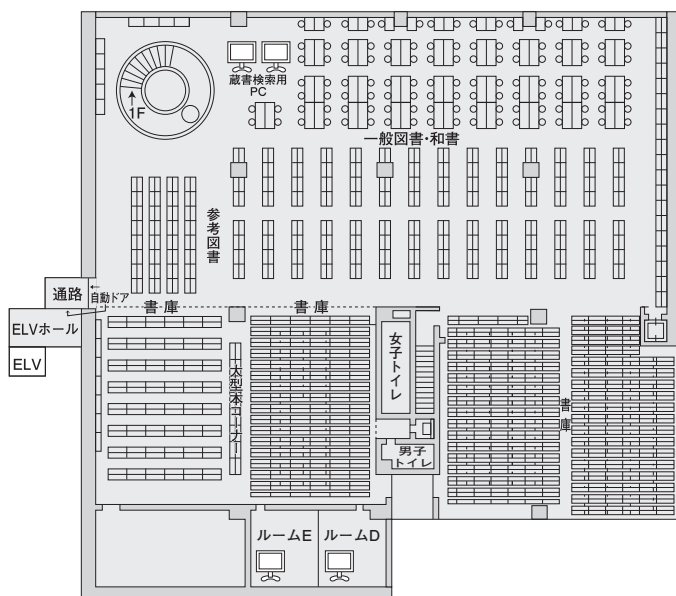


〈1階〉



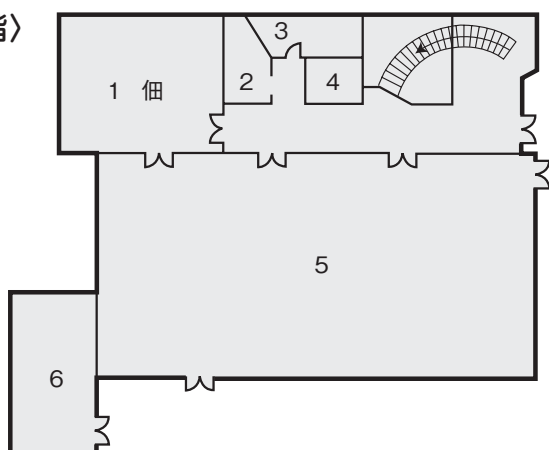
★ AED（自動体外式除細動器）設置

〈地下1階〉

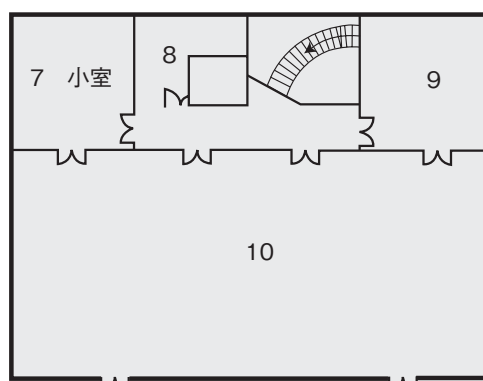


●デザイン館

〈1階〉

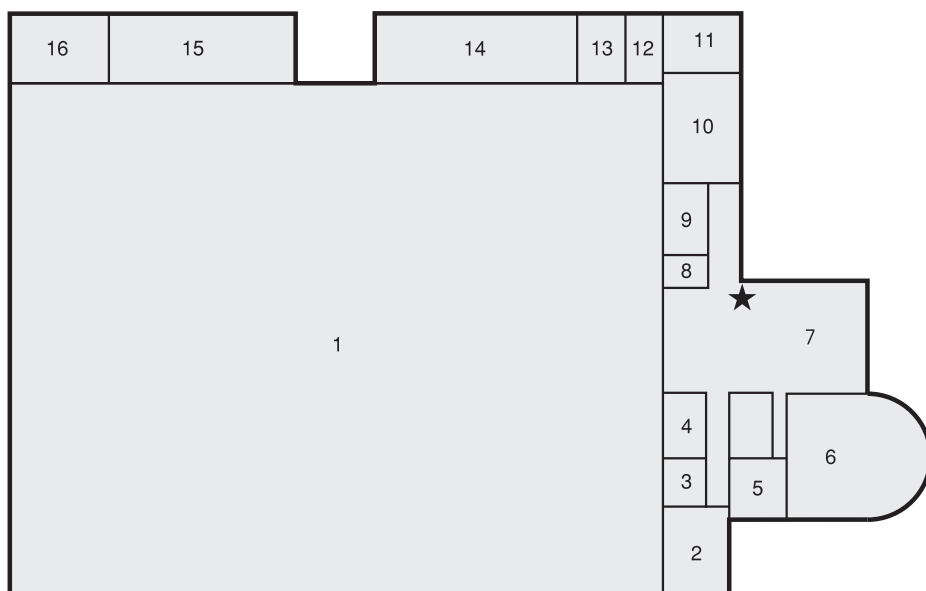


〈2階〉



- 1 研究室
- 2 男子トイレ
- 3 女子トイレ
- 4 倉庫
- 5 実習室1
- 6 電気炉室
- 7 研究室
- 8 倉庫
- 9 事務室
- 10 実習室2

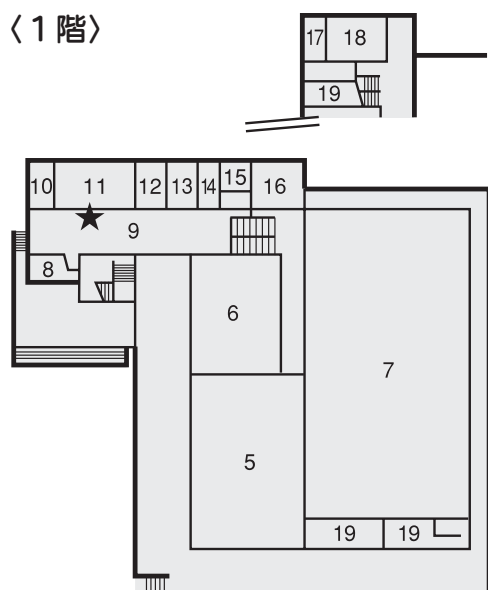
●大学北体育館



- 1 大フロアー
- 2 男子ロッカールーム
- 3 男子シャワールーム
- 4 男子トイレ
- 5 救護室
- 6 管理室
- 7 玄関・ホール
- 8 バリアフリースイール
- 9 女子トイレ
- 10 女子ロッカールーム
- 11 女子シャワールーム
- 12 機械室
- 13 放送室
- 14 教材用倉庫
- 15 厚生用倉庫
- 16 トレーニング室
- ★ AED（自動体外式除細動器）設置

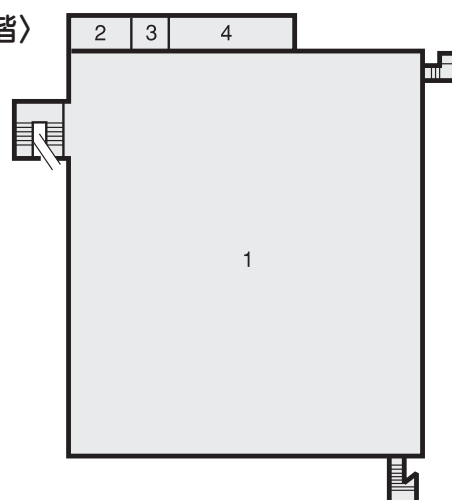
●大学南体育館

〈1階〉



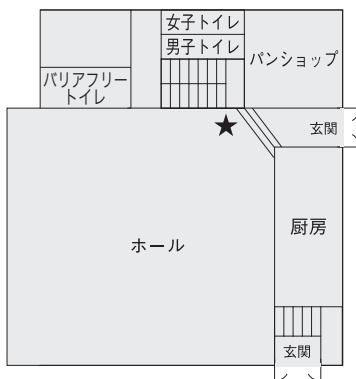
- 1 2階大フロアー
- 2 女子更衣室
- 3 シャワー室・トイレ
- 4 教材・厚生倉庫
- 5 卓球室
- 6 講義室
- 7 テニスフロアー
- 8 玄関
- 9 ホール
- 10 救護室
- 11 体育教員室
- 12 研究室
- 13 研究室
- 14 シャワー室
- 15 男子トイレ
- 16 女子トイレ
- 17 シャワー室
- 18 男子更衣室
- 19 倉庫
- ★ AED（自動体外式除細動器）設置

〈2階〉



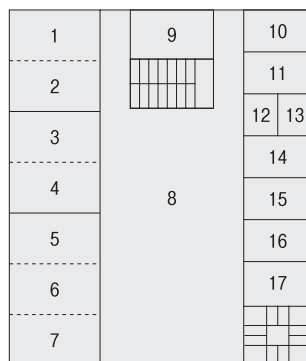
●学生会館

〈1階〉



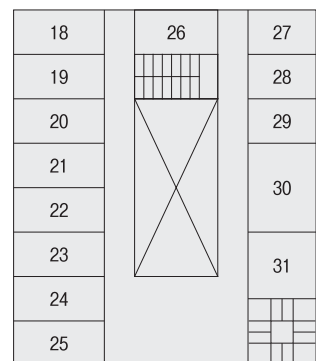
★ AED（自動体外式除細動器）設置

〈2階〉



- | | |
|------------|----------|
| 1 宿泊室 (21) | 11 女子トイレ |
| 2 " (22) | 12 湯沸室 |
| 3 " (23) | 13 洗濯室 |
| 4 " (24) | 14 洗面所 |
| 5 " (25) | 15 脱衣室 |
| 6 " (26) | 16 シャワー室 |
| 7 " (27) | 17 浴室 |
| 8 吹抜ホール | |
| 9 機械室 | |
| 10 倉庫 | |

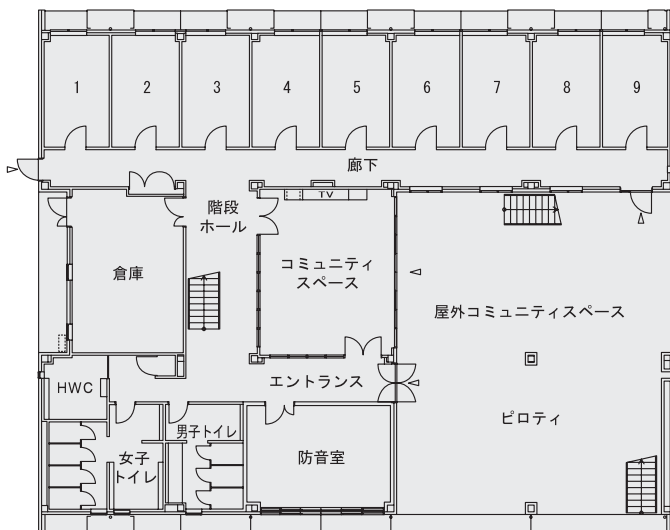
〈3階〉



- | |
|-----------------|
| 18 教職員用宿泊室 (31) |
| 19 " (32) |
| 20 " (33) |
| 21 宿泊室 (34) |
| 22 " (35) |
| 23 " (36) |
| 24 " (37) |
| 25 " (38) |
| 26 倉庫 |
| 27 湯沸室 |
| 28 洗面所 |
| 29 男子トイレ |
| 30 会議室 |
| 31 屋上庭園 |

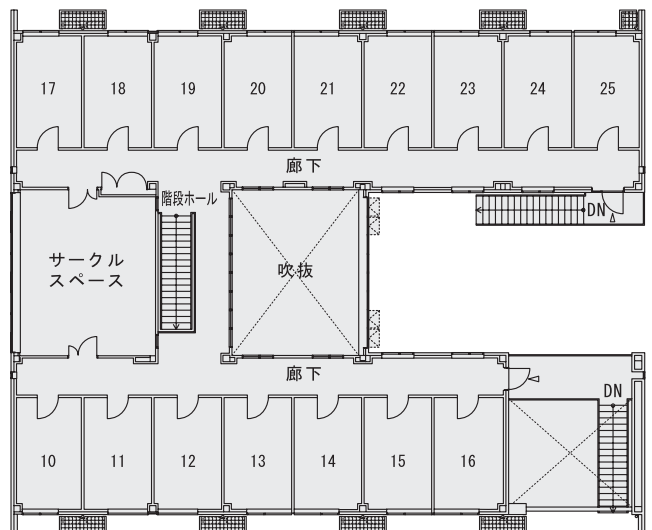
●クラブハウス

〈1階〉



- | |
|--------------|
| 1 |
| 2 All Sports |
| 3 風まかせの唄 |
| 4 野外活動サークル |
| 5 IC メディア編集部 |
| 6 極真空手部 |
| 7 バドミントン部 |
| 8 |
| 9 バレーボール部 |

〈2階〉



- | | |
|-----------------|---------------|
| 10 美術部 | 19 Futsal 部 |
| 11 エレキテル B.B.F. | 20 シネマ研究会 |
| 12 写真部 | 21 児童文化研究会 |
| 13 軽音楽部 | 22 ソフトテニス部 |
| 14 | 23 華道部 |
| 15 学園祭実行委員会 | 24 ボードゲームサークル |
| 16 学生自治会 | 25 クラブ連合委員会 |
| 17 吹奏楽団 | |
| 18 | |

<< 台風・暴風雨の接近等に伴う対応指針 >>

茨城キリスト教大学教務委員会

- (1) 常磐線が台風・暴風雨等の理由によって大甕駅を含む区間において運行停止となった場合の授業実施については、次の通りとする。
 - イ) 当日6時の段階で運行停止となっている場合、1・2時限の授業を休講とする。
 - ロ) 当日9時の段階で運行停止となっている場合、3時限以降の授業も休講とする。なお、大甕駅を含む区間が計画運休となった場合には、(1)の指針にかかわらずイ) またはロ) の休講を指示することがある。
- (2) 茨城県北部（県央地域・県北地域）に「特別警報」「暴風警報」等が発令された場合の授業実施については、次の通りとする。
 - イ) 当日6時の段階で警報が発令中の場合、1・2時限を休講とする。
 - ロ) 当日6時を過ぎ8時40分までの間に警報が発令された場合（発令中を含む）、1・2時限を休講とする。
 - ハ) 当日9時を過ぎても警報が解除されない場合、3時限以降の授業も休講とする。ニ) 授業実施中、茨城県地方に「暴風警報」等が発令された場合は、速やかに全ての授業等（サークル活動等を含む）を終了し帰宅することとする。
- (3) 定期試験実施日における取扱も上記の通りとする。
- (4) 上記の措置で休講となった授業・試験については、別途日程を調整のうえ代替の授業・試験を実施する。
- (5) その他、緊急の場合には学長の判断による。
- (6) 上記理由により授業が休講となる場合は、大学ホームページ上でその旨掲示する。ただしネットワーク障害、停電等生じた場合は掲示できないことがある。
- (7) 上記理由により授業が休講となる可能性が極めて高いと判断される場合は、大学ホームページ上の掲示に注意するよう、喚起することがある。
- (8) 学外実習等に関しては、別途指示が出される場合がある。

以上

<< 地震発生時の対処法 >>

【地震発生時】

- ① まず自分自身の身を守ってください。
- ② 冷静に対処しましょう。
- ③ 揺れが沈静化するまでその場で待機してください。
- ④ 衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
- ⑤ 窓際から離れ、机の下などにもぐり、身を守ってください。
- ⑥ ドア付近の学生はドアを開放して、出口を確保してください。
- ⑦ 窓ガラスの飛散を防ぐため、カーテン・ブラインドを閉めてください。

【地震沈静後】

- ① (屋外退避の避難指示放送)の有無→放送なしの場合、授業を再開します。
- ② 放送ありの場合、指示に従って指定避難場所へ移動します。
- ③ 余震に十分気をつけましょう。
- ④ 出口に殺到しないてください。
（「前半分は前のドアから、後半分は後ろのドアから出てください」等）
- ⑤ 障害者や負傷者の避難をサポートしてください。
- ⑥ 上下階への移動は階段を使用してください。移動の際は姿勢を低く保ちましょう。エレベータを使用してはいけません。
- ⑦ 全員の退出を確認するのでグループから離れないてください。

【避難場所への移動】

- ① 指定の避難場所へ避難しましょう。
- ② 衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
- ③ 窓ガラスや外壁等の落下物に注意してください。
- ④ 地面の亀裂や陥没、隆起に注意してください。
- ⑤ 避難場所では教職員の指示に従ってください。

<< 原子力災害発生時の対処方法 >>

- 1 建物（できればコンクリート製）に入り、ドアを閉めてください。
- 2 窓を閉めてください。
- 3 エアコン・換気扇を止めてください。
- 4 カーテンを開けてください。

＜＜Ｊアラート（全国瞬時警報システム）発令時の対応方法＞＞

弾道ミサイルが発射された場合、国からＪアラートが発令された際には以下のように行動し、身の安全を確保するようにしてください。

※Ｊアラートを自ら受信し、その内容を確認できた場合は、必ずその指示に従ってください。

※Ｊアラートが発令されたら落ち着いて行動してください。

【屋外にいる場合】

- ・できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
- ・近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

【屋内にいる場合】

- ・窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

【大学内にいる場合】

- ・授業時間中の場合

可能であれば窓を閉め、さらに窓ガラスの飛散を最小限にとどめるためにカーテンやブラインドで窓を覆い、できるだけ窓から離れて机の下に隠れるなど身を守ってください。授業担当者の指示に従って行動してください。

- ・授業時間外の場合

上記の「屋外にいる場合」「屋内にいる場合」の行動指針に従って身の安全を確保してください。

※原則として、8:40から19:20までの間にＪアラートが発令された場合には、学務部から緊急構内放送で避難等を促す場合があります。

【その他】

Ｊアラート発令により、休講の措置を講ずる場合には、IC-UNIPAや大学ホームページでお知らせします。

一般注意事項

(1) 授業時間

月～土曜日

時限	第 1 時限	第 2 時限	昼休み	第 3 時限	第 4 時限	第 5 時限	第 6 時限
時間	8 : 40～ 10 : 10	10 : 20～ 11 : 50	11 : 50～ 12 : 40	12 : 40～ 14 : 10	14 : 20～ 15 : 50	16 : 00～ 17 : 30	17 : 40～ 19 : 10

○チャペルは、火曜日、水曜日、木曜日の12：00～12：30に実施。

(2) 休講・補講

授業担当者が校務等で授業ができない場合、そのつど「IC-UNIPA」に掲示する。始業時より30分以上経過しても何らの通知もない場合は学務部に問い合わせること。

また、休講等により授業が実施されなかった場合には補講を実施する。日程が決まり次第「IC-UNIPA」に掲示する。

休講・補講情報は、「IC-UNIPA」から確認できます。

大学公式サイト

： <https://www.icc.ac.jp/>



(3) 事務取扱案内

平 日 午前 8 時45分～午後 4 時45分

土曜日 午前 8 時45分～午前11時50分

ただし、平日の午後 0 時から午後 2 時は、職員が交代で業務を取り扱うため、通常の対応ができない場合がある。

(注) 日曜日、祝日、その他大学が定める休業日には事務取扱はしない。なお休業期間その他特別な場合については、そのつど掲示により伝達する。

